FH10
メッセージ集

古河電気工業株式会社

はじめに

このたびは、FH10（以降本製品）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品で取得できるログの一覧を掲載しています。

目次

本書の見方 3

ログ一覧 4

1.1 acd 4
1.2 agetty 6
1.3 bfdd 11
1.4 cli 29
1.5 cmdlogd 46
1.6 cmdlogd_ap 53
1.7 configd 53
1.8 console_ap 179
1.9 cron 179
1.10 cxd 180
1.11 dhcpc2_ap 188
1.12 dhcpc_ap 190
1.13 dhcpc_cmd 199
1.14 dhcpcd 201
1.15 dhcpr_ap 230
1.16 dhcpr_cmd 234
1.17 dhcprd 237
1.18 dhcps_ap 251
1.19 dhcps_cmd 260
1.20 dhcpsd 262
1.21 dishd 286
1.22 dwd 301
1.23 emd_exec 312
1.24 emd 313
1.25 entitymibd 337
1.26 eventd 341
1.27 extract_conf_ap 344
1.28 fanctrld 345
1.29 fdpd 350
1.30 fdpmonitor 356
1.31 firmutil 356
1.32 ftpd 357
1.33 hfdd 366
1.34 hosts_ap 376
1.35 ifcfg_ap 376
1.36 ifd 392
1.37 ifshutdown 429
1.38 inetd 432
1.39 isakmp_ap 448
1.40 isisd 462
1.41 kuwdt 464
1.42 libipacl 468
1.43 lacpd 470
1.44 license 471
1.45 liked 472
1.46 linktrapd 477
1.47 linux 486

1.48 loggin_on....540
1.49 login....541
1.50 lpdaemon....544
1.51 lpmd....554
1.52 lpsurveyd....570
1.53 lpvrrpd....572
1.54 macset_ap....574
1.55 mnifd....575
1.56 mathd....578
1.57 natd....579
1.58 nld....596
1.59 ntpd....604
1.60 phy....639
1.61 pld....639
1.62 pmd_ap....656
1.63 pmd....664
1.64 procmon....687
1.65 quicksecpm....697
1.66 report-all....739
1.67 reset_default....745
1.68 resolv_ap....745
1.69 rtadvd....746
1.70 rumpserver....751
1.71 secd....781
1.72 showacl....816
1.73 snmp_ap....818
1.74 snmpd....829
1.75 sntpcd....897
1.76 ssh....898
1.77 survey....983
1.78 syslogd....994
1.79 tacacs+....1019
1.80 tipcftpd....1034
1.81 tipcsh....1038
1.82 tipcshd....1043
1.83 update_ap....1049
1.84 uwdtd....1051
1.85 vrrp6d....1065
1.86 vrrpd....1078
1.87 vrrpcli....1092
1.88 zebos....1092

本書の見方

本書では、本装置で取得できるログの一覧を記載しています。
各ログメッセージついて、以下の項目を記述しています。

記載項目）

章番号 プロセス名	本書の章番号とログを出力するプロセス名
【メッセージ】	メッセージ本文。変化する部分は%1 等で表示
【プライオリティ】	SYSLOG の送信レベル（プライオリティ）
【ファシリティ】	SYSLOG の送信ファシリティ
【意味】	メッセージが発生する状況・原因
【パラメータの意味】	変化する部分の説明
【アクション】	ログ発生時の対応

記載例）

1.1 acd

【メッセージ】
smux open fail.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux のオープンに失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

ログ一覧

1.1 acd

【メッセージ】
smux open fail.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux のオープンに失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt init fail.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の初期化に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt start fail.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

uwdt の起動に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

connect with snmpd fail.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmpd との接続に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ssh mib smux_fd O_NONBLOCK: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmpd との接続（非停止モード）に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

failed to initialize snmpd socket

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH 関連 TRAP 送信の初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.2 agetty

【メッセージ】

%01: can't exec /bin/login: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

/bin/login の起動に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:tty 名称

%02:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

failed to allocate memory: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

メモリの生成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

/dev/%01: cannot open as standard input: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

tty が使用できません

【パラメータの意味】

%01:tty 名称

%02:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

/dev/%01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

tty が使用できません

【パラメータの意味】

%01:tty 名称

%02:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

/dev/%01: not a character device

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

tty が使用できません

【パラメータの意味】

%01:tty 名称

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

/dev/%01: cannot get controlling tty: %02

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

tty 制御に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:tty 名称

%02:エラーメッセージ

【アクション】

問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

%01: not open for read/write

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

tty が使用できません

【パラメータの意味】

%01:tty 名称

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: dup problem: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

stdout/stderr の作成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:tty 名称

%02:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: tcgetattr: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

tty 設定の取得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:tty 名称

%02:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

"tcsetattr problem: %01");

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

tty 設定に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ

【アクション】

問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

%01: read: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】
tty からの読み込みに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:tty 名称
%02:エラーメッセージ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01: input overrun
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
入力バッファを越えました
【パラメータの意味】
%01:tty 名称
【アクション】
問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
%01: invalid character conversion for login name
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
入力文字列が使用できません
【パラメータの意味】
%01:tty 名称
【アクション】
問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
%01: invalid character %02 in login name
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
入力文字が使用できません
【パラメータの意味】
%01:tty 名称
%02:文字コード
【アクション】
問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
checkname: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ユーザ名が使用できません
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ
【アクション】
問題がなければ、そのままご使用ください。

1.3 bfdd

【メッセージ】
get port%01 [%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
socket システムコールに失敗
【パラメータの意味】
%01:IPv4:"" or IPv6:"6"
%02:エラーコード

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01 address is not link-local.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
入力コマンドのアドレスがリンクローカルのみ有効
【パラメータの意味】
%01:IPv6 アドレス
【アクション】
入力したアドレスを確認してください。

【メッセージ】
Create socket error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
socket システムコールに失敗
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Bind unix socket error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
UNIX ソケットに対する bind システムコールに失敗
【パラメータの意味】

%01:エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Bind udp socket error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

受信用 UDP ソケットに対する bind システムコールに失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Bind udp6 socket error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

受信用 UDP6 ソケットに対する bind システムコールに失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Bind brdb socket error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

受信用 BRDB ソケットに対する bind システムコールに失敗

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Bind udp port error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
送信用 UDP ソケットに対する bind システムコールに失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Bind udp6 port error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
送信用 UDP6 ソケットに対する bind システムコールに失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Port is invalid.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

ポート番号取得に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Add Session6 type invalid (%01, %02) index=%03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

プロトコルからの BFD セッション要求の BFD_KEY が不正

【パラメータの意味】

%01:BFD セッションのローカル ID

%02:BFD セッションのリモート ID

%03:プロトコルセッションの ifindex 値

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[Not Support %01] setting link-local address %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

リンクローカルを設定した場合の未サポートログ

【パラメータの意味】

%01:プロトコル名

%02:IPv6 アドレス

【アクション】

設定を確認してください。

【メッセージ】

failed to add IPv%01 Route.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

二分木にルート情報を確認する際に失敗

【パラメータの意味】

%01:IPv4:"4" or IPv6:"6"

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

vrf %01 setting is not found

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

bfd-map に存在しない VRF 名を設定した

【パラメータの意味】

%01:設定した VRF 名

【アクション】

設定を確認してください。

【メッセージ】

duplicate neighbor address %01 <%02>

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

同一アドレスを持つ bfd-map を設定した

【パラメータの意味】

%01:ネイバーアドレス

%02:bfd-map 名

【アクション】

設定を確認してください。

【メッセージ】

duplicate neighbor address %01 vrf %02 <%03>

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

VRF で同一アドレスを持つ bfd-map を設定した

【パラメータの意味】

%01:ネイバーアドレス

%02:vrf 名

%03:bfd-map 名

【アクション】

設定を確認してください。

【メッセージ】

command response timeout

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

BFD コマンドの応答がタイムアウトした

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

BFD session neighbor %01 down (%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD セッションがダウンした場合

【パラメータの意味】

%01:ネイバーアドレス

%02:BFD セッションがダウンした要因

【アクション】
　そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
　BFD session neighbor %01 %02 down (%03)
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　BFD セッションがダウンした場合
【パラメータの意味】
　%01:ネイバーアドレス(IPv6 リンクローカル)
　%02:インターフェース名または ifindex 値
　%03:BFD セッションがダウンした要因
【アクション】
　そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
　BFD session neighbor %01 [%02] down (%03)
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　VRF の BFD セッションがダウンした場合
【パラメータの意味】
　%01:ネイバーアドレス
　%02:VRF 名称
　%03:BFD セッションがダウンした要因
【アクション】
　そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
　BFD session neighbor %01 [%02] %03 down (%04)
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

VRF の BFD セッションがダウンした場合

【パラメータの意味】

%01:ネイバーアドレス(IPv6 リンクローカル)

%02:VRF 名称

%03:インターフェース名または ifindex 値

%04:BFD セッションがダウンした要因

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 down

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD セッションと連携しているプロトコルがダウンした場合

【パラメータの意味】

%01:BFD 監視プロトコル名(OSPF、BGP、BGP4+、Static)

%02:ネイバーアドレス

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 %03 down

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD セッションと連携しているプロトコルがダウンした場合

【パラメータの意味】

%01:BFD 監視プロトコル名(OSPF6)

%02:ネイバーアドレス(IPv6 リンクローカル)

%03:インターフェース名または ifindex 値

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 down (%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

micro BFD セッションがダウンした場合

【パラメータの意味】

%01:BFD 監視プロトコル名(LAG)

%02:ネイバーアドレス

%03:物理インターフェース名

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 [%03] down

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

VRF の BFD セッションと連携しているプロトコルがダウンした場合

【パラメータの意味】

%01:BFD 監視プロトコル名(OSPF_1D～OSPF_5D、BGP、BGP4+、Static)

%02:ネイバーアドレス

%03:VRF 名称

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 [%03] %04 down

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
VRF の BFD セッションと連携しているプロトコルがダウンした場合
【パラメータの意味】
%01:BFD 監視プロトコル名(OSPF6)
%02:ネイバーアドレス(IPv6 リンクローカル)
%03:VRF 名称
%04:インターフェース名または ifindex 値
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
BFD session neighbor %01 up
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BFD セッションが UP した場合
【パラメータの意味】
%01:ネイバーアドレス
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
BFD session neighbor %01 %02 up
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BFD セッションが UP した場合
【パラメータの意味】
%01:ネイバーアドレス(IPv6 リンクローカル)
%02:インターフェース名または ifindex 値
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session neighbor %01 [%02] up

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

VRF の BFD セッションが UP した場合

【パラメータの意味】

%01:ネイバーアドレス

%02:VRF 名称

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session neighbor %01 [%02] %03 up

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

VRF の BFD セッションが UP した場合

【パラメータの意味】

%01:ネイバーアドレス(IPv6 リンクローカル)

%02:VRF 名称

%03:インターフェース名または ifindex 値

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 up

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD セッションと連携しているプロトコルが UP した場合

【パラメータの意味】

%01:BFD 監視プロトコル名(OSPF、BGP、BGP4+、Static)

%02:ネイバーアドレス

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 %03 up

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD セッションと連携しているプロトコルが UP した場合

【パラメータの意味】

%01:BFD 監視プロトコル名(OSPF6)

%02:ネイバーアドレス(IPv6 リンクローカル)

%03:インターフェース名または ifindex 値

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 up (%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD セッションと連携しているプロトコルが UP した場合

【パラメータの意味】

%01:BFD 監視プロトコル名(LAG)

%02:ネイバーアドレス

%03:物理インターフェース名

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

BFD session with %01 neighbor %02 [%03] up

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
VRF の BFD セッションと連携しているプロトコルが UP した場合
【パラメータの意味】
%01:BFD 監視プロトコル名(OSPF_1D～OSPF_5D、BGP、BGP4+、Static)
%02:ネイバーアドレス
%03:VRF 名称
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
BFD session with %01 neighbor %02 [%03] %04 up
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
VRF の BFD セッションと連携しているプロトコルが UP した場合
【パラメータの意味】
%01:BFD 監視プロトコル名(OSPF6)
%02:ネイバーアドレス(IPv6 リンクローカル)
%03:VRF 名称
%04:インターフェース名または ifindex 値
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
libbfdnz command header read error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BFD ライブラリのコマンドヘッダ読み込みエラー
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
libbfdnz command data read error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BFD ライブラリのコマンドデータ読み込みエラー
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bfd_lib_start map NULL error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BFD ライブラリで存在しない bfd-map を追加要求した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bfd_lib_stop map NULL error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BFD ライブラリで存在しない bfd-map を削除要求した
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt init error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の初期化に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt start error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の開始に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt stop error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

uwdt の停止に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

uwdt suspend error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdt の一時停止に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

uwdt resume error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdt の再開に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

uwdt heartbeat error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdt との通信に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

uwdt send heartbeat error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdt の送信に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Send_ENT: SIOCOUTQ error %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

送信バッファのデータ量取得に失敗

【パラメータの意味】

%01:エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.4 cli

【メッセージ】
unlink error:<%01> %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
diff コマンドで、コンフィグを指定した時に作成する作業ファイルを
コマンド終了時に削除失敗した時に表示される。
【パラメータの意味】
%01:削除対象ファイル名
%02:エラーメッセージ
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
file open error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
alias コンフィグファイル作成失敗時に表示される。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
semaphore_ucf_lock error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
　排他エラーが発生しました。
【パラメータの意味】
　%01:エラーメッセージ
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　semaphore_ucf_unlock error %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　排他解除エラーが発生しました。
【パラメータの意味】
　%01:エラーメッセージ
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<semaphore_lock> semop error:%01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　実行コマンドの排他を実施しました。
【パラメータの意味】
　%01:エラーメッセージ
【アクション】
　同時期に実行中のコマンドがないかご確認ください。
　他に実行中のコマンドがなく、コマンド実行時は常に出力される場合は
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<semaphore_unlock> semop error:%01
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

排他解除エラーが発生しました。

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

/tmp/alias.conf file read error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

alias コンフィグファイル読み込み失敗時に表示される。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Alias table over

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

alias の内部テーブル更新時、alias 設定数が内部テーブル数を超えている時表示。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

tac_open error

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
tac_open() 失敗時に表示される
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
File reading error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
/var/clitxt/userinfo.cfg 読み込み失敗時に表示される
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
CS_CMD_SCL is inaccurate
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
hif_txt_search_que_str() の引数チェックでエラー。
第一引数が NUL ポインタである。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Entering configuration mode: %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
configure terminal コマンド実行時に表示される。
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
LOGOUT (%01) ON %02
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ログアウト時に表示される。
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
%02:tty 名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Leaving configuration mode: %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
グローバルモード内で end を実行時に表示される。
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】
infConfigChange event send error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh コマンドで Yes を選択後 eventd への通知失敗時に表示される。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Configuration refreshed by %01.
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh コマンド実行時
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
refresh by %01 was failed
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh 処理失敗時に表示される。
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名

【アクション】
　そのままご使用ください。

【メッセージ】
　refresh by %01 was failed (NETCONF: datastore locked)
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　running/candidate の lock により refresh 処理失敗時に表示される。
【パラメータの意味】
　%01:ユーザ名
【アクション】
　そのままご使用ください。

【メッセージ】
　Load of configuration by %01 was failed
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　load 又は、refresh load コマンドで、指定したファイルが開けない時に表示される。
【パラメータの意味】
　%01:ユーザ名
【アクション】
　ファイル名を見直してください。

【メッセージ】
　Append of configuration by %01 was failed
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　refresh append コマンドで、指定したファイルが開けない時に表示される。
【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

【アクション】

ファイル名を見直してください。

【メッセージ】

Configuration loaded by %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

load コマンドで、指定したファイルの読み込みが完了した時に表示される。

【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

Configuration loaded by %01 refreshing

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

refresh load コマンドで、指定したファイルの読み込みが完了した時に表示される。

【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

Configuration appended by %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

load append コマンドで、指定したファイルの読み込みが完了した時に表示される

【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Configuration appended by %01 refreshing
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh append コマンドで、指定したファイルの読み込みが完了した時に表示される
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Configuration restored by %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
restore コマンド実行時に表示される。
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
restore by %01 was failed
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

restore コマンド実行失敗時に表示される。

【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

Save of configuration by %01 was failed

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

save 又は、restore ファイル指定コマンドで失敗時に表示される。

【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

【アクション】

保存先を見直してください。

【メッセージ】

Configuration saved by %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

save コマンド実行時

【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

infConfigSave event send error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
save 又は、restore ファイル指定コマンド実行時、eventd への通知失敗時に表示される。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Configuration cleared by %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
clear working.cfg コマンド実行時に表示される
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
cannot create fifo: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
scp://でファイル指定してコマンド実行時、FIFO の作成に失敗した。
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cannot open fifo: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

scp://でファイル指定してコマンド実行時、FIFO のオープンに失敗した。

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

reset by %01

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

reset コマンド実行時に表示される

【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

reset other-side by %01

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

reset other-side コマンド実行時に表示される

【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

/tmp/exectimeout.conf file read error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
auto logout 時間読み込みに失敗した時に表示される。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
no exist other-side, set normal reset.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ファームウェアの２面化をしていない状態で
update firmware other-side (side2) を実行時に表示される。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
cannot open sshd_config file.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
コンフィグファイル /etc/ssh/sshd_config のオープン失敗時に表示される。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cannot reflect changes to the sshd_config file.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
copy_sshd_config() に失敗した時に表示される。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fopen failed. filename[%01] error[%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
clear crypto ha status での sleep 時間設定ファイル読出し時のファイルオープンに
【パラメータの意味】
%01:ファイルパス
%02:エラーメッセージ
【アクション】
サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
ftp connection was closed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
load ftp,refresh ftp コマンド実行中に ftp コネクションが切断された。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
回線状態を確認し、ftp 接続が正常に行える状態で、再度コマンドを
実行してください。

この際、cli が異常となっている可能性がありますので、
コマンド実行前に一度ログアウトしてから再度ログイン
を行ってください。

【メッセージ】
ERROR: MPLS function is disabled by license.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
router ldp 設定モード
router rsvp 設定モード
interface tunnel-te 設定モード
rsvp-trunk 設定モード
rsvp-path 設定モード
vfi 設定モード
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: SR function is disabled by license.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
segment-routing srv6 設定モード
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: EVPN function is disabled by license.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
evi 設定モード
router bgp 設定モード内の address-family l2vpn evpn 設定モード
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: BR function is disabled by license.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
ipinip tunnel-profile 設定モード
profile-mode
以下は除く
profile-mode ipip
profile-mode gre
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: VXLAN function is disabled by license.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
vxlan profile 設定モード
vxlan group 設定モード
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: LACP function is disabled by license.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
interface trunk-channel 設定モードの
trunk-group mode {active | passive}
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
%01 (%02) is disconnected by %03 (%04)
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
clear lin 及び disconnect ssh コマンドにより端末が切断された

【パラメータの意味】
%01:コマンド実行により切断されたユーザ名
%02:コマンド実行により切断された tty 名
%03:コマンド実行したユーザ名
%04:コマンド実行した tty 名
【アクション】
そのままご使用ください。

1.5 cmdlogd

【メッセージ】
Cannot create event queue
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
初期化に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt_init error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー uwdt の初期化に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt_start error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー uwdt の初期化に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt_heartbeat error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー uwdt との通信に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
init err
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー コマンドログ保存領域の初期化に失敗

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
cmdlogd port socket open: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー コマンドログ用の通信ソケットの生成失敗
【パラメータの意味】
%01:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
cmdlogd port bind error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー コマンドログ用の通信ソケットの生成失敗
【パラメータの意味】
%01:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
close socket
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー コマンドログ用の通信ソケットの生成失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
cmdlogd port socket open: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー 内部通信用のソケット open に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setsock error %01: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー 内部通信用ソケットの setsockopt()に失敗
【パラメータの意味】
%01:FD 番号
%02:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
cmdlogd port bind error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー 内部通信用ソケットの bind に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
SHM_CLOG shmget error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー ログ保存領域の確保に失敗。
【パラメータの意味】
%01:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
CMD_LOG shmat error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー ログ保存領域の確保に失敗。
【パラメータの意味】

%01:エラー内容

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

SHM_CLOG_BUF shmget error %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部エラー ログ保存領域の確保に失敗。

【パラメータの意味】

%01:エラー内容

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

SHM_CLOG_BUF shmgat error %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部エラー ログ保存領域の確保に失敗。

【パラメータの意味】

%01:エラー内容

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

illegal socket

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部エラー 内部通信用のソケット open に失敗。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

read failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部エラー 内部メッセージ受信処理に失敗。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

cmdlog: %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コマンドログのログ出力有効時、CLI コマンド実行時に記録される。

【パラメータの意味】

%01:コマンドログ情報

【アクション】

そのままご使用ください。

1.6 cmdlogd_ap

【メッセージ】
current config refer error on initialization
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンフィグ読み込み時の開始に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

1.7 configd

【メッセージ】
<%01> setlim error %01.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
プロセスのリソースリミットの制御に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exif_read_conf failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
configd.conf ファイルを確認してください

【メッセージ】
<%01> mcf_at failed.¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライブラリの初期化に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exif_user_start failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライブラリの初期化に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> uwdt_init error: `%02'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

uwdt の初期設定に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> uwdt_start error: `%02'

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdt の初期設定に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_read_refreshtab failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

refresh_fst.tab の読み込みに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> create listenersocket failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信用リスナソケットの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> create external listenersocket failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
外部通信用リスナソケットの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> create dishd listenersocket failed.¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dishd 用リスナソケットの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exif_pre_refresh failed.
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd 初回起動時のリフレッシュ準備処理に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_recovery failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd 再起動時のリカバリ処理に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> internal_socket listen failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部通信用リスニング開始に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> external_socket listen failed.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
外部通信用リスニング開始に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> uwdt error !
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdt のエラーが発生しました
uwdt による監視再開に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> pthread_create failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
スレッドの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> first refresh is timeout.[%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
初回リフレッシュのタイムアウトが発生しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:タイムアウト時間
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】
<%01> configd_started failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dishd への configd 起動通知に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】
<%01> accept failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
接続要求の受け入れに失敗しました
【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> count of connection is over.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

最大接続数をオーバーしました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】

<%01> pthread_create failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

通信スレッドの起動に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> Exiting on signal %02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

強制終了しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:シグナル番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> Fatal error, exiting.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
強制終了しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> listen socket close done.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
リスナソケットを閉じました。
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> all thread joined.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

起動中のスレッドはありません。

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_thread_start failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

起動時リフレッシュスレッド処理に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_refresh_business error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

refresh 実行に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_read_refreshtab failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh.tab の読み込みに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
refresh.tab を確認してください。
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_thread_start failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
libexdb のスレッド初期化処理呼び出しに失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> refresh is timeout. [%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
リフレッシュ処理のタイムアウトが発生しました。
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:タイムアウト時間
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> case default: value[%02].

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

未定義の電文種別を受信しました。

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:電文種別

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> res send NG. cmnd kind[%02]¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

応答電文の送信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:電文種別

【アクション】

refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> any error occurred.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

応答電文の送信に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> bind error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バインドに失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> socket error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
外部通信用リスナソケットの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> setsockopt error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

外部通信用リスナソケットの生成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】

fail to get service entry

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

/etc/services 情報の取得に失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> bind error %02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

外部通信用リスナソケットの生成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> recvfrom failed. errno=%02 errmsg=%03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メッセージ受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

%03:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_nologin_update error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ログイン禁止ファイルの更新に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> select error %02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

select に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> internal accept error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部接続受け入れに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> setrlimit error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
プロセスのリソースリミットの制御に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> socket error. %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

configd 起動の dishd と waitd への通知に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> sendto error. %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd 起動の waitd への通知に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> config revision sync retry over.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグリビジョン番号の同期にリトライオーバーで失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_lock_sem_configd_refresh error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exif_lock_sem_configd_refresh 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exif_unlock_sem_configd_refresh error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exif_unlock_sem_configd_refresh 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> sem_init failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
sem_init 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
"<%01> fopen failed. filename[%02]", __func__, path);
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd.conf のファイルオープンに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:configd.conf のファイルパス

【アクション】

configd.conf のファイルを確認して下さい

【メッセージ】

<%01> fgets error. filename[%02] line[%03] errno[%04]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd.conf の読み込みに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:configd.conf のファイルパス

%03:エラー発生の行番号

%04:エラー番号

【アクション】

configd.conf が破損していないか、または

configd.conf の設定内容を確認して下さい

【メッセージ】

<%01> path of workdir is too long. file[%02]:%03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd.conf に設定されている作業ディレクトリパスが長すぎます

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:configd.conf のファイルパス

%03:configd.conf に設定されている作業ディレクトリパス

【アクション】

作業ディレクトリパスの長さを 255byte 以下のに設定して下さい

【メッセージ】

<%01> fopen failed. filename[%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

refresh_fst.tab または refresh.tab のファイルオープンに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:refresh_fst.tab または refresh.tab のファイルパス

【アクション】

オープンに失敗したファイルを確認して下さい

【メッセージ】

<%01> malloc error %02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの生成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> %% There were those who cannot refresh.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

現在リフレッシュ中です

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

終了しない場合 report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> setflg wait retryover error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ユーザ ID の解放処理のリトライオーバーが発生しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> input parm null ptr error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ストリーム実行スレッド起動時にパラメタがありません

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exdb_cancel_regist failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの生成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exdbif_get_cfgtext failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグデータのテキスト変換に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> input parm null ptr error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ストリーム実行スレッド(scp)起動時にパラメタがありません

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exdbif_get_cfgtext_scp failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグデータのテキスト変換に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

save コマンドや restore コマンド等の実行中に IF が
down する状況で、本エラーログが出力された場合は、
IF を up させた後で再試行して下さい。
現象が改善されない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> recvmsg error %02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

結果出力用ディスクリプタの受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名
%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> control level != SOL_SOCKET.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

補助データのコントロールレベルが SOL_SOCKET でありません

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> control type != SCM_RIGHTS.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

補助データのコントロール種別が SCM_RIGHTS でありません

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> cfg_read_dp failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

current.cfg ストリーム実行結果出力用ディスクリプタの受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> pthread_create failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
current.cfg ストリーム実行用サブスレッド起動に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> pthread_create failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
working.cfg ストリーム実行用サブスレッド起動に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> cfg_read_dp failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
current.cfg ストリーム(scp)プログレスバー出力用ディスクリプタの受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_get_cfgsize failed.
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

current.cfg のデータサイズ取得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> pthread_create failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

current.cfg ストリーム(scp)実行用サブスレッド起動に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> mkcmd_res_nondata failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

応答メッセージの送信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exdbif_get_cfgsize failed.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
working.cfg のデータサイズ取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> pthread_create failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
working.cfg ストリーム(scp)実行用サブスレッド起動に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> input parm null pointer error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
restore 孫スレッドメイン処理に指定パラメタがありません
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exdbif_current2working failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

current.cfg から working.cfg へデータコピーに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> restore failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

current.cfg から working.cfg へデータコピーに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exdbif_working2current failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

working.cfg から current.cfg の生成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_load_backup failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップから current.cfg の復元に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください

【メッセージ】
<%01> exdbif_check_backup failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップファイル(CURRENT.FILE, UPDATE.FILE, DELETE.FILE)がありません
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
バックアップファイルを確認してください
装置はそのままご使用ください

【メッセージ】
<%01> malloc error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> data size check error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

restore 要求電文のデータ長チェックエラー

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> data len error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

モード・コマンド取得関連の要求電文のデータ長チェックエラー

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> data len error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
　要求電文のデータ長チェックエラー
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　<%01> data len error need[%02] len[%03].
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　要求電文のデータ長チェックエラー
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
　%02:解析済データ長
　%03:モード又はコマンドの文字列長
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> cfgd_anlcmd_req_common_mode_cmd error1.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　要求電文の解析エラー
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> cfgd_anlcmd_req_common_mode_cmd error2.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
要求電文の解析エラー
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> excom_queue2binary failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
応答電文データ部の作成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> refresh failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refreshに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
毎回失敗する場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_refresh_business error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

AP 群の起動エラーが発生しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> fork failed(%02:%03).

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

AP の起動に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー内容

%03:実行 AP 名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> error occurred(%02:%03).

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

AP の起動に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー内容

%03:実行 AP 名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> make_gettytab2 error. ret=[%02].

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンソールプロンプトの切替に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:make_gettytab2 の復帰値

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_nologin_update error. ret=[%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ログイン禁止ファイルの更新に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:exif_nologin_update 関数の復帰値

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> bd_spec_sslot error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
　自身のスロット番号獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> mktemp error %02.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　テンポラリファイルの作成に失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
　%02:エラー番号
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> exif_ext_stor_business failed.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　コンフィグ受信要求に失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> socket failed errno=%02.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> cmd pkt connect error=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コネクトに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> mkcmd failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
要求電文作成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> cfg_ext_connect error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コネクトに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> send error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データ送信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> recv error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データ受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> busy retry over.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データ送信のリトライに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> header send error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

電文ヘッダ部の送信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> pthread_create failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

スレッドの生成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> recv error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> recv error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exif_req_direct_edit error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
直接編集に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> send NG.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ送信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
"<%01> mkcmd_res_diff error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
応答電文作成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> res send error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
応答電文送信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> cfg_ext_sendandrecv error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データの送受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> send error=%02!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ送信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> recv error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ受信に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> busy retry over!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ送信のリトライに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> cfg_ext_stor failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
リフレッシュコマンド時の同期処理に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> send error=%02!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

データ送信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> recv error!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データ受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> cfg_ext_anlcmd error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグ受信要求の受信電文の解析に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> cfgd_ext_anlcmd_req_stor failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグ受信要求の応答電文の作成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> pthread_create failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグ受信要求に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置は、そのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> select error %02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグ受信要求のキャンセル又はエラーが発生しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置は、そのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> peer close.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ソケットがクローズされました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

装置は、そのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> subthread error occurred.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

サブスレッドでエラーが発生しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

装置は、そのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> exdb_init_tree failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグを初期化に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置は、そのままご使用ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_set_cfgtext failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
受信したコンフィグの反映に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置は、そのままご使用ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_save_backup failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
current.cfg のバックアップに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> refresh failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
AP 群の起動エラーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置は、そのままご使用ください。

【メッセージ】
<%01> exif_get_mainorstby error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
自系のボード種別の取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> bd_spec_slot error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
モジュール情報の取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> header recv time out [%02]sec.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ヘッダ部の受信がタイムアウトしました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:タイムアウトリミット値
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> header recv errno=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ヘッダ部の受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> data recv time out [%02]sec.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ部の受信がタイムアウトしました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:タイムアウトリミット値
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> read errno=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> excom_write error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ書込みに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
<%01> mmap errno=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリマッピングに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> malloc errno=%02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> fstat errno=%02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ファイル状態の獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> socket error. %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ファイル状態の獲得に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> connect error. %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コネクトに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> write error. %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
送信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> stat errno=%02.
<%01> pthread_create failed.
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ファイル状態の獲得に失敗しました

初期化時リフレッシュ実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー内容

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> select error %02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

接続要求の確認に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> register_refresh_ap failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

refreshAP 起動要求に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> search_refresh_tab error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh.tab 検索処理に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> %02:invalid target
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ターゲット指定が無効です
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ターゲット文字列
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> %02:invalid type
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
タイプ指定が無効です
【パラメータの意味】

%01:使用関数名
%02:タイプ

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> prepare_ap_refresh error.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
refrshAP 起動準備に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exif_refresh_ap_business error.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
refrshAP 起動に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> register cnt over error cnt=%02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】

要求数が MAX を超えました。

【パラメータの意味】

%02:要求数

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> sendto failed. errno=[%02] errmsg=[%03]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データ送信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

%03:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> force-reset error. ret=[%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

force-reset コマンドの実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_refresh_business failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

exif_refresh_business 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> config sync failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグの同期に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> ap sync failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

AP の同期に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exif_req_ext_get_version failed.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exif_req_ext_get_version 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> version info reply send NG.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バージョン情報の応答送信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> anl failed kind=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
解析処理に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:電文種別
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> stor reply send NG.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
stor 要求の応答送信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exif_recovery done.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
リカバリ処理が実行されました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】
<%01> exdbif_get_file failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ファイルデータの取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exif_create_config_diff failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンフィグ差分ファイルの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> recv filedata none.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
受信するファイルデータが存在しません
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> rename errno=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
rename 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> %02 : open errno=%03.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
open 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ファイルパス
%03:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> %02 : not a regular file.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
通常ファイルではありません
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ファイルパス
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> mkcmd_res_retr_file failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
　ファイル送信要求の応答電文作成に失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> fork error
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　fork 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> exec error(%02)
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　exec 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
　%02:エラー番号
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> child process exec error(%02)
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
子プロセスの実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> create_config_business error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンフィグ差分ファイルの生成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> diff exec error. ret=[%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
diff コマンドの実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:diff コマンドの返り値
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Request background-refresh by %01 (%02)

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd が background-refresh 要求を受信しました

【パラメータの意味】

%01:background-refresh 要求したユーザ名

%02:background-refresh 要求した端末名 (tty 名)

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】

background-refresh started : %01 (%02)

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd が予約 refresh を開始しました

【パラメータの意味】

%01:最後に background-refresh 要求したユーザ名

%02:最後に background-refresh 要求した端末名 (tty 名)

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】

background-refresh completed : %01 (%02)

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

configd が予約 refresh を完了しました

【パラメータの意味】

%01:最後に background-refresh 要求したユーザ名

%02:最後に background-refresh 要求した端末名 (tty 名)

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】

<%01> sem_wait errno=%02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

sem_wait 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> sem_post errno=%02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

sem_post 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> excom_send_eventd error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
　excom_send_eventd 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> semaphore id get error.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　セマフォ ID の取得に失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> semaphore unlock retry error.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　セマフォアンロックがリトライオーバーで失敗しました
【パラメータの意味】
　%01:使用関数名
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　<%01> semaphore unlock error.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

セマフォアンロックに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> fts_open errno=%02 error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

fts_open 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can not auto save

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定ロールバック用ファイルの保存に失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

併せて出力されるログの説明を参照してください

【メッセージ】

auto save: %01 has not been mounted error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

マウント未実行エラーが発生しました

【パラメータの意味】

%01:マウントパス

【アクション】

マウントを実行するか、auto config save enable 設定を無効にして下さい

【メッセージ】

auto save: Not enough free space on %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

空き領域が不足しています

【パラメータの意味】

%01:マウントパス

【アクション】

空き領域を増やすか、auto config save enable 設定を無効にして下さい

【メッセージ】

auto save: <%01> mkdir %02 errno=%03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

mkdir 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:ディレクトリパス

%03:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
auto save: <%01> mktemp error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
mktemp 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
auto save: <%01> create_cfgfile_business error %02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
create_cfgfile_business 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_clear_updateflag failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdbif_clear_updateflag 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_working2current failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdbif_working2current 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_working2current_no_delcfg failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdbif_working2current_no_delcfg 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdbif_create_acl_diff error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdbif_create_acl_diff 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ERROR: MPLS function is disabled by license.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ライセンス登録のない機能の設定がある場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

下記設定を見直してください。

router ldp 設定モード

router rsvp 設定モード

interface tunnel-te 設定モード

rsvp-trunk 設定モード

rsvp-path 設定モード

vfi 設定モード

必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】

ERROR: SR function is disabled by license.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ライセンス登録のない機能の設定がある場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

下記設定を見直してください。

segment-routing srv6 設定モード

必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: EVPN function is disabled by license.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
evi 設定モード
router bgp 設定モード内の address-family l2vpn evpn 設定モード
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: BR function is disabled by license.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
ipinip tunnel-profile 設定モード
profile-mode
以下は除く
profile-mode ipip
profile-mode gre
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: VXLAN function is disabled by license.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
vxlan profile 設定モード
vxlan group 設定モード
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
ERROR: LACP function is disabled by license.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンス登録のない機能の設定がある場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
下記設定を見直してください。
interface trunk-channel 設定モードの
trunk-group mode {active | passive}
必要があれば、ライセンスをインストールしてください。

【メッセージ】
exdb_init_tree(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_init_tree(%01):MI add error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ModeIndex の追加に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_add_global(%01):parameter error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
パラメーターエラーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_add_global(%01):get mode(%02) error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

モード情報の取得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

%02:モード ID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_global_MI(%01):get memory error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_global_MI(%01):list copy error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

キーワードリストのコピーに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_global_MI(%01):mi link error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ModeIndex の設定に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_MI(%01):get mode(%02) error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

モード情報の取得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

%02:モード ID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_MI(%01):path search error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

現在位置の検索に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_MI(%01):mk search error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ModeKeyword の検索に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_MI(%01):get memory error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_MI(%01):list copy error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

キーワードリストのコピーに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_add_MI(%01):mi link error

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ModeIndex の設定に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_set_MI(%01) exdb_indexsort():return %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
新規 ModeIndex の挿入位置検索に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
%02:exdb_indexsort 関数の復帰値
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_set_MI(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_set_MI(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_list(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_list(%01):que link error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TREE(ModeKeyword/CommandKeyword)から QUE へのリンクに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_list(%01):link error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TREE(ModeIndex)から QUE へのリンクに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_list(%01):list copy error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データリンクのコピーリスト作成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_list(%d):link(CK) error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
CommandKeyword データの複製に失敗しました
【パラメータの意味】
%d ソースコードの行番号
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_list(%01):link error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データリンクに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_tree(%01):parameter error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
パラメーターエラーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_tree(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_tree(%01):link error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データリンクに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_copy_tree(%01):list copy error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データリンクのコピーリスト作成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_start(%01):no shared memory
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
共有メモリアタッチに失敗しました
【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_start(%01):working.cfg init error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

working.cfg の初期化に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_start(%01):current.cfg init error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

current.cfg の初期化に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_start(%01):update.cfg init error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

update.cfg の初期化に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_start(%01):delete.cfg init error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
delete.cfg の初期化に失敗しました
【パラメータの意味】
%01: ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01(%02):get dbroot error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
DB のルート情報の取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01(%02):cmdset scan error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
exdb_scan_cmdset 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01(%02):push error¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdb_push_cmdset 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01(%02):scan error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdb_scan_cmdset 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01(%02):push error

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdb_push_cmdset 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01(%02):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01(%02):excom_que2string error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
excom_que2string 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ソースコードの行番号
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01(%02):excom_que2string error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
excom_que2string 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_db2binary(%01):tree to binary error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdb_tree2binary 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_db2binary(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_db2binary(%01):que to binary error¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

excom_queue2binary 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_db2binary(%01):set header error¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

exdb_set_header 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_db2binary(%01):write backup error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

exdb_write_backup 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdb_read_backup error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップファイルの読み込みに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> excom_binary2queue error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
excom_binary2queue 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> exdb_copy_cfg_x error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

exdb_copy_cfg_x 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> exdb_binary2tree error!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

exdb_binary2tree 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_binary2tree(%01):get memory error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_binary2tree(%01):push block error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
exdb_push_block 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_binary2tree(%01):MK convert error¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バイナリーブロックから ModeKeyword への変換に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_binary2tree(%01):CK convert error¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バイナリーブロックから CommandKeyword への変換に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_binary2tree(%01):MI convert error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

バイナリーブロックから ModeIndex への変換に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_tree2binary(%01):parameter error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

パラメーターエラーが発生しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_tree2binary(%01):get memory error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_tree2binary(%01):push error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdb_push_block 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_tree2binary(%01):list copy error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
キーワードリストのコピーに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_tree2binary_recursive(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_tree2binary_recursive(%01):list copy error
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

キーワードリストのコピーに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_tree2binary_recursive(%01):link error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データリンクに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_push_block(%01):get memory error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_set_header(%01):get time error

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
現在時刻の取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_write_backup(%01):db type error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
DB タイプの指定に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_write_backup(%01): Backup file(%02) open error(%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップファイルのオープンに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
%02:バックアップファイル名
%03:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_write_backup(%01): Backup file(%02) write error(%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップファイルの書込みに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
%02:バックアップファイル名
%03:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_write_backup(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01 ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_write_backup(%01): Backup file(%02) mmap error(%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップファイルのマッピングに失敗しました
【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号
%02:バックアップファイル名
%03:エラー番号

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_read_backup(%01):db type error

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
DB タイプの取得に失敗しました

【パラメータの意味】
%01 ソースコードの行番号

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_read_backup(%01): Backup file(%02) open error(%03)¥n

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
バックアップファイルのオープンに失敗しました

【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
%02:バックアップファイル名
%03:エラー番号

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_read_backup(%01): Backup file(%02) fstat error(%03)¥n

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップファイルの状態取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
%02:バックアップファイル名
%03:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_read_backup(%01): Backup file(%02) mmap error(%03)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップファイルのマッピングに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
%02:バックアップファイル名
%03:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_read_backup(%01):get memory error¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01 ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_read_backup(%01): Backup file(%02) hash error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バックアップファイルのハッシュエラー発生
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
%02:バックアップファイル名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_cancel_regist: malloc err.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_working2current(%01):que copy error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
QUE のコピーに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_working2current(%01):tree copy error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TREE のコピーに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_working2current(%01):working.cfg clear error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
working.cfg のクリアに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_current2working(%01):get dbroot error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
DB のルート情報の取得に失敗しました
【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_current2working(%01):que copy error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

QUE のコピーに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_current2working(%01):tree copy error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

TREE のコピーに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_current2working(%01):working.cfg clear error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

:working.cfg のクリアに失敗しました

【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_scan_list(%01):scan error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TREE-INDEX(ModeIndex)のスキャンに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_scan_tree(%01):link error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データリンクに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_part_clear_tree_recursive2(%01):delete error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

TREE-INDEX(ModeIndex)のスキャンと削除フラグ有効処理に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_copy_que2diff(%01):que copy error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

QUE のコピーに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_clear_tree_x(%01):tree scan error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ModeIndex 配下のスキャンに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_scan_list(%01):scan error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
TREE のスキャンに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_scan_tree(%01):link error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データリンクに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_scan_tree(%01):link error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データリンクに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_no_mode_spread_recursive(%01):spread error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

working.cfg(モード設定削除)の管理部(下位)へ波及が失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_set_treeid_recursive(%01):tree error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

working.cfg への tree-id 設定が失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_set_treeid_recursive error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

exdb_set_treeid_recursive 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_indexsort(%01) parameter error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
パラメーターエラーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_indexsort(%01) Error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
インデックスソートに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
excom_write error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
テキストデータの出力に失敗しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
exdbs_command_set input buf null error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
パラメーターエラーが発生しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
excom_cache_write error!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
テキストデータの出力に失敗しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_edit_cfg: exdb_get_modeid_and_hash error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
モード情報(モード ID, ハッシュ値)の取得に失敗しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_delete_diffcfg(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_update_diffcfg(%01):get memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_update_diffcfg(%01) exdb_edit_cfg() error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
exdb_edit_cfg 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_update_diffcfg(%01):get memory error¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_update_diffcfg(%01) parameter error [cmd]!¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
パラメーターエラーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exdb_invalid_interface(%01) exdb_get_dbroot()result:%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
DB のルート情報の取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:ソースコードの行番号

%02:指定 DB のルートへのポインタ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_invalid_interface(%01) exmk_root:%02 exmk_root->index_list:%03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

DB のルート情報の取得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

%02:ModeKeyword のルートへのポインタ

%03:ModeKeyword の IndexLis へ t のポインタ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_invalid_interface(%01) exdb_get_modeid_and_hash() error mode:%02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

モード情報(モード ID, ハッシュ値)の取得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

%02:モード行文字列

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_invalid_interface(%01):get memory error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_delete_delcfg(%01) exdb_get_MIlist() error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ModeIndexList の取得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

exdb_delete_delcfg(%01) exdb_get_MIlist() error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ModeIndexList の取得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ソースコードの行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[excom_socket_send] send errno=%01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データの送信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号
【アクション】
refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
excom_write: send errno=%01!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
指定ディスクリプタへの書き込みに失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:エラー番号
【アクション】
refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
[%01] header recv time out [%02]sec error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ヘッダ部の受信がタイムアウトしました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名

%02:タイムアウトリミット値

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[excom_socket_recv] header recv select error=%01!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ヘッダー情報の受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:エラー番号

【アクション】

refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

[excom_socket_recv] header recv errno=%01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ヘッダー情報の受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

malloc err! request size[%01]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:メモリ獲得サイズ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[%01] data recv time out [%02]sec error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データ部の受信がタイムアウトしました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:タイムアウトリミット値

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[excom_socket_recv] data recv select error!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データの受信に失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[excom_socket_recv] data recv total_size=%01 errno=%02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データの受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:受信トータルサイズ

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[excom_get_queue_size] excom_kb_queue_manage failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

キーワード情報の重複チェックに失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

excom_queue2binary add KB queue failed!!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

キーワード情報の重複チェックに失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> malloc error!!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

memory limit size=%01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの最大獲得データサイズをオーバーしました

【パラメータの意味】

%01:メモリ獲得サイズ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lack of memory (buffer pool) size=%01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリが不足しています

【パラメータの意味】

%01:メモリ獲得サイズ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Buffer pool empty.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バッファプールが空になりました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
sem(ex) lock error. <%01>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
共有メモリのセマフォロックに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
sem(ex) unlock error. <%01>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
共有メモリのセマフォアンロックに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
thread lock(rw) error. <%01>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
CURRENT.CFG のスレッドロック(占有)に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
thread lock(rd) error. <%01>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
CURRENT.CFG のスレッドロック(共有)に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
thread unlock error. <%01>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
:CURRENT.CFG のスレッドアンロックに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> semget error:%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
セマフォ作成に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> semctl error:%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
セマフォ初期化に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> parameter error [mode].
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
指定キーワード文字列の組み立てに失敗しました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> parameter error [cmd].
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
指定キーワード文字列の組み立てに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> connect failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
configd への接続に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> sendandrecv failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

データの送受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> get memory error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの獲得に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> range error mode_count=%02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

モード組合せカウントのチェックエラーが発生しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名
%02:モード組合せカウント

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> send failed.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ送信に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> descriptor(text) passing failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
結果出力用ディスクリプタパッシングに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> descriptor(progressbar) passing failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
プログレスバー出力用ディスクリプタパッシングに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> recv failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データ受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

refresh 実行に本エラーログが出力された場合は、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
上記以外のタイミングで、本エラーログが出力された場合は、
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

<%01> size recv failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

データサイズ受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> mktemp failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

テンポラリファイル生成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> bind retry over.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バインドリトライオーバーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> bind failed errno=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バインドに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> connect failed errno=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コネクトに失敗しました

【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:エラー番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> malloc error. size[%02].
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:サイズ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> datasize error size=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ長チェックエラーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:サイズ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> item count=%02 error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
アイテム数チェックエラーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02:アイテム数
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> binary2queue failed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バイナリから QUEUE への変換に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%01> data kind error kind=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ種別チェックエラーが発生しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
%02 データ種別
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> target null error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ターゲットの null エラーが発生しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

<%01> sigaction failed errno=%02.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

sigaction 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

%02:エラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

startup-config is broken.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置起動時、起動構成定義ファイルが壊れてる場合に表示される

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

起動構成定義ファイルを確認してください。

1.8 console_ap

【メッセージ】
current config refer error on initialization
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンフィグ読み込み時の開始に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
The console speed has been changed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンソール速度設定が変更された場合に表示される
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
設定を有効にするには装置を再起動してください。

1.9 cron

【メッセージ】
(root) CMD (/etc/delete_tmp)
【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_CRON(9)

【意味】

一時作業フォルダ(/tmp)下に不要なファイルが残っていないかチェックするプログラムを実行した
同プログラムは定期的（毎週日曜　AM 3:00）に実行する

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

1.10 cxd

【メッセージ】

Systemcall %01 failed(%02) [%03]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

システムコールの実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%01:システムコール名
%02:エラーコード
%03:ログの識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Init error(%01) [%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

デバイス初期化でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】
%01:エラーコード
%02:ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Init API set error(%01) [%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
デバイス初期化 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
%02:ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Init API set error(%01,%02) [%03]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
デバイス初期化 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%01:エラーコード 1
%02:エラーコード 2
%03:ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Init API set error(%01,%02,%03) [%04]
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

デバイス初期化 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%01:エラーコード 1

%02:エラーコード 2

%03:エラーコード 3

%04:ログの識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Assertion error(%01) [%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知した場合

【パラメータの意味】

%01:不正な状態になった変数の値

%02:ログの識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Assertion error(%01,%02) [%03]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知した場合

【パラメータの意味】

%01:不正な状態になった変数 1 の値

%02:不正な状態になった変数 2 の値

%03:ログの識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Assertion error(%01,%02,%03) [%04]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知した場合

【パラメータの意味】

%01:不正な状態になった変数 1 の値

%02:不正な状態になった変数 2 の値

%03:不正な状態になった変数 3 の値

%04:ログの識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

TM link %01:%02 parameter set error(%03) [%04]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部リンクのパラメータ設定 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%01:内部リンクの ID1

%02:内部リンクの ID2

%03:エラーコード

%04:ログの識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

TM link %01 counter get error(%02)

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部リンクのカウンター取得 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%01:内部リンクの ID
%02:エラーコード
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
TM link %01 status get error(%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部リンクのステータス取得 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%01:内部リンクの ID
%02:エラーコード
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
TM link status OK(%01)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部リンクのステータスが全て正常だった場合
【パラメータの意味】
%01:正常確認までのリトライ回数
【アクション】
そのままお使いください。

【メッセージ】
TM link status NG(%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部リンクのステータスが規定時間内に正常にならなかった場合
【パラメータの意味】
%01:内部リンクの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
pthread_create failed(%01) [%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
スレッドの作成に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
%02:ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
pthread_mutex failed(%01) [%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
スレッドの排他処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01:エラーコード

%02:ログの識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Cmd %01 failed(%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部コマンドの処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01:内部コマンドの識別子

%02:エラーコード

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Send msg failed(%01,%02,%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部メッセージの送信に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01:エラーコード1

%02:エラーコード2

%03:エラーコード3

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Too many logs(%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

初期化時のログが全て出力できなかった場合

【パラメータの意味】

%01:出力できなかったログの数

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

TM policer %01 counter get error(%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ポリサーのカウンター取得 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%01:ポリサーの ID

%02:エラーコード

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

[SEND_ERR] --- %1 --- : cannot send mesg to lpd. (%2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メッセージを送信できませんでした

【パラメータの意味】

%1 = 関数名

%2 = エラー番号

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

[INIT_ERR] --- %1 --- : socket failed. (%2)

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
初期化に失敗した
【パラメータの意味】
%1 = 関数名
%2 = エラー番号
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

1.11 dhcpc2_ap

【メッセージ】
current config refer error on initialization
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンフィグ読み込み時の開始に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: socket error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】

%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: fcntl error: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
ソケットの fcntl に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: bind error: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
ソケットの bind に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: recvfrom error: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcpcd からのメッセージの受信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: sendto error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcpcd へのメッセージの送信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.12 dhcpc_ap

【メッセージ】
current config refer error on initialization
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
コンフィグ読み込み時の開始に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: socket error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: fcntl error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの fcntl に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: bind error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ソケットの bind に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: recvfrom error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dhcpcd からのメッセージの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: sendto error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dhcpcd へのメッセージの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%CONFIG: "ip address" configuration was overlapped, %01 %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
ip dhcp service client と ip address が同時に設定してあるため、
ip dhcp service client 設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号

【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: "ip vrf forwarding" configuration was overlapped, %01 %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client と ip vrf forwarding が
同時に設定してあるため、ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client 設定を
無効にした時に表示

【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号

【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: %01 %02 was not used.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client を設定している port-channel を指定している interface GigaEthernet モードが無いため、ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client 設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

%02:インタフェース番号

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: %01 %02 was used by more than one bridge-group.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client を設定している port-channel が複数の bridge-group に跨っているため、ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client 設定を

無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

%02:インタフェース番号

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid ip dhcp client-profile, %01 %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
ip dhcp client-profile で指定したプロファイルの設定が無いため、
ip dhcp client-profile 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%01 open error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ファイルのオープンに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ファイル名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%CONFIG: Tunnel mode is not pppoe, %01 %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
トンネルインタフェースの tunnel mode に pppoe 以外を指定しているため、
ipv6 dhcp service client 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid ipv6 dhcp client-profile, %01 %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipv6 dhcp client-profile で指定したプロファイル設定が無いため、
ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号

【アクション】

設定を見直して下さい。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid ipv6 dhcp service client, %01 %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipv6 dhcp service client を指定したインタフェースに RA 設定または ipv6 enable が無いため
ipv6 dhcp service client 設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号

【アクション】

設定を見直して下さい。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid ipv6 dhcp client-profile %01 (duplicate iaid)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipv6 dhcp client-profile の iaid 設定が重複しているため、
ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】
%01:プロファイル名
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid ipv6 dhcp client-profile %01 (no options)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipv6 dhcp client-profile に option-request 設定が無いため、
ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:プロファイル名
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: profile which set IAID can't overlap and establish it. %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
iaid を指定した ipv6 dhcp client-profile を複数インタフェースに指定しているため、
ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:プロファイル名
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid iaid %01. (default iaid set)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipv6 dhcp client-profile の iaid 設定が に指定されているため
iaid 未指定時に使用する mib_ifindex が ipv6 dhcp client-profile の iaid 設定に
指定されたため、ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:mib_ifindex

【アクション】

設定を見直して下さい。

【メッセージ】

don't create %01 config

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

インタフェーステーブルの作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

don't create ip dhcp %01 config

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部テーブルの作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:テーブル名

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

1.13 dhcpc_cmd

【メッセージ】
cmd socket error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cmd connect error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcpcd との接続に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
暫く経ってから再度コマンドを実行してください。
改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cmd send error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcpcd へのメッセージの送信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

cmd recv error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dhcpcd からのメッセージの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

malloc error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 : Time-over

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dhcpcd からの応答メッセージが 10 秒以内に無かった時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

【アクション】

暫く経ってから再度コマンドを実行してください。

改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.14 dhcpcd

【メッセージ】

packet_to_lease: no memory to record lease.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhcpoffer: no memory for server name.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhcpoffer: no memory for filename.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
clear ip dhcp lease on %01 (%02)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
リース情報をリリースした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:リリース原因
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
nsm registration failed %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
router オプションのアドレスが使用できない時に表示
【パラメータの意味】
%01:router オプションのアドレス
【アクション】
そのままご使用ください

【メッセージ】

get ip dhcp lease on %01 : %02

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

リース情報を取得した時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

%02:取得した IP アドレス

【アクション】

そのままご使用ください

【メッセージ】

Memory alloc error (%01): %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:データ種別

%02:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

'ip dhcp service client' exceeds max configurations (20) - ignored in interface %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

最大有効数(20)を越えたため、設定が無効となった時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

【アクション】
　設定を見直してください。

【メッセージ】
　%01:%02: FD_TBL malloc error (%03)
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
　%01:処理関数名
　%02:処理命令行
　%03:失敗原因
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　DHCP socket(): error!!
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　DHCP サーバ通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　dhcpc_unix_sock_init(): error!!
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】

dhcpc_ap との通信用ソケットの作成失敗時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhcpc_cmd_bind(): error!!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

dhcpc_cmd との通信用ソケットの作成失敗時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhcpc_opt_bind(): error!!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

他モジュールとの通信用ソケットの作成失敗時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhcpc_ifd_connect(): error!!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
ifd への接続失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
nsm_client_init(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
nsm との通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
nsmclient_connect(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
nsm への接続失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_init(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdt の初期化に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt_start(): error!!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdt の初期化に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: malloc error (%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: malloc error: %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
get_uptime () error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uptime 時間の取得に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
socket error [%01]: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケット作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ファイルパス名
%02:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to set close-on-exec flag
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの fcntl() に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
"bind error [%01]: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの bind() に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ファイルパス名
%02:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
listen error [%01]: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの listen() に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ファイルパス名

%02:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

accept error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの accept() に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

send error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

recv error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: socket error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: fcntl error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの fcntl()に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: bind error: %03
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットのbind()に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: recvfrom error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: sendto error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ifd socket error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ifd と通信用ソケットの作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ifd connect error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ifd と接続に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ifd send error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ifd へのメッセージ送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
ifd recv error: %01"
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ifd からのメッセージ受信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
do_packet: no memory for incoming packet!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't create dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの作成失敗時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set SO_REUSEADDR option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの SO_REUSEADDR オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set SO_BROADCAST option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの SO_BROADCAST オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhcp socket bind error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットのバインド失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set IP_PKTINFO option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットの IP_PKTINFO オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set IP_MULTICAST_TTL option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットの IP_MULTICAST_TTL オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set IP_LIMITED_BROADCAST option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_LIMITED_BROADCAST オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set IP_ANYADDRAVAIL option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_ANYADDRAVAIL オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

send_packet: unable to allocate cmsg header

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

receive_packet: unable to allocate cmsg header

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dhc6_dup_lease: Out of memory for v6 lease structure.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dhc6_leaseify: Out of memory for v6 lease structure.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dhc6_parse_ia_pd: Out of memory allocating IA_PD structure.
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhc6_parse_ia_pd: Invalid IA_PD option cache.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

受信した IA_PD オプションのデータ長が正しくない場合、

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

DHCPv6 サーバ側の設定を見直してください。

問題がなければ、そのままご使用ください。

他のメモリ確保失敗のログと同時に表示された場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhc6_parse_prefixes: Out of memory allocating prefix structure.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhc6_parse_prefixes: Invalid IAPREFIX option cache.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

受信した IAPREFIX オプションのデータ長が正しくない場合、

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

DHCPv6 サーバ側の設定を見直してください。

問題がなければ、そのままご使用ください。

他のメモリ確保失敗のログと同時に表示された場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

check_timing6: Unable to allocate memory for %01.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:メッセージ名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

do_init6: Unable to allocate memory for IA_PD.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
　メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　do_init6: Unable to allocate memory for IAPREFIX.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　info_request_handler: Out of memory for v6 lease structure.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　dhc6_add_ia_pd: Unable to allocate memory for IA_PD.
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhc6_add_ia_pd: Unable to allocate memory for IAPREFIX.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhc6_merge_lease: Out of memory merging lease - Unable to continue without losing state!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

get ipv6 dhcp binding on %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
バインド情報を取得した時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
do_refresh6: Unable to allocate memory for packet.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
clear ipv6 dhcp binding on %01 (%02)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
バインド情報をリリースした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:リリース原因
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
IPv6 address generation failed %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
払い出されたprefixからIPv6アドレスの生成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
Duplicate IPv6 address %01, address=%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
払い出されたprefixから生成したIPv6アドレスが重複した時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:生成したIPv6アドレス
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
'ipv6 dhcp service client' exceeds max configurations (20) - ignored in interface %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
最大有効数(20)を越えたため、設定が無効となった時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
rtadvclient_connect(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
rtadvd への接続失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
do_packet6: no memory for incoming packet.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set IPV6_RECVPKTINFO option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCPv6 サーバ通信用ソケットの IPV6_RECVPKTINFO オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
no link-local IPv6 address for %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCPv6 サーバ通信用インタフェースのリンクローカルアドレス取得失敗時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
if_register_socket for %01 fails
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCPv6 サーバ通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
socket open error:%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NETLINK ソケット作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

socket bind error(%01:%02):%03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

NETLINK ソケットの bind に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:ソケット番号

%02:エラー番号

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

send error:%01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

NETLINK ソケットの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

recvmsg error %01:%02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

NETLINK ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:内部情報
%02:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
recvmsg failed : EOF
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NETLINK ソケットの受信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
error msg recv
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NETLINK ソケットにて IPv6 リンクローカルアドレス取得に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send_packet6: unable to allocate cmsg header
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
receive_packet6: unable to allocate cmsg header
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
RECV: %01 from %02 XID %03 %04 on %05 %06
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCPv6 クライアント機能により受信処理を行った場合に出力
logging send-recv enable コマンドを設定している場合にのみ表示
オプションは 1 個ずつ分けて出力します。
【パラメータの意味】
%01 = メッセージタイプ
Advertise/Reply/Reconfigure メッセージ
%02 = 送信元サーバアドレス
%03 = transaction ID
%04 = 受信情報
IA_PD <プレフィックス> : IA_PD のプレフィックス情報
IAPREFIX lifetime <preferred>/<valid> : プレフィックスの preferred/valid lifetime 情報

DNS_SERVERS〈アドレス〉 : DNS server アドレス情報、複数ある場合はカンマで続く
DOMAIN_LIST〈ドメイン〉: DNS server ドメイン情報、複数ある場合はカンマで続く
SNTP_SERVERS〈アドレス〉: SNTP server アドレス情報、複数ある場合はカンマで続く
STATUS_CODE〈ステータスコード〉MSG〈メッセージ(最大 100 文字まで)〉: ステータスコード、ステータスメッセージ情報、ステータスコードが 0 以外の時のみ出力する。
RECONF_MSG〈メッセージタイプ〉: Reconfigure Message Option のメッセージタイプ
%05 = 受信インタフェース名
%06 = 受信インタフェース番号

【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
SEND: %01 retry %02 XID %03 %04 on %05 %06
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCPv6 クライアント機能により送信処理を行った場合に出力
logging send-recv enable コマンドを設定している場合にのみ表示
【パラメータの意味】
%01 = メッセージタイプ
Solicit/Request/Renew/Rebind/Information request/Release メッセージ
%02 = リトライ回数、初回は 0
%03 = transaction ID
%04 = 送信情報
IA_PD〈プレフィックス〉: IA_PD のプレフィックス情報
%05 = 送信インタフェース名
%06 = 送信インタフェース番号
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

1.15 dhcpr_ap

【メッセージ】
current config refer error on initialization

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンフィグ読み込み時の開始に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: socket error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: fcntl error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの fcntl に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: bind error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの bind に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: recvfrom error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcprd からのメッセージの受信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: sendto error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dhcprd へのメッセージの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 open error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ファイルのオープンに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:ファイル名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%CONFIG: %01 %02 was not used.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ip dhcp service relay を設定している port-channel を指定している

interface GigaEthernet モードが無いため、ip dhcp service relay 設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

%02:インタフェース番号

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】
don't create %01 config
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
インタフェーステーブルの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
don't create ip dhcp %01 config
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部テーブルの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:テーブル名
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

1.16 dhcpr_cmd

【メッセージ】
cmd socket error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cmd connect error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcprd との接続に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
暫く経ってから再度コマンドを実行してください。
改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cmd send error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcprd へのメッセージの送信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cmd recv error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
dhcprd からのメッセージの受信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
malloc error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01 : Time-over
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcprd からの応答メッセージが 10 秒以内に無かった時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
【アクション】
暫く経ってから再度コマンドを実行してください。
改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.17 dhcprd

【メッセージ】
Memory alloc error (%01): %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:データ種別
%02:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
'ip dhcp service relay' exceeds max configurations (20) - ignored in interface %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
最大有効数(20)を越えたため、設定が無効となった時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%01:%02: FD_TBL malloc error (%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】

%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
DHCP socket(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP 通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dhcpr_unix_sock_init(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
dhcpr_ap との通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dhcpr_cmd_bind(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
dhcpr_cmd との通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_init(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の初期化に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_start(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の初期化に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
socket error [%01]: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケット作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:ファイルパス名

%02:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to set close-on-exec flag

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの fcntl() に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

"bind error [%01]: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの bind() に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:ファイルパス名

%02:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

listen error [%01]: %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの listen() に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ファイルパス名
%02:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
accept error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの accept() に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの送信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
recv error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの受信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: socket error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: fcntl error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの fcntl()に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名

%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: bind error: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
内部通信用ソケットの bind()に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: recvfrom error: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
内部通信用ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: sendto error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't create dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの作成失敗時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set SO_REUSEADDR option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの SO_REUSEADDR オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set SO_BROADCAST option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットの SO_BROADCAST オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set UDP_DUPSOCK option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットの UDP_DUPSOCK オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dhcp socket bind error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットのバインド失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set IP_PKTINFO option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットの IP_PKTINFO オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set IP_MULTICAST_TTL option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットの IP_MULTICAST_TTL オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set IP_LIMITED_BROADCAST option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットの IP_LIMITED_BROADCAST オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send_packet: unable to allocate cmsg header
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
receive_packet: unable to allocate cmsg header
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
socket open error:%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NETLINK ソケット作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
socket bind error(%01:%02):%03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NETLINK ソケットの bind に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ソケット番号
%02:エラー番号
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send error:%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NETLINK ソケットの送信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
recvmsg error %01:%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

NETLINK ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:内部情報

%02:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

recvmsg failed : EOF

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

NETLINK ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

error msg recv

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

NETLINK ソケットにて IPv6 リンクローカルアドレス取得に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhcp relay was enabled : %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

dhcp relay コマンドにより dhcp relay 機能を有効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

dhcp relay was disabled : %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

dhcp relay コマンドにより dhcp relay 機能を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

Can't set IP_RVRF option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_RVRF オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.18 dhcps_ap

【メッセージ】
current config refer error on initialization
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンフィグ読み込み時の開始に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: socket error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: fcntl error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの fcntl に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: bind error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの bind に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: recvfrom error: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcpsd からのメッセージの受信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: sendto error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dhcpsd へのメッセージの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%CONFIG: "ip vrf forwarding" configuration was overlapped, %01 %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ip dhcp service server または ipv6 dhcp service server と ip vrf forwarding が
同時に設定してあるため、ip dhcp service server または ipv6 dhcp service server 設定を
無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

%02:インタフェース番号

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: %01 %02 was not used.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ip dhcp service server または ipv6 dhcp service server または ipv6 dhcp service relay を設

定している port-channel を
指定している interface GigaEthernet モードが無いため、ip dhcp service server または
ipv6 dhcp service server または ipv6 dhcp service relay 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: %01 %02 was used by more than one bridge-group.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ip dhcp service server または ipv6 dhcp service server を設定している port-channel が
複数の bridge-group に跨っているため、ip dhcp service server または ipv6 dhcp service server
設定を
無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid ip dhcp server-profile, %01 %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ip dhcp server-profile で指定したプロファイルの設定が無いため、
ip dhcp server-profile 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号

【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%01 open error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ファイルのオープンに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ファイル名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid ipv6 dhcp server-profile, %01 %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipv6 dhcp server-profile で指定したプロファイル設定が無い、または、プロファイル設定が不正なため、
ipv6 dhcp server-profile 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
%02:インタフェース番号
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: multiple connected client - ignored in ipv6 dhcp server-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
１つの ipv6 dhcp server-profile 内にクライアント連携するインタフェースを
２つ以上指定したため、ipv6 dhcp service server 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:プロファイル名
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: Address preferred lifetime is larger than valid lifetime, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipv6 dhcp server-profile の address 設定で preferred lifetime > valid lifetime
となっているため、ipv6 dhcp server-profile 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:プロファイル名
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid Address , %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ip dhcp server-profile または ipv6 dhcp server-profile の address 設定で
start address に end address より大きい値を指定したため、ip dhcp server-profile または
ipv6 dhcp server-profile 設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:プロファイル名
【アクション】
設定を見直して下さい。

【メッセージ】

%CONFIG: Prefix preferred lifetime is larger than valid lifetime, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipv6 dhcp server-profile の prefix 設定で preferred lifetime > valid lifetime
となっているため、ipv6 dhcp server-profile 設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:プロファイル名

【アクション】

設定を見直して下さい。

【メッセージ】

%CONFIG: 'address' exceeds max configurations (10) - ignored in ipv6 dhcp server-profile %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipv6 dhcp server-profile の address 設定が 10 行以上指定されているため、
11 行目以降の設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:プロファイル名

【アクション】

設定を見直して下さい。

【メッセージ】

%CONFIG: 'prefix' exceeds max configurations (4) - ignored in ipv6 dhcp server-profile %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipv6 dhcp server-profile の prefix 設定が４行以上指定されているため、
５行目以降の設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:プロファイル名

【アクション】
　設定を見直して下さい。

【メッセージ】
　%CONFIG: 'option' exceeds max configurations (4) - ignored in ipv6 dhcp server-profile %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　ipv6 dhcp server-profile の option 設定が４行以上指定されているため、
　５行目以降の設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
　%01:プロファイル名
【アクション】
　設定を見直して下さい。

【メッセージ】
　%CONFIG: 'address' exceeds max configurations (10) - ignored in ip dhcp server-profile %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　ip dhcp server-profile の address 設定が 10 行以上指定されているため、
　11 行目以降の設定を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
　%01:プロファイル名
【アクション】
　設定を見直して下さい。

【メッセージ】
　%CONFIG: 'option' exceeds max configurations (4) - ignored in ip dhcp server-profile %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】

ip dhcp server-profile の option 設定が４行以上指定されているため、
５行目以降の設定を無効にした時に表示

【パラメータの意味】

%01:プロファイル名

【アクション】

設定を見直して下さい。

【メッセージ】

don't create %01 config

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

インタフェーステーブルの作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

don't create %01 dhcp %02 config

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部テーブルの作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:アドレスファミリー

%02:テーブル名

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

1.19 dhcps_cmd

【メッセージ】
cmd socket error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cmd connect error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcpsd との接続に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
暫く経ってから再度コマンドを実行してください。
改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cmd send error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
dhcpsd へのメッセージの送信に失敗した時に表示
【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

cmd recv error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dhcpsd からのメッセージの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

malloc error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 : Time-over

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dhcpsd からの応答メッセージが 10 秒以内に無かった時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

【アクション】

暫く経ってから再度コマンドを実行してください。

改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.20 dhcpsd

【メッセージ】

Memory alloc error (%01): %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:データ種別

%02:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: FD_TBL malloc error (%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
DHCPv6 socket(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCPv6 クライアント通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Client option socket(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
クライアント連携するクライアント通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_init(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の初期化に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_start(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の初期化に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dhcps_unix_sock_init(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
dhcps_ap との通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dhcps_cmd_bind(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
dhcps_cmd_bind との通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
nsm_client_init(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
nsm との通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
nsmclient_connect(): error!!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
nsm への接続失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
'ipv6 dhcp service server' exceeds max configurations (20) - ignored in interface %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
最大有効数(20)を越えたため、設定が無効となった時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名

【アクション】
　設定を見直してください。

【メッセージ】
　%01:%02: malloc error (%03)
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
　%01:処理関数名
　%02:処理命令行
　%03:失敗原因
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　client socket error: %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　連携するクライアントとの通信用ソケットの作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
　%01:失敗原因
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　Distribution address generation failed %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】

クライアント連携時、配布アドレスの生成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

【アクション】

ipv6 dhcp server-profile の address 設定を見直して下さい。

【メッセージ】

Distribution prefix generation failed %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

クライアント連携時、配布プレフィックスの生成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

【アクション】

ipv6 dhcp server-profile の prefix 設定を見直して下さい。

【メッセージ】

get_uptime () error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uptime 時間の取得に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

socket error [%01]: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
内部通信用ソケット作成に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ファイルパス名
%02:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to set close-on-exec flag
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの fcntl() に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
"bind error [%01]: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの bind() に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:ファイルパス名
%02:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
listen error [%01]: %02
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの listen() に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:ファイルパス名

%02:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

accept error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの accept() に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

recv error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: socket error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: fcntl error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの fcntl()に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名

%02:処理命令行

%03:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: bind error: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの bind()に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: recvfrom error: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
内部通信用ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: sendto error: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
内部通信用ソケットの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
do_packet6: no memory for incoming packet.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't create dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP クライアント通信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set SO_REUSEADDR option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP クライアント通信用ソケットの SO_REUSEADDR オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set SO_BROADCAST option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP クライアント通信用ソケットの SO_BROADCAST オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set UDP_DUPSOCK option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP クライアント通信用ソケットの UDP_DUPSOCK オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

dhcp socket bind error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP クライアント通信用ソケットのバインド失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set IP_PKTINFO option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP クライアント通信用ソケットの IP_PKTINFO オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set IP_MULTICAST_TTL option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_MULTICAST_TTL オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set IP_LIMITED_BROADCAST option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_LIMITED_BROADCAST オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't set IP_ANYADDRAVAIL option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCP サーバ通信用ソケットの IP_ANYADDRAVAIL オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:失敗原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send_packet: unable to allocate cmsg header
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
receive_packet: unable to allocate cmsg header
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set IPV6_RECVPKTINFO option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCPv6 クライアント通信用ソケットの IPV6_RECVPKTINFO オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

socket open error:%01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

NETLINK ソケット作成に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

socket bind error(%01:%02):%03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

NETLINK ソケットの bind に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:ソケット番号

%02:エラー番号
%03:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send error:%01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
NETLINK ソケットの送信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
recvmsg error %01:%02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
NETLINK ソケットの受信に失敗した時に表示

【パラメータの意味】
%01:内部情報
%02:失敗原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
error msg recv

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
NETLINK ソケットにてアドレス取得に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
error msg recv
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NETLINK ソケットにてアドレス取得に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send_packet6: unable to allocate cmsg header
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
receive_packet6: unable to allocate cmsg header
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗した時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

DHCP socket(): error!!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCPv4 クライアント通信用ソケットの作成失敗時に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

'ip dhcp service server' exceeds max configurations (20) - ignored in interface %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCPv4 サーバの最大有効数(20)を越えたため、設定が無効となった時に表示

【パラメータの意味】

%01:インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%01:%02 IPv4 pool malloc error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
%01:処理関数名
%02:処理命令行
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
ICMP protocol used before initialization.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ARP 送信用ソケットの作成失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
do_packet: no memory for incoming packet.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Duplicate host-database: mac:%01 IPv4:%02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ip dhcp host-database モードの host 設定で同一 MAC アドレスが指定されていたため、設定が無効となった時に表示
【パラメータの意味】
%01:MAC アドレス
%02:IPv4 アドレス
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
Duplicate host-database: duid:%01 IPv6:%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipv6 dhcp host-database モードの host 設定で同一 DUID が指定されていたため、設定が無効となった時に表示
【パラメータの意味】
%01:DUID
%02:IPv6 アドレス
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
'ipv6 dhcp service relay' exceeds max configurations (50) - ignored in interface %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
最大有効数(50)を越えたため、設定が無効となった時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名

【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
dhcp server was enabled : %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
dhcp server コマンドにより dhcp server 機能を有効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
dhcp server was disabled : %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
dhcp server コマンドにより dhcp server 機能を無効にした時に表示
【パラメータの意味】
%01:インタフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Can't set IPV6_RVRF option on dhcp socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
DHCPv6 クライアント通信用ソケットの IPV6_RVRF オプションセットに失敗した時に表示
【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

暫く待ち改善しない場合は report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Can't set SO_RCVBUF option on dhcp socket: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCPv4 サーバ通信用ソケットの SO_RCVBUF オプションセットに失敗した時に表示

【パラメータの意味】

%01:失敗原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

'%01' is outside the subnet - ignored in ip dhcp server-profile %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

プロファイルに設定された address がサブネット外のため、設定が無効になった時に表示

【パラメータの意味】

%01:address 設定

%02:プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

'%01' is outside the subnet - ignored in ipv6 dhcp server-profile %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

プロファイルに設定された address がサブネット外のため、設定が無効になった時に表示

【パラメータの意味】

%01:address 設定

%02:プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

leased IP address %01 mac address %02 %03

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP で IP アドレスを割り当てた場合、

logging lease enable コマンドを設定している場合にのみ表示

【パラメータの意味】

%01=割り当てた IP アドレス

%02=割り当てた端末の MAC アドレス

%03=RENEW : RENEW を受けて応答した場合に表示

【アクション】

そのままご使用下さい。

【メッセージ】

released IP address %01 mac address %02

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCP で IP アドレスを割り当てた場合

DHCP RELEASE を受信してアドレスを返却した場合、

logging lease enable コマンドを設定している場合にのみ表示

【パラメータの意味】

%01=返却した IP アドレス

%02=DHCP RELEASE を送信した端末の MAC アドレス

【アクション】

そのままご使用下さい。

【メッセージ】

information could not be obtained from Upper-level DHCP server, discarded received packet

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

クライアント機器から情報要求を受信したとき、
クライアント連携機能を設定しているが、
上位の DHCP サーバからオプション情報が受信できていない場合に表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

上位の DHCP サーバが起動しているか確認してください。
そのままご使用下さい。

【メッセージ】

RECV: %01 from %02 XID %03 %04 on %05 %06

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCPv6 サーバ機能により受信処理を行った場合に出力
logging send-recv enable コマンドを設定している場合にのみ表示

【パラメータの意味】

%01 = メッセージタイプ
Solicit/Request/Renew/Rebind/Information request/Release メッセージ
%02 = 送信元クライアントアドレス
%03 = transaction ID
%04 = 受信情報
IA_NA 〈アドレス〉: IA_NA のアドレス情報
IA_PD 〈プレフィックス〉: IA_PD のプレフィックス情報
%05 = 受信インタフェース名
%06 = 受信インタフェース番号

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

SEND: %01 to %02 XID %03 %04 on %05 %06

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DHCPv6 サーバ機能により送信処理を行った場合に出力

logging send-recv enable コマンドを設定している場合にのみ表示

オプションは 1 個ずつ分けて出力します。

【パラメータの意味】

%01 = メッセージタイプ

Advertise/Reply メッセージ

%02 = 送信先クライアントアドレス

%03 = transaction ID

%04 = 送信情報

IA_NA〈アドレス〉: IA_NA のアドレス情報

IA_PD〈プレフィックス〉: IA_PD のプレフィックス情報

DNS_SERVERS〈アドレス〉 : DNS server アドレス情報、複数ある場合はカンマで続く

DOMAIN_LIST〈ドメイン〉: DNS server ドメイン情報、複数ある場合はカンマで続く

SNTP_SERVERS〈アドレス〉: SNTP server アドレス情報、複数ある場合はカンマで続く

%05 = 送信インタフェース名

%06 = 送信インタフェース番号

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

1.21 dishd

【メッセージ】

fail shared-memory initiate

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

共有メモリの初期化に失敗

【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　fail TIPC socket open
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　内部通信用 TIPC ソケットのオープンに失敗
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　fail UNIX domain socket open
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　内部通信用ソケットのオープンに失敗
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　uwdt_init failed: %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】

uwdtd への登録に失敗

【パラメータの意味】

%01:uwdt のエラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt_start failed: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdtd からの監視開始に失敗

【パラメータの意味】

%01:uwdt のエラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

select error %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

select でエラーが発生した

【パラメータの意味】

%01:エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

receive_tipc_message error : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
内部通信 TIPC メッセージ受信でエラーが発生した
【パラメータの意味】
%01:エラー番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
new connection accept failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ソケットの接続要求の受け入れに失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
connection refused - all sockets are busy
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ソケットの接続要求が最大数に達したため、新しい接続を拒否
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail get shared memory board_spec
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

board_spec 用共有メモリの取得に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail attach shared memory board_spec

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

board_spec 用共有メモリのアタッチに失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail get semaphore

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

セマフォの取得に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail initialize semaphore(semctl)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
セマフォの初期化に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
VPD fail open %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
装置情報ファイルのオープンに失敗
【パラメータの意味】
%01:装置情報ファイルパス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
VPD fail read %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
装置情報ファイルの読込に失敗
【パラメータの意味】
%01:装置情報ファイルパス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
VPD MACADDRESS information error wp:%01
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

装置情報取得の際にMACアドレスの取得に失敗

【パラメータの意味】

%01:取得されたMACアドレスのサイズ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

VPD cannot find return code

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

装置情報取得の際に改行コードが見つからなかった

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail UNIX domain socket create

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの生成に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail bind UNIX domain port name

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの bind に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail listen UNIX stream socket
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの接続受付けに失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
fail to receive message(UNIX)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信メッセージの受信に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail semop(lock semaphore)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

セマフォのロックに失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail semop(unlock semaphore)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

セマフォのロック解除に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

version file open failed [pre_side: %01]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ファームウェアバージョンを記録したファイルのオープンに失敗

【パラメータの意味】

%01:インストールファーム番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
unkonwn version
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファームウェアバージョンが正しく取得できなかった
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
(PSU%01) %02 fault detected
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
電源ユニットの異常を検出した。
【パラメータの意味】
%01:電源ユニット番号(1～2)
%02:検出した電源異常の種別 "output":出力異常, "temperature":温度異常, "fan":ファン異常
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SFP VPD read error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SFP の VPD 情報の読み出しに失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SFP VPD read check error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SFP の VPD 情報のチェックサム異常を検出した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
License INTERFACE usage restrictions. (GigaEthernet %01/%02/%03 is limited)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ライセンスで制限となったインタフェースを検出
【パラメータの意味】
%01:ノード番号
%02:スロット番号
%03:ポート番号
【アクション】
ライセンスを追加してください。

【メッセージ】
Port module removed from GigaEthernet %01/%02/%03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SFP 及び SFP+の抜去を検出

【パラメータの意味】
%01:ノード番号
%02:スロット番号
%03:ポート番号
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Port module inserted in GigaEthernet %01/%02/%03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SFP 及び SFP+を検出
【パラメータの意味】
%01:ノード番号
%02:スロット番号
%03:ポート番号
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Port module GigaEthernet %01/%02/%03 Type:%04 Vendor name:%05 PN:%06 Rev:%07 SN:%08
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SFP/SFP+の状態変化時の VPD 情報出力
【パラメータの意味】
%01 = ノード番号
%02 = スロット番号
%03 = ポート番号
%04 = ポートモジュール種別
%05 = ベンダ名
%06 = パーツ番号
%07 = リビジョン

%08 = シリアル番号

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

temp-sensor safety control(TEMP%01)[power-down]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

装置温度センサーが危険温度を検出し装置保護動作による電源停止

【パラメータの意味】

%01:温度センサー番号(1～4)

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

USB module not supported (USB%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

USB メモリ以外の挿入を検出

【パラメータの意味】

%01 = USB スロット番号

【アクション】

USB メモリを挿入してください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

USB flash drive none (USB%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

USB メモリの抜去及び umount を検出

【パラメータの意味】

%01 = USB スロット番号

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

USB flash drive exist (USB%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

USB メモリの挿入及び mount を検出

【パラメータの意味】

%01 = USB スロット番号

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

USB Type-C port not supported yet.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

USB Type-C デバイスの挿入を検出

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

initialize error at config reference

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
　設定参照の初期化に失敗
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　file open error
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　設定ファイルのオープンに失敗
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　cannot open unix socket dgram
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　dishd に対するメッセージ通知用のソケット作成に失敗
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　dishd request send err
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

dishd に対するメッセージ送信に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.22 dwd

【メッセージ】

uwdt_init error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd へのハートビート送信初期化に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

頻繁に出力される場合は dwd が再起動を繰り返ししている場合があります。

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt_start error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd へのハートビート送信開始に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

頻繁に出力される場合は dwd が再起動を繰り返ししている場合があります。

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
smux open fail. fd:%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
smux の open に失敗
【パラメータの意味】
%01:smux の FD 値を表示
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
shmget error (shmkey:%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
共有メモリ取得時の内部関数エラー。
【パラメータの意味】
%01= 共有メモリの ID
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
shmat error (shmkey:%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
共有メモリ取得時の内部関数エラー。
【パラメータの意味】
%01= 共有メモリの ID
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail UNIX domain socket create
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メッセージ受信用のソケット作成に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail bind UNIX domain port name
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メッセージ受信用のソケットのバインドに失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dwd_recv_data:packet recv err
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
外部メッセージ受信失敗
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dwd_recv_data:unknown packet recv
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
外部メッセージ受信時に不明なメッセージを受信
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01 file read error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
アラーム監視設定ファイルの Read に失敗
【パラメータの意味】
%01:"/etc/dwd_cli.conf"
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Equipment alarm (%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置故障が発生
【パラメータの意味】

%01: CP 側の故障"CP", LIF 側の故障"LIF"

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置の交換を行なってください。

【メッセージ】

Equipment warning (%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置の部分故障が発生

【パラメータの意味】

%01: CP 側の故障"CP", LIF 側の故障"LIF"

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置の交換を行なってください。

【メッセージ】

Equipment normali (%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置故障が復旧した

【パラメータの意味】

%01: CP 側の復旧"CP", LIF 側の復旧"LIF"

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Temp sensor alarm (TEMP%01)[Cu:%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置に実装されている温度センサーに異常発生

【パラメータの意味】

%01:温度センサー番号(1-4)

%02:温度センサー値(℃x)温度未取得の場合は"---"

【アクション】

装置環境を見直してください。

シャーシ給排気口に異常がないか確認。

装置 FAN に異常がないか確認。

周囲環境温度に異常が無いか確認。(0-50℃)

設定を見直してください。

温度アラーム発生温度の設定値に問題がないか確認。

(デフォルト値以下に設定している場合はその値が適正な値かを確認)

上記の見直しで問題が解決しない場合は、

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Temp sensor normal (TEMP%01)[Cu:%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置に実装されている温度センサーに異常発生

【パラメータの意味】

%01:温度センサー番号(1-4)

%02:温度センサー値(℃)

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

FAN unit alarm (FAN%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置に実装されている冷却ファンユニットに異常発生

【パラメータの意味】
%01:FAN 番号(1-4)
【アクション】
異常が発生した冷却ファンユニットの交換を行なってください。

【メッセージ】
FAN unit normal (FAN%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置に実装されていｒる冷却ファンユニットの異常復旧
【パラメータの意味】
%01:FAN 番号(1-4)
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Power supply unit alarm (PSU%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置に実装されている電源ユニットに異常発生
【パラメータの意味】
%01:電源ユニット名称(1-2)
【アクション】
異常が発生した電源ユニットの交換を行なってください。

【メッセージ】
Power supply unit normal (PSU%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

装置に実装されている電源の異常復旧

【パラメータの意味】

%01:電源ユニット名称(1-2)

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

Power supply unit slot alarm (PSU%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

電源ユニットのスロット異常が発生

【パラメータの意味】

%01:電源ユニット名称(1-2)

【アクション】

電源ユニット実装状態、及びスロット状態監視設定を確認してください。

【メッセージ】

Power supply unit slot normal (PSU%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

電源ユニットのスロット異常が復旧

【パラメータの意味】

%01:電源ユニット名称(1-2)

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

Power supply unit power-input alarm (PSU%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
装置に実装されている電源モジュールの電源入力に異常発生
【パラメータの意味】
%01:電源モジュール名称(1-2)
【アクション】
電源入力監視設定及び、電源スイッチと入力電圧の確認を行なってください。
上記の確認で問題が解決しない場合は
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Power supply unit power-input normal (PSU%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置に実装されている電源モジュールの電源入力が異常復旧
【パラメータの意味】
%01:電源モジュール名称(1-2)
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Port module alarm (GigaEthernet %01/%02/%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置に実装されている各ポートモジュールに異常発生
【パラメータの意味】
%01:ノード番号
%02:スロット番号
%03:ポート番号
【アクション】
異常が発生したポートモジュールの交換を行なってください。
上記の確認で問題が解決しない場合は
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Port module normal (GigaEthernet %01/%02/%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置に実装されている各ポートモジュールが異常復旧
【パラメータの意味】
%01:ノード番号
%02:スロット番号
%03:ポート番号
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Port module slot alarm (GigaEthernet %01/%02/%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置のポートモジュールスロット状態に異常発生
【パラメータの意味】
%01:ノード番号
%02:スロット番号
%03:ポート番号
【アクション】
スロットの期待状態の設定と装置のスロット状態を確認してください。
スロットの期待状態の設定とスロット状態が正しい場合は
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Port module slot normal (GigaEthernet %01/%02/%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置のポートモジュールスロット状態が正常復旧

【パラメータの意味】

%01:ノード番号

%02:スロット番号

%03:ポート番号

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

USB slot alarm (USB%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置の USB スロット状態に異常が発生した

【パラメータの意味】

%01 = USB スロット番号

【アクション】

スロットの期待状態の設定と装置のスロット状態を確認してください。

スロットの期待状態の設定とスロット状態が正しい場合は

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

USB slot normal (USB%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

装置の USB スロット状態が正常に復旧した

【パラメータの意味】

%01 = USB スロット番号

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】
initialize error at config reference
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定情報参照の為の初期化に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
file open error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定情報出力用のファイルのオープンに失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.23 emd_exec

【メッセージ】
exec error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
子プロセスによるコマンドの実行に失敗しました。

【パラメータの意味】
%01: エラーした理由
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
forkpty error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
forkptyに失敗しました。
【パラメータの意味】
%01: エラーした理由
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

1.24 emd

【メッセージ】
action terminate %s: No:%d
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
refreshにより実行中のアクションを終了しました。
【パラメータの意味】
%s=強制終了の理由
%d=強制終了されたイベントアクションのエントリ
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
action error: No:%d

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
何らかの原因によりアクションが途中で終了しました。
【パラメータの意味】
%d=エラー終了したイベントアクションのエントリ
【アクション】
エラーとなったイベントアクションの設定を確認してください。
問題なければ情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exec %s1 error: %s2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクションが実行エラーしました。
【パラメータの意味】
%s1=エラーとなったアクション種別
%s2=エラーとなったアクションの内容
【アクション】
エラーとなったイベントアクション設定を確認してください。
問題なければ情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exec %s1 error: %s2 => %s3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクションが実行エラーしました。
【パラメータの意味】
%s1=エラーとアクション種別
%s2=エラーとなったアクションの内容

%s3=エラーの原因

【アクション】

エラーとなったイベントアクション設定を確認してください。

問題なければ情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

waitpid fail: %d

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

子プロセスの終了を判定でエラーしました。

【パラメータの意味】

%d=エラーとなったプロセス ID

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Limit of exec : report-all

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

イベントアクションによる report-all の実行が重複しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

mutex error : %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

排他処理がエラーしました。

【パラメータの意味】

%s=エラーの理由

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Limit of exec mutex(%d) : %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

同時に実行可能なアクション数の制限により、
ログに示されたアクションを実行できませんでした。
エラーしたアクションはリトライ(再実行)されます。

【パラメータの意味】

%d=同時実行可能なアクションの上限数
%s=エラーしたアクションの内容

【アクション】

エラーしたアクションの実行状況を show event-action log コマンドで
確認してください。設定内容を確認してください。
装置はそのままお使いください。

【メッセージ】

fork error : %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

子プロセスの生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s=エラーしたアクション

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

exec error : %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

子プロセスによるコマンドの実行に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s=エラーした理由

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

interface action error : %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

インタフェースに対するアクションに失敗しました。

【パラメータの意味】

%s=エラーしたインタフェース名

【アクション】

イベントアクションのログを確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

error script action : %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

スクリプト実行アクションに失敗しました。

【パラメータの意味】

%s=エラーしたスクリプトファイル

【アクション】

設定を確認し問題が無ければ

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
smux connect error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd への登録にに失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
%s : trap send error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
trap の送信に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
forkpty error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
forkpty に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
Cannot kill child process(%d) :%s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
子プロセスの強制終了が出来ませんでした。
【パラメータの意味】
%d=プロセス ID
%s=エラーの理由
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
Fail to make of emd daemon
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
デーモン化に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
Event-Action start
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
emd が正常にスタートしました。
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

cannot allocate memory for thread

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

スレッド化のための内部メモリが不足しています。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

cannot create thread:%s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

スレッド化出来ませんでした。

【パラメータの意味】

%s=エラーの理由

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

cannot join thread: No:%d

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

スレッドを回収できませんでした。

【パラメータの意味】
%d=エラー終了したイベントアクションのエントリ
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
cannot make show msg
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
show コマンドへの応答メッセージを作成できませんでした。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
cannot make complete show msg
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
show コマンドの表示内容が不完全です。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
再度 show commad を実行して問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
send error: %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

内部通信に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s=エラーの理由

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

cli pattern check error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

cli パターンの確認エラーが発生しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

regex compile failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

正規表現にパターンのコンパイルにエラーが発生しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Cannot find comparison operator

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
　インタフェースのカウンタ値監視イベントで設定された比較演算子が不正です。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　socket create error
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　socketの作成に失敗しました。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
　socket bind/listen error
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　socketのbind/listenに失敗しました。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
　accept list over
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

select 関数で使用するソケットの数がプロセスが許容する上限に達しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

accept error : %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

accept がエラーしました。

【パラメータの意味】

%s=エラーの理由

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

select error : %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

select がエラーしました。

【パラメータの意味】

%s=エラーの理由

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

event type error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
event type が不正です。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
recv error : %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
recv 処理がエラーしました。
【パラメータの意味】
%s=エラーの理由
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
disconnect fd=%d
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
recv エラーにより disconnect しました。
【パラメータの意味】
%d=disconnect したディスクリプタ
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
data size fault
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

受信したデータサイズに誤りがあります。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

recv data fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

データ受信に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

cannot find event-action entry %d

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

登録されていないイベントアクションのエントリを削除しようとしています。

【パラメータの意味】

%d=エントリ番号

【アクション】

そのまま御使用ください。

【メッセージ】

Cannot allocate memory

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部メモリが不足しています。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cannot find interface name: %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェースが見つかりません。
【パラメータの意味】
%s=インタフェース名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
lookup_iid_rec_by_cmd failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定されたインタフェースが存在しません。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

%s1 shm attach error: %s2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

共有メモリへの attach に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s1=共有メモリの識別子

%s2=エラーの理由

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%s1 shm create error: %s2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

共有メモリの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s1=共有メモリの識別子

%s2=エラーの理由

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

There was an abnormality in a shared memory

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

共有メモリ異常

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cannot access %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリへアクセスできません。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
'%s': cannot write to share memory
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリへ書き込みできません。
【パラメータの意味】
%s=エラーとなったポイント
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのまま御使用ください

【メッセージ】
Reload config error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コンフィグの読み込みに失敗しました。
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

set config error:%s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

コンフィグの読み込みに失敗しました。

【パラメータの意味】

%s=エラーとなった設定

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

cannot convert %s to mib_ifindex

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

インタフェース名から mib ifindex の変換に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s=エラーとなったインタフェース名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

cannot convert mib_ifindex(%u) to cliname

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

インタフェース名から mib ifindex の変換に失敗しました。

【パラメータの意味】
%u=エラーとなった mib ifindex
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
cannot check %s status
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
予期しないインタフェースの情報を取得しました。
【パラメータの意味】
%s=エラーとなったインタフェース名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fopen %s1: %s2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
%s1 のファイルが open 出来ないためエラーとなりました。
【パラメータの意味】
%s1=ファイル名
%s2=エラーの原因
【アクション】
reset 時以外で本現象が発生する場合は情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
fseek: %s1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

fseek 関数の使用に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s1=エラーの原因

【アクション】

reset 時以外で本現象が発生する場合は情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

fgetpos: %s1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

fgetpos 関数の使用に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s1=エラーの原因

【アクション】

reset 時以外で本現象が発生する場合は情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Warning: 'event-ping' setting exceeds 10.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

event ping 設定が 10 件を超えました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

Ping によるイベント設定を 10 件以内に調整してください。

【メッセージ】

uwdt_init error: %1

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt 監視の初期化に失敗しました。
【パラメータの意味】
%1=エラー番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_start error: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt 監視開始に失敗しました。
【パラメータの意味】
%1=エラー番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_suspend error: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt 監視一時中断に失敗しました。
【パラメータの意味】
%1=エラー番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt_resume error: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdt 監視一時中断の終了に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

cannot open %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

該当ファイルの OPEN に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s=エラーとなったファイル名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

config error - ignored: '%s'

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定エラーのため該当 event action のモードを emd に登録しません。

【パラメータの意味】

%s=エラーとなった event-action モード

【アクション】

設定を見直してください. (event-action 設定)

【メッセージ】
'%s1' exceeds max %s2 configurations (%d) - ignored: '%s3'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
該当設定に関わる設定上限をを超えたため設定エラーとなりました。
【パラメータの意味】
%s1=エラーとなった event-action モード
%s2=エラーとなった理由
%d=設定上限数
%s3=エラーとなった設定
【アクション】
設定を見直してください. (event-action 設定)

【メッセージ】
unexpected error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
予期せぬエラーにより設定エラーとなりました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
'%s1' length over the maximum number of characters - ignored %s2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

文字数制限を超えたためエラーとなりました。

【パラメータの意味】

%s1=エラーとなったモード

%s2=エラーとなった設定

【アクション】

設定を見直してください. (event-action 設定)

【メッセージ】

'%s1' ftp url is invalid - ignored %s2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

event action 機能でサポートしていない

ftp url が指定されたためエラーとなりました。

【パラメータの意味】

%s1=エラーとなったモード

%s2=エラーとなった設定

【アクション】

設定を見直してください. (event-action 設定)

【メッセージ】

'%s1' invalid event_track - ignored %s2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

event action 機能で存在しない event-track が指定されたためエラーとなりました。

【パラメータの意味】

%s1=エラーとなったモード

%s2=エラーとなった設定

【アクション】

設定を見直してください. (event-action 設定)

【メッセージ】

memory cannot alloc

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部メモリの生成に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
'%s1' invalid event-status - ignored %s2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
同一モード内で event status と event-action で重複したイベントステータス名が指定されたためエラーとなりました。
【パラメータの意味】
%s1=エラーとなったモード
%s2=エラーとなった設定
【アクション】
設定を見直してください. (event-action 設定)

1.25 entitymibd

【メッセージ】
Power supply unit %01 (PSU%02)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

電源ユニットの実装状態変化検出

【パラメータの意味】

%01:実装状態を表示。exist(実装)及び none(未実装)

%02:スロット番号を表示。

【アクション】

装置状態を確認し問題が無い場合は、そのままご使用ください。

【メッセージ】

entitymib uwdt_init error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部関数エラー

【パラメータの意味】

%01:uwdt のエラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

entitymib uwdt_start error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部関数エラー

【パラメータの意味】

%01:uwdt のエラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt_heartbeat error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部関数エラー

【パラメータの意味】

%01:uwdt のエラー番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

entitymib initialization finished

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

entitymibd の初期化が完了

本メッセージ以降は実装状態が変化した場合に syslog が出力されます。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

そのままお使いください。

【メッセージ】

Select fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部関数エラー

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Close smux_fd(%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux の Close 処理を実行

【パラメータの意味】

%01:Close 処理を行なった smux の FD 値

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

shmget error (shmkey:%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部関数エラー。

【パラメータの意味】

%01:共有メモリの ID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

shmat error (shmkey:%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部関数エラー。

【パラメータの意味】

%01:共有メモリの ID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.26 eventd

【メッセージ】
ext_alarm recv port socket open
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
温度センサ・内部バッテリからアラームを受け取るためのソケットのオープンに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
ext_alarm recv port bind
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
温度センサ・内部バッテリからアラームを受け取るためのソケットのバインドに失敗した時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
event request message error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
Event 再送要求に失敗した場合に表示
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%s set Ack
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
Ack がセットされたアラームの description を表示
【パラメータの意味】
"***** normal" "***** alarm"など
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
evt_ext() unknown type:%d
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
発生した event がありえない event のタイプの場合に表示
【パラメータの意味】
INFEVENT(5), INFCONFIGCHANGE(10), INFCONFIGSAVE(11), INFFIRMCHANGFE(12), INFALARM(1), INFCLEAR(2)以外
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail UNIX domain socket create
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信用ソケットの生成に失敗

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail bind UNIX domain port name
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信用ソケットの bind に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail listen UNIX stream socket
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信用ソケットの接続受付けに失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
new connection accept failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

【パラメータの意味】

ソケットの接続要求の受け入れに失敗

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

new connection accept failed max:16

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

【パラメータの意味】

ソケットの接続要求が最大 16 件を超え受け入れに失敗

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

1.27 extract_conf_ap

【メッセージ】

FILE open error : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コンフィグファイルの作成失敗時に表示

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

initialize error at cli shared memory

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
CLI 共有メモリへのアタッチ失敗時に表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
initialize error at config reference
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定参照の初期化に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.28 fanctrld

【メッセージ】
fanctld uwdt_init error: %d
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdtd へのハートビート初期化に失敗
【パラメータの意味】
%d = error コード
【アクション】

頻繁に出力される場合は fanctrld が再起動を繰り返している場合があります。
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fanctld uwdt_start error: %d
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdtd へのハートビート開始に失敗
【パラメータの意味】
%d = error コード
【アクション】
頻繁に出力される場合は fanctrld が再起動を繰り返している場合があります。
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Select fail
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部関数エラー
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_heartbeat error: %d
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdtd へのハートビート送信に失敗

【パラメータの意味】

%d = error コード

【アクション】

頻繁に出力される場合は fanctrld が再起動を繰り返している場合があります。

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

FAN control threshold error. Level:[%d]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

FAN 回転低下閾値制御レベル設定に失敗

【パラメータの意味】

%d = FAN 回転制御レベル

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

FAN control error. Level:[%d]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

FAN 回転制御レベル設定に失敗

【パラメータの意味】

%d = FAN 回転制御レベル

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fan speed access failure. (FAN %d)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
FAN 回転速度の取得に失敗
【パラメータの意味】
%d = FAN 番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
shmget error (shmkey:%d)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリ取得時の内部関数エラー。
【パラメータの意味】
%d= 共有メモリの ID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
shmat error (shmkey:%d)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAMEON
【意味】
共有メモリ取得時の内部関数エラー。
【パラメータの意味】
%d= 共有メモリの ID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
semget error (semkey:%d)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

共有メモリのセマフォ取得時の内部関数エラー。

【パラメータの意味】

%d= 共有メモリセマフォ ID

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%s file open error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAMEON

【意味】

FAN 制御設定ファイルのオープンに失敗。

【パラメータの意味】

%s= "/etc/fanctrl.conf"

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fanctrl_sem_lock: fail semop(lock semaphore)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAMEON

【意味】

FAN 制御排他に失敗。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fanctrl_sem_unlock: fail semop(unlock semaphore)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAMEON
【意味】
FAN 制御排他解除に失敗。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

1.29 fdpd

【メッセージ】
[INIT_ERR] %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
起動時に初期化を失敗した場合
【パラメータの意味】
異常箇所と原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
[RESET_ERR] %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
リセットに失敗した場合
【パラメータの意味】
異常箇所と原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[RESET_ERR] %1: Cannot configure device: err=%2, port=%3.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

デバイスの設定取得に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1 関数名

%2 エラーナンバー

%3 ポート番号

【アクション】

NIC を SR-IOV にて使用されているときに、link up/down をさせると
発生することがあります。その場合はそのままご利用いただけます。
異常がある場合は、report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[CHECK_ERR] %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

パラメータ異常が発生した場合

【パラメータの意味】

異常箇所と原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[CHECK_ERR] fnstask_dev_start: failed to start port %1.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ポートのスタートがタイムアウトした場合

【パラメータの意味】

ポート番号

【アクション】

SR-IOV 使用時に発生する可能性があります。一度、対象ポート(例. GigaEthernet 1/1 = port 0)

【メッセージ】

[CHECK_ERR] %1: failed to update RSS reta port %2 (%3).

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

RSS redirection table の更新に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1 関数名

%2 ポート番号

%3 エラーナンバー

【アクション】

動作環境や設定を確認してください。

【メッセージ】

[CHECK_ERR] fdpapi_acl_build_multi_trie: failed to build acl trie structure.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

クラシファイア作成時にメモリ割り当てに失敗した場合。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

使用するクラシファイアのエントリ数を減らしてください。

【メッセージ】

[SETTING_ERR] %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定に不備がある場合
【パラメータの意味】
異常箇所と原因
【アクション】
動作環境や設定を確認してください。

【メッセージ】
[SETTING_ERR] fnstask_acl_build: failed to build acl %1.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
クラシファイア作成時にメモリ割り当てに失敗した場合。
【パラメータの意味】
対象箇所
【アクション】
使用するクラシファイアのエントリ数を減らしてください。

【メッセージ】
[SETTING_ERR] %1: lcore %2 has nothing to do
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
スレッドに対してポートが無い場合
【パラメータの意味】
%1:関数名、%2:コアの ID
【アクション】
動作環境や設定を確認してください。そのままのご利用も可能です。

【メッセージ】
[UNSUPPORT] %1
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

サポートしていない情報を取得した場合

【パラメータの意味】

異常箇所と原因

【アクション】

動作環境や設定を確認してください。

【メッセージ】

[UNSUPPORT] %1: unsupported number of port %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

サポートしていない情報を取得した場合

【パラメータの意味】

%1 関数名

%2 ポート番号

【アクション】

vFX のインスタンスに割り振られていないポートに対して設定をしたときに出力します。

【メッセージ】

[LOCK_ERR] %1

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

lock に失敗した場合

【パラメータの意味】

異常箇所と原因

【アクション】

続けてご利用いただけます。

【メッセージ】

[OTHER_ERR] %1: queue full from fdpd to lpd

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

fdpd から lpd へのキューがいっぱいになっている場合

【パラメータの意味】

関数名

【アクション】

そのままご利用いただけます。

【メッセージ】

[RESET_LOG] %1: %2

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

i40e デバイスのリセットの開始と終了時

【パラメータの意味】

%1 関数名

%2 i40e デバイスリセットに関するメッセージ。

【アクション】

そのままご利用いただけます。インターフェースに異常が発生した場合は、

【メッセージ】

[UNSUPPORT] %1 command is not supported for this NIC. (port: %2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

コマンドが非サポートの NIC 使用時に設定された場合。

【パラメータの意味】

%1 コマンド名

%2 ポート番号

【アクション】

マニュアルでコマンドがサポートするNICをご確認ください。

【メッセージ】
ac-bandwidth scheduler buffer prog full occurred (%1)
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ac-bandwidthスケジューラで処理されるパケットが閾値を超えた場合。
【パラメータの意味】
%1 発生回数
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.30 fdpmonitor

【メッセージ】
Failed to get fdp config: %d
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
データプレーンの情報取得に失敗しました。
【パラメータの意味】
%d = エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

1.31 firmutil

【メッセージ】
popen error: %1
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

popen() 失敗時に表示される

【パラメータの意味】

%1=エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

1.32 ftpd

【メッセージ】

FTP LOGIN FAILURE FROM %01 %02

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

FTP でのログインに失敗した

【パラメータの意味】

%01:リモートホスト

%02:ログインを試みたユーザ名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

FTP LOGIN FROM %01 as %02 (class: %03, type: %04)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_FTP(11)

【意味】

FTP でのログインがおこなわれた

【パラメータの意味】

%01:リモートホスト

%02:ログインしたユーザ名

%03:class(real)
%04:type(REAL)

【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
FTP LOGOUT FROM %01 as %02

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_FTP(11)

【意味】
FTP からログアウトした

【パラメータの意味】
%01:リモートホスト
%02:ログアウトしたユーザ名

【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
User unknown timed out after %01 seconds

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_FTP(11)

【意味】
FTP 接続中にタイムアウトした

【パラメータの意味】
%01:タイムアウト時間

【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
failed to release authenticator

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_FTP(11)

【意味】
　認証で失敗しました。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　設定を見直してください。

【メッセージ】
　unknown curclass.type %01; aborting
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_FTP(11)
【意味】
　認証で失敗しました。
【パラメータの意味】
　%01:失敗したユーザクラス
【アクション】
　設定を見直してください。

【メッセージ】
　getpeername (%01): %02
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_FTP(11)
【意味】
　接続処理で失敗しました。
【パラメータの意味】
　%01:接続先
　%02:エラー要因
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　getsockname (%01): %02
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
接続処理で失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:接続先
%02:エラー要因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
sysconf _SC_LOGIN_NAME_MAX: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
接続処理で失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
pam_close_session: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
認証で失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
pam_end: %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
認証で失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
pam_setcred: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
認証で失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
using conservative LOGIN_NAME_MAX value
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
login name の最大長を変更しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

malloc: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_FTP(11)

【意味】

内部領域確保に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:エラー要因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

setsockopt (IP_TOS): %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_FTP(11)

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:エラー要因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

setsockopt: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_FTP(11)

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:エラー要因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
setsockopt (SO_KEEPALIVE): %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
ソケットの設定に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
setsockopt(SO_SNDBUF, %01): %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
ソケットの設定に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:送信バッファサイズ
%02:エラー要因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
setsockopt(SO_SNDLOWAT, %01): %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
ソケットの設定に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:送信最小カウント
%02:エラー要因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fcntl F_SETOWN: %01
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
標準入力の操作に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
FTP LOGIN REFUSED FROM %01, %02
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
login に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:リモートホスト
%02:ユーザー名
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
FTPD-ACCESSLOGP: list %01 denied %02 from %03
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
アクセスリストにより、接続を拒否しました

【パラメータの意味】
%01:アクセスリスト番号
%02:プロトコル番号
%03：送信元
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
authentication attempts list overflow(%01).
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
ログイン認証に失敗したユーザを記録するファイルが溢れました。
非登録ユーザに対してロックアウト機能が動作しない可能性があります。
【パラメータの意味】
%01:非登録ユーザのエントリ数の上限
【アクション】
セキュリティ環境を見直してください。

【メッセージ】
Account is locked out: %01 %02min
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_FTP(11)
【意味】
一定回数認証に失敗したため一定時間ロックアウトします
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
%02:ロックアウト時間
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

1.33 hfdd

【メッセージ】
uwdt_init error:%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdtd でのプロセスの監視に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
uwdt_start error:%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdtd でのプロセスの監視に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
driver open error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
hfdd のドライバでエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
hfdd_init : fail open /dev/hfddev
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
hfdd のドライバでエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
hfdd_receive_buf : hfddev read error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
hfdd のドライバでエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
select error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
プロセスが要因不定で wake した場合
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

error device not define

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

未定義なエラーを処理しようとした場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

error message not define

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

未定義なエラーを処理しようとした場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

error detected S/N:%01

Hardware fault detected(code : %02%03%04). Urgent %05

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ハードの故障が発生した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

rtc open error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

rtc へのアクセスに失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

rtc ioctl error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

rtc へのアクセスに失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

execv error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
execv に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
fork error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
fork に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
bioslog check error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01:エラー要因
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
receive_tipc_message error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

TIPC ソケットからのメッセージ受信に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

fail to receive message(TIPC)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

TIPC ソケットからのメッセージ受信に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

receive message: invalid slot number

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

受信したメッセージの送信スロット番号が不正だった場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

received unknown message type

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
受信したメッセージタイプが不正だった場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
fail TIPC socket create
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
TIPC socket の生成に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
fail TIPC socket open
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
TIPC socket の open に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
fail bind TIPC port name
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

TIPC socket のバインドに失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

fail bind TIPC port name

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

TIPC socket のバインドに失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

errlog file open error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

errlog ファイルの fopen に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

number of errlog limits

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
エラーログの保存件数が上限に達した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
invalid error count
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
エラーログのカウントが不正値だった場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】
invalid error format
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
エラーログのフォーマットが不正だった場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
サポートに連絡してください

【メッセージ】

%01 : fail to make socket

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ソケットの作成に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01:関数名

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

%01 : fail open /etc/hfdd.conf

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ソケットの作成に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01:関数名

【アクション】

サポートに連絡してください

【メッセージ】

config update error. L2 error occurred

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

レベル2エラーを検知している状態でaction設定を変えようとした場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

サポートに連絡してください。

1.34 hosts_ap

【メッセージ】
"'ip host' exceeds max configurations (64) - ignored: 'ip host %01'"
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ip host のエントリ数が最大数(64)を越えています
【パラメータの意味】
%01:無効となった ip host 設定のホスト名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
"'ipv6 host' exceeds max configurations (64) - ignored: 'ipv6 host %01'"
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipv6 host のエントリ数が最大数(64)を越えています
【パラメータの意味】
%01:無効となった ipv6 host 設定のホスト名
【アクション】
設定を見直してください。

1.35 ifcfg_ap

【メッセージ】
could not allocate memory (%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定項目の領域確保に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01: 設定項目名

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 open error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定ファイルを開くのに失敗しました。

【パラメータの意味】

%01: ファイル名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%CONFIG: vlan-id not configured, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

vlan-id 設定がないため該当インタフェース設定を無効としました。

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

vlan-id を設定してください。

【メッセージ】

%CONFIG: bridge/channel-group not configured, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ブリッジングおよびIP(channel-group)に関する設定がないため
該当インタフェース設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: overlap layer-2 configuration, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
switchport passthrough と bridge-group/channel-group が同時設定してあるため
該当インタフェース設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid switchport passthrough, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
switchport passthroughの指定インタフェースがなかったため、設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
指定インタフェースを確認してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid trunk-group, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

trunk-channel 設定がなかったため、該当のインタフェース設定を無効としました。

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

interface trunk-channel を設定してください。

【メッセージ】

%CONFIG: trunk-group not configured, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

trunk-group 設定がなかったため、該当のインタフェース設定を無効としました。

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

trunk-group となるインタフェースを設定してください。

【メッセージ】

%CONFIG: this port is trunk-group, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ポートインタフェースが trunk-group に設定されていたため、
該当のサブインタフェース設定を無効としました。

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: ipv6 link-local address error, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
該当インタフェースに link-local アドレスとして不正なアドレスが
設定されていたため無効としました。
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: no interface Port-channel! channel-group %01, %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
port-channel インタフェース設定モードがなかったため、channel-group 設定を
無効としました。
【パラメータの意味】
%01: channel-group
%02: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: %01 (%02) overlaps primary address
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
Secondary IP アドレスの Primary IP アドレスとの重複を検出し、

Secondary IP アドレスを無効としました。

【パラメータの意味】

%01: 重複している Seconfary IP アドレス

%02: インタフェース名

【アクション】

メッセージに表示されたインタフェースの IP アドレスを確認してください。

【メッセージ】

%CONFIG: this port is for transparent mode, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

switchport transparent の設定されたポートのため、

該当サブインタフェース設定を無効としました。

【パラメータの意味】

%01: サブインタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: neither bridge-group nor switchport is configured, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

bridge-group/switchport passthrough の設定がなかったため、設定を無効としました。

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: overlap channel-group %01, bridge-group %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
bridge-group 内に複数の channel-group があったため、
該当の interface port-channel 設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: channel-group 番号
%02: bridge-group 番号
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: ipv6 address autoconfig error, %0
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipv6 address autoconfig に指定した interface-id の IPv6 アドレス
上位 64bits が 0 でありません。
【パラメータの意味】
%0: インタフェース名
【アクション】
interface-id は IPv6 アドレスの上位 64bits は 0 となるように設定して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: not ipinip tunnel-profile %01, %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
tunnel インタフェースで指定した ipinip tunnel-profile が設定されていません。
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
%02: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
"%CONFIG: not set source address, ipinip tunnel-profile %01",
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipinip tunnel-profile に source address が設定されていません。
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not set destination address, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipinip tunnel-profile に destination address が設定されていません。
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid destination address, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipinip tunnel-profile に設定した destination address が中継禁止アドレスに該当します。
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: wrong source and destination address, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipinip tunnel-profileに設定したsource addressとdestination addressとのfamilyが一致していません。
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not set rule-ipv4-prefix, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipinip tunnel-profileにrule-ipv4-prefixが設定されていない場合
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not set rule-ipv6-prefix, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipinip tunnel-profileにrule-ipv6-prefixが設定されていない場合
【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: not set rule-eabit-length, ipinip tunnel-profile %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipinip tunnel-profile に rule-eabit-length が設定されていない場合

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid rule-ipv4-prefixlen, ipinip tunnel-profile %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipinip tunnel-profile に設定された rule-ipv4-prefixlen が 8 未満である場合

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid rule-ipv6-prefixlen, ipinip tunnel-profile %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipinip tunnel-profile に設定された rule-ipv6-prefixlen が 8 未満である場合

【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid 'rule-ipv4-prefixlen + rule-eabit-length', ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipinip tunnel-profile に設定された rule-ipv4-prefixlen + rule-eabit-length が 32 未満、または 48 以上である場合
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid psid-offset, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ipinip tunnel-profile に設定された rule-ipv4-prefixlen + rule-eabit-length + psid-offset が 49 以上である場合
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid 'rule-ipv6-prefixlen + rule-eabit-length', ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipinip tunnel-profile に設定された rule-ipv6-prefixlen + rule-eabit-length が 32 未満、または 65 以上である場合

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid ipv6-subnet-id, ipinip tunnel-profile %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipinip tunnel-profile に設定された rule-ipv6-prefixlen + rule-eabit-length + ipv6-subnet-id 長が 65 以上である場合

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: not vxlan profile %01, %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

tunnel インターフェイスで指定した vxlan profile が設定されていなかったため

tunnel 設定を無効としました。

【パラメータの意味】

%01: profile 名

%02: インターフェイス名

【アクション】

tunnel インターフェイスと vxlan profile を正しく設定してください。

【メッセージ】
%CONFIG: bridge-group not configured, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
bridge-group の設定がなかったため、設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: インターフェイス名
【アクション】
設定を確認してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not set vni, vxlan profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
vni が設定されていなかったため、vxlan profile 設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: profile 名
【アクション】
設定を確認してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not set source address, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
source address が設定されていなかったため, vxlan profile 設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: profile 名
【アクション】
設定を確認してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid configuration 'fvrf %01' without 'source address', ipinip tunnel-profile %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipinip tunnel-profile で source address 設定がないため、fvrf 設定が無効です。

tunnel-profile が無効となります。

【パラメータの意味】

%01: VRF 名

%02: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid configuration 'fvrf %01' without 'destination address', ipinip tunnel-profile %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ipinip tunnel-profile で destination address 設定がないため、fvrf 設定が無効です。

tunnel-profile が無効となります。

【パラメータの意味】

%01: VRF 名

%02: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: not find 'ip vrf %01', ipinip tunnel-profile %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
ipinip tunnel-profile で指定した fvrf に一致する ip vrf 設定が見つかりません。
tunnel-profile が無効となります。
【パラメータの意味】
%01: VRF 名
%02: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: invalid configuration 'ip vrf forwarding', %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
SRv6 tunnel に ip vrf forwarding 設定がされていたため、tunnel 設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not set 6rd ipv4-mask-length, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
6rd ipv4-mask-length が設定されていない場合
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not set 6rd prefix, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

6rd prefix が設定されていない場合

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid 6rd prefixlen, ipinip tunnel-profile %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

6rd prefixlen が 65 以上の場合

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid '6rd prefixlen + 6rd ipv4-mask-length', ipinip tunnel-profile %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

6rd prefixlen と 6rd ipv4-mask-length 外の長さの合計が 65 以上の場合

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: invalid source address, ipinip tunnel-profile %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
source address と 6rd ipv4-mask-length で決まる prfix が以下に該当する場合
0.0.0.0/8, 127.0.0.0/8, 169.254.0.0/16, 224.0.0.0/4, 240.0.0.0/4
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

1.36 ifd

【メッセージ】
Shared memory Initialization Failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリの初期化に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to get Shared Memory: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリの初期化に失敗
【パラメータの意味】
%01: エラーメッセージ

【アクション】
　情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　Fail to map Shared Memory: %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　共有メモリの初期化に失敗
【パラメータの意味】
　%01: エラーメッセージ
【アクション】
　情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　Semaphore Initialization Failed
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　セマフォの初期化に失敗
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　Fail to get board information, %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　ボード情報の取得に失敗
【パラメータの意味】

%01: 情報内容

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to create socket, %01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

socket の初期化に失敗

【パラメータの意味】

%01: プロトコルおよびチャンネル

%02: エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to bind socket, %01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

socket の初期化に失敗

【パラメータの意味】

%01: プロトコルおよびチャンネル

%02: エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to set close-on-exec flag, %01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
socket の初期化に失敗
【パラメータの意味】
%01: プロトコルおよびチャンネル
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to create thread parameter, %01: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
スレッド情報の作成に失敗
【パラメータの意味】
%01: 情報種別
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to listen, %01: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
socket の要求待ちに失敗
【パラメータの意味】
%01: プロトコルおよびチャンネル
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
ifd_smux_connect, open msg send fail: %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux open に失敗
【パラメータの意味】
%01: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ifd_smux_connect, register msg send fail: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux 登録に失敗
【パラメータの意味】
%01: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Fail to get service entry, %01: %02
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
サービスエントリの取得に失敗
【パラメータの意味】
%01: サービス名
%02: エラーメッセージ
【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Fail to load the new configuration
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定ファイルの取得に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to load the diff configuration
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定ファイル(差分)の取得に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to open %01: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファイルを開くのに失敗
【パラメータの意味】

%01: ファイル名
%02: エラーメッセージ

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Conflict refresh event! %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
refresh 処理に失敗

【パラメータの意味】
%01: エラー箇所

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to create %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
インタフェースの作成に失敗

【パラメータの意味】
%01: インタフェース名

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to get statistics field, %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】

統計情報保持領域の確保に失敗

【パラメータの意味】

%01: 設定名

【アクション】

インタフェース等の設定数が装置仕様の上限を超えていないかご確認ください。
そうでない場合、情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to destroy %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

インタフェースの削除に失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

RFID not assigned, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

RFID の取得に失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

インタフェースの設定数が装置仕様の上限を超えていないかご確認ください。
そうでない場合、情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to get RFID, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
RFID の取得に失敗
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
インタフェースの設定数が装置仕様の上限を超えていないかご確認ください。
そうでない場合、情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
vrf-id not assigned, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
VRF-ID の取得に失敗
【パラメータの意味】
%01: VRF 名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
BridgeId not assigned, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BridgeID の取得に失敗
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
インタフェースの設定数が装置仕様の上限を超えていないかご確認ください。
そうでない場合、情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

BridgeId not assigned for %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BridgeID の取得に失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

インタフェースの設定数が装置仕様の上限を超えていないかご確認ください。
そうでない場合、情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

LoopbackId not assigned, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

LoopbackID の取得に失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

インタフェースの設定数が装置仕様の上限を超えていないかご確認ください。
そうでない場合、情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: ioctl(%02): %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ioctl 失敗

【パラメータの意味】

%01: 関数名
%02: 要求内容

%03: エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: %02 ioctl(%03): %04

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ioctl 失敗

【パラメータの意味】

%01: 関数名

%02: インタフェース名、インタフェース Index

%03: 要求内容

%04: エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: Unknown ioctl request type=%02

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不明な ioctl 要求

【パラメータの意味】

%01: 関数名

%02: 要求内容

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: Did not load configuration file

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定ファイルの取得に失敗
【パラメータの意味】
%01: 関数名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%CONFIG: vlan-id overlaps, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
vlan-id の重複を検出
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
メッセージに表示されたインタフェースの vlan-id を確認し、
重複しないように vlan-id の設定を行ってください。

【メッセージ】
%CONFIG: %01(%02) overlaps with %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
IP アドレスまたは IPv6 アドレスの重複を検出
【パラメータの意味】
%01: 重複している IP アドレス(または IPv6 アドレス)
%02: 重複しているインタフェース名
%03: 比較元のインタフェース名
【アクション】
メッセージに表示されたインタフェースの IP アドレスおよび IPv6 アドレス
を確認し、重複しないように修正して refresh を行なって下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: ARP packet-hold contradiction, total(%01) < per entry(%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ARP 滞留パケット数が装置全体＜エントリ毎となっており、エントリ毎の滞留パケット数は無効となります。
【パラメータの意味】
%01: 装置全体の最大数
%02: エントリ毎の最大数
【アクション】
滞留パケット数は、装置全体 >= エントリ毎となるよう設定して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: NDP packet-hold contradiction, total(%01) < per entry(%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NDP 滞留パケット数が装置全体＜エントリ毎となっており、エントリ毎の滞留パケット数は無効となります。
【パラメータの意味】
%01: 装置全体の最大数
%02: エントリ毎の最大数
【アクション】
滞留パケット数は、装置全体 >= エントリ毎となるよう設定して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: not ipinip tunnel-profile %01, %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

tunnel インタフェースで指定した ipinip tunnel-profile が設定されていません。

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

%02: インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: duplicate ipinip tunnel-profile %01, %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

tunnel インタフェースで指定した ipinip tunnel-profile が他のインタフェースと重複しています。

【パラメータの意味】

%01: プロファイル名

%02: インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: cannot find source address %01, ipinip tunnel-profile %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ipinp tunnel-profile で指定していた source address が実アドレスとして論理インタフェースに設定されていません。

【パラメータの意味】

%01: 送信元アドレス

%02: プロファイル名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: duplicate rule-ipv6-prefix %01, ipinip tunnel-profile %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipinip tunnel-profile で設定していた rule-ipv6-prefix が他のプロファイルと重複していた場合
【パラメータの意味】
%01: rule-ipv6-prefix
%02: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: duplicate rule-ipv4-prefix %01, ipinip tunnel-profile %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipinip tunnel-profile で設定していた rule-ipv4-prefix が他のプロファイルと重複していた場合
【パラメータの意味】
%01: rule-ipv4-prefix
%02: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: duplicate source/destination address, ipinip tunnel-profile %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipinip tunnel-profile で設定していた source address と destination address が他のプロファイルと重複しています。
【パラメータの意味】
%01: プロファイル名
【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: there is no unicast address. %01(%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
同一 IF に包含する prefix の異 unicast アドレスが設定されていないため、
IPV6 エニーキャストアドレスが設定できない。
【パラメータの意味】
%01: 無効な IPv6 エニーキャストアドレス
%02: インタフェース名
【アクション】
同一 IF に包含する prefix の unicast アドレスを設定してください。

【メッセージ】
%CONFIG: cannot find %01, ip/ipv6 icmp vrf source
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ip icmp vrf 設定、または、ipv6 icmp vrf 設定で指定した VRF 名の設定がありません。
【パラメータの意味】
%01: VRF 名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: Invalid %01 icmp source interface, %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ip icmp 設定、または、ipv6 icmp 設定で指定したインタフェースの設定がありません。

【パラメータの意味】
%01: "ip" または "ipv6"
%02: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: Invalid %01 icmp vrf %02 source interface, %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ip icmp vrf 設定、または、ipv6 icmp vrf 設定で指定したインタフェースの設定がありません。
【パラメータの意味】
%01: "ip" または "ipv6"
%02: VRF 名
%03: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: Invalid %01 icmp source address, %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ip icmp 設定、または、ipv6 icmp 設定で指定した IP/IPv6 address の設定がありません。
【パラメータの意味】
%01: "ip" または "ipv6"
%02: IP address または IPv6 address
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: Invalid %01 icmp vrf %02 source address, %03
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ip icmp vrf 設定、または、ipv6 icmp vrf 設定で指定した IP/IPv6 address の設定がありません。

【パラメータの意味】

%01: "ip" または "ipv6"

%02: VRF 名

%03: IP address または IPv6 address

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: max bridge-group exceeded, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

一つの bridge-group に設定できるインタフェースの上限を超えてインタフェースを設定した場合

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: max port-channel exceeded, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

port-channel を設定数の上限を超えて設定した場合

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: tunnel mode changed, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
推奨されない設定変更である tunnel mode の設定変更が発生した場合
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
該当の Tunnel インタフェースを一度削除して改めて設定し直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not vxlan profile %01, %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
tunnel インターフェイスで指定した profile が設定されていなかったため
tunnel 設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: profile 名
%02: インターフェイス名
【アクション】
tunnel インターフェイスと profile を正しく設定してください。

【メッセージ】
%CONFIG: duplicate vxlan profile %01, %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
tunnel インターフェイスで指定した profile が他のインターフェイスと
重複していたため tunnel 設定を無効としました。
【パラメータの意味】

%01: profile 名
%02: インターフェイス名

【アクション】
tunnel インターフェイスと vxlan profile を正しく設定してください。

【メッセージ】
%CONFIG: duplicate bridge-group %01, %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
tunnel で設定していた bridge-group が他の tunnel と重複していたため
tunnel の設定を無効としました。

【パラメータの意味】
%01: bridge-group 番号
%02: インタフェース名

【アクション】
重複することのないよう bridge-group を正しく設定してください。

【メッセージ】
%CONFIG: vni overlaps, vxlan profile %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
profile で設定していた vni が他の profile と重複していたため
profile の設定を無効としました。

【パラメータの意味】
%01: profile 名

【アクション】
重複することのないよう vni を正しく設定してください。

【メッセージ】
%CONFIG: cannot find source-address %01, vxlan profile %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
profile で設定していた送信元アドレスが実アドレスとして論理インターフェイスに
設定されていなかったため profile の設定を無効としました。
【パラメータの意味】
%01: 送信元アドレス
%02: profile 名
【アクション】
送信元アドレスと論理インターフェイスのアドレスを正しく設定してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not vxlan group %01, vxlan profile %02
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
profie で指定した group が設定されていません。
【パラメータの意味】
%01: group 名
%02: profile 名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: max destination address exceeded, vxlan group %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
vxlan group に登録できる destination address の最大数を超えています。
【パラメータの意味】
%m = vxlan group
【アクション】
destination address 数を最大数以下に減らして下さい。
最大数はマニュアルを参照して下さい。

【メッセージ】
%CONFIG: not find 'ip vrf %01', ipinip tunnel-profile %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipinip tunnel-profile で指定した fvrf に一致する ip vrf 設定が見つかりません。
tunnel-profile が無効となります。
【パラメータの意味】
%01: VRF 名
%02: プロファイル名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: not segment-routing srv6, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
tunnel インタフェースで指定した segment-routing srv6 が設定されていません。
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%CONFIG: duplicate segment-routing srv6, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
tunnel インタフェースで指定した segment-routing srv6 が他のインタフェースと重複しています。
【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%CONFIG: cannot find source address %01, segment-routing srv6

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

segment-routing srv6 で指定していた source address が実アドレスとして論理インタフェースに設定されていません。

【パラメータの意味】

%01: 送信元アドレス

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

Fail to setup connection, %01 (%02): %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

コネクション確立に失敗

【パラメータの意味】

%01: プロトコルおよびチャンネル

%02: エラー箇所

%03: エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to receive message, %01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メッセージ受信に失敗

【パラメータの意味】

%01: プロトコルおよびチャンネル

%02: エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to send message, %01 (%02): %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メッセージ送信に失敗

【パラメータの意味】

%01: プロトコルおよびチャンネル

%02: エラー箇所

%03: エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to send cfgitf message (id:%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

インタフェース設定送信失敗

【パラメータの意味】

%01: mib ifIndex

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to send message, server-info: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

サーバーデーモンの情報送信失敗

【パラメータの意味】

%01: エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to send request, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

統計情報取得要求の送信失敗

【パラメータの意味】

%01: 取得内容

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Error reply CC=%01, %02 statistics

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

インタフェース統計情報のコマンド要求に失敗

【パラメータの意味】

%01: エラーコード

%02: インタフェース種別

【アクション】

頻繁に出力される場合は、情報を採取してサポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Invalid request, %01 not configured
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェース統計情報のコマンド要求に失敗
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
表示されたインタフェース名が設定されているか確認してください。

【メッセージ】
Fail to set cfgitf event (type:%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェース設定イベント登録失敗
【パラメータの意味】
%01: 情報種別
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to send %01 message
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メッセージ送信に失敗
【パラメータの意味】
%01: メッセージ内容
【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to recv message, %01: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メッセージ受信に失敗
【パラメータの意味】
%01: メッセージ内容
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
close connection, %01
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コネクション切断
【パラメータの意味】
%01: 内部情報(接続先情報)
【アクション】
頻繁に出力される場合は、情報を採取してサポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
close connection, %01: %02
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コネクション切断
【パラメータの意味】

%01: 内部情報(接続先情報)
%02: エラーメッセージ

【アクション】
頻繁に出力される場合は、情報を採取してサポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
close connection, %01
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コネクション切断
【パラメータの意味】
%01: プロトコルおよびチャンネル
【アクション】
頻繁に出力される場合は、情報を採取してサポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
setup connection, %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コネクション確立
【パラメータの意味】
%01: プロトコルおよびチャンネル
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Fail to attach IFID shared memory
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

IFID 共有メモリの取得失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to detach IFID shared memory

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

IFID 共有メモリの解放失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to register IFID, %01 (%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

IFID 共有メモリへのインタフェース登録失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

%02: エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to delete IFID, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

IFID 共有メモリからインタフェース削除失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to register IFID vrf-id, %01 (%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

IFID 共有メモリへの VRF インタフェース登録失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

%02: エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to register IFID ifindex, %01 (%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

IFID 共有メモリへのインタフェース Index 登録失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

%02: エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to delete IFID ifindex, %01 (%02)

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
IFID 共有メモリへのインタフェース Index 削除失敗
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
%02: エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to register IFID statistics index, %01 (%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
:IFID 共有メモリへのインタフェース統計情報 Index 登録失敗
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
%02: エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to register IFID vlan-id, %01 (%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
:IFID 共有メモリへの vlan-id 登録失敗
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
%02: エラーコード
【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to register IFID lqid, %01 (%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

:IFID 共有メモリへの lqid 登録失敗

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

%02: エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to set IFID status (%01), %02 (%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

:IFID 共有メモリへのステータス情報登録失敗

【パラメータの意味】

%01: ステータス

%02: インタフェース名

%03: エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to register IFID VRF %01 (%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

IFID 共有メモリへの VRF 情報登録失敗

【パラメータの意味】

%01: VRF 名

%02: エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Fail to delete IFID VRF %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

IFID 共有メモリへの VRF 情報登録失敗

【パラメータの意味】

%01: VRF 名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Interface %01 detect %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Link Fault Signaling 受信

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

%02: "Remote Fault" or "Local Fault"

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Interface %01 recover from %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
Link Fault Signaling 受信からの復旧
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
%02: "Remote Fault" or "Local Fault"
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
Could not allocate memory, %01: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
領域の確保に失敗
【パラメータの意味】
%01: 確保対象名
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01: Fail to link down %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェースの link down に失敗
【パラメータの意味】
%01: 関数名
%02: インタフェース名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01: Fail to link up %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェースの link up に失敗
【パラメータの意味】
%01: 関数名
%02: インタフェース名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to get macaddr from shared-memory: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
management port の MAC Address 取得に失敗
【パラメータの意味】
%01: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
operationally shutdown: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェースを shutdown します
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】
operationally no-shutdown: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェースを no-shutdown します
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
cannot no-shutdown because trunk-channel is in operationally shutdown: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
exec shutdown した Trunk-channel に属する物理ポートの exec no-shutdown はできません。
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Fail to create socket, arp
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
arp 制御用ソケットの作成に失敗
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
link-local address duplication detected, disable IPv6 (%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
リンクローカルアドレスの重複を検知したため、IPv6 通信が無効となりました。
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%01: Fail to survey down %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インターフェイスの survey down に失敗
【パラメータの意味】
%01: 関数名
%02: インターフェイス名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01: Fail to survey up %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インターフェイスの survey up に失敗

【パラメータの意味】
%01: 関数名
%02: インターフェイス名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01 an %02 %03/%04 to %05 using %06.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェースに動的アドレスが追加、もしくは削除された場合に出力します。logging enable interface address-change コマンドを設定している場合にのみ出力されます。
【パラメータの意味】
%01 = add : 追加
delete : 削除
%02 = IPv4 : IPv4 アドレス
IPv6 : IPv6 アドレス
%03 = IP アドレス
%04 = サブネットマスク
%05 = インタフェース名とインタフェース番号
%06 = プロトコル
dhcp : DHCP
ra : RA
【アクション】
そのままご使用ください。

1.37 ifshutdown

【メッセージ】
%01 command busy: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

既に複数実行中のため、コマンドが実行できませんでした

【パラメータの意味】

%01:"shutdown", "no-shutdown"

%02:インタフェース名

【アクション】

しばらく待ってから再度実行してください

【メッセージ】

%01 interface does not exist: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

指定したインタフェースが存在しません

【パラメータの意味】

%01:"shutdown", "no-shutdown"

%02:インタフェース名

【アクション】

インタフェースを確認してください。

【メッセージ】

socket error : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:エラー内容

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

connect error : %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信の connect に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to receive message: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信のメッセージ受信に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to send message: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信のメッセージ送信に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラー内容
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.38 inetd

【メッセージ】

accept (for ftp): Software caused connection abort

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

クライアントからの接続中にクライアントとの通信が切れました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

accept (for telnet): Software caused connection abort

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

クライアントからの接続中にクライアントとの通信が切れました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%01/%02 failing (looping), service terminated

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

1分間の接続限界を超えたため、サービスを終了しました。

【パラメータの意味】

%01:サービス
%02:プロトコル

【アクション】
装置を含むネットワーク環境を確認してください。
サービスは 10 分後に再開します。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%01/%02: %03: No such user

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
ユーザ情報を取得できませんでした。

【パラメータの意味】
%01:サービス
%02:プロトコル
%03:ユーザ名

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01/%02: %03: No such group

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
ユーザグループ情報を取得できませんでした。

【パラメータの意味】
%01:サービス
%02:プロトコル
%03:ユーザグループ名

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: can't set gid %02: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

プロセスの実行グループ ID の変更に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:サービス

%02:グループ ID

%03:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: can't set uid %02: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

プロセスの実行ユーザ ID の変更に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:サービス

%02:ユーザ ID

%03:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

cannot execute %01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

サーバの起動に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:起動するサーバプログラム
%02:エラーメッセージ

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
strdup: %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
文字列を複製に失敗しました。

【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
dupmem: %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
メモリの確保に失敗しました。

【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01/%02: socket: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】

ソケットの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:サービス

%02:プロトコル

%03:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

setsockopt (%01): %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ソケットのオプション設定に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:オプション名

%02:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 %02/%03: bind: %04

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:ノード

%02:サービス

%03:プロトコル

%04:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01/%02: bind: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ソケットのバインドに失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:サービス
%02:プロトコル
%03:エラーメッセージ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Out of memory.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01: Unknown protocol
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
プロトコル番号の取得に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:プロトコル

【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　%01 %02/%03: getaddrinfo: %04
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　アドレス情報の取得に失敗しました。
【パラメータの意味】
　%01:ノード
　%02:サービス
　%03:プロトコル
　%04:エラーメッセージ
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　%01/%02: getaddrinfo: %03
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　アドレス情報の取得に失敗しました。
【パラメータの意味】
　%01:サービス
　%02:プロトコル
　%03:エラーメッセージ
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　malloc: %01
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの確保に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01 エラーメッセージ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: not enough fields
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コンフィグの解析に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:コンフィグファイル名
%02:行数
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: bad socket type
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コンフィグの解析に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:コンフィグファイル名
%02:行数
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: %03: IPv6 support isn't enabled

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:コンフィグファイル名

%02:行数

%03:プロトコル

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: bad wait type

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:コンフィグファイル名

%02:行数

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: invalid number (%03)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:コンフィグファイル名

%02:行数
%03:番号

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: bad protocol for tcpmux service %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメータの意味】
%01:コンフィグファイル名
%02:行数
%03:サービス

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: bad socket type for tcpmux service %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメータの意味】
%01:コンフィグファイル名
%02:行数
%03:サービス

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:%02: internal service %03 unknown

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:コンフィグファイル名

%02:行数

%03:サービス

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:%02: Out of memory.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:コンフィグファイル名

%02:行数

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

コンフィグファイルのオープンに失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:コンフィグファイル名

%02:メッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01/%02: No such user '%03', service ignored
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ユーザ情報を取得できませんでした。
【パラメータの意味】
%01:サービス
%02:プロトコル
%03:ユーザ名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01/%02: No such group '%03', service ignored
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ユーザグループ情報を取得できませんでした。
【パラメータの意味】
%01:サービス
%02:プロトコル
%03:ユーザグループ名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
INTERNAL ERROR: could not find tcpmux built-in
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
内部提供サービスに tcpmux が見つかりませんでした。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
inserting default tcpmux entry
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部提供サービスに tcpmux を追加しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
getsockname(): %01
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ソケットの名前取得に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setenv (%01): %02
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

環境変数の登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:環境変数名

%02:エラーメッセージ

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

getnameinfo: %01

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アドレスから名前への変換に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%01: Unable to enter daemon mode, %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

デーモン化に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:プログラム

%02:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

can't open %01: %02

【プライオリティ】
LOG_CRIT(2)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
PID ファイルのオープン失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:ファイル名
%02: エラーメッセージ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
select: %01
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
select() でエラーしました。
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
accept (for %01): %02
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
accept() でエラーしました。
【パラメータの意味】
%01:サービス
%02:エラーメッセージ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fork: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
fork() でエラーしました。
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
The server has exceeded the maximum number of allowed connections. repeated %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
最大接続数を超えて接続がありました。
【パラメータの意味】
%01:前回表示後からのメッセージ個数
【アクション】
環境を確認し、設定の見直しを実施してください。

【メッセージ】
Login failed; too many active sessions (%01 maximum). repeated %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ログインできる最大セッション数を超えました
【パラメータの意味】
%01:最大セッション数
%02:前回表示後からのメッセージ個数

【アクション】
装置はそのままご使用ください。

1.39 isakmp_ap

【メッセージ】
crypto map %01 is invalid M: %02 R: %03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定で crypto map が無効になった場合
【パラメータの意味】
%01=無効となった crypto map 名
%02=設定エラーとなったモード名
%03=設定エラーとなった理由
No multiple selectors allowed in IKEv1 IKEv1 において crypto ipsec selector に複数セレクタを設定した場合
Mixed IP address families are not supported crypto ipsec selector に設定された src と dst の IP バージョンが統一されていない場合
Invalid match address name match address で指定された crypto ipsec selector が見つからなかった場合
match address not set match address の設定が必須である場合に match address が設定されていなかった場合
src or dst does not exist src または dst の設定数が 0 個であった場合
Pre-shared key exist RSA 認証方式の設定に Pre-shared key の設定が混在している場合
ESP NULL-NULL is forbidden by RFC 4301. transform に esp-null と esp-hash-none の二つが設定された場合
client authentication type mismatch 拡張認証方法の指定が不正の場合
set ipsec-tunnel index is duplicated IPsec MIB 用の index 値が重複している場合
Mode doesn't exist 指定したモードの設定が無い場合
aes-xcbc cannot be used in IKEv1. IKEv1 において ISAKMP-SA のハッシュアルゴリズムに aes-xcbc を指定した場合
tunnel mode ipsec map is duplicated tunnel mode ipsec map 指定が重複している場

合

match address is duplicated match address 指定が重複している場合

match address is not specified match address 指定が無い場合

ikev2 must set match address ikev2 において match address 指定が無い場合

Invalid fvrf name 存在しない VRF を指定した場合

Invalid vrf-icmp name 存在しない VRF を指定した場合

Invalid vrf name 存在しない VRF を指定した場合

Invalid keysize AES 鍵長指定に間違いがある場合

Invalid ipsec-policy 指定された ipsec policy が存在しない場合

Invalid isakmp-policy 指定された isakmp policy が存在しない場合

accounting list is not configured 指定されたアカウント方式が存在しない場合

authorization list is not configured 指定された許可方式が存在しない場合

Invalid keyring 指定されたキーリングが存在しない場合

Pre-shared key dose not exist Pre-shared key が定義されていない場合

peer/local address version mismatch 宛先/送信元アドレスバージョン不一致の場合

No isakmp-profile isakmp profile が指定されていない場合

Invalid isakmp-profile 指定された isakmp profile が存在しない場合

Invalid client authentication list 指定された拡張認証方式が存在しない場合

local/remote-address-icmp version mismatch icmp 宛先/送信元アドレスバージョン不一致の場合

Post fragment cannot be used with DF=1 DFbit 有効で Post fragment が指定された場合

group-security-policy is not supported for ikev1 IKEv1 においてマルチポイント SA ポリシーを設定した場合

CP Set/Ack is not supported IKEv2 の設定で client configuration address initiate [client-mode]が設定された場合

Mode-cfg/CP Server can't use Xauth/EAP-client client configuration address {initiate|respond}の設定が有り、且つ client authentication my-name(拡張認証 client 側の設定)が有る場合

Mode-cfg/CP Client can't use Xauth/EAP-server client configuration address {initiate|respond} [client-mode]の設定が有り、且つ client authentication list(拡張認証 server 側の設定)が有る場合

Mode-cfg/CP Server/Client is mixed client configuration address {initiate|respond} [client-mode]の設定が有り、且つ isakmp authorization list が有る場合

Mode-cfg/CP Client must set peer client configuration address {initiate|respond} [client-mode]の設定が有り、且つ set peer が無い場合

configuration group <ISAKMP グループポリシー名> is not configured 指定した ISAKMP グループポリシー名の設定が存在しない

group <認証グループ名> is not configured 指定した認証グループ名の設定が存在しない

pool <pool 名> is not configured 指定したプール名の設定が存在しない

IPv6 pool is not supported IKEv2 の設定で IPv6 のプールを指定している

always-up must be with set peer set peer 無し、且つ always-up 有りの場合

always-up must be without set negotiation mode responder-only set negotiation mode responder-only 有り、且つ always-up 有りの場合

Link-local peer configured set peer に IPv6 の link-local address が指定されている場合

ESN must be without hash-none esn 設定が有効で、認証アルゴリズムとして単独で esp-hash-none が指定されている場合

src or dst must not be link-local address src もしくは dst に IPv6 の link-local address が指定されている場合

accounting group <認証グループ名> is not configured 指定した認証グループ名の設定が存在しない

bridge-group cannot be used in ipsec bridge-group の設定が有る場合

switchport cannot be used in ipsec switchport の設定が有る場合

set peer domain name is too long ピアドメイン名と crypto ip domain-name で指定されるドメイン名の合計文字数が 254 文字を超える場合

mode transport is not supported for IKEv2 mode transport が設定されていて、且つ ike-version で 2 が設定されている場合

mode transport is not supported for static crypto map mode transport が設定されていて、且つ Statis SPD が設定されている場合

mode transport is not supported for access-list mode transport が設定されていて、且つ match address が設定されている場合

mode transport is not supported for client configuration address mode transport が設定されていて、且つ client configuration address(アドレス払い出し機能)が設定されている場合

vrf must be the same as fvrf in transport mode mode transport が設定されていて、且つ fvrf の設定と vrf の設定が合っていない

mode transport must be set ip fragment post mode transport が設定されていて、且つ set ip fragment post が設定されていない場合

mode transport is not supported for ESN mode transport が設定されていて、且つ ESN が設定されている場合

Invalid spi mask hex. 誤った spi マスク値を指定した場合

MPSA Server/Client is mixed MPSA サーバの設定(set group-security-policy)と MPSA クライアントの設定(group-security client)が混在している場合

fvrf is not supported for MPSA Client MPSA クライアントの設定(group-security client)と fvrf 設定が混在している場合

MPSA tunnel is not configured MPSA クライアントの設定(group-security client)がされているが、crypto group-security map で指定されていない場合

MPSA tunnel is duplicated crypto group-security map 指定が重複している場合

tunnel mode ipsec is invalid tunnel mode ipsec 指定なしで、 crypto group-security map の指定がされている場合

group-security client is not configured MPSA クライアントの設定(group-security client)がされていないが、crypto group-security map で指定されている場合

group-security client is not supported for ikev1 IKEv1 において MPSA クライアントの設定(group-security client)をした場合

eap-identity is only supported for tls, mschapv2, and peap-mschapv2 client authentication type eap-tls/eap-mschapv2/peap-mschapv2 以外が設定されている場合、または拡張認証が設定されていない場合

Xauth/Mode-cfg skip option must set both client authentication list 設定と client configuration address 設定とで skip オプションの有無が異なる場合

tunnel vrf name mismatch crypto map で指定された vrf 名と、tunnel interface で指定された vrf 名が異なる場合

Failed to decrypt local-key ローカルキーの復号化に失敗した

Failed to decrypt client authentication password クライアント認証パスワードの復号化に失敗した

udp-encapsulation-force is not supported for ikev1 IKEv1 において udp-encapsulation-force を設定した場合

Invalid track IPsec HA の TCP コネクション設定が有効でない状態で track 設定をしている。

local-address must not be link-local address local-address に IPv6 の link-local address が指定されている場合

local-address vrrp must be set with track local-address に仮想アドレス指定をしているが、track 設定が無い場合

dont-route cannot be combined with set nexthop dont-route と set nexthop を併用している場合

tunnel mode is invalid for tunnel-route tunnel-route 機能を利用する際、next interface に指定された tunne interface の tunnel mode に pppoe/modem/ipinip 以外が設定されている場合

interface is invalid for tunnel-route tunnel-route 機能を利用する際、interface tunnel に指定された interface が存在しなかった場合

different form interface vrf tunnel-route 機能を利用する際、interface tunnel に指定された interface の vrf と fvrf が一致しなかった場合

tunnel-route of dhcp interface is not supported for vrf tunnel-route 機能を利用する際、interface dhcp と fvrf が設定されている場合

tunnel-route is not supported for ikev2 tunnel-route 機能を利用する際、IKEv2 が設定されている場合

Mixed protocol numbers are not supported crypto ipsec selector に設定された src と dst のプロトコル番号が統一されていない場合

eap-only is not supported for pre-shared key ISAKMP ポリシー設定モードでデジタル署名方式(authentication rsa-sig/signature)が設定されていない場合

eap-only is only supported for mutual authentication 相互認証を行う拡張認証(client authentication type eap-tls/eap-aka/eap-sim)以外が設定されている場合、または拡張認証が設定されていない場合

aes-gcm cannot be used in IKEv1. ike-version 1 且つ encryption に aes-gcm を設定した場合

【アクション】

設定を見直してください

【メッセージ】

startup-import success file: %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

起動時の証明書・鍵ペアインポート処理に成功したとき

【パラメータの意味】

%01=インポートに成功したファイル名

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

startup-import fail file: %01 R: %02 %03 %04 %05

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

起動時の証明書・鍵ペアインポート処理に失敗したとき

【パラメータの意味】

%01=インポートに失敗したファイル名

%02=インポートに失敗した理由

%03=インポートに失敗した証明書・鍵ペアの種類

%04=インポートに失敗した証明書・鍵ペアの名前

%05=CA 証明書のインデックス番号

Certificate already exists	ユーザ証明書の内容が重複していた場合
CA certificate already exists	CA 証明書の内容が重複していた場合
Cert-name already exists	ユーザ証明書の名前が重複していた場合
CA-name already exists	CA 証明書の名前が重複していた場合
Key-label already exists	鍵ペアの名前が重複していた場合
Can't import, Max files.	証明書・鍵ペアの登録上限数を超えた場合
File not found	指定したファイルが見つからなかった場合
File extract failed	インポートファイルの展開に失敗した場合
Could not allocate memory	メモリ確保に失敗した場合
Invalid file	不正な証明書・鍵ペアが含まれていた場合
Failed to read startup-import settings	インポート設定の読み込みに失敗した場合
Internal error	内部エラーによりインポートが失敗した場合
Input password error	不正なパスワードが入力された場合

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

startup-import all files already exist

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

起動時にインポートする証明書・鍵ペアがすでに装置内に存在していた場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

aaa group server radius %01 is invalid R: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定エラーで認証グループが無効になった場合

【パラメータの意味】
%01=無効となった認証グループ名
%02=設定エラーとなった理由
Invalid vrfname. 存在しない VRF を指定した場合
link-local cannot be used as server-private. ipv6 リンクローカルアドレスを指定した場合
The server-private ip type is not matched with primary. v4/v6 アドレスが両方指定されている場合
link-local cannot be used as source-address. ipv6 リンクローカルアドレスを指定した場合
The source-address ip type is not matched. ソースアドレスとサーバアドレスのバージョンが一致しない場合
【アクション】
設定を見直してください

【メッセージ】
crypto group-security policy %01 is invalid R: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定エラーでマルチポイント SA ポリシーが無効になった場合
【パラメータの意味】
%01=無効となったマルチポイント SA ポリシー名
%02=設定エラーとなった理由
【アクション】
設定を見直してください

【メッセージ】
server-private %01 is invalid M: aaa group server radius %02 R: servers reached the maximum.
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
radius サーバの設定が 17 以上ある場合
【パラメータの意味】

%01=無効となったラディウスサーバのアドレス
%02=無効となったラディウスサーバを設定した認証グループ名

【アクション】
設定を見直してください

【メッセージ】
%01 local pool %02 is invalid R: %03

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
設定エラーでアドレスプールが無効になった場合

【パラメータの意味】
%01=ip 又は ipv6
%02=無効となったアドレスプール名
%03=設定エラーとなった理由

address is duplicated	同一プール名でのレンジの重複
address range is invalid	アドレスレンジが不正(開始アドレス＞最終アドレス等)
address range exceeds max range	一つのアドレスレンジのアドレス数が 256*256*256 を超える
address family is mixed	同一プール名のレンジで IPv4 と IPv6 のレンジが混在
ipv6 link-local address exists	レンジに IPv6 の link-local address が存在する
address range exceeds max total range	払い出しアドレス数が装置全体で 4*256*256*256 を超える

【アクション】
設定を見直してください

【メッセージ】
l2tpv3 tunnel-profile %01 is invalid M: interface tunnel R: %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
interface tunnel モードのエラーで l2tpv3 tunnel-profile が無効になった場合

【パラメータの意味】
%01=無効となった l2tpv3 tunnel-profile 名

%02=設定エラーとなった理由

Invalid tunnel protection "Invalid VPN selector" tunnel protection にて指定した crypto map 名を指定した interface tunnel が見つからなかった，もしくは指定した interface tunnel が見つからなかった場合

Invalid tunnel protection "map belongs to more than one tunnel" tunnel protection にて指定した crypto map が複数の tunnel interface で設定されていた場合

【アクション】

設置環境及び、設定を見直してください。

【メッセージ】

l2tpv3 tunnel-profile %01 is invalid M: l2tpv3 pseudowire R: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

l2tpv3 pseudowire モードのエラーで l2tpv3 tunnel-profile が無効になった場合

【パラメータの意味】

%01=無効となった l2tpv3 tunnel-profile 名

%02=設定エラーとなった理由

Invalid tunnel protection "always-up cannot be used in protection map " tunnel protection にて crypto map を指定した l2tpv3 tunnel-profile と紐付く l2tpv3 pseudowire 設定モードで always-up 設定がされていた場合

【アクション】

設定を見直してください

【メッセージ】

l2tpv3 pseudowire %01 is invalid M: l2tpv3 tunnel-profile %02 R: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

l2tpv3 tunnel-profile モードのエラーで l2tpv3 pseudowire が無効になった場合

【パラメータの意味】

%01=無効となった l2tpv3 pseudowire 名

%02=設定エラーとなった l2tpv3 tunnel-profile モード名

%03=設定エラーとなった理由

link-local cannot be used as source address tunnel source に IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

link-local cannot be used as destination address tunnel destination に IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

tunnel address version mismatch tunnel source と IP アドレスバージョン不一致の場合

hostname local is not configured hostname local が設定されていない

neither router-id local nor tunnel source is configured router-id local と tunnel source が両方設定されていない

IPv6 transport requires router-id local setting router-id local が設定されていなく、tunnel source が設定されているが、tunnel source が IPv6 を指定

Failed to decrypt digest password パスワードの復号化に失敗した

Invalid fvrf name 存在しない VRF を指定した場合

【アクション】

設定を見直してください

【メッセージ】

l2tpv3 pseudowire %01 is invalid M: l2tpv3 pseudowire R: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

l2tpv3 pseudowire モードのエラーで l2tpv3 pseudowire が無効になった場合

【パラメータの意味】

%01=無効となった l2tpv3 pseudowire 名

%02=設定エラーとなった理由

set profile is not configured set profile が設定されていない

set profile <プロファイル名> is not exist set profile の参照先(プロファイル名)が設定されていない

remote-end-id is not configured remote-end-id が設定されていない

【アクション】

設定を見直してください

【メッセージ】

l2tpv3 pseudowire %01 is invalid M: interface tunnel R: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
interface tunnel モードのエラーで l2tpv3 pseudowire が無効になった場合
【パラメータの意味】
%01=無効となった l2tpv3 pseudowire 名
%02=設定エラーとなった理由
Mode doesn't exist interface tunnel から tunnel mode l2tpv3 pseudowire 設定による指定が無い場合
tunnel mode l2tpv3 pseudowire is duplicated tunnel mode l2tpv3 pseudowire 指定が重複している場合
neither bridge-group nor switchport is configured bridge-group と switchport がどちらも設定されていない場合
both bridge-group and switchport is configured bridge-group と switchport がどちらも設定されている場合
Passthrough interface does not exist switchport passthrough で指定したインタフェース名として存在しないインタフェースを指定した場合
Specification of passthrough tunnel cannot be used for tunnel except L2TPv3/EtherIP
switchport passthrough のインタフェース名として tunnel を指定する場合、指定先 tunnel の種別が L2TPv3/EtherIP ではない場合
【アクション】
設定を見直してください

【メッセージ】
crypto ip name-server %01 is invalid R: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定エラーで DNS サーバが無効になった場合
【パラメータの意味】
%01=無効となった DNS サーバの IP アドレス
%02=設定エラーとなった理由
link-local cannot be used as dns server ipv6 link-local address(先頭が 0xfe80)が指定されている
dns server reached the maximum crypto ip name-server が 4 つ以上設定されている

【アクション】
設定を見直してください

【メッセージ】
ether-ip tunnel-profile %01 is invalid M: interface tunnel R: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
interface tunnel モードのエラーで ether-ip tunnel-profile が無効になった場合
【パラメータの意味】
%01=無効となった ether-ip tunnel-profile 名
%02=設定エラーとなった理由
Mode doesn't exist interface tunnel から tunnel mode ether-ip tunnel-profile 設定による指定が無い場合
tunnel mode ether-ip tunnel-profile is duplicated tunnel mode ether-ip tunnel-profile 指定が重複している場合
neither bridge-group nor switchport is configured bridge-group と switchport がどちらも設定されていない場合
both bridge-group and switchport is configured bridge-group と switchport がどちらも設定されている場合
Passthrough interface does not exist switchport passthrough で指定したインタフェース名として存在しないインタフェースを指定した場合
Specification of passthrough tunnel cannot be used for tunnel except L2TPv3/EtherIP
switchport passthrough のインタフェース名として tunnel を指定する場合、指定先 tunnel の種別が L2TPv3/EtherIP ではない場合
link-local cannot be used as source address tunnel source に IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合
link-local cannot be used as destination address tunnel destination に IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合
tunnel address version mismatch tunnel source と IP アドレスバージョン不一致の場合
Invalid tunnel protection "Invalid tunnel interface" tunnel protection 設定がされた ether-ip tunnel-profile が紐付く interface tunnel が無い場合
【アクション】
設定を見直してください

【メッセージ】

crypto group-security map %01 is invalid M: interface tunnel %02 R: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定エラーで crypto group-security map が無効になった場合

【パラメータの意味】

%01=無効となった crypto group-security map 名

%02=無効となった crypto group-security map 名が設定された tunnel 番号

%03=設定エラーとなった理由

too many crypto group-security map crypto group-security map が 6 つ以上設定されている場合

【アクション】

設定を見直してください

【メッセージ】

l2tpv2 tunnel-profile %01 is invalid M: l2tpv2 tunnel-profile R: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

l2tpv2 tunnel-profile モードのエラーで l2tpv2 tunnel-profile が無効になった場合

【パラメータの意味】

%01=無効となった l2tpv2 tunnel-profile 名

%02=設定エラーとなった理由

Invalid tunnel protection VPN セレクタの参照先が無効の場合

Failed to decrypt l2tpv2-tunnel password パスワードの復号化に失敗した

【アクション】

設定を見直してください

【メッセージ】

username %01 password is invalid M: aaa local group %02 R: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

認証グループのパスワード設定が無効になった場合

【パラメータの意味】

%01=無効となったユーザー名

%02=グループ名

%03=設定エラーとなった理由

Failed to decrypt password パスワードの復号化に失敗した

【アクション】

設定を見直してください

【メッセージ】

pre-shared key %01 is invalid M: crypto keyring %02 R: %03

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

キーリングの Pre-shared key 設定が無効になった場合

【パラメータの意味】

%01=無効となった remote ID

%02=キーリング名

%03=設定エラーとなった理由

Failed to decrypt pre-shared key Pre-shared key の復号化に失敗した

【アクション】

設定を見直してください

【メッセージ】

ip nat is invalid M: interface tunnel %01 R: this tunnel must specify map

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ip nat の設定を、crypto map を指定していない IPsec の tunnel インタフェースで行っている場合、ip nat 設定は無効になります

【パラメータの意味】

%01=インタフェース番号

【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
crypto isakmp tunnel-route vrf %01 ip is invalid M: global R: Invalid vrf name
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
存在しない VRF 名を指定し、crypto isakmp tunnel-route vrf ip 設定が無効になった場合
【パラメータの意味】
%01=無効となった VRF 名
【アクション】
設定を見直してください

1.40 isisd

【メッセージ】
%ADJCHANGE: Adjacency (%m1) to %m2 (%m3) changed from %m4 to %m5, %m6
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
IS-IS adjacency 状態が変化した場合
【パラメータの意味】
%m1=IS-IS ネイバーのレベル（以下のいずれか）
L1, L2
%m2=IS-IS ネイバーのホスト名もしくは System-ID
%m3=IS-IS ネイバーのインターフェース名
%m4=変化前の IS-IS ネイバーのステート(以下のいずれか)
Up, Initializing, Down
%m5=変化後の IS-IS ネイバーのステート(以下のいずれか)
Up, Initializing, Down
%m6=ステートが変化した理由（以下のいずれか）

LAN Hello receive
Three-way Handshake completed
own SNPA found in LAN Neighbours TLV
own SNPA not found in LAN Neighbours TLV
Adjacency delete
holding time expired
unspecified

【アクション】
IS-IS adjacency が確立できない場合は設定を確認してください。

【メッセージ】
brdb send error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
brdb ソケットでのメッセージ送信に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
メーカーに問い合わせてください。

【メッセージ】
brdb recv error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
brdb ソケットでのメッセージ受信に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
メーカーに問い合わせてください。

1.41 kuwdt

【メッセージ】

kuwdt: Daemon is gone (timeout=%u)(name=%s)

【プライオリティ】

LOG_CRIT(2)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視しているデーモンに異常があった場合に表示される。

【パラメータの意味】

%u タイムアウト時間

%s デーモンの名前

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: Daemon is gone (timeout=%u)(pid=%s)

【プライオリティ】

LOG_CRIT(2)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視しているデーモンに異常があった場合に表示される。

【パラメータの意味】

%u タイムアウト時間

%d デーモンの PID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: The listener process is disabled - Panic

【プライオリティ】

LOG_CRIT(2)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視しているデーモンに異常があった場合に表示される。

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
kuwdt: No listener processes are registered - Panic
【プライオリティ】
LOG_CRIT(2)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
監視しているデーモンに異常があった場合に表示される。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
kuwdt: The listener process is gone (pid=%d) - Panic
【プライオリティ】
LOG_CRIT(2)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
監視しているデーモンに異常があった場合に表示される。
【パラメータの意味】
%d デーモンの PID
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
kuwdt: Sending signal %d1 to process %d2
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】

監視しているデーモンに異常があった場合に表示される。

【パラメータの意味】

%d1 シグナル番号

%d2 デーモンの PID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: No more room to register: name=%s

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗した場合に表示される。

【パラメータの意味】

%s デーモンの名前

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: Not found: pid=%d

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗した場合に表示される。

【パラメータの意味】

%d デーモンの PID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: No more room to register: pid=%d (name=%s)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗した場合に表示される。

【パラメータの意味】

%d デーモンの PID

%s デーモンの名前

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: Not appropriate: pid=%d

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗した場合に表示される。

【パラメータの意味】

%d デーモンの PID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: No more room to register: pid=%d

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗した場合に表示される。

【パラメータの意味】

%d デーモンの PID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: Not found: name=%s

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗した場合に表示される。

【パラメータの意味】

%s デーモンの名前

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

kuwdt: Unable to start a thread

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

kuwdt の初期化に失敗した場合に表示される。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.42 libipacl

【メッセージ】

fail to create semaphore

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

セマフォの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
fail to lock semaphore
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
セマフォのロックに失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
fail to unlock
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
セマフォのアンロックに失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
fail to get semaphore
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
セマフォの取得に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

1.43 lacpd

【メッセージ】
%PSTAT: Port status on Interface %01 is up
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ポートステータスが up に遷移したとき
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
【アクション】
意図しない up の場合は，%01 のパラメータより問題の回線を特定します.

【メッセージ】
%PSTAT: Port status on Interface %01 is standby(reason:%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ポートステータスが standby に遷移したとき
【パラメータの意味】
%01: インタフェース名
%02: ポートステータスが standby になった理由
“partner on standby”：パートナ側がスタンバイポートの場合
“over max-active-port”：スタンバイリンク機能によりスタンバイポートにした場合
“under min-active-port”：最小リンク機能により trunk-channel を down した場合
【アクション】
意図しない standby の場合は，%01 のパラメータより問題の回線を特定します．%02 のパラメータが上記以外の理由の場合は，リモート装置の設定を見直してください．ただし，ログを出力したタイミングでの理由を表すため，現時点での理由は show trunk-group で確認する必要があります.

【メッセージ】

%PSTAT: Port status on Interface %01 is down(reason:%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ポートステータスが down に遷移したとき

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

%02: ポートステータスが down になった理由

“partner individual”: パートナがトランクグループに参加していない場合

“loop inside LAG”: トランクグループ内でインタフェースがループ接続されている場合

“incompatible LAG-ID”: パートナのシステム ID, またはパートナのキーが他のメンバと一致しない場合

“no LACPDU received”: LACPDU を受信していない場合

“physical link is down”: 物理 I/F がリンクダウンした場合

“shutting down”: 物理ポート, または集約している trunk-channel に shutdown が設定されている場合

【アクション】

意図しない down の場合は, %01 のパラメータより問題の回線を特定します. %02 のパラメータが上記以外の理由の場合は, リモート装置の設定を見直してください. ただし, ログを出力したタイミングでの理由を表すため, 現時点での理由は show trunk-group で確認する必要があります.

1.44 license

【メッセージ】

License key installation failed. (%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ライセンスキーインストールコマンドでインストールに失敗した場合に出力されます。

【パラメータの意味】

%01: インストール失敗理由

Max licenses exceeded インストール可能な最大ライセンスキー数に達している
Bad format<input:%02:%03> 入力したライセンスキーデータ形式に誤りがある
%02：行番号
%03：カラム位置(":"で区切られる)
No such file or directory 指定されたファイルが見つからない
Bad device serial number TYPE が装置のシリアル番号と異なる
Duplicate 既に同じライセンスキーがインストールされている

【アクション】
ライセンスキーを確認し、インストールを再度実行してください。改善されない場合、情報を採取して弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
License key installation succeeded.
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライセンスキーインストールコマンドでインストールに成功した場合に出力されます。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままご使用ください。

1.45 liked

【メッセージ】
Transmission buffer full. It saves it in the queue.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
TIPC socket 送信バッファが利用不可状態のため、send メッセージをキューに退避。
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
　そのままお使いください。

【メッセージ】
　The transmission of the queue ended.
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　TIPC socket 送信バッファが利用可能状態となり、キューイングされた send メッセージの送信が完了しました。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　そのままお使いください。

【メッセージ】
　The maximum number of queues over (%d).
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　TIPC send キューエントリをオーバーしました。
【パラメータの意味】
　　キューエントリ数=%d
【アクション】
　report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　Memory alloc error
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　共有メモリーオブジェクトの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Send queue malloc error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
TIPC send キューエントリのメモリ確保に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Command length error(command-%x,len-%d)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
CP から要求されたコマンドがレングス不正のため、エラーとなりました。
【パラメータの意味】
コマンド=%x
レングス=%d
【アクション】
report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Command number error(command-%x)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
CP から要求されたコマンド番号不正のため、エラーとなりました。
【パラメータの意味】
コマンド=%x
【アクション】
report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Device open error(name=/dev/sectldev, errno=%d)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
デバイスオープンエラー。
【パラメータの意味】
errno=%d
【アクション】
report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Device ioctl error(name=/dev/sectldev, errno=%d)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
デバイス ioctl エラー。
【パラメータの意味】
errno=%d
【アクション】
report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TNL_ID range error(command-%08x, TNL_ID=%d)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

CP から要求されたコマンドの TNL_ID が範囲外のため、エラーとなりました。

【パラメータの意味】

コマンド=%x

レングス=%d

【アクション】

report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

NP tree entry reinstall start

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ahp が Warmboot モードで再起動したため、NP 経路エントリの再登録を開始しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

そのままお使いください。

【メッセージ】

NP tree entry reinstall finish

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

NP 経路エントリの再登録が終了しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

そのままお使いください。

【メッセージ】

L2TP TNL_ID range error(command-%08x, TNL_ID=%d)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

CP から要求されたコマンドの TNL_ID が範囲外のため、エラーとなりました。

【パラメータの意味】

コマンド=%x

レングス=%d

【アクション】

report-all 情報を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.46 linktrapd

【メッセージ】

Attached Shared Memory failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

linktrapd 起動時に共有メモリの初期化に失敗し linktrapd が再起動しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

if_table_init error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

linnktrapd 起動時に I/F 情報の初期化に失敗し linktrapd が再起動しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bd_spec_chassis error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
筐体種別の取得に失敗し linktrapd が再起動しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
ifd socket open error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
link up/down 通知受信用ソケットの open に失敗し linktrapd が再起動しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bind error, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
link up/down 通知受信用ソケットの bind に失敗し linktrapd が再起動しました。
【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

smux_connect error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux の接続に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

socket open error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

socket のオープンに失敗し linktrapd が再起動しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fcntl O_NONBLOCK error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

fcontl()に失敗し linktrapd が再起動しました。

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
if_table_init sysctl error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
I/F 情報テーブルの初期化時に、sysctl()に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
if_table_init malloc error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
I/F 情報テーブルの初期化時に、情報取得用のメモリ確保に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
can't get ifindex if_name=%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

I/F 情報テーブルの初期化時に、情報取得する I/F 名から ifindex への変換に失敗した。

【パラメータの意味】

%01:変換に失敗した interface 名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

interface freeque empty error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

"I/F 情報として管理可能なメモリ取得に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

if_updown_check function read error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

I/F 状態変化時に通知される情報の読み出しに失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

can't get ifindex ifname=%01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

I/F 状態変化時に通知される I/F 名から ifindex への変換に失敗した。

【パラメータの意味】

%01:変換に失敗した interface 名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

trap freeque empty error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

"LINK-Trap 送信用のメモリ取得に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol on Interface %01, changed state to up

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Interface %01 表示される I/F 状態が DOWN から UP へ変化しました。

【パラメータの意味】

%01:I/F 状態が変化した interface 名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

%%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol ipv6 on Interface %01, changed state to up

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Interface %01 で行事される I/F の IPv6 状態 DOWN から UP へ変化しました。

【パラメータの意味】

%01:I/F の IPv6 状態が変化した interface 名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

%%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol on Interface %01, changed state to down

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Interface %01 で表示される I/F 状態が UP から DOWN へ変化しました。

【パラメータの意味】

%01:I/F 状態が変化した interface 名

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

%%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol ipv6 on Interface %01, changed state to down

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Interface %01 で表示される I/F の IPv6 状態が UP から DOWN へ変化しました。

【パラメータの意味】

%01:I/F の IPv6 状態が変化した interface 名

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Unknown interface type(%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
Link-Trap 対象外とならない不明な interface からの状態変化通知を受信しました。
【パラメータの意味】
%01:受信した I/F 種別
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
event send error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
linktrapd から emd に対する event 発生通知が送信エラーとなりました。
【パラメータの意味】
%01:送信エラーとなった event の interface 名
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
open socket error socket%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
socket の open に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラーとなったソケット
【アクション】
装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
send:%01
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メッセージの送信に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:エラーの原因

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Error connect

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

socket の connect に失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

"unexpected interface type : %01 = %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

設定された interface が予期しないものであったためエラーしました。

【パラメータの意味】

%01:エラーとなった interface

%02:エラーとなった interface の type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

cannot make if event file

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

linktrapd が emd に通知する interface event の収集に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置状態を確認し問題が無ければ、そのままご使用ください。

1.47 linux

【メッセージ】

```
Booting Linux on physical CPU 0x0000000000 [0x410fd490]
Linux version 6.1.67 (oe-user@oe-host) (aarch64-marvell-linux-gnu-gcc (Marvell Inc. Version: Marvell GCC12 build 12006.0) 12.2.0, GNU ld (Marvell Inc. Version: Marvell GCC12 build 12006.0) 2.38.50) #1 SMP PREEMPT Thu Oct  2 10:47:51 UTC 2025
Machine model: Marvell CN106XX board
earlycon: pl11 at MMIO 0x000087e028000000 (options '')
printk: bootconsole [pl11] enabled
efi: UEFI not found.
NUMA: NODE_DATA [mem 0x5f671b340-0x5f671d53f]
Zone ranges:
DMA      [mem 0x0000000004000000-0x00000000ffffffff]
DMA32    empty
Normal   [mem 0x0000000100000000-0x00000005f6aeffff]
Movable zone start for each node
Early memory node ranges
node   0: [mem 0x0000000004000000-0x000000002005ffff]
node   0: [mem 0x0000000020060000-0x000000002006ffff]
node   0: [mem 0x0000000020080000-0x00000005f6aeffff]
Initmem setup node 0 [mem 0x0000000004000000-0x00000005f6aeffff]
On node 0, zone DMA: 1024 pages in unavailable ranges
On node 0, zone DMA: 1 pages in unavailable ranges
```

On node 0, zone Normal: 2385 pages in unavailable ranges
psci: probing for conduit method from DT.
psci: PSCIv1.1 detected in firmware.
psci: Using standard PSCI v0.2 function IDs
psci: Trusted OS resident on physical CPU 0x0
psci: SMC Calling Convention v1.2
percpu: Embedded 10 pages/cpu s572520 r8192 d74648 u655360
pcpu-alloc: s572520 r8192 d74648 u655360 alloc=10*65536
pcpu-alloc: [0] 00 [0] 01 [0] 02 [0] 03 [0] 04 [0] 05 [0] 06 [0] 07
pcpu-alloc: [0] 08 [0] 09 [0] 10 [0] 11 [0] 12 [0] 13 [0] 14 [0] 15
pcpu-alloc: [0] 16 [0] 17 [0] 18 [0] 19 [0] 20 [0] 21 [0] 22 [0] 23
Detected PIPT I-cache on CPU0
CPU features: detected: Address authentication (architected QARMA5 algorithm)
CPU features: detected: GIC system register CPU interface
CPU features: detected: Virtualization Host Extensions
CPU features: detected: Hardware dirty bit management
CPU features: detected: Spectre-v4
CPU features: detected: Spectre-BHB
CPU features: kernel page table isolation disabled by kernel configuration
CPU features: detected: ARM erratum 2067961 or 2054223
CPU features: detected: Marvell errata 38891
CPU features: detected: ARM erratum SSBS2
alternatives: applying boot alternatives
Fallback order for Node 0: 0
Built 1 zonelists, mobility grouping on. Total pages: 389425
Policy zone: Normal
Kernel command line: console=ttyAMA0,9600n8 earlycon=pl011,0x87e028000000 maxcpus=24 rootwait root=/dev/mmcblk0p3 quiet rw coherent_pool=16M irqaffinity=0 isolcpus=1-20 nohz_full=1-20 rcu_nocbs=1-20
Housekeeping: nohz unsupported. Build with CONFIG_NO_HZ_FULL
Unknown kernel command line parameters "nohz_full=1-20", will be passed to user space.
random: crng init done
printk: log_buf_len individual max cpu contribution: 4096 bytes
printk: log_buf_len total cpu_extra contributions: 94208 bytes
printk: log_buf_len min size: 131072 bytes
printk: log_buf_len: 262144 bytes
printk: early log buf free: 127672(97%)
Dentry cache hash table entries: 4194304 (order: 9, 33554432 bytes, linear)

Inode-cache hash table entries: 2097152 (order: 8, 16777216 bytes, linear)
mem auto-init: stack:all(zero), heap alloc:off, heap free:off
software IO TLB: area num 32.
software IO TLB: mapped [mem 0x00000000fbff0000-0x00000000ffff0000] (64MB)
Memory: 24743232K/24947584K available (23360K kernel code, 3954K rwdata, 8320K rodata, 6400K init, 1078K bss, 204352K reserved, 0K cma-reserved)
SLUB: HWalign=64, Order=0-3, MinObjects=0, CPUs=24, Nodes=1
trace event string verifier disabled
rcu: Preemptible hierarchical RCU implementation.
rcu: RCU event tracing is enabled.
rcu: RCU restricting CPUs from NR_CPUS=64 to nr_cpu_ids=24.
Trampoline variant of Tasks RCU enabled.
Tracing variant of Tasks RCU enabled.
rcu: RCU calculated value of scheduler-enlistment delay is 100 jiffies.
rcu: Adjusting geometry for rcu_fanout_leaf=16, nr_cpu_ids=24
NR_IRQS: 64, nr_irqs: 64, preallocated irqs: 0
GICv3: GIC: Using split EOI/Deactivate mode
GICv3: 512 SPIs implemented
GICv3: 0 Extended SPIs implemented
Root IRQ handler: gic_handle_irq
GICv3: GICv3 features: 48 PPIs, DirectLPI
GICv3: GICv4 features: DirectLPI RVPEID Valid+Dirty
GICv3: CPU0: found redistributor 0 region 0:0x0000801000300000
ITS [mem 0x801000040000-0x80100007ffff]
ITS@0x0000801000040000: Single VMOVP capable
ITS@0x0000801000040000: Using GICv4.1 mode 00000000 00000001
ITS@0x0000801000040000: allocated 8192 Devices @1003b0000 (indirect, esz 8, psz 64K, shr 1)
ITS@0x0000801000040000: allocated 32768 Interrupt Collections @1003c0000 (flat, esz 2, psz 64K, shr 1)
ITS@0x0000801000040000: allocated 8192 Virtual CPUs @1003d0000 (flat, esz 8, psz 64K, shr 1)
GICv3: using LPI property table @0x00000001003e0000
ITS: Using DirectLPI for VPE invalidation
ITS: Enabling GICv4 support
GICv3: CPU0: using allocated LPI pending table @0x00000001003f0000
rcu: Offload RCU callbacks from CPUs: 1-20.
rcu: srcu_init: Setting srcu_struct sizes based on contention.
arch_timer: cp15 timer(s) running at 1000.00MHz (phys).
clocksource: arch_sys_counter: mask: 0x1ffffffffffffff max_cycles: 0x1cd42e4dffb,

```
max_idle_ns: 881590591483 ns
    sched_clock: 61 bits at 1000MHz, resolution 1ns, wraps every 4398046511103ns
    Console: colour dummy device 80x25
    Calibrating delay loop (skipped), value calculated using timer frequency.. 2000.00 BogoMIPS
(lpj=1000000)
    pid_max: default: 32768 minimum: 301
    LSM: Security Framework initializing
    Mount-cache hash table entries: 65536 (order: 3, 524288 bytes, linear)
    Mountpoint-cache hash table entries: 65536 (order: 3, 524288 bytes, linear)
    cblist_init_generic: Setting adjustable number of callback queues.
    cblist_init_generic: Setting shift to 5 and lim to 1.
    cblist_init_generic: Setting adjustable number of callback queues.
    cblist_init_generic: Setting shift to 5 and lim to 1.
    rcu: Hierarchical SRCU implementation.
    rcu:  Max phase no-delay instances is 400.
    Platform MSI: gic-its@801000040000 domain created
    PCI/MSI: /interrupt-controller@801000000000/gic-its@801000040000 domain created
    EFI services will not be available.
    smp: Bringing up secondary CPUs ...
    Detected PIPT I-cache on CPU1
    GICv3: CPU1: found redistributor 10000 region 0:0x0000801000400000
    GICv3: CPU1: using allocated LPI pending table @0x0000000100400000
    CPU1: Booted secondary processor 0x0000010000 [0x410fd490]
    Detected PIPT I-cache on CPU2
    GICv3: CPU2: found redistributor 20000 region 0:0x00008010002c0000
    GICv3: CPU2: using allocated LPI pending table @0x0000000100410000
    CPU2: Booted secondary processor 0x0000020000 [0x410fd490]
    Detected PIPT I-cache on CPU3
    GICv3: CPU3: found redistributor 30000 region 0:0x00008010003c0000
    GICv3: CPU3: using allocated LPI pending table @0x0000000100420000
    CPU3: Booted secondary processor 0x0000030000 [0x410fd490]
    Detected PIPT I-cache on CPU4
    GICv3: CPU4: found redistributor 40000 region 0:0x0000801000200000
    GICv3: CPU4: using allocated LPI pending table @0x0000000100430000
    CPU4: Booted secondary processor 0x0000040000 [0x410fd490]
    Detected PIPT I-cache on CPU5
    GICv3: CPU5: found redistributor 50000 region 0:0x0000801000500000
    GICv3: CPU5: using allocated LPI pending table @0x0000000100440000
```

```
CPU5: Booted secondary processor 0x0000050000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU6
GICv3: CPU6: found redistributor 60000 region 0:0x00008010001c0000
GICv3: CPU6: using allocated LPI pending table @0x0000000100450000
CPU6: Booted secondary processor 0x0000060000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU7
GICv3: CPU7: found redistributor 70000 region 0:0x00008010004c0000
GICv3: CPU7: using allocated LPI pending table @0x0000000100460000
CPU7: Booted secondary processor 0x0000070000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU8
GICv3: CPU8: found redistributor 80000 region 0:0x0000801000340000
GICv3: CPU8: using allocated LPI pending table @0x0000000100470000
CPU8: Booted secondary processor 0x0000080000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU9
GICv3: CPU9: found redistributor 90000 region 0:0x0000801000440000
GICv3: CPU9: using allocated LPI pending table @0x0000000100480000
CPU9: Booted secondary processor 0x0000090000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU10
GICv3: CPU10: found redistributor a0000 region 0:0x0000801000280000
GICv3: CPU10: using allocated LPI pending table @0x0000000100490000
CPU10: Booted secondary processor 0x00000a0000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU11
GICv3: CPU11: found redistributor b0000 region 0:0x0000801000380000
GICv3: CPU11: using allocated LPI pending table @0x00000001004a0000
CPU11: Booted secondary processor 0x00000b0000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU12
GICv3: CPU12: found redistributor c0000 region 0:0x0000801000240000
GICv3: CPU12: using allocated LPI pending table @0x00000001004b0000
CPU12: Booted secondary processor 0x00000c0000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU13
GICv3: CPU13: found redistributor d0000 region 0:0x0000801000540000
GICv3: CPU13: using allocated LPI pending table @0x00000001004c0000
CPU13: Booted secondary processor 0x00000d0000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU14
GICv3: CPU14: found redistributor e0000 region 0:0x0000801000180000
GICv3: CPU14: using allocated LPI pending table @0x00000001004d0000
CPU14: Booted secondary processor 0x00000e0000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU15
```

```
GICv3: CPU15: found redistributor f0000 region 0:0x0000801000480000
GICv3: CPU15: using allocated LPI pending table @0x00000001004e0000
CPU15: Booted secondary processor 0x00000f0000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU16
GICv3: CPU16: found redistributor 100000 region 0:0x0000801000100000
GICv3: CPU16: using allocated LPI pending table @0x00000001004f0000
CPU16: Booted secondary processor 0x0000100000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU17
GICv3: CPU17: found redistributor 110000 region 0:0x0000801000600000
GICv3: CPU17: using allocated LPI pending table @0x0000000100500000
CPU17: Booted secondary processor 0x0000110000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU18
GICv3: CPU18: found redistributor 120000 region 0:0x00008010000c0000
GICv3: CPU18: using allocated LPI pending table @0x0000000100510000
CPU18: Booted secondary processor 0x0000120000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU19
GICv3: CPU19: found redistributor 130000 region 0:0x00008010005c0000
GICv3: CPU19: using allocated LPI pending table @0x0000000100520000
CPU19: Booted secondary processor 0x0000130000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU20
GICv3: CPU20: found redistributor 140000 region 0:0x0000801000140000
GICv3: CPU20: using allocated LPI pending table @0x0000000100530000
CPU20: Booted secondary processor 0x0000140000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU21
GICv3: CPU21: found redistributor 150000 region 0:0x0000801000640000
GICv3: CPU21: using allocated LPI pending table @0x0000000100540000
CPU21: Booted secondary processor 0x0000150000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU22
GICv3: CPU22: found redistributor 160000 region 0:0x0000801000080000
GICv3: CPU22: using allocated LPI pending table @0x0000000100550000
CPU22: Booted secondary processor 0x0000160000 [0x410fd490]
Detected PIPT I-cache on CPU23
GICv3: CPU23: found redistributor 170000 region 0:0x0000801000580000
GICv3: CPU23: using allocated LPI pending table @0x0000000100560000
CPU23: Booted secondary processor 0x0000170000 [0x410fd490]
smp: Brought up 1 node, 24 CPUs
SMP: Total of 24 processors activated.
CPU features: detected: Branch Target Identification
```

CPU features: detected: 32-bit EL0 Support
CPU features: detected: ARMv8.4 Translation Table Level
CPU features: detected: Instruction cache invalidation not required for I/D coherence
CPU features: detected: Data cache clean to the PoU not required for I/D coherence
CPU features: detected: Common not Private translations
CPU features: detected: CRC32 instructions
CPU features: detected: Data cache clean to Point of Deep Persistence
CPU features: detected: Data cache clean to Point of Persistence
CPU features: detected: Data independent timing control (DIT)
CPU features: detected: EOPD
CPU features: detected: Generic authentication (architected QARMA5 algorithm)
CPU features: detected: RCpc load-acquire (LDAPR)
CPU features: detected: LSE atomic instructions
CPU features: detected: Privileged Access Never
CPU features: detected: RAS Extension Support
CPU features: detected: Random Number Generator
CPU features: detected: Speculation barrier (SB)
CPU features: detected: Stage-2 Force Write-Back
CPU features: detected: TLB range maintenance instructions
CPU features: detected: Memory Partitioning And Monitoring
CPU features: detected: Speculative Store Bypassing Safe (SSBS)
CPU features: detected: Scalable Vector Extension
CPU features: detected CPU16: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU6: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU10: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU4: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU12: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU15: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU19: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU20: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU1: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU18: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU5: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU9: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU2: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU8: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU0: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU14: Activity Monitors Unit (AMU)

```
CPU features: detected CPU13: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU22: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU21: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU23: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU3: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU17: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU7: Activity Monitors Unit (AMU)
CPU features: detected CPU11: Activity Monitors Unit (AMU)
SVE: maximum available vector length 16 bytes per vector
SVE: default vector length 16 bytes per vector
CPU: All CPU(s) started at EL2
alternatives: applying system-wide alternatives
devtmpfs: initialized
clocksource: jiffies: mask: 0xffffffff max_cycles: 0xffffffff, max_idle_ns: 1911260446275000
ns
futex hash table entries: 8192 (order: 3, 524288 bytes, linear)
pinctrl core: initialized pinctrl subsystem
DMI not present or invalid.
NET: Registered PF_NETLINK/PF_ROUTE protocol family
DMA: preallocated 16384 KiB GFP_KERNEL pool for atomic allocations
DMA: preallocated 16384 KiB GFP_KERNEL|GFP_DMA pool for atomic allocations
DMA: preallocated 16384 KiB GFP_KERNEL|GFP_DMA32 pool for atomic allocations
audit: initializing netlink subsys (disabled)
audit: type=2000 audit(0.012:1): state=initialized audit_enabled=0 res=1
thermal_sys: Registered thermal governor 'step_wise'
cpuidle: using governor ladder
cpuidle: using governor menu
hw-breakpoint: found 6 breakpoint and 4 watchpoint registers.
ASID allocator initialised with 65536 entries
Serial: AMBA PL011 UART driver
printk: console [ramoops-1] enabled
pstore: Registered ramoops as persistent store backend
ramoops: using 0x1000000@0x5ff000000, ecc: 0
87e028000000.serial: ttyAMA0 at MMIO 0x87e028000000 (irq = 14, base_baud = 0) is a PL011 rev3
printk: console [ttyAMA0] enabled
printk: bootconsole [pl11] disabled
87e029000000.serial: ttyAMA1 at MMIO 0x87e029000000 (irq = 15, base_baud = 0) is a PL011 rev3
87e02a000000.serial: ttyAMA2 at MMIO 0x87e02a000000 (irq = 16, base_baud = 0) is a PL011 rev3
```

87e02b000000.serial: ttyAMA3 at MMIO 0x87e02b000000 (irq = 17, base_baud = 0) is a PL011 rev3
87e02c000000.serial: ttyAMA4 at MMIO 0x87e02c000000 (irq = 18, base_baud = 0) is a PL011 rev3
87e02d000000.serial: ttyAMA5 at MMIO 0x87e02d000000 (irq = 19, base_baud = 0) is a PL011 rev3
87e02e000000.serial: ttyAMA6 at MMIO 0x87e02e000000 (irq = 20, base_baud = 0) is a PL011 rev3
87e02f000000.serial: ttyAMA7 at MMIO 0x87e02f000000 (irq = 21, base_baud = 0) is a PL011 rev3
amba 87a004010000.etf0: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete0/out-ports/port/endpoint
amba 87a004110000.etf1: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete1/out-ports/port/endpoint
amba 87a004210000.etf2: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete2/out-ports/port/endpoint
amba 87a004310000.etf3: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete3/out-ports/port/endpoint
amba 87a004410000.etf4: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete4/out-ports/port/endpoint
amba 87a004510000.etf5: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete5/out-ports/port/endpoint
amba 87a004610000.etf6: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete6/out-ports/port/endpoint
amba 87a004710000.etf7: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete7/out-ports/port/endpoint
amba 87a004810000.etf8: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete8/out-ports/port/endpoint
amba 87a004910000.etf9: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete9/out-ports/port/endpoint
amba 87a004a10000.etf10: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete10/out-ports/port/endpoint
amba 87a004b10000.etf11: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete11/out-ports/port/endpoint
amba 87a004c10000.etf12: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete12/out-ports/port/endpoint
amba 87a004d10000.etf13: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete13/out-ports/port/endpoint
amba 87a004e10000.etf14: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete14/out-ports/port/endpoint
amba 87a004f10000.etf15: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete15/out-ports/port/endpoint
amba 87a005010000.etf16: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete16/out-ports/port/endpoint
amba 87a005110000.etf17: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete17/out-ports/port/endpoint
amba 87a005210000.etf18: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete18/out-ports/port/endpoint
amba 87a005310000.etf19: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete19/out-ports/port/endpoint
amba 87a005410000.etf20: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete20/out-ports/port/endpoint
amba 87a005510000.etf21: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete21/out-ports/port/endpoint
amba 87a005610000.etf22: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete22/out-ports/port/endpoint
amba 87a005710000.etf23: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/ete23/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/etf23@87a005710000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/etf22@87a005610000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/etf21@87a005510000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with /soc@0/etf20@87a005410000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with

/soc@0/etf19@87a005310000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf18@87a005210000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf17@87a005110000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf16@87a005010000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf15@87a004f10000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf14@87a004e10000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf13@87a004d10000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf12@87a004c10000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf11@87a004b10000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf10@87a004a10000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf9@87a004910000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf8@87a004810000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf7@87a004710000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf6@87a004610000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf5@87a004510000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf4@87a004410000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf3@87a004310000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf2@87a004210000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with
/soc@0/etf1@87a004110000/out-ports/port/endpoint
platform 0.soc:st_funnel: Fixed dependency cycle(s) with

```
/soc@0/etf0@87a004010000/out-ports/port/endpoint
    amba        87a100050000.sh_etf:        Fixed        dependency        cycle(s)        with
/soc@0/st_funnel/out-ports/port/endpoint
    amba        87a100060000.sh_etr:        Fixed        dependency        cycle(s)        with
/soc@0/sh_etf@87a100050000/out-ports/port/endpoint
    HugeTLB: registered 16.0 GiB page size, pre-allocated 0 pages
    HugeTLB: 0 KiB vmemmap can be freed for a 16.0 GiB page
    HugeTLB: registered 512 MiB page size, pre-allocated 0 pages
    HugeTLB: 0 KiB vmemmap can be freed for a 512 MiB page
    HugeTLB: registered 2.00 MiB page size, pre-allocated 0 pages
    HugeTLB: 0 KiB vmemmap can be freed for a 2.00 MiB page
    cryptd: max_cpu_qlen set to 1000
    raid6: neonx8   gen() 11390 MB/s
    raid6: neonx4   gen() 10968 MB/s
    raid6: neonx2   gen()  9632 MB/s
    raid6: neonx1   gen()  8343 MB/s
    raid6: int64x8  gen()  5484 MB/s
    raid6: int64x4  gen()  5460 MB/s
    raid6: int64x2  gen()  4921 MB/s
    raid6: int64x1  gen()  3960 MB/s
    raid6: using algorithm neonx8 gen() 11390 MB/s
    raid6: .... xor() 9093 MB/s, rmw enabled
    raid6: using neon recovery algorithm
    ACPI: Interpreter disabled.
    iommu: Default domain type: Translated
    iommu: DMA domain TLB invalidation policy: strict mode
    SCSI subsystem initialized
    libata version 3.00 loaded.
    usbcore: registered new interface driver usbfs
    usbcore: registered new interface driver hub
    usbcore: registered new device driver usb
    pps_core: LinuxPPS API ver. 1 registered
    pps_core: Software ver. 5.3.6 - Copyright 2005-2007 Rodolfo Giometti <giometti@linux.it>
    PTP clock support registered
    EDAC MC: Ver: 3.0.0
    EDAC DEBUG: edac_mc_sysfs_init: device mc created
    vgaarb: loaded
    clocksource: Switched to clocksource arch_sys_counter
```

```
VFS: Disk quotas dquot_6.6.0
VFS: Dquot-cache hash table entries: 8192 (order 0, 65536 bytes)
pnp: PnP ACPI: disabled
NET: Registered PF_INET protocol family
IP idents hash table entries: 262144 (order: 5, 2097152 bytes, linear)
tcp_listen_portaddr_hash hash table entries: 16384 (order: 2, 262144 bytes, linear)
Table-perturb hash table entries: 65536 (order: 2, 262144 bytes, linear)
TCP established hash table entries: 262144 (order: 5, 2097152 bytes, linear)
TCP bind hash table entries: 65536 (order: 5, 2097152 bytes, linear)
TCP: Hash tables configured (established 262144 bind 65536)
UDP hash table entries: 16384 (order: 3, 524288 bytes, linear)
UDP-Lite hash table entries: 16384 (order: 3, 524288 bytes, linear)
NET: Registered PF_UNIX/PF_LOCAL protocol family
RPC: Registered named UNIX socket transport module.
RPC: Registered udp transport module.
RPC: Registered tcp transport module.
RPC: Registered tcp NFSv4.1 backchannel transport module.
PCI: CLS 0 bytes, default 64
hw perfevents: enabled with armv8_pmuv3 PMU driver, 7 counters available
kvm [1]: IPA Size Limit: 48 bits
kvm [1]: GICv4 support disabled
kvm [1]: GICv3: no GICV resource entry
kvm [1]: disabling GICv2 emulation
kvm [1]: GIC system register CPU interface enabled
kvm [1]: vgic interrupt IRQ9
kvm [1]: VHE mode initialized successfully
Initialise system trusted keyrings
workingset: timestamp_bits=42 max_order=19 bucket_order=0
squashfs: version 4.0 (2009/01/31) Phillip Lougher
NFS: Registering the id_resolver key type
Key type id_resolver registered
Key type id_legacy registered
nfs4filelayout_init: NFSv4 File Layout Driver Registering...
nfs4flexfilelayout_init: NFSv4 Flexfile Layout Driver Registering...
jffs2: version 2.2. (NAND) ¥xc2¥xa9 2001-2006 Red Hat, Inc.
SGI XFS with security attributes, no debug enabled
9p: Installing v9fs 9p2000 file system support
NET: Registered PF_ALG protocol family
```

```
    xor: measuring software checksum speed
    8regs           : 18014 MB/sec
    32regs          : 17806 MB/sec
    arm64_neon      : 22763 MB/sec
    xor: using function: arm64_neon (22763 MB/sec)
    async_tx: api initialized (async)
    Key type asymmetric registered
    Asymmetric key parser 'x509' registered
    Block layer SCSI generic (bsg) driver version 0.4 loaded (major 245)
    io scheduler mq-deadline registered
    io scheduler kyber registered
    pci-host-generic 878000000000.pci: host bridge /soc@0/pci@878000000000 ranges:
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x802000000000..0x80f0008fffff -> 0x802000000000
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x828000000000..0x8281001fffff -> 0x828000000000
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x82c000000000..0x82c0001fffff -> 0x82c000000000
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x86d000000000..0x86d0000fffff -> 0x86d000000000
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x86e000000000..0x86e22fffffff -> 0x86e000000000
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x87e002000000..0x87e027ffffff -> 0x87e002000000
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x87e03c000000..0x87e0525fffff -> 0x87e03c000000
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x87e087000000..0x87e0fcffffff -> 0x87e087000000
    pci-host-generic 878000000000.pci:     MEM 0x87e100000000..0x87e10bffffff -> 0x87e100000000
    pci-host-generic 878000000000.pci: Memory resource size exceeds max for 32 bits
    pci-host-generic 878000000000.pci: Memory resource size exceeds max for 32 bits
    pci-host-generic 878000000000.pci: Memory resource size exceeds max for 32 bits
    pci-host-generic 878000000000.pci: ECAM at [mem 0x878000000000-0x87800fffffff] for [bus
00-ff]
    pci-host-generic 878000000000.pci: PCI host bridge to bus 0000:00
    pci_bus 0000:00: root bus resource [bus 00-ff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x802000000000-0x80f0008fffff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x828000000000-0x8281001fffff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x82c000000000-0x82c0001fffff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x86d000000000-0x86d0000fffff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x86e000000000-0x86e22fffffff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x87e002000000-0x87e027ffffff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x87e03c000000-0x87e0525fffff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x87e087000000-0x87e0fcffffff]
    pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x87e100000000-0x87e10bffffff]
    pci 0000:00:01.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
```

pci 0000:00:03.0: [177d:a062] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:03.0: BAR 0: [mem 0x830000000000-0x8300001fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:05.0: [177d:a017] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:05.0: BAR 0: [mem 0x802000000000-0x8020000fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:05.0: BAR 4: [mem 0x80200f000000-0x80200f0fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:08.0: [177d:a09e] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:08.0: BAR 0: [mem 0x807000000000-0x80700000ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:08.0: BAR 4: [mem 0x807000f00000-0x807000ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:0a.0: [177d:a09d] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:0a.0: BAR 0: [mem 0x87a400000000-0x87a47fffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:0a.0: BAR 4: [mem 0x87a480000000-0x87a4ffffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:0c.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0000:00:0d.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0000:00:0e.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0000:00:0f.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0000:00:10.0: [177d:a092] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:10.0: BAR 0: [mem 0x828000000000-0x82803fffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:10.0: BAR 4: [mem 0x828100000000-0x8281000fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:11.0: [177d:a00a] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:11.0: BAR 0: [mem 0x803000000000-0x80300000ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:11.0: BAR 4: [mem 0x803000f00000-0x803000ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:14.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0000:00:1a.0: [177d:a068] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:1a.0: BAR 0: [mem 0x86d000000000-0x86d0000fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:1c.0: [177d:a067] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:1c.0: BAR 0: [mem 0x82c000000000-0x82c0000fffff 64bit] (from Enhanced Allocation,

properties 0x0)
pci 0000:00:1c.0: BAR 4: [mem 0x82c000100000-0x82c0001fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:1d.0: [177d:a067] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:1d.0: BAR 0: [mem 0x82d000000000-0x82d0000fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:1d.0: BAR 4: [mem 0x82d000100000-0x82d0001fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:1e.0: [177d:a067] type 00 class 0x088000
pci 0000:00:1e.0: BAR 0: [mem 0x82e000000000-0x82e0000fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:00:1e.0: BAR 4: [mem 0x82e000100000-0x82e0001fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:00.0: [177d:a075] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:00.0: BAR 0: [mem 0x87e0fc000000-0x87e0fc03ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:00.0: BAR 4: [mem 0x87e0fcf00000-0x87e0fcffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:01.3: [177d:a02b] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:01.3: BAR 0: [mem 0x87e005000000-0x87e0050fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:01.7: [177d:a035] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:01.7: BAR 0: [mem 0x87e001000000-0x87e0010fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:01.7: BAR 2: [mem 0x800000000000-0x8000ffffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:01.7: BAR 4: [mem 0x87e001f00000-0x87e001ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0a.0: [177d:a094] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:0a.0: BAR 0: [mem 0x87e120000000-0x87e1200fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0a.0: BAR 4: [mem 0x87e120f00000-0x87e120ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0a.1: [177d:a094] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:0a.1: BAR 0: [mem 0x87e121000000-0x87e1210fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0a.1: BAR 4: [mem 0x87e121f00000-0x87e121ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0000:01:0a.2: [177d:a094] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:0a.2: BAR 0: [mem 0x87e122000000-0x87e1220fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0a.2: BAR 4: [mem 0x87e122f00000-0x87e122ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0c.0: [177d:a073] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:0c.0: BAR 0: [mem 0x87e010000000-0x87e0100fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0c.0: BAR 2: [mem 0x87e1bf000000-0x87e1bfffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0c.0: BAR 4: [mem 0x87e010100000-0x87e0101fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:0f.0: [177d:a061] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:0f.0: BAR 0: [mem 0x87e018000000-0x87e01800ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:10.0: [177d:a060] type 00 class 0x028000
pci 0000:01:10.0: BAR 0: [mem 0x87e0e0000000-0x87e0e07fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:10.0: BAR 4: [mem 0x87e0e0800000-0x87e0e0ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:14.0: [177d:a097] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:14.0: BAR 0: [mem 0x87e140000000-0x87e1400fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:14.1: [177d:a097] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:14.1: BAR 0: [mem 0x87e141000000-0x87e1410fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:14.2: [177d:a097] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:14.2: BAR 0: [mem 0x87e142000000-0x87e1420fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:14.3: [177d:a097] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:14.3: BAR 0: [mem 0x87e143000000-0x87e1430fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:14.4: [177d:a097] type 00 class 0x088000
pci 0000:01:14.4: BAR 0: [mem 0x87e144000000-0x87e1440fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.0: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:18.0: BAR 0: [mem 0x87e100000000-0x87e10000ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0000:01:18.0: BAR 4: [mem 0x87e100f00000-0x87e100ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.1: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:18.1: BAR 0: [mem 0x87e101000000-0x87e10100ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.1: BAR 4: [mem 0x87e101f00000-0x87e101ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.2: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:18.2: BAR 0: [mem 0x87e102000000-0x87e10200ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.2: BAR 4: [mem 0x87e102f00000-0x87e102ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.3: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:18.3: BAR 0: [mem 0x87e103000000-0x87e10300ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.3: BAR 4: [mem 0x87e103f00000-0x87e103ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.4: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:18.4: BAR 0: [mem 0x87e104000000-0x87e10400ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.4: BAR 4: [mem 0x87e104f00000-0x87e104ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.5: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:18.5: BAR 0: [mem 0x87e105000000-0x87e10500ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.5: BAR 4: [mem 0x87e105f00000-0x87e105ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.6: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:18.6: BAR 0: [mem 0x87e106000000-0x87e10600ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.6: BAR 4: [mem 0x87e106f00000-0x87e106ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.7: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:18.7: BAR 0: [mem 0x87e107000000-0x87e10700ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:18.7: BAR 4: [mem 0x87e107f00000-0x87e107ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:19.0: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000

pci 0000:01:19.0: BAR 0: [mem 0x87e108000000-0x87e10800ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:19.0: BAR 4: [mem 0x87e108f00000-0x87e108ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:19.1: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:19.1: BAR 0: [mem 0x87e109000000-0x87e10900ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:19.1: BAR 4: [mem 0x87e109f00000-0x87e109ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:19.2: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:19.2: BAR 0: [mem 0x87e10a000000-0x87e10a00ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:19.2: BAR 4: [mem 0x87e10af00000-0x87e10affffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:19.3: [177d:a012] type 00 class 0x0c8000
pci 0000:01:19.3: BAR 0: [mem 0x87e10b000000-0x87e10b00ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:01:19.3: BAR 4: [mem 0x87e10bf00000-0x87e10bffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci_bus 0000:01: busn_res: [bus 01-ff] end is updated to 01
pci 0000:02:00.0: [177d:a075] type 00 class 0x088000
pci 0000:02:00.0: BAR 0: [mem 0x87e0f9000000-0x87e0f903ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci_bus 0000:02: busn_res: [bus 02-ff] end is updated to 02
pci 0000:03:00.0: [177d:a075] type 00 class 0x088000
pci 0000:03:00.0: BAR 0: [mem 0x87e0fa000000-0x87e0fa03ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci_bus 0000:03: busn_res: [bus 03-ff] end is updated to 03
pci 0000:04:00.0: [177d:a075] type 00 class 0x088000
pci 0000:04:00.0: BAR 0: [mem 0x87e0fb000000-0x87e0fb03ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci_bus 0000:04: busn_res: [bus 04-ff] end is updated to 04
pci 0000:05:00.0: [177d:a098] type 00 class 0x120000
pci 0000:05:00.0: BAR 0: [mem 0x87e00f000000-0x87e00f0fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0000:05:00.0: VF BAR 0: [mem 0x80f000800000-0x80f0008fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)
pci 0000:05:00.0: VF(n) BAR0 space: [mem 0x80f000800000-0x80f0008fffff 64bit] (contains BAR0

```
for 1 VFs)
    pci_bus 0000:05: busn_res: [bus 05-ff] end is updated to 05
    pci 0000:06:00.0: [177d:a080] type 00 class 0x088000
    pci 0000:06:00.0: BAR 0: [mem 0x86e000000000-0x86e0ffffffff 64bit] (from Enhanced Allocation,
properties 0x0)
    pci 0000:06:00.0: BAR 4: [mem 0x86e100000000-0x86e1000fffff 64bit] (from Enhanced Allocation,
properties 0x0)
    pci 0000:06:00.0: VF BAR 0: [mem 0x86e200000000-0x86e2000fffff 64bit] (from Enhanced
Allocation, properties 0x4)
    pci 0000:06:00.0: VF BAR 4: [mem 0x86e210000000-0x86e2100fffff 64bit] (from Enhanced
Allocation, properties 0x4)
    pci 0000:06:00.0: VF(n) BAR0 space: [mem 0x86e200000000-0x86e201ffffff 64bit] (contains BAR0
for 32 VFs)
    pci 0000:06:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x86e210000000-0x86e211ffffff 64bit] (contains BAR4
for 32 VFs)
    pci_bus 0000:06: busn_res: [bus 06-ff] end is updated to 06
    pci 0000:00:01.0: PCI bridge to [bus 01]
    pci 0000:00:0c.0: PCI bridge to [bus 02]
    pci 0000:00:0d.0: PCI bridge to [bus 03]
    pci 0000:00:0e.0: PCI bridge to [bus 04]
    pci 0000:00:0f.0: PCI bridge to [bus 05]
    pci 0000:00:14.0: PCI bridge to [bus 06]
    pci-host-generic 878020000000.pci: host bridge /soc@0/pci@878020000000 ranges:
    pci-host-generic 878020000000.pci:     MEM 0x840000000000..0x85f4ffffffff -> 0x840000000000
    pci-host-generic 878020000000.pci:      MEM 0x05fb000000..0x05fe3bffff -> 0x05fb000000
    pci-host-generic 878020000000.pci: Memory resource size exceeds max for 32 bits
    pci-host-generic 878020000000.pci: ECAM at [mem 0x878020000000-0x87802fffffff] for [bus
00-ff]
    pci-host-generic 878020000000.pci: PCI host bridge to bus 0002:00
    pci_bus 0002:00: root bus resource [bus 00-ff]
    pci_bus 0002:00: root bus resource [mem 0x840000000000-0x85f4ffffffff]
    pci_bus 0002:00: root bus resource [mem 0x5fb000000-0x5fe3bffff]
    pci 0002:00:00.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
    pci 0002:00:01.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
    pci 0002:00:02.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
    pci 0002:00:03.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
    pci 0002:00:04.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
    pci 0002:00:05.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
```

pci 0002:00:06.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:07.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:08.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:09.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:0a.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:0b.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:0c.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:0d.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:0e.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:0f.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:10.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:11.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:12.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:13.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:14.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:15.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:16.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:17.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:18.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:19.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:1a.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:1b.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:1c.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:1d.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:1e.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:1f.0: [177d:a002] type 01 class 0x060401
pci 0002:00:06.0: bridge configuration invalid ([bus 00-00]), reconfiguring
pci 0002:01:00.0: [177d:a065] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:00.0: BAR 0: [mem 0x840000000000-0x8401ffffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:01:00.0: BAR 2: [mem 0x840200000000-0x840201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:01:00.0: BAR 4: [mem 0x5fb000000-0x5fb1fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:01:00.0: VF BAR 2: [mem 0x840202000000-0x840203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)
pci 0002:01:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fb200000-0x5fb23ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:01:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x840202000000-0x840221ffffff 64bit] (contains BAR2 for 16 VFs)

pci 0002:01:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fb200000-0x5fb5fffff 64bit] (contains BAR4 for 16 VFs)

pci_bus 0002:01: busn_res: [bus 01-ff] end is updated to 01

pci 0002:02:00.0: [177d:a063] type 00 class 0x020000

pci 0002:02:00.0: BAR 2: [mem 0x841200000000-0x841201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:02:00.0: BAR 4: [mem 0x5fb600000-0x5fb67ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:02:00.0: VF BAR 2: [mem 0x841202000000-0x841203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:02:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fb680000-0x5fb6bffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:02:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x841202000000-0x841207ffffff 64bit] (contains BAR2 for 3 VFs)

pci 0002:02:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fb680000-0x5fb73ffff 64bit] (contains BAR4 for 3 VFs)

pci_bus 0002:02: busn_res: [bus 02-ff] end is updated to 02

pci 0002:03:00.0: [177d:a063] type 00 class 0x020000

pci 0002:03:00.0: BAR 2: [mem 0x842200000000-0x842201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:03:00.0: BAR 4: [mem 0x5fb740000-0x5fb7bffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:03:00.0: VF BAR 2: [mem 0x842202000000-0x842203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:03:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fb7c0000-0x5fb7fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:03:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x842202000000-0x842207ffffff 64bit] (contains BAR2 for 3 VFs)

pci 0002:03:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fb7c0000-0x5fb87ffff 64bit] (contains BAR4 for 3 VFs)

pci_bus 0002:03: busn_res: [bus 03-ff] end is updated to 03

pci 0002:04:00.0: [177d:a063] type 00 class 0x020000

pci 0002:04:00.0: BAR 2: [mem 0x843200000000-0x843201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:04:00.0: BAR 4: [mem 0x5fb880000-0x5fb8fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:04:00.0: VF BAR 2: [mem 0x843202000000-0x843203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:04:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fb900000-0x5fb93ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:04:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x843202000000-0x843207ffffff 64bit] (contains BAR2 for 3 VFs)

pci 0002:04:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fb900000-0x5fb9bffff 64bit] (contains BAR4 for 3 VFs)

pci_bus 0002:04: busn_res: [bus 04-ff] end is updated to 04

pci 0002:05:00.0: [177d:a063] type 00 class 0x020000

pci 0002:05:00.0: BAR 2: [mem 0x844200000000-0x844201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:05:00.0: BAR 4: [mem 0x5fb9c0000-0x5fba3ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:05:00.0: VF BAR 2: [mem 0x844202000000-0x844203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:05:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fba40000-0x5fba7ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:05:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x844202000000-0x844207ffffff 64bit] (contains BAR2 for 3 VFs)

pci 0002:05:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fba40000-0x5fbafffff 64bit] (contains BAR4 for 3 VFs)

pci_bus 0002:05: busn_res: [bus 05-ff] end is updated to 05

pci 0002:06:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000

pci 0002:06:00.0: BAR 2: [mem 0x845200000000-0x845201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:06:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbb00000-0x5fbb7ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:06:00.0: VF BAR 2: [mem 0x845202000000-0x845203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:06: busn_res: [bus 06-ff] end is updated to 06

pci 0002:07:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000

pci 0002:07:00.0: BAR 2: [mem 0x846200000000-0x846201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:07:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbb80000-0x5fbbfffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:07:00.0: VF BAR 2: [mem 0x846202000000-0x846203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:07: busn_res: [bus 07-ff] end is updated to 07
pci 0002:08:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000
pci 0002:08:00.0: BAR 2: [mem 0x847200000000-0x847201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:08:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbc00000-0x5fbc7ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:08:00.0: VF BAR 2: [mem 0x847202000000-0x847203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)
pci_bus 0002:08: busn_res: [bus 08-ff] end is updated to 08
pci 0002:09:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000
pci 0002:09:00.0: BAR 2: [mem 0x848200000000-0x848201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:09:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbc80000-0x5fbcfffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:09:00.0: VF BAR 2: [mem 0x848202000000-0x848203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)
pci_bus 0002:09: busn_res: [bus 09-ff] end is updated to 09
pci 0002:0a:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000
pci 0002:0a:00.0: BAR 2: [mem 0x849200000000-0x849201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:0a:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbd00000-0x5fbd7ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:0a:00.0: VF BAR 2: [mem 0x849202000000-0x849203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)
pci_bus 0002:0a: busn_res: [bus 0a-ff] end is updated to 0a
pci 0002:0b:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000
pci 0002:0b:00.0: BAR 2: [mem 0x84a200000000-0x84a201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:0b:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbd80000-0x5fbdfffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:0b:00.0: VF BAR 2: [mem 0x84a202000000-0x84a203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)
pci_bus 0002:0b: busn_res: [bus 0b-ff] end is updated to 0b
pci 0002:0c:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000
pci 0002:0c:00.0: BAR 2: [mem 0x84b200000000-0x84b201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0002:0c:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbe00000-0x5fbe7ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:0c:00.0: VF BAR 2: [mem 0x84b202000000-0x84b203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:0c: busn_res: [bus 0c-ff] end is updated to 0c

pci 0002:0d:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000

pci 0002:0d:00.0: BAR 2: [mem 0x84c200000000-0x84c201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:0d:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbe80000-0x5fbeffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:0d:00.0: VF BAR 2: [mem 0x84c202000000-0x84c203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:0d: busn_res: [bus 0d-ff] end is updated to 0d

pci 0002:0e:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000

pci 0002:0e:00.0: BAR 2: [mem 0x84d200000000-0x84d201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:0e:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbf00000-0x5fbf7ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:0e:00.0: VF BAR 2: [mem 0x84d202000000-0x84d203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:0e: busn_res: [bus 0e-ff] end is updated to 0e

pci 0002:0f:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:0f:00.0: BAR 2: [mem 0x84e200000000-0x84e201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:0f:00.0: BAR 4: [mem 0x5fbf80000-0x5fbfffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:0f:00.0: VF BAR 2: [mem 0x84e202000000-0x84e203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:0f: busn_res: [bus 0f-ff] end is updated to 0f

pci 0002:10:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:10:00.0: BAR 2: [mem 0x84f200000000-0x84f201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:10:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc000000-0x5fc07ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:10:00.0: VF BAR 2: [mem 0x84f202000000-0x84f203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:10: busn_res: [bus 10-ff] end is updated to 10

pci 0002:11:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:11:00.0: BAR 2: [mem 0x850200000000-0x850201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:11:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc080000-0x5fc0fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:11:00.0: VF BAR 2: [mem 0x850202000000-0x850203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:11: busn_res: [bus 11-ff] end is updated to 11

pci 0002:12:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:12:00.0: BAR 2: [mem 0x851200000000-0x851201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:12:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc100000-0x5fc17ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:12:00.0: VF BAR 2: [mem 0x851202000000-0x851203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:12: busn_res: [bus 12-ff] end is updated to 12

pci 0002:13:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:13:00.0: BAR 2: [mem 0x852200000000-0x852201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:13:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc180000-0x5fc1fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:13:00.0: VF BAR 2: [mem 0x852202000000-0x852203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:13: busn_res: [bus 13-ff] end is updated to 13

pci 0002:14:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:14:00.0: BAR 2: [mem 0x853200000000-0x853201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:14:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc200000-0x5fc27ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:14:00.0: VF BAR 2: [mem 0x853202000000-0x853203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:14: busn_res: [bus 14-ff] end is updated to 14

pci 0002:15:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:15:00.0: BAR 2: [mem 0x854200000000-0x854201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:15:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc280000-0x5fc2fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:15:00.0: VF BAR 2: [mem 0x854202000000-0x854203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:15: busn_res: [bus 15-ff] end is updated to 15

pci 0002:16:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:16:00.0: BAR 2: [mem 0x855200000000-0x855201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:16:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc300000-0x5fc37ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:16:00.0: VF BAR 2: [mem 0x855202000000-0x855203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:16: busn_res: [bus 16-ff] end is updated to 16

pci 0002:17:00.0: [177d:a0fb] type 00 class 0x088000

pci 0002:17:00.0: BAR 2: [mem 0x856200000000-0x856201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:17:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc380000-0x5fc3fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:17:00.0: VF BAR 2: [mem 0x856202000000-0x856203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:17: busn_res: [bus 17-ff] end is updated to 17

pci 0002:18:00.0: [177d:a0fb] type 00 class 0x088000

pci 0002:18:00.0: BAR 2: [mem 0x857200000000-0x857201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:18:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc400000-0x5fc47ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:18:00.0: VF BAR 2: [mem 0x857202000000-0x857203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:18: busn_res: [bus 18-ff] end is updated to 18

pci 0002:19:00.0: [177d:a0fb] type 00 class 0x088000

pci 0002:19:00.0: BAR 2: [mem 0x858200000000-0x858201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:19:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc480000-0x5fc4fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:19:00.0: VF BAR 2: [mem 0x858202000000-0x858203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:19: busn_res: [bus 19-ff] end is updated to 19

pci 0002:1a:00.0: [177d:a0fb] type 00 class 0x088000

pci 0002:1a:00.0: BAR 2: [mem 0x859200000000-0x859201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1a:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc500000-0x5fc57ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1a:00.0: VF BAR 2: [mem 0x859202000000-0x859203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:1a: busn_res: [bus 1a-ff] end is updated to 1a

pci 0002:1b:00.0: [177d:a0e2] type 00 class 0x020000

pci 0002:1b:00.0: BAR 2: [mem 0x85a200000000-0x85a201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1b:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc580000-0x5fc5fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1b:00.0: VF BAR 2: [mem 0x85a202000000-0x85a203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci_bus 0002:1b: busn_res: [bus 1b-ff] end is updated to 1b

pci 0002:1c:00.0: [177d:a0e0] type 00 class 0x020000

pci 0002:1c:00.0: BAR 2: [mem 0x85b200000000-0x85b201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1c:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc600000-0x5fc67ffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1c:00.0: VF BAR 2: [mem 0x85b202000000-0x85b203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:1c:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fc680000-0x5fc6bffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:1c:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x85b202000000-0x85b203ffffff 64bit] (contains BAR2 for 1 VFs)

pci 0002:1c:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fc680000-0x5fc6bffff 64bit] (contains BAR4 for 1 VFs)

pci_bus 0002:1c: busn_res: [bus 1c-ff] end is updated to 1c

pci 0002:1d:00.0: [177d:a0f0] type 00 class 0x088000

pci 0002:1d:00.0: BAR 2: [mem 0x85c200000000-0x85c201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1d:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc6c0000-0x5fc7bffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1d:00.0: VF BAR 2: [mem 0x85c202000000-0x85c203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:1d:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fc7c0000-0x5fc7fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:1d:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x85c202000000-0x85c211ffffff 64bit] (contains BAR2 for 8 VFs)

pci 0002:1d:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fc7c0000-0x5fc9bffff 64bit] (contains BAR4 for 8 VFs)

pci_bus 0002:1d: busn_res: [bus 1d-ff] end is updated to 1d

pci 0002:1e:00.0: [177d:a0f9] type 00 class 0x088000

pci 0002:1e:00.0: BAR 2: [mem 0x85d200000000-0x85d201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1e:00.0: BAR 4: [mem 0x5fc9c0000-0x5fcabffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:1e:00.0: VF BAR 2: [mem 0x85d202000000-0x85d203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:1e:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fcac0000-0x5fcaffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:1e:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x85d202000000-0x85d209ffffff 64bit] (contains BAR2 for 4 VFs)

pci 0002:1e:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fcac0000-0x5fcbbffff 64bit] (contains BAR4 for 4 VFs)

pci_bus 0002:1e: busn_res: [bus 1e-ff] end is updated to 1e

pci_bus 0002:1f: busn_res: [bus 1f-ff] end is updated to 1f

pci 0002:20:00.0: [177d:a0f2] type 00 class 0x108000

pci 0002:20:00.0: BAR 2: [mem 0x85f200000000-0x85f201ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:20:00.0: BAR 4: [mem 0x5fcbc0000-0x5fd3bffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)

pci 0002:20:00.0: VF BAR 2: [mem 0x85f202000000-0x85f203ffffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:20:00.0: VF BAR 4: [mem 0x5fd3c0000-0x5fd3fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x4)

pci 0002:20:00.0: VF(n) BAR2 space: [mem 0x85f202000000-0x85f281ffffff 64bit] (contains BAR2 for 64 VFs)

pci 0002:20:00.0: VF(n) BAR4 space: [mem 0x5fd3c0000-0x5fe3bffff 64bit] (contains BAR4 for 64 VFs)

pci_bus 0002:20: busn_res: [bus 20-ff] end is updated to 20

pci 0002:00:00.0: PCI bridge to [bus 01]

pci 0002:00:01.0: PCI bridge to [bus 02]

pci 0002:00:02.0: PCI bridge to [bus 03]

pci 0002:00:03.0: PCI bridge to [bus 04]

pci 0002:00:04.0: PCI bridge to [bus 05]

pci 0002:00:05.0: PCI bridge to [bus 06]

pci 0002:00:06.0: PCI bridge to [bus 07]

pci 0002:00:07.0: PCI bridge to [bus 08]

pci 0002:00:08.0: PCI bridge to [bus 09]

pci 0002:00:09.0: PCI bridge to [bus 0a]

```
    pci 0002:00:0a.0: PCI bridge to [bus 0b]
    pci 0002:00:0b.0: PCI bridge to [bus 0c]
    pci 0002:00:0c.0: PCI bridge to [bus 0d]
    pci 0002:00:0d.0: PCI bridge to [bus 0e]
    pci 0002:00:0e.0: PCI bridge to [bus 0f]
    pci 0002:00:0f.0: PCI bridge to [bus 10]
    pci 0002:00:10.0: PCI bridge to [bus 11]
    pci 0002:00:11.0: PCI bridge to [bus 12]
    pci 0002:00:12.0: PCI bridge to [bus 13]
    pci 0002:00:13.0: PCI bridge to [bus 14]
    pci 0002:00:14.0: PCI bridge to [bus 15]
    pci 0002:00:15.0: PCI bridge to [bus 16]
    pci 0002:00:16.0: PCI bridge to [bus 17]
    pci 0002:00:17.0: PCI bridge to [bus 18]
    pci 0002:00:18.0: PCI bridge to [bus 19]
    pci 0002:00:19.0: PCI bridge to [bus 1a]
    pci 0002:00:1a.0: PCI bridge to [bus 1b]
    pci 0002:00:1b.0: PCI bridge to [bus 1c]
    pci 0002:00:1c.0: PCI bridge to [bus 1d]
    pci 0002:00:1d.0: PCI bridge to [bus 1e]
    pci 0002:00:1e.0: PCI bridge to [bus 1f]
    pci 0002:00:1f.0: PCI bridge to [bus 20]
    pci-host-generic 878080000000.pci: host bridge /soc@0/pci@878080000000 ranges:
    pci-host-generic 878080000000.pci:       IO 0x8ae000000000..0x8ae0000fffff -> 0x0000000000
    pci-host-generic 878080000000.pci:      MEM 0x8aa001000000..0x8aafffffffff -> 0x0001000000
    pci-host-generic 878080000000.pci:      MEM 0x8ac000000000..0x8acfffffffff -> 0x1000000000
    pci-host-generic 878080000000.pci:     MEM 0x8e5e00000000..0x8e5e000fffff -> 0x8e5e00000000
    pci-host-generic 878080000000.pci: Memory resource size exceeds max for 32 bits
    pci-host-generic 878080000000.pci: ECAM at [mem 0x878080000000-0x87808fffffff] for [bus
00-ff]
    pci-host-generic 878080000000.pci: PCI host bridge to bus 0008:00
    pci_bus 0008:00: root bus resource [bus 00-ff]
    pci_bus 0008:00: root bus resource [io  0x0000-0xfffff]
    pci_bus 0008:00: root bus resource [mem 0x8aa001000000-0x8aafffffffff] (bus address
[0x01000000-0xffffffff])
    pci_bus 0008:00: root bus resource [mem 0x8ac000000000-0x8acfffffffff pref] (bus address
[0x1000000000-0x1fffffffff])
    pci_bus 0008:00: root bus resource [mem 0x8e5e00000000-0x8e5e000fffff]
```

pci 0008:00:00.0: [177d:a02d] type 01 class 0x060400
pci 0008:00:00.0: reg 0x38: [mem 0x8aa001000000-0x8aa0010007ff pref]
pci 0008:00:00.0: BAR 0: [mem 0x8e5e00000000-0x8e5e000fffff 64bit] (from Enhanced Allocation, properties 0x0)
pci 0008:00:00.0: PTM enabled (root), 16ns granularity
pci 0008:01:00.0: [11ab:2141] type 00 class 0x020000
pci 0008:01:00.0: reg 0x10: [mem 0x8aa001100000-0x8aa0011fffff 64bit]
pci 0008:01:00.0: reg 0x18: [mem 0x8aa001400000-0x8aa0017fffff 64bit]
pci 0008:01:00.0: supports D1
pci 0008:01:00.0: PME# supported from D0 D1 D3hot D3cold
pci_bus 0008:01: busn_res: [bus 01-ff] end is updated to 01
pci 0008:00:00.0: BAR 14: assigned [mem 0x8aa001000000-0x8aa0015fffff]
pci 0008:00:00.0: BAR 6: assigned [mem 0x8aa001600000-0x8aa0016007ff pref]
pci 0008:01:00.0: BAR 2: assigned [mem 0x8aa001000000-0x8aa0013fffff 64bit]
pci 0008:01:00.0: BAR 0: assigned [mem 0x8aa001400000-0x8aa0014fffff 64bit]
pci 0008:00:00.0: PCI bridge to [bus 01]
pci 0008:00:00.0:   bridge window [mem 0x8aa001000000-0x8aa0015fffff]
pci-host-generic 878010000000.pci: host bridge /soc@0/pci@878010000000 ranges:
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x868000000000..0x869fffffffff -> 0x868000000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x87e0fe9c0000..0x87e0fe9cffff -> 0x87e0fe9c0000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e0000000000..0x8e003fffffff -> 0x8e0000000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e1000000000..0x8e103fffffff -> 0x8e1000000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e2000000000..0x8e203fffffff -> 0x8e2000000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e3000000000..0x8e303fffffff -> 0x8e3000000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e4000000000..0x8e403fffffff -> 0x8e4000000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e5000000000..0x8e503fffffff -> 0x8e5000000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e0f00000000..0x8e0f000fffff -> 0x8e0f00000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e1f00000000..0x8e1f000fffff -> 0x8e1f00000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e2f00000000..0x8e2f000fffff -> 0x8e2f00000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e3f00000000..0x8e3f000fffff -> 0x8e3f00000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e4f00000000..0x8e4f000fffff -> 0x8e4f00000000
pci-host-generic 878010000000.pci: MEM 0x8e5f00000000..0x8e5f000fffff -> 0x8e5f00000000
pci-host-generic 878010000000.pci: Memory resource size exceeds max for 32 bits
pci-host-generic 878010000000.pci: ECAM at [mem 0x878010000000-0x87801fffffff] for [bus 00-ff]
pci-host-generic 878010000000.pci: PCI host bridge to bus 0001:00
pci_bus 0001:00: root bus resource [bus 00-ff]
pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x868000000000-0x869fffffffff]

```
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x87e0fe9c0000-0x87e0fe9cffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e0000000000-0x8e003fffffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e1000000000-0x8e103fffffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e2000000000-0x8e203fffffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e3000000000-0x8e303fffffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e4000000000-0x8e403fffffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e5000000000-0x8e503fffffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e0f00000000-0x8e0f000fffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e1f00000000-0x8e1f000fffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e2f00000000-0x8e2f000fffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e3f00000000-0x8e3f000fffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e4f00000000-0x8e4f000fffff]
    pci_bus 0001:00: root bus resource [mem 0x8e5f00000000-0x8e5f000fffff]
    pci 0001:00:0c.0: [177d:a01b] type 00 class 0x0c0330
    pci 0001:00:0c.0: BAR 0: [mem 0x868000000000-0x8680001fffff 64bit] (from Enhanced Allocation,
properties 0x0)
    pci 0001:00:0c.0: BAR 4: [mem 0x868000200000-0x8680002fffff 64bit] (from Enhanced Allocation,
properties 0x0)
    pci 0001:00:0d.0: [177d:a01b] type 00 class 0x0c0330
    pci 0001:00:0d.0: BAR 0: [mem 0x869000000000-0x8690001fffff 64bit] (from Enhanced Allocation,
properties 0x0)
    pci 0001:00:0d.0: BAR 4: [mem 0x869000200000-0x8690002fffff 64bit] (from Enhanced Allocation,
properties 0x0)
    octeontx2-dpi: Marvell OcteonTX2 DPI-DMA Driver
    gti-watchdog
    octeontx2-sdp
    pci-console-nexus 20060000.pci-console-nexus: Registering child console driver...
    pci-console 20060100.pci-console: Initialized console 0, address 0x20060100, size: 0x4000
    pci-console 20064100.pci-console: Ignoring excluded console 1
    pci-console 20068100.pci-console: Ignoring excluded console 2
    pci-console 2006c100.pci-console: Ignoring excluded console 3
    pci-console 20070100.pci-console: Ignoring excluded console 4
    pci-console 20074100.pci-console: Ignoring excluded console 5
    pci-console 20078100.pci-console: Ignoring excluded console 6
    octtx_info: Added /proc/octtx_info
    Serial: 8250/16550 driver, 4 ports, IRQ sharing enabled
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu: ias 52-bit, oas 52-bit (features 0x001cd78d)
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu: allocated 524288 entries for cmdq
```

```
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: allocated 524288 entries for evtq
brd: module loaded
loop: module loaded
Couldn't find BPHY device a089
megaraid cmm: 2.20.2.7 (Release Date: Sun Jul 16 00:01:03 EST 2006)
megaraid: 2.20.5.1 (Release Date: Thu Nov 16 15:32:35 EST 2006)
megasas: 07.719.03.00-rc1
mpt3sas version 43.100.00.00 loaded
mtd device must be supplied (device name is empty)
cadence-xspi 804000000000.spi: Adding to iommu group 0
cadence-xspi 804000000000.spi: PHY configuration
cadence-xspi 804000000000.spi:    * xspi_dll_phy_ctrl: 01000707
cadence-xspi 804000000000.spi:    * phy_dq_timing: 00000101
cadence-xspi 804000000000.spi:    * phy_dqs_timing: 00700404
cadence-xspi 804000000000.spi:    * phy_gate_loopback_ctrl: 00200030
cadence-xspi 804000000000.spi:    * phy_dll_slave_ctrl: 0000ff01
spi-nor spi0.0: mx25u51245g (65536 Kbytes)
cadence-xspi 804000000000.spi: Successfully registered SPI master
cadence-xspi 805000000000.spi: Adding to iommu group 1
cadence-xspi 805000000000.spi: PHY configuration
cadence-xspi 805000000000.spi:    * xspi_dll_phy_ctrl: 01000707
cadence-xspi 805000000000.spi:    * phy_dq_timing: 00000101
cadence-xspi 805000000000.spi:    * phy_dqs_timing: 00700404
cadence-xspi 805000000000.spi:    * phy_gate_loopback_ctrl: 00200030
cadence-xspi 805000000000.spi:    * phy_dll_slave_ctrl: 0000ff01
spi-nor spi1.0: mx25u51245g (65536 Kbytes)
spi-nor spi1.1: mx25um51245g (65536 Kbytes)
1 fixed-partitions partitions found on MTD device spi1.1
Creating 1 MTD partitions on "spi1.1":
0x000000000000-0x0000000000d8 : "FPGA"
cadence-xspi 805000000000.spi: Successfully registered SPI master
MACsec IEEE 802.1AE
mdio_thunder 0000:01:01.3: Adding to iommu group 2
mdio_thunder 0000:01:01.3: Added bus at 87e005003800
mdio_thunder 0000:01:01.3: Added bus at 87e005003880
mdio_thunder 0000:01:01.3: Couldn't translate address for "mdio0_uio"
tun: Universal TUN/TAP device driver, 1.6
thunder_xcv, ver 1.0
```

thunder_bgx, ver 1.0
nicpf, ver 1.0
nicvf, ver 1.0
octeontx-fpa, ver 1.0
octeontx-fpavf, ver 1.0
octeontx-rst, ver 1.0
octeontx-sso, ver 1.0
octeontx-ssow, ver 1.0
octeontx-pko, ver 1.0
octeontx-lbk, ver 1.0
octeontx-tim, ver 1.0
octeontx-pki, ver 1.0
octeontx-dpi, ver 1.0
octeontx-sli, ver 0.1
octeontx, ver 1.0, MBOX IF ver 1.1.3
e100: Intel(R) PRO/100 Network Driver
e100: Copyright(c) 1999-2006 Intel Corporation
e1000: Intel(R) PRO/1000 Network Driver
e1000: Copyright (c) 1999-2006 Intel Corporation.
e1000e: Intel(R) PRO/1000 Network Driver
e1000e: Copyright(c) 1999 - 2015 Intel Corporation.
igb: Intel(R) Gigabit Ethernet Network Driver
igb: Copyright (c) 2007-2014 Intel Corporation.
igbvf: Intel(R) Gigabit Virtual Function Network Driver
igbvf: Copyright (c) 2009 - 2012 Intel Corporation.
ixgbe: Intel(R) 10 Gigabit PCI Express Network Driver
ixgbe: Copyright (c) 1999-2016 Intel Corporation.
ixgbevf: Intel(R) 10 Gigabit PCI Express Virtual Function Network Driver
ixgbevf: Copyright (c) 2009 - 2018 Intel Corporation.
i40e: Intel(R) Ethernet Connection XL710 Network Driver
i40e: Copyright (c) 2013 - 2019 Intel Corporation.
ixgb: Intel(R) PRO/10GbE Network Driver
ixgb: Copyright (c) 1999-2008 Intel Corporation.
iavf: Intel(R) Ethernet Adaptive Virtual Function Network Driver
Copyright (c) 2013 - 2018 Intel Corporation.
Intel(R) Ethernet Switch Host Interface Driver
Copyright(c) 2013 - 2019 Intel Corporation.
sky2: driver version 1.30

```
rvu_af: Marvell OcteonTX2 RVU Admin Function Driver
Marvell-CGX/RPM 0000:01:10.0: Adding to iommu group 3
Marvell PTP Driver 0000:00:08.0: Adding to iommu group 4
rvu_af 0002:01:00.0: Adding to iommu group 5
rvu_af 0002:01:00.0: Using default mkex profile
pci 0002:01:00.1: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:00.2: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:00.3: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:00.4: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:00.5: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:00.6: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:00.7: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:01.0: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:01.1: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:01.2: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:01.3: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:01.4: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:01.5: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:01.6: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:01.7: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
pci 0002:01:02.0: [177d:a0f8] type 00 class 0x020000
rvu_nicpf: Marvell RVU NIC Physical Function Driver
rvu_nicpf 0002:02:00.0: Adding to iommu group 6
rvu_nicpf 0002:03:00.0: Adding to iommu group 7
rvu_nicpf 0002:04:00.0: Adding to iommu group 8
rvu_nicpf 0002:05:00.0: Adding to iommu group 9
rvu_nicvf: Marvell RVU NIC Virtual Function Driver
rvu_nicvf 0002:01:00.1: Adding to iommu group 10
rvu_nicvf 0002:01:00.1: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:00.2: Adding to iommu group 11
rvu_nicvf 0002:01:00.2: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:00.3: Adding to iommu group 12
rvu_nicvf 0002:01:00.3: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:00.4: Adding to iommu group 13
rvu_nicvf 0002:01:00.4: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:00.5: Adding to iommu group 14
rvu_nicvf 0002:01:00.5: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:00.6: Adding to iommu group 15
```

```
rvu_nicvf 0002:01:00.6: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:00.7: Adding to iommu group 16
rvu_nicvf 0002:01:00.7: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:01.0: Adding to iommu group 17
rvu_nicvf 0002:01:01.0: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:01.1: Adding to iommu group 18
rvu_nicvf 0002:01:01.1: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:01.2: Adding to iommu group 19
rvu_nicvf 0002:01:01.2: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:01.3: Adding to iommu group 20
rvu_nicvf 0002:01:01.3: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:01.4: Adding to iommu group 21
rvu_nicvf 0002:01:01.4: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:01.5: Adding to iommu group 22
rvu_nicvf 0002:01:01.5: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:01.6: Adding to iommu group 23
rvu_nicvf 0002:01:01.6: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:01.7: Adding to iommu group 24
rvu_nicvf 0002:01:01.7: enabling device (0000 -> 0002)
rvu_nicvf 0002:01:02.0: Adding to iommu group 25
rvu_nicvf 0002:01:02.0: enabling device (0000 -> 0002)
octeontx2-bphy-netdev: Marvell OcteonTX2 BPHY Ethernet Driver
PPP generic driver version 2.4.2
PPP BSD Compression module registered
PPP Deflate Compression module registered
PPP MPPE Compression module registered
NET: Registered PF_PPPOX protocol family
pegasus: Pegasus/Pegasus II USB Ethernet driver
usbcore: registered new interface driver pegasus
usbcore: registered new interface driver rtl8150
usbcore: registered new interface driver r8152
usbcore: registered new interface driver asix
usbcore: registered new interface driver ax88179_178a
usbcore: registered new interface driver dm9601
usbcore: registered new interface driver CoreChips
usbcore: registered new interface driver smsc75xx
usbcore: registered new interface driver smsc95xx
usbcore: registered new interface driver net1080
```

```
usbcore: registered new interface driver plusb
usbcore: registered new interface driver MOSCHIP usb-ethernet driver
VFIO - User Level meta-driver version: 0.3
xhci_hcd 0001:00:0c.0: Adding to iommu group 26
xhci_hcd 0001:00:0c.0: xHCI Host Controller
xhci_hcd 0001:00:0c.0: new USB bus registered, assigned bus number 1
xhci_hcd 0001:00:0c.0: hcc params 0x0110ffc5 hci version 0x110 quirks 0x0000000000000010
xhci_hcd 0001:00:0c.0: xHCI Host Controller
xhci_hcd 0001:00:0c.0: new USB bus registered, assigned bus number 2
xhci_hcd 0001:00:0c.0: Host supports USB 3.1 Enhanced SuperSpeed
hub 1-0:1.0: USB hub found
hub 1-0:1.0: 1 port detected
usb usb2: We don't know the algorithms for LPM for this host, disabling LPM.
hub 2-0:1.0: USB hub found
hub 2-0:1.0: 1 port detected
xhci_hcd 0001:00:0d.0: Adding to iommu group 27
xhci_hcd 0001:00:0d.0: xHCI Host Controller
xhci_hcd 0001:00:0d.0: new USB bus registered, assigned bus number 3
xhci_hcd 0001:00:0d.0: hcc params 0x0110ffc5 hci version 0x110 quirks 0x0000000000000010
xhci_hcd 0001:00:0d.0: xHCI Host Controller
xhci_hcd 0001:00:0d.0: new USB bus registered, assigned bus number 4
xhci_hcd 0001:00:0d.0: Host supports USB 3.1 Enhanced SuperSpeed
hub 3-0:1.0: USB hub found
hub 3-0:1.0: 1 port detected
usb usb4: We don't know the algorithms for LPM for this host, disabling LPM.
hub 4-0:1.0: USB hub found
hub 4-0:1.0: 1 port detected
usbcore: registered new interface driver usb-storage
usbcore: registered new interface driver usbserial_generic
usbserial: USB Serial support registered for generic
usbcore: registered new interface driver ftdi_sio
usbserial: USB Serial support registered for FTDI USB Serial Device
usbcore: registered new interface driver pl2303
usbserial: USB Serial support registered for pl2303
mousedev: PS/2 mouse device common for all mice
i2c_dev: i2c /dev entries driver
i2c-thunderx 0000:01:18.0: Adding to iommu group 28
rtc rtc0: invalid alarm value: 2025-10-03T14:68:00
```

```
rtc-pcf8563 0-0051: registered as rtc0
rtc-pcf8563 0-0051: setting system clock to 2025-10-03T04:25:19 UTC (1759465519)
i2c-thunderx 0000:01:18.0: Probed. Set system clock to 100000000
i2c-thunderx 0000:01:18.0: SMBUS alert not active on this bus
i2c-thunderx 0000:01:18.1: Adding to iommu group 28
i2c-thunderx 0000:01:18.1: Probed. Set system clock to 100000000
i2c-thunderx 0000:01:18.1: SMBUS alert not active on this bus
i2c-thunderx 0000:01:18.2: Adding to iommu group 28
i2c-thunderx 0000:01:18.2: Probed. Set system clock to 100000000
i2c-thunderx 0000:01:18.2: SMBUS alert not active on this bus
i2c-thunderx 0000:01:18.3: Adding to iommu group 28
i2c-thunderx 0000:01:18.3: Probed. Set system clock to 100000000
i2c-thunderx 0000:01:18.3: SMBUS alert not active on this bus
i2c-thunderx 0000:01:18.4: Adding to iommu group 28
i2c-thunderx: probe of 0000:01:18.4 failed with error -22
i2c-thunderx 0000:01:18.5: Adding to iommu group 28
i2c-thunderx: probe of 0000:01:18.5 failed with error -22
i2c-thunderx 0000:01:18.6: Adding to iommu group 28
i2c-thunderx: probe of 0000:01:18.6 failed with error -22
i2c-thunderx 0000:01:18.7: Adding to iommu group 28
i2c-thunderx: probe of 0000:01:18.7 failed with error -22
i2c-thunderx 0000:01:19.0: Adding to iommu group 29
i2c-thunderx: probe of 0000:01:19.0 failed with error -22
i2c-thunderx 0000:01:19.1: Adding to iommu group 29
i2c-thunderx: probe of 0000:01:19.1 failed with error -22
i2c-thunderx 0000:01:19.2: Adding to iommu group 29
i2c-thunderx: probe of 0000:01:19.2 failed with error -22
i2c-thunderx 0000:01:19.3: Adding to iommu group 29
i2c-thunderx: probe of 0000:01:19.3 failed with error -22
adt7475 0-002e: ADT7473 device, revision 0
adt7475 0-002e: Optional features: fan4 pwm2
lm75 0-0048: supply vs not found, using dummy regulator
hwmon hwmon1: temp1_input not attached to any thermal zone
lm75 0-0048: hwmon1: sensor 'lm75'
lm75 0-0049: supply vs not found, using dummy regulator
hwmon hwmon2: temp1_input not attached to any thermal zone
lm75 0-0049: hwmon2: sensor 'lm75'
i2c i2c-0: Detected TI TMP421 chip at 0x4c
```

```
    sbsa-gwdt 8020000a0000.watch-dog: Using Clock data from device node.
    sbsa-gwdt 8020000a0000.watch-dog: Initialized with 10s timeout @ 1000000000 Hz, action=0.
    gti-wdt 802000040000.watchdog: Watchdog enabled (timeout=17 sec)
    device-mapper: ioctl: 4.47.0-ioctl (2022-07-28) initialised: dm-devel@redhat.com
    sdhci: Secure Digital Host Controller Interface driver
    sdhci: Copyright(c) Pierre Ossman
    Synopsys Designware Multimedia Card Interface Driver
    sdhci-pltfm: SDHCI platform and OF driver helper
    sdhci-cdns 824000000000.sdhci: Adding to iommu group 30
    SMCCC: SOC_ID: ID = jep106:0369:00b9 Revision = 0x00000001
    fw memtest: Power on self test configuration for memory is not set!
    rvu_cptpf 0002:20:00.0: Adding to iommu group 31
    mmc0: SDHCI controller on 824000000000.sdhci [824000000000.sdhci] using ADMA 64-bit
    mmc0: new HS400 Enhanced strobe MMC card at address 0001
    mmcblk0: mmc0:0001 MMC16G 14.6 GiB
    mmcblk0: p1 p2 p3 p4 < p5 p6 p7 p8 p9 >
    mmcblk0boot0: mmc0:0001 MMC16G 4.00 MiB
    mmcblk0boot1: mmc0:0001 MMC16G 4.00 MiB
    mmcblk0rpmb: mmc0:0001 MMC16G 4.00 MiB, chardev (236:0)
    usbcore: registered new interface driver usbhid
    usbhid: USB HID core driver
    mvl-mhu 0000:00:1c.0: Adding to iommu group 32
    mvl-mhu 0000:00:1d.0: Adding to iommu group 33
    mvl-mhu 0000:00:1e.0: Adding to iommu group 34
    arm-smmu-v3-pmcg 830000100000.smmupmcg0: Registered PMU @ 0x0000830000100000 using 4 counters
with Global(Counter0) filter settings
    arm-smmu-v3-pmcg 830000120000.smmupmcg1: Registered PMU @ 0x0000830000120000 using 4 counters
with Global(Counter0) filter settings
    arm-smmu-v3-pmcg 830000140000.smmupmcg2: Registered PMU @ 0x0000830000140000 using 4 counters
with Global(Counter0) filter settings
    arm-smmu-v3-pmcg 830000160000.smmupmcg3: Registered PMU @ 0x0000830000160000 using 4 counters
with Global(Counter0) filter settings
    arm_spe_pmu spe-pmu: probed for CPUs 0-23 [max_record_sz 64, align 64, features 0x17]
    DDR PMU Driver for ddrc@87e1c0000000
    DDR PMU Driver for ddrc@87e1c1000000
    DDR PMU Driver for ddrc@87e1c2000000
    DDR PMU Driver for ddrc@87e1c3000000
    DDR PMU Driver for ddrc@87e1c4000000
```

```
DDR PMU Driver for ddrc@87e1c5000000
cs_system_cfg: CoreSight Configuration manager initialised
coresight-tmc 87a100060000.sh_etr: Adding to iommu group 35
coresight-tmc 87a100060000.sh_etr: Detected dma mask 52bits
CSCFG registered ete0
coresight ete0: CPU0: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete1
coresight ete1: CPU1: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete2
coresight ete2: CPU2: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete3
coresight ete3: CPU3: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete4
coresight ete4: CPU4: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete5
coresight ete5: CPU5: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete6
coresight ete6: CPU6: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete7
coresight ete7: CPU7: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete8
coresight ete8: CPU8: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete9
coresight ete9: CPU9: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete10
coresight ete10: CPU10: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete11
coresight ete11: CPU11: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete12
coresight ete12: CPU12: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete13
coresight ete13: CPU13: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete14
coresight ete14: CPU14: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete15
coresight ete15: CPU15: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete16
coresight ete16: CPU16: ete v1.0 initialized
```

```
CSCFG registered ete17
coresight ete17: CPU17: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete18
coresight ete18: CPU18: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete19
coresight ete19: CPU19: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete20
coresight ete20: CPU20: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete21
coresight ete21: CPU21: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete22
coresight ete22: CPU22: ete v1.0 initialized
CSCFG registered ete23
coresight ete23: CPU23: ete v1.0 initialized
coresight cti_cpu0: CTI initialized
coresight cti_sys0: CTI initialized
coresight cti_cpu1: CTI initialized
coresight cti_sys1: CTI initialized
coresight cti_cpu2: CTI initialized
coresight cti_sys2: CTI initialized
coresight cti_cpu3: CTI initialized
coresight cti_sys3: CTI initialized
coresight cti_cpu4: CTI initialized
coresight cti_sys4: CTI initialized
coresight cti_cpu5: CTI initialized
coresight cti_sys5: CTI initialized
coresight cti_cpu6: CTI initialized
coresight cti_sys6: CTI initialized
coresight cti_cpu7: CTI initialized
coresight cti_sys7: CTI initialized
coresight cti_cpu8: CTI initialized
coresight cti_sys8: CTI initialized
coresight cti_cpu9: CTI initialized
coresight cti_sys9: CTI initialized
coresight cti_cpu10: CTI initialized
coresight cti_sys10: CTI initialized
coresight cti_cpu11: CTI initialized
coresight cti_sys11: CTI initialized
```

```
coresight cti_cpu12: CTI initialized
coresight cti_sys12: CTI initialized
coresight cti_cpu13: CTI initialized
coresight cti_sys13: CTI initialized
coresight cti_cpu14: CTI initialized
coresight cti_sys14: CTI initialized
coresight cti_cpu15: CTI initialized
coresight cti_sys15: CTI initialized
coresight cti_cpu16: CTI initialized
coresight cti_sys16: CTI initialized
coresight cti_cpu17: CTI initialized
coresight cti_sys17: CTI initialized
coresight cti_cpu18: CTI initialized
coresight cti_sys18: CTI initialized
coresight cti_cpu19: CTI initialized
coresight cti_sys19: CTI initialized
coresight cti_cpu20: CTI initialized
coresight cti_sys20: CTI initialized
coresight cti_cpu21: CTI initialized
coresight cti_sys21: CTI initialized
coresight cti_cpu22: CTI initialized
coresight cti_sys22: CTI initialized
coresight cti_cpu23: CTI initialized
coresight cti_sys23: CTI initialized
coresight cti_sys24: CTI initialized
optee: probing for conduit method.
optee: api uid mismatch
optee: probe of firmware:optee failed with error -22
GACT probability NOT on
Mirror/redirect action on
u32 classifier
input device check on
Actions configured
gre: GRE over IPv4 demultiplexor driver
Initializing XFRM netlink socket
NET: Registered PF_INET6 protocol family
Segment Routing with IPv6
In-situ OAM (IOAM) with IPv6
```

```
sit: IPv6, IPv4 and MPLS over IPv4 tunneling driver
ip6_gre: GRE over IPv6 tunneling driver
NET: Registered PF_PACKET protocol family
NET: Registered PF_KEY protocol family
Bridge firewalling registered
8021q: 802.1Q VLAN Support v1.8
sctp: Hash tables configured (bind 4096/4096)
tipc: Activated (version 2.0.0)
NET: Registered PF_TIPC protocol family
tipc: Started in single node mode
9pnet: Installing 9P2000 support
Key type dns_resolver registered
mpls_gso: MPLS GSO support
registered taskstats version 1
Loading compiled-in X.509 certificates
Btrfs loaded, crc32c=crc32c-generic, zoned=no, fsverity=no
pstore: Using crash dump compression: deflate
bed-bert:BERT: 0x5f6afe800/0x1800
bed-bert:BERT block VA=0xffff80002bfee800
arm-scmi firmware:scmi: SCMI Notifications - Core Enabled.
arm-scmi firmware:scmi: SCMI Protocol v1.0 'Marvell:Marvell' Firmware version 0x1
pcieport 0000:00:01.0: Adding to iommu group 36
mpam: MPAM enabled with 64 partid and 1 pmg
pcieport 0000:00:0c.0: Adding to iommu group 37
pcieport 0000:00:0d.0: Adding to iommu group 38
pcieport 0000:00:0e.0: Adding to iommu group 39
pcieport 0000:00:0f.0: Adding to iommu group 40
gpio_thunderx 0000:00:11.0: Adding to iommu group 41
gpio gpiochip0: (gpio_thunderx): not an immutable chip, please consider fixing it!
gpio_thunderx 0000:00:11.0: ThunderX GPIO: 76 lines with base 436.
pcieport 0000:00:14.0: Adding to iommu group 42
pcieport 0002:00:00.0: Adding to iommu group 43
pcieport 0002:00:01.0: Adding to iommu group 44
pcieport 0002:00:02.0: Adding to iommu group 45
pcieport 0002:00:03.0: Adding to iommu group 46
pcieport 0002:00:04.0: Adding to iommu group 47
pcieport 0002:00:05.0: Adding to iommu group 48
pcieport 0002:00:06.0: Adding to iommu group 49
```

```
pcieport 0002:00:07.0: Adding to iommu group 50
pcieport 0002:00:08.0: Adding to iommu group 51
pcieport 0002:00:09.0: Adding to iommu group 52
pcieport 0002:00:0a.0: Adding to iommu group 53
pcieport 0002:00:0b.0: Adding to iommu group 54
pcieport 0002:00:0c.0: Adding to iommu group 55
pcieport 0002:00:0d.0: Adding to iommu group 56
pcieport 0002:00:0e.0: Adding to iommu group 57
pcieport 0002:00:0f.0: Adding to iommu group 58
pcieport 0002:00:10.0: Adding to iommu group 59
pcieport 0002:00:11.0: Adding to iommu group 60
pcieport 0002:00:12.0: Adding to iommu group 61
pcieport 0002:00:13.0: Adding to iommu group 62
pcieport 0002:00:14.0: Adding to iommu group 63
pcieport 0002:00:15.0: Adding to iommu group 64
pcieport 0002:00:16.0: Adding to iommu group 65
pcieport 0002:00:17.0: Adding to iommu group 66
pcieport 0002:00:18.0: Adding to iommu group 67
pcieport 0002:00:19.0: Adding to iommu group 68
pcieport 0002:00:1a.0: Adding to iommu group 69
pcieport 0002:00:1b.0: Adding to iommu group 70
pcieport 0002:00:1c.0: Adding to iommu group 71
pcieport 0002:00:1d.0: Adding to iommu group 72
pcieport 0002:00:1e.0: Adding to iommu group 73
pcieport 0002:00:1f.0: Adding to iommu group 74
pcieport 0008:00:00.0: Adding to iommu group 75
pcieport 0008:00:00.0: PME: Signaling with IRQ 3035
pcieport 0008:00:00.0: AER: enabled with IRQ 3035
octeontx2-dpi 0000:06:00.0: Adding to iommu group 76
gti-watchdog 0000:00:05.0: Adding to iommu group 77
gti-watchdog : timeout = 15000, core_mask = 0xffffff
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 0
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 1
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 2
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 3
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 4
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 5
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 6
```

```
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 7
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 8
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 9
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 10
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 11
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 12
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 13
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 14
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 15
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 16
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 17
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 18
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 19
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 20
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 21
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 22
gti-watchdog : Installing GTI CWD on CPU 23
cn10k_rng 0000:05:00.0: Adding to iommu group 78
EDAC octeontx: mdc 0x40000000: 0x5faf07000/0x1600
EDAC octeontx: dss 0x40000001: 0x5faf08600/0x1600
EDAC octeontx: tad 0x40000002: 0x5faf09c00/0x1600
EDAC octeontx: core0 0x40000003: 0x5faf0b200/0x1600
EDAC octeontx: core1 0x40000004: 0x5faf0c800/0x1600
EDAC octeontx: core2 0x40000005: 0x5faf0de00/0x1600
EDAC octeontx: core3 0x40000006: 0x5faf0f400/0x1600
EDAC octeontx: core4 0x40000007: 0x5faf10a00/0x1600
EDAC octeontx: core5 0x40000008: 0x5faf12000/0x1600
EDAC octeontx: core6 0x40000009: 0x5faf13600/0x1600
EDAC octeontx: core7 0x4000000a: 0x5faf14c00/0x1600
EDAC octeontx: core8 0x4000000b: 0x5faf16200/0x1600
EDAC octeontx: core9 0x4000000c: 0x5faf17800/0x1600
EDAC octeontx: core10 0x4000000d: 0x5faf18e00/0x1600
EDAC octeontx: core11 0x4000000e: 0x5faf1a400/0x1600
EDAC octeontx: core12 0x4000000f: 0x5faf1ba00/0x1600
EDAC octeontx: core13 0x40000010: 0x5faf1d000/0x1600
EDAC octeontx: core14 0x40000011: 0x5faf1e600/0x1600
EDAC octeontx: core15 0x40000012: 0x5faf1fc00/0x1600
EDAC octeontx: core16 0x40000013: 0x5faf21200/0x1600
```

```
EDAC octeontx: core17 0x40000014: 0x5faf22800/0x1600
EDAC octeontx: core18 0x40000015: 0x5faf23e00/0x1600
EDAC octeontx: core19 0x40000016: 0x5faf25400/0x1600
EDAC octeontx: core20 0x40000017: 0x5faf26a00/0x1600
EDAC octeontx: core21 0x40000018: 0x5faf28000/0x1600
EDAC octeontx: core22 0x40000019: 0x5faf29600/0x1600
EDAC octeontx: core23 0x4000001a: 0x5faf2ac00/0x1600
EDAC octeontx: gic 0x4000001b: 0x5faf2c200/0x1600
sdei: SDEIv1.0 (0x0) detected in firmware.
EDAC DEBUG: edac_mc_add_mc_with_groups:
EDAC DEBUG: edac_create_sysfs_mci_device: device mc0 created
EDAC MC0: Giving out device to module dss_edac controller dss: DEV dss (INTERRUPT)
EDAC octeontx: Register dss 0/0/43
EDAC DEBUG: edac_device_register_sysfs_main_kobj:
EDAC DEBUG: edac_device_add_device:
EDAC DEBUG: find_edac_device_by_dev:
EDAC DEBUG: edac_device_create_sysfs: idx=1
EDAC DEBUG: edac_device_create_instances:
EDAC DEVICE1: Giving out device to module tad_edac controller tad: DEV tad (INTERRUPT)
EDAC octeontx: Register tad 0/0/43
EDAC DEBUG: edac_device_register_sysfs_main_kobj:
EDAC DEBUG: edac_device_add_device:
EDAC DEBUG: find_edac_device_by_dev:
EDAC DEBUG: edac_device_create_sysfs: idx=2
EDAC DEBUG: edac_device_create_instances:
EDAC DEVICE2: Giving out device to module cpu_edac controller core: DEV core (INTERRUPT)
EDAC octeontx: Register 24 core
EDAC DEBUG: edac_device_register_sysfs_main_kobj:
EDAC DEBUG: edac_device_add_device:
EDAC DEBUG: find_edac_device_by_dev:
EDAC DEBUG: edac_device_create_sysfs: idx=3
EDAC DEBUG: edac_device_create_instances:
EDAC DEVICE3: Giving out device to module gic_edac controller gic: DEV gic (INTERRUPT)
EDAC octeontx: Register gic 0/0/43
EDAC DEBUG: edac_device_register_sysfs_main_kobj:
EDAC DEBUG: edac_device_add_device:
EDAC DEBUG: find_edac_device_by_dev:
EDAC DEBUG: edac_device_create_sysfs: idx=4
```

```
EDAC DEBUG: edac_device_create_instances:
EDAC DEVICE4: Giving out device to module mdc_edac controller mdc: DEV mdc (INTERRUPT)
EDAC octeontx: Register mdc 0/0/43
cfg80211: Loading compiled-in X.509 certificates for regulatory database
cfg80211: Loaded X.509 cert 'sforshee: 00b28ddf47aef9cea7'
platform regulatory.0: Direct firmware load for regulatory.db failed with error -2
cfg80211: failed to load regulatory.db
uart-pl011 87e028000000.serial: no DMA platform data
md: Waiting for all devices to be available before autodetect
md: If you don't use raid, use raid=noautodetect
md: Autodetecting RAID arrays.
md: autorun ...
md: ... autorun DONE.
EXT4-fs (mmcblk0p3): mounted filesystem with ordered data mode. Quota mode: none.
VFS: Mounted root (ext4 filesystem) on device 179:3.
devtmpfs: mounted
Freeing unused kernel memory: 6400K
Run /sbin/init as init process
with arguments:
/sbin/init
with environment:
HOME=/
TERM=linux
nohz_full=1-20
usb 2-1: new SuperSpeed USB device number 2 using xhci_hcd
usb-storage 2-1:1.0: USB Mass Storage device detected
scsi host0: usb-storage 2-1:1.0
EXT4-fs (mmcblk0p5): mounted filesystem with ordered data mode. Quota mode: none.
EXT4-fs (mmcblk0p9): mounted filesystem with ordered data mode. Quota mode: none.
EXT4-fs (mmcblk0p8): mounted filesystem with ordered data mode. Quota mode: none.
udevd[583]: starting version 3.2.11
udevd[584]: starting eudev-3.2.11
rvu_rep 0002:1c:00.0: Adding to iommu group 79
EXT4-fs (mmcblk0p3): re-mounted. Quota mode: none.
ds495: loading out-of-tree module taints kernel.
pld: version 0.1
pld: initialized driver
phy: unknown parameter 'sysinfo_system_id' ignored
```

```
phy: version 1.0
hwmon hwmon6: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon7: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon8: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon9: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon10: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon11: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon12: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon13: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon14: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon15: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon16: temp1_input not attached to any thermal zone
hwmon hwmon17: temp1_input not attached to any thermal zone
scsi 0:0:0:0: Direct-Access     BUFFALO  USB Flash Disk   1.00 PQ: 0 ANSI: 6
sd 0:0:0:0: [sda] 60628992 512-byte logical blocks: (31.0 GB/28.9 GiB)
sd 0:0:0:0: [sda] Write Protect is off
sd 0:0:0:0: [sda] Mode Sense: 45 00 00 00
sd 0:0:0:0: [sda] Write cache: disabled, read cache: enabled, doesn't support DPO or FUA
sda: sda1
sd 0:0:0:0: [sda] Attached SCSI removable disk
FAT-fs (sda1): Volume was not properly unmounted. Some data may be corrupt. Please run fsck.
phy: initialized driver
br0: port 1(eth3) entered blocking state
br0: port 1(eth3) entered disabled state
device eth3 entered promiscuous mode
br0: port 2(tun0) entered blocking state
br0: port 2(tun0) entered disabled state
device tun0 entered promiscuous mode
i2c i2c-2: new_device: Instantiated device ds495 at 0x58
i2c i2c-1: new_device: Instantiated device isl68137 at 0x60
i2c i2c-1: new_device: Instantiated device isl68137 at 0x4d
i2c i2c-1: new_device: Instantiated device isl68137 at 0x46
tipc: Started in network mode
tipc: Node identity 1001001, cluster identity 1
tipc: Node number set to 16781313
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0008010000000002
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0000000000000000
```

```
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0008010000000002
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0008010000000002
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0008010000000002
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0008010000000002
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0008010000000002
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0008010000000002
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu:        0x0000000000000000
arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
```

```
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0008010000000002
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0000000000000000
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0000000000000000
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0000000000000000
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu: event 0x02 received:
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0008010000000002
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0000000000000000
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0000000000000000
    arm-smmu-v3 830000000000.smmu:         0x0000000000000000
    rvu_cptpf 0002:20:00.0: Engine_group0: microcode loaded OCPT-04-SE-IPSEC-MC-20-24-08-00
    rvu_cptpf 0002:20:00.0: Engine_group1: reuse microcode OCPT-04-SE-IPSEC-MC-20-24-08-00 from
group 0
    rvu_cptpf 0002:20:00.0: Engine_group1: microcode loaded OCPT-04-IE-IPSEC-MC-30-24-08-00
    rvu_cptpf 0002:20:00.0: Engine_group2: microcode loaded OCPT-04-AE-MAIN-01-02-00-00
    pci 0002:20:00.1: [177d:a0f3] type 00 class 0x108000
    rvu_cptvf 0002:20:00.1: Adding to iommu group 80
    rvu_cptvf 0002:20:00.1: enabling device (0000 -> 0002)
    pci 0002:20:00.2: [177d:a0f3] type 00 class 0x108000
    rvu_cptvf 0002:20:00.2: Adding to iommu group 81
    rvu_cptvf 0002:20:00.2: enabling device (0000 -> 0002)
    pci 0002:20:00.3: [177d:a0f3] type 00 class 0x108000
    rvu_cptvf 0002:20:00.3: Adding to iommu group 82
    rvu_cptvf 0002:20:00.3: enabling device (0000 -> 0002)
    rvu_cptpf 0002:20:00.0: VFs enabled: 3
    vfio-pci 0002:02:00.0: vfio_cap_init: hiding cap 0x14@0x98
    vfio-pci 0002:03:00.0: vfio_cap_init: hiding cap 0x14@0x98
    vfio-pci 0002:04:00.0: vfio_cap_init: hiding cap 0x14@0x98
    vfio-pci 0002:20:00.2: enabling device (0000 -> 0002)
    vfio-pci 0002:20:00.3: enabling device (0000 -> 0002)
    rvu_af 0002:01:00.0: cgx 0: lmac 0 Link status UP
    rvu_af 0002:01:00.0: cgx 0: lmac 1 Link status UP
    rvu_af 0002:01:00.0: cgx 0: lmac 2 Link status UP
    rte_kni: Creating kni...
    rte_kni: Creating kni...
    rte_kni: Creating kni...
    rte_kni: Creating kni...
    rte_kni: Creating kni...
    rte_kni: Creating kni...
```

```
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
rte_kni: Creating kni...
br1: port 1(tun1) entered blocking state
br1: port 1(tun1) entered disabled state
device tun1 entered promiscuous mode
br1: port 2(vEth0) entered blocking state
br1: port 2(vEth0) entered disabled state
device vEth0 entered promiscuous mode
br1: port 2(vEth0) entered blocking state
br1: port 2(vEth0) entered forwarding state
br0: port 2(tun0) entered blocking state
br0: port 2(tun0) entered forwarding state
br1: port 1(tun1) entered blocking state
br1: port 1(tun1) entered forwarding state
br2: port 1(tun2) entered blocking state
br2: port 1(tun2) entered disabled state
device tun2 entered promiscuous mode
br2: port 2(vEth1) entered blocking state
br2: port 2(vEth1) entered disabled state
device vEth1 entered promiscuous mode
br2: port 2(vEth1) entered blocking state
br2: port 2(vEth1) entered forwarding state
br2: port 1(tun2) entered blocking state
br2: port 1(tun2) entered forwarding state
br3: port 1(tun3) entered blocking state
br3: port 1(tun3) entered disabled state
device tun3 entered promiscuous mode
br3: port 2(vEth2) entered blocking state
br3: port 2(vEth2) entered disabled state
```

```
device vEth2 entered promiscuous mode
br3: port 2(vEth2) entered blocking state
br3: port 2(vEth2) entered forwarding state
br3: port 1(tun3) entered blocking state
br3: port 1(tun3) entered forwarding state
br4: port 1(tun4) entered blocking state
br4: port 1(tun4) entered disabled state
device tun4 entered promiscuous mode
br4: port 2(vEth3) entered blocking state
br4: port 2(vEth3) entered disabled state
device vEth3 entered promiscuous mode
br4: port 2(vEth3) entered blocking state
br4: port 2(vEth3) entered forwarding state
br4: port 1(tun4) entered blocking state
br4: port 1(tun4) entered forwarding state
br5: port 1(tun5) entered blocking state
br5: port 1(tun5) entered disabled state
device tun5 entered promiscuous mode
br5: port 2(vEth4) entered blocking state
br5: port 2(vEth4) entered disabled state
device vEth4 entered promiscuous mode
br5: port 2(vEth4) entered blocking state
br5: port 2(vEth4) entered forwarding state
br5: port 1(tun5) entered blocking state
br5: port 1(tun5) entered forwarding state
br6: port 1(tun6) entered blocking state
br6: port 1(tun6) entered disabled state
device tun6 entered promiscuous mode
br6: port 2(vEth5) entered blocking state
br6: port 2(vEth5) entered disabled state
device vEth5 entered promiscuous mode
br6: port 2(vEth5) entered blocking state
br6: port 2(vEth5) entered forwarding state
br6: port 1(tun6) entered blocking state
br6: port 1(tun6) entered forwarding state
br7: port 1(tun7) entered blocking state
br7: port 1(tun7) entered disabled state
device tun7 entered promiscuous mode
```

br7: port 2(vEth6) entered blocking state
br7: port 2(vEth6) entered disabled state
device vEth6 entered promiscuous mode
br7: port 2(vEth6) entered blocking state
br7: port 2(vEth6) entered forwarding state
br7: port 1(tun7) entered blocking state
br7: port 1(tun7) entered forwarding state
br8: port 1(tun8) entered blocking state
br8: port 1(tun8) entered disabled state
device tun8 entered promiscuous mode
br8: port 2(vEth7) entered blocking state
br8: port 2(vEth7) entered disabled state
device vEth7 entered promiscuous mode
br8: port 2(vEth7) entered blocking state
br8: port 2(vEth7) entered forwarding state
br8: port 1(tun8) entered blocking state
br8: port 1(tun8) entered forwarding state
br9: port 1(tun9) entered blocking state
br9: port 1(tun9) entered disabled state
device tun9 entered promiscuous mode
br9: port 2(vEth8) entered blocking state
br9: port 2(vEth8) entered disabled state
device vEth8 entered promiscuous mode
br9: port 2(vEth8) entered blocking state
br9: port 2(vEth8) entered forwarding state
br9: port 1(tun9) entered blocking state
br9: port 1(tun9) entered forwarding state
br10: port 1(tun10) entered blocking state
br10: port 1(tun10) entered disabled state
device tun10 entered promiscuous mode
br10: port 2(vEth9) entered blocking state
br10: port 2(vEth9) entered disabled state
device vEth9 entered promiscuous mode
br10: port 2(vEth9) entered blocking state
br10: port 2(vEth9) entered forwarding state
br10: port 1(tun10) entered blocking state
br10: port 1(tun10) entered forwarding state
br11: port 1(tun11) entered blocking state

```
br11: port 1(tun11) entered disabled state
device tun11 entered promiscuous mode
br11: port 2(vEth10) entered blocking state
br11: port 2(vEth10) entered disabled state
device vEth10 entered promiscuous mode
br11: port 2(vEth10) entered blocking state
br11: port 2(vEth10) entered forwarding state
br11: port 1(tun11) entered blocking state
br11: port 1(tun11) entered forwarding state
br12: port 1(tun12) entered blocking state
br12: port 1(tun12) entered disabled state
device tun12 entered promiscuous mode
br12: port 2(vEth11) entered blocking state
br12: port 2(vEth11) entered disabled state
device vEth11 entered promiscuous mode
br12: port 2(vEth11) entered blocking state
br12: port 2(vEth11) entered forwarding state
br12: port 1(tun12) entered blocking state
br12: port 1(tun12) entered forwarding state
br13: port 1(tun13) entered blocking state
br13: port 1(tun13) entered disabled state
device tun13 entered promiscuous mode
br13: port 2(vEth12) entered blocking state
br13: port 2(vEth12) entered disabled state
device vEth12 entered promiscuous mode
br13: port 2(vEth12) entered blocking state
br13: port 2(vEth12) entered forwarding state
br13: port 1(tun13) entered blocking state
br13: port 1(tun13) entered forwarding state
br14: port 1(tun14) entered blocking state
br14: port 1(tun14) entered disabled state
device tun14 entered promiscuous mode
br14: port 2(vEth13) entered blocking state
br14: port 2(vEth13) entered disabled state
device vEth13 entered promiscuous mode
br14: port 2(vEth13) entered blocking state
br14: port 2(vEth13) entered forwarding state
br14: port 1(tun14) entered blocking state
```

br14: port 1(tun14) entered forwarding state
br15: port 1(tun15) entered blocking state
br15: port 1(tun15) entered disabled state
device tun15 entered promiscuous mode
br15: port 2(vEth14) entered blocking state
br15: port 2(vEth14) entered disabled state
device vEth14 entered promiscuous mode
br15: port 2(vEth14) entered blocking state
br15: port 2(vEth14) entered forwarding state
br15: port 1(tun15) entered blocking state
br15: port 1(tun15) entered forwarding state
br16: port 1(tun16) entered blocking state
br16: port 1(tun16) entered disabled state
device tun16 entered promiscuous mode
br16: port 2(vEth15) entered blocking state
br16: port 2(vEth15) entered disabled state
device vEth15 entered promiscuous mode
br16: port 2(vEth15) entered blocking state
br16: port 2(vEth15) entered forwarding state
br16: port 1(tun16) entered blocking state
br16: port 1(tun16) entered forwarding state
br17: port 1(tun17) entered blocking state
br17: port 1(tun17) entered disabled state
device tun17 entered promiscuous mode
br17: port 2(vEth16) entered blocking state
br17: port 2(vEth16) entered disabled state
device vEth16 entered promiscuous mode
br17: port 2(vEth16) entered blocking state
br17: port 2(vEth16) entered forwarding state
br17: port 1(tun17) entered blocking state
br17: port 1(tun17) entered forwarding state
eth3 NIC Link is UP 1000 Mbps Full duplex
br0: port 1(eth3) entered blocking state
br0: port 1(eth3) entered forwarding state
vfio-pci 0002:20:00.1: enabling device (0000 -> 0002)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

装置が起動した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

対処は不要です。

【メッセージ】

eth3 NIC Link is DOWN 0 Mbps Half duplex
br0: port 1(eth3) entered disabled state
eth3 NIC Link is UP 1000 Mbps Full duplex
br0: port 1(eth3) entered blocking state
br0: port 1(eth3) entered forwarding state

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

management の link 状態が変化すると変化状態に依存して出力されます

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

対処は不要です。

1.48 loggin_on

【メッセージ】

Open socket for syslog_set_data: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

syslogd に制御データを送信するためのソケットエラー

【パラメータの意味】

%m=エラー原因

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Bind port for syslog_set_data: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

syslogdに制御データを送信するためのソケットエラー

【パラメータの意味】

%m=エラー原因

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

1.49 login

【メッセージ】

LOGIN FAILURE FROM %01, %02

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

リモートコンソールのログインに失敗しました

【パラメータの意味】

%01:ホスト

%02:ユーザ ID

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

LOGIN FAILURE ON %01, %02

【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ローカルコンソールのログインに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:tty 名
%02:ユーザ ID
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
LOGIN (%01) ON %02 FROM %03
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
リモートコンソールにログインしました
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
%02:tty 名
%03:ホスト
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
LOGIN (%01) ON %02
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ローカルコンソールにログインしました
【パラメータの意味】
%01:ユーザ名
%02:tty 名

【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
couldn't get local hostname: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ローカルホスト名の取得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Login failed; too many active sessions (%01 maximum)
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ログインできる最大セッション数を超えました
【パラメータの意味】
%01=最大セッション数
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Cannot update utmpx: %01
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
utmp ファイルのアクセスに失敗しました
【パラメータの意味】

%01:エラー

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

authentication attempts list overflow(%01).

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ログイン認証に失敗したユーザを記録するファイルが溢れました。

非登録ユーザに対してロックアウト機能が動作しない可能性があります。

【パラメータの意味】

%01:非登録ユーザのエントリ数の上限

【アクション】

セキュリティ環境を見直してください。

【メッセージ】

Account is locked out: %01 %02min

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

一定回数認証に失敗したため一定時間ロックアウトします

【パラメータの意味】

%01:ユーザ名

%02:ロックアウト時間

【アクション】

装置はそのままご使用ください

1.50 lpdaemon

【メッセージ】

ERROR LPIFD: lpifd_outlet_send_ifpt_ack send retry over.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信に失敗しました。

物理インタフェースの設定で問題が発生する可能性があります。

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

ERROR NPC: %1 L2DB: failed to delete all LRN entries for NP

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

MAC アドレスの削除に失敗しました。

MAC アドレスの学習機能に問題が発生する可能性があります。

【パラメータの意味】

%1 = 検出箇所

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

ERROR NPC: %1 L2DB: failed to delete all FWD entries for NP

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

MAC アドレスの削除に失敗しました。

MAC フレームのフォワーディング動作で問題が発生する可能性があります。

【パラメータの意味】

%1 = 検出箇所

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

ERROR NPC: %1 %2 mac-address-table internal fatal error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

MAC アドレスを管理する内部カウンタで異常を検出しました。

MAC アドレスの学習機能に問題が発生する可能性があります。

【パラメータの意味】

%1 = 検出箇所

%2 = 検出箇所

【アクション】

clear mac-address-table reinitialize コマンドを実行してください。

学習している MAC アドレスをすべてクリアし、内部カウンタを初期状態に戻します。

コマンド実行中は MAC 学習動作が停止し、すべてのブリッジグループでフラッディングします。

【メッセージ】

ERROR NPC: npc_l2tp_ifmac_delete npc_l2tp_np_delete_entry retry over err=%1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

MAC アドレスの削除に失敗しました。

MAC フレームのフォワーディング動作で問題が発生する可能性があります。

【パラメータの意味】

%1 = エラー理由

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

ERROR LPMACD: lpmacd_reply send retry over.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信に失敗しました。

L2TPv3 のゲートウェイ冗長機能で問題が発生する可能性があります。

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Total MAC address learning entry has reached the threshold value(%1)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

装置の MAC アドレス学習エントリ数が 警告エントリ数に到達しました。

【パラメータの意味】

%1 = 装置の警告エントリ数

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

MAC address learning entry of bridge-group %1 has reached the threshold value(%2)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ブリッジグループの MAC アドレス学習エントリ数が 警告エントリ数に到達しました。

【パラメータの意味】

%1 = ブリッジグループ番号

%2 = 警告エントリ数

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Total MAC address learning entry becomes greater than to the total-max-entry value(%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

装置の MAC アドレス学習エントリ数が total-max-entry 数を超過しました。

【パラメータの意味】

%1 = 装置の最大学習エントリ数

【アクション】

bridge の mac-address-table total-max-entry 設定を見直して下さい。

【メッセージ】

Total MAC address learning entry has reached the total-max-entry value(%1)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

装置の MAC アドレス学習エントリ数が total-max-entry 数に到達しました。

【パラメータの意味】

%1 = 装置の最大学習エントリ数

【アクション】

bridge の mac-address-table total-max-entry 設定を見直して下さい。

【メッセージ】

MAC address learning entry of bridge-group %1 becomes greater than to the max-entry value(%2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ブリッジグループの MAC アドレス学習エントリ数が max-entry 数を超過しました。

【パラメータの意味】

%1 = ブリッジグループ番号

%2 = 最大学習エントリ数

【アクション】

bridge の mac-address-table total-max-entry 設定を見直して下さい。

【メッセージ】

MAC address learning entry of bridge-group %1 has reached the max-entry value(%2)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ブリッジグループの MAC アドレス学習エントリ数が max-entry 数に到達しました。

【パラメータの意味】

%1 = ブリッジグループ番号

%2 = 最大学習エントリ数

【アクション】

bridge の mac-address-table total-max-entry 設定を見直して下さい。

【メッセージ】

Bridge-group %1 loop detected(%2, %3).

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ブリッジグループのインタフェース間でループ検出しました。

【パラメータの意味】

%1 = ブリッジグループ番号

%2 = ループ検出インタフェース(移動前)

%3 = ループ検出インタフェース(移動後)

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

failed to add static mac address entry due to limit to the number of entries.(bride-group=%1, cvid=%2, MAC=%3

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

static mac address の登録に失敗

【パラメータの意味】

%1 = 登録に失敗したエントリの bride-group
%2 = 登録に失敗したエントリの cvid
%3 = 登録に失敗したエントリの mac address

【アクション】

static mac address の登録数が 1000 件を超えていないか確認してください。

【メッセージ】

failed to add %1 entry. key:%2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

中継処理用テーブルの登録に失敗

【パラメータの意味】

%1 = 登録に失敗したエントリの type
ivlan/ivif/evif : インタフェーステーブル
ipv4 : ipv4 経路テーブル
ipv6 : ipv6 経路テーブル
%2 = 登録に失敗したエントリの key

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

failed to delete %1 entry. key:%2

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

中継処理用テーブルの登録に失敗

【パラメータの意味】

%1 = 削除に失敗したエントリの type
ivlan/ivif/evif : インタフェーステーブル
ipv4 : ipv4 経路テーブル
ipv6 : ipv6 経路テーブル
%2 = 削除に失敗したエントリの key

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】
GLOBAL: failed to set tpid for NP
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
tpid の設定に失敗した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
failed to 'shm_open'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリのオープンに失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
failed to 'mmap'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリのマッピングに失敗した
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
set default speed/duplex GigaEthernet %1
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
duplex, speed 設定が不備のためデフォルトの設定がされました。
【パラメータの意味】
%1 = インタフェース名
【アクション】
メッセージに表示されたインタフェースの duplex, speed を確認し
正しく設定を行ってください。

【メッセージ】
--- %1 --- : socket failed errno:%2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ソケットのオープンに失敗した
【パラメータの意味】
%1 = 関数名
%2 = エラー番号
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
--- %1 --- : bind failed errno:%2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

bind に失敗した

【パラメータの意味】

%1 = 関数名

%2 = エラー番号

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

--- %1 --- : unknown mesg type:%2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不明なメッセージタイプを受信した

【パラメータの意味】

%1 = 関数名

%2 = タイプ

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

--- %1 --- : read failed errno:%2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メッセージを読めませんでした

【パラメータの意味】

%1 = 関数名

%2 = タイプ

【アクション】

異常がなければそのままお使いいただけます。異常がある場合は、report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

1.51 lpmd

【メッセージ】

daemon(0,0) failed %2 (%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

プロセスをデーモン化する関数でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

dl failed (%1): %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ダイナミックライブラリの処理関数でエラーが発生した場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーメッセージ

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Can't allocate memory [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリの取得でエラーが発生した場合。

【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Null pointer access [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
データ領域へのポインタが NULL になっている場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Can't find %2(%3) [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
必要なデータが見つからない場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = 必要なデータ名
%3 = 必要なデータの ID
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Out of range %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

パラメータの値が有効範囲外の場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = パラメータの値

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Mismatch %2 %3 != %4 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

パラメータの値が想定される値と一致しない場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = パラメータを識別する ID

%3 = パラメータの値

%4 = 想定される値

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Out of range %2 %3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

パラメータの値が有効範囲外の場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = パラメータを識別する ID

%3 = パラメータの値

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt failed %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdt ライブラリ関数がエラーした場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Resource is not allocated %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
獲得していないリソースを開放しようとした場合。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = 解放しようとしたリソース ID
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Unknown log message [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
定義されていない syslog メッセージを出力しようとした場合

【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Systemcall %2 failed %3 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
システムコールの実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = システムコール名
%3 = エラーコード
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Assertion error %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
プロセスが不正な状態になったことを検知した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = 不正な状態になった変数の値
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
%2 %3 access-group %4 %5 has unsupported field(s), ignored [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
サポートしていないアクセスリストのフィールドが指定された場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = アクセスリストが設定されたインタフェース名
%3 = プロトコル識別子
%4 = アクセスリスト番号
%5 = アクセスリストが設定された方向
【アクション】
サポートされていないフィールドを指定しないようにコンフィグを変更してください。

【メッセージ】
%2 %3 no classifier entry, clear entries in the table for the interface [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
クラシファイアエントリが枯渇したために設定ができなかった場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = クラシファイアの枯渇が発生した設定がされているインタフェース名
%3 = 枯渇が発生したクラシファイア種別名
【アクション】
使用するクラシファイアエントリ数を減らしたコンフィグを再設定してください。

【メッセージ】
NP API error: %2 %3 %4 %5 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
NP 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード
%3 = API へ渡したパラメータ 1
%4 = API へ渡したパラメータ 2
%5 = API へ渡したパラメータ 3

【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
NP API error: %2 %3 %4 %5 %6 [%1]

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
NP 設定 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
%3 = API へ渡したパラメータ 1
%4 = API へ渡したパラメータ 2
%5 = API へ渡したパラメータ 3
%6 = API へ渡したパラメータ 4

【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Out of range %2 %3 %4 [%1]

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
パラメータの値が有効範囲外の場合

【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = パラメータの値 1
%3 = パラメータの値 2
%4 = パラメータの値 3

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

NP API error: %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 %9 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード

%3 = API へ渡したパラメータ 1

%4 = API へ渡したパラメータ 2

%5 = API へ渡したパラメータ 3

%6 = API へ渡したパラメータ 4

%7 = API へ渡したパラメータ 5

%8 = API へ渡したパラメータ 6

%9 = API へ渡したパラメータ 7

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

No resource: %2 %3 %4 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

リソースの割り当てに失敗した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = リソース名

%3 = 取得済みのリソース数

%4 = 取得しようとしたリソース数

【アクション】

設定を変更して使用するリソース数を減らしてください。

【メッセージ】

NP API error: %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 %9 %10 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード

%3 = API へ渡したパラメータ 1

%4 = API へ渡したパラメータ 2

%5 = API へ渡したパラメータ 3

%6 = API へ渡したパラメータ 4

%7 = API へ渡したパラメータ 5

%8 = API へ渡したパラメータ 6

%9 = API へ渡したパラメータ 7

%10 = API へ渡したパラメータ 8

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

NP API error: %2 %3 %4 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード

%3 = API へ渡したパラメータ 1

%4 = API へ渡したパラメータ 2

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

NP API error: %2 %3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード

%3 = API へ渡したパラメータ 1

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

%2: can't get $%3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

簡略化設定で引数が与えられてない場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = コマンド

%3 = 引数の番号

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%2: $%3 is out of range [%1]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

簡略化設定で指定された値が設定範囲を超えている場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = コマンド

%3 = 引数の番号

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

NP API error: %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード

%3 = API へ渡したパラメータ 1

%4 = API へ渡したパラメータ 2

%5 = API へ渡したパラメータ 3

%6 = API へ渡したパラメータ 4

%7 = API へ渡したパラメータ 5

%8 = API へ渡したパラメータ 6

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

%1:"%2" is not supported, ignored

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

インタフェースでサポートしていない設定が行われた場合。

【パラメータの意味】

%1 = インタフェース名

%2 = 設定コマンド

【アクション】

設定可能なコマンドに変更してください。

【メッセージ】

Too many %2 %3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

処理の回数が想定より多い場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 処理の内容

%3 = 処理の回数

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

%1 %2 is not found

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コマンドで参照している名前が見つからない場合。

【パラメータの意味】

%1 = 名前種別

%2 = 名前

【アクション】

設定した名前を参照するように変更してください。

【メッセージ】

Invalid policy-routing configuration(s): %2: %3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定パラメータにて、設定ミスを検出しました。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = class-map 名
%3 = 設定ミスの要因
different vrf
invalid action
same vrf
【アクション】
ログに記載されたパラメータの設定を見直してください。

【メッセージ】
nexthop ack msg length error %2:%3 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ポリシールーティングにおいて、通知されたメッセージフォーマットが不正でした
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = メッセージタイプ
%3 = メッセージの長さ
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
%2 version is different %3 != %4 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メッセージのバージョンが異なる場合。
【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子
%2 = メッセージを送信したデーモンの名前
%3 = 受信メッセージのバージョン
%4 = 想定しているバージョン

【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Message is too short %2 < %3 [%1]

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
受信したメッセージ長が必要な長さより短い場合。

【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = 受信したメッセージ長
%3 = 必要なメッセージ長

【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
%2: %3 is not supported for %4, ignored. [%1]

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
インタフェースでサポートしていない設定が行われた場合。

【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = インターフェース名
%3 = コマンド名
%4 = 設定の方向

【アクション】
設定可能なコマンドに変更してください。

【メッセージ】

%2 %3 access-group %4 %5: can't allocate %6 classifier entries. [%1]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

アクセスリスト用のクラフィファイアエントリの取得ができなかった場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = インタフェース名

%3 = プロトコル名

%4 = アクセスリスト番号

%5 = 設定方向

%6 = 取得しようとしたエントリ数

【アクション】

使用するクラシファイアエントリ数を減らしてください。

【メッセージ】

%2 %3 %4 %5: can't allocate %6 classifier entries. [%1]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

service-policy または policy-route のクラフィファイアエントリの取得ができなかった場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = インタフェース名

%3 = "service-policy" または "policy-route"

%4 = 設定方向

%5 = ポリシーマップ名またはポリシールートマップ名

%6 = 取得しようとしたエントリ数

【アクション】

使用するクラシファイアエントリ数を減らしてください。

【メッセージ】

classifier %2: can't allocate memory, sub-classifier is used [%1]

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
クラシファイア作成時にメモリ割り当てに失敗した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = クラシファイアの ID
【アクション】
使用するクラシファイアのエントリ数を減らしてください。

【メッセージ】
The police pir must be equal to or greater than the cir (%1 < %2), ignored.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
police コマンド引数の pir 値が cir 値より小さかった場合
【パラメータの意味】
%1 = pir の設定値
%2 = cir の設定値
【アクション】
pir の設定値を cir 以上にしてください。

【メッセージ】
The number of %1 entries reached the limit (%2).
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
エントリ数が最大値に到達した場合。
【パラメータの意味】
%1 = エントリの種類
%2 = 最大値
【アクション】

必要に応じて、装置設定、運用環境を見直してください。

【メッセージ】

failed to change the state of policy-flag %2 to "%3" [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コマンド実行が失敗したことを示す

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 変更に失敗したポリシーフラグ番号を示します。

%3 = フラグをどの状態に変更しようとしたかを示します。

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Port scheduler %1 %2%3: %4 is not supported, ignore

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ポートスケジューラでサポートしていないコマンドが設定されたことを示す

【パラメータの意味】

%1 = ポートスケジューラ ID

%2 = コマンドが適用されるリソース名

%3 = コマンドが適用されるリソース ID

%4 = コマンド名

【アクション】

必要に応じて、装置設定、運用環境を見直してください。

1.52 lpsurveyd

【メッセージ】

ERROR: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

survey の offload プロセス内で障害が発生しています

【パラメータの意味】

%1: エラーの詳細情報

【アクション】

メーカーに問い合わせてください。

【メッセージ】

offload no response

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

offload が無応答です。NP が停止している可能性があります.

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

通信ができていれば問題のないログです.

通信が停止しているようであればメーカーに問い合わせてください.

【メッセージ】

TIPC hello send error %1 %2 %3

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

tipc の hello メッセージの送信にエラーしました

【パラメータの意味】

%1 %2 %3 エラーの詳細情報

【アクション】

リトライが動作しますので通信ができていれば問題のないログです.

通信が停止しているようであればメーカーに問い合わせてください.

1.53 lpvrrpd

【メッセージ】
ERROR: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
lpvrrpd のプロセス内で障害が発生しています
【パラメータの意味】
%1: エラーの詳細情報
【アクション】
メーカーに問い合わせてください。

【メッセージ】
CP SOCK_SEQPACKET Socket connect failed (%s)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TIPC ソケット connect エラー
【パラメータの意味】
エラーコード
【アクション】
継続して出ている場合はメーカーに問い合わせてください。

【メッセージ】
offload no response
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

offload が無応答です。NP が停止している可能性があります.

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

通信ができていれば問題のないログです.

通信が停止しているようであればメーカーに問い合わせてください.

【メッセージ】

vrrpd shutdown CP

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

lpvrrpd が vrrpd 応答なしを検知

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

メーカーに問い合わせてください。

【メッセージ】

vrrpd up CP

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

lpvrrpd が vrrpd 起動を検知

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

vrrp6d shutdown CP

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

lpvrrpd が vrrp6d 応答なしを検知

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

メーカーに問い合わせてください。

【メッセージ】

vrrp6d up CP

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

lpvrrpd が vrrp6d 起動を検知

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

1.54 macset_ap

【メッセージ】

MAC address can't be changed. It will be changed after reboot. %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

refresh 実行時にインタフェースの MAC アドレス変更はできない

【パラメータの意味】

%01: インタフェース名

【アクション】

コンフィグを起動コンフィグファイルに保存し装置を再起動してください。

装置は、そのままご使用ください

【メッセージ】
fail get shared memory board_spec
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
board_spec 用共有メモリの取得に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail attach shared memory board_spec
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
board_spec 用共有メモリのアタッチに失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

1.55 mnifd

【メッセージ】
Fail to create descriptor, %01: %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
デスクリプターの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】
%01: 種別
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to set event (%01): %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
イベント登録に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01: 登録識別子
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Could not open file %01, %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ファイルを開くのに失敗しました。
【パラメータの意味】
%01: ファイル名
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Could not create socket
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケットを開くのに失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to ioctl(%01), %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ioctl()に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01: 要求内容
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
close connection
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信の接続が切断されました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままお使いください。

【メッセージ】
Fail to load file %01, %02

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ファイルの読み取りに失敗しました。
【パラメータの意味】
%01: ファイル名
%02: エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

1.56 mathd

【メッセージ】
Calculation by hardware.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
mathd が起動時に HARDWARE デバイスを認識した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
Calculation by software.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
mathd が起動時に HARDWARE デバイスを認識できなかった。
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Calculation failure. HARD device failed operation.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

HARDWARE デバイスから計算失敗通知を受けた。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Failed initialisation hardEngine

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

HARDWARE デバイスの初期化に失敗した。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.57 natd

【メッセージ】

%1: malloc fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリ取得に失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: recv invalid message kind(%2)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不正な種別の通知を受けた場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=通知種別
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: recv invalid type(%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不正なタイプの通知を受けた場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=通知タイプ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%1: invalid message size(type:%2, buflen:%3 != %4)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

不正なサイズの通知を受けた場合

【パラメータの意味】

%1=エラー箇所

%2=通知タイプ

%3=通知データサイズ

%4=正常なデータサイズ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

internal error: socket open fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部ソケットの生成に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

internal error: connect fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部ソケットの接続に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
select timeout
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh 完了応答待機がタイムアウトした場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
select error(%1)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh 完了応答待機がエラー終了した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー種別
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
recv error(%1)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
refresh 完了応答受信に失敗した場合
【パラメータの意味】

%1=エラー種別

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

recv invalid massage(kind:%1, type:%2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

refresh 完了応答が不正だった場合

【パラメータの意味】

%1=通知種別

%2=通知タイプ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ip nat pool %1: Illegal start IP address ¥"0.0.0.0¥". It has changed to ¥"0.0.0.1¥".

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

pool 設定の開始 IP アドレスが不正値「0.0.0.0」であったため「0.0.0.1」に変更した場合

【パラメータの意味】

%1=pool 番号

【アクション】

pool 設定を見なおしてください

【メッセージ】

ip nat pool %1: Illegal start IP address ¥"255.255.255.255¥". It has changed to ¥"255.255.255.254¥".

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
pool 設定の開始 IP アドレスが不正値「255.255.255.255」であったため「255.255.255.254」に変更した場合
【パラメータの意味】
%1=pool 番号
【アクション】
ip nat pool 設定を見なおしてください

【メッセージ】
ip nat pool %1: Illegal end IP address ¥"255.255.255.255¥". It has changed to ¥"255.255.255.254¥".
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
pool 設定の終了 IP アドレスが不正値「255.255.255.255」であったため「255.255.255.254」に変更した場合
【パラメータの意味】
%1=pool 番号
【アクション】
ip nat pool 設定を見なおしてください

【メッセージ】
ip nat pool %1: Illegal IP address range ¥"%2 - %3¥". Set only ¥"%2¥".
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
pool 設定の IP アドレス範囲が不正で、開始 IP アドレスのみを反映した場合
【パラメータの意味】
%1=pool 番号
%2=開始 IP アドレス
%3=終了 IP アドレス
【アクション】
ip nat pool 設定を見なおしてください

【メッセージ】
IFID DB attach error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
IFID 共有メモリの取得失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
select failed (%1)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
受送信処理待機がエラー終了した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
config sync error(DELETE): ip nat pool %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不正な ip nat pool 削除通知を受けた場合
【パラメータの意味】
%1=pool 番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
config sync error(DELETE): ip nat list %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不正な ip nat list 削除通知を受けた場合
【パラメータの意味】
%1=list 番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
config sync error(ADD): ip nat inside/outside
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不正な ip nat inside/outside 設定通知を受けた場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Illegal IP NAT setting: Excess setting
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ip nat inside/outside 設定が設定上限オーバまたは、設定入替上限オーバとなった場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

ip nat inside/outside 設定の設定数が上限を超えていないかご確認ください。
そうでない場合、一旦コンフィグをクリアし、再度設定を行ってください。

【メッセージ】
Illegal IP NAT setting: Excess dynamic NAT setting
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ダイナミック NAT 設定が設定上限オーバまたは、設定入替上限オーバとなった場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
ダイナミック NAT 設定の設定数が上限を超えていないかご確認ください。
そうでない場合、一旦コンフィグをクリアし、再度設定を行ってください。

【メッセージ】
%1: Network processor returned invalid value. (%2) ret = %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
NAT 設定追加が NP に反映されなかった場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=エラー種別
%3=エラー値(出ない場合があります)
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: Illegal port range ¥"%2 - %3¥". Set only ¥"%2¥".
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
ポート指定が不正で、開始ポート番号のみが反映された場合
【パラメータの意味】
%1=コンフィグ種別
%2=開始ポート番号
%3=終了ポート番号
【アクション】
コンフィグを見なおしてください。

【メッセージ】
%1: Network processor returned invalid value. (del table entry) ret = %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
NAT 設定削除が NP に反映されなかった場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=エラー値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fail to acl_create(%1:%2) status: %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ACL の作成に失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=送受信種別
%2=ACL コンテキスト ID
%3=エラーステータス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail to acl_build(%1:%2) status: %3 and use linear acl

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ACL のビルドに失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=送受信種別

%2=ACL コンテキスト ID

%3=エラーステータス

【アクション】

ACL の生成に失敗したので linear ACL 検索テーブルを使用します。

【メッセージ】

fail to acl_set_context(%1): %2: %3 status: %4¥

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ACL のコンテキスト ID 設定に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=送受信種別

%2=コンテキスト ID 種別

%3=ACL コンテキスト ID

%4=エラーステータス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail to acl_clear_context(%1) status: %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ACL のコンテキスト ID 解除に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=送受信種別

%2=エラーステータス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail to libahp_nat_acl_destroy(%1): old %2: %3 status: %4

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ACL の削除に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=送受信種別

%2=コンテキスト ID 種別

%3=ACL コンテキスト ID

%4=エラーステータス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail to acl_add: status: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ACL エントリ追加に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラーステータス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fail to libahp_nat_acl_destroy(contextid:%1) status: %2

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
起動時の ACL クリアに失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=ACL コンテキスト ID
%2=エラーステータス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Illegal IP NAT ACL setting: Excess setting
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ip nat acl 設定が設定上限オーバとなった場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
ip nat acl 設定の設定数が上限を超えていないか確認してください。

【メッセージ】
Illegal IP NAT ACL permit setting: Excess setting
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ip nat acl permit 設定が設定上限オーバとなった場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
ip nat acl permit 設定の設定数が上限を超えていないか確認してください。

【メッセージ】

Couldn't delete expired nat flow entry(ret = %1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

FLOW エントリの削除に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラーステータス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%1: Illegal port range ¥"%2 - %3¥" ¥"%4¥".

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

変換後のポート番号のレンジが 65535 を超えている場合

【パラメータの意味】

%1=コンフィグ種別

%2=変換前ポート番号：開始

%3=変換前ポート番号：終了

%4=変換後ポート番号：開始

【アクション】

変換後のポート番号のレンジが 65535 を超えないように設定してください。

【メッセージ】

%s: getsockopt

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ソケット設定に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー箇所

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

natd get ifaddr select error(%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

IF アドレス取得待機がエラーとなった場合

【パラメータの意味】

%1=エラー種別

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

natd get ifaddr recv error(%1) %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

IF アドレス取得に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー種別

%2=エラーステータス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt init error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdt の初期化に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt start error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdt の開始に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt suspend error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdt の一時停止に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

sysmips error %d

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
sysmips に失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=エラーステータス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
protocol: rejected at NAT(%1.%2) : %3 %4:%5 -> %6:%7
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
NAT 機能によってパケットが破棄された場合
【パラメータの意味】
%1=インタフェース名
%2=以下の破棄理由が表示される
"lack of memory" : NAT テーブル上限で NAT できなかった場合
"table not found" : NAT 変換対象でないパケットの場合
"map empty" : 動的 NAT のマップ上限のため NAT できなかった場合
"fail ftp dataport and parse" : FTP データポートコマンドの解析エラーの場合
"receive record option" : レコードオプションパケットの場合
"conflict flow table" : NAT テーブル登録重複のため NAT できなった場合
%3=プロトコル種別(TCP,UDP,ICMP,IP,その他番号) TCP の SYN の場合は、TCP(S)と出力されます
%4=送信元 IP アドレス
%5=送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない)
%6=宛先 IP アドレス
%7=宛先ポート番号(プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない)
【アクション】
NAT によるパケット破棄のログの出力が有効の場合に出力され、運用上は問題ありません

【メッセージ】
protocol: NAT:table:%1 (%2) %3 %4:%5 %6:%7 -> %8:%9 %10:%11 %12
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】

NAT で通信を契機に NAT 変換テーブルが作成、削除された場合

【パラメータの意味】

%1=アクション

%2=インタフェース名

%3=NAT 変換テーブルのプロトコル種別(TCP,UDP,ICMP,IP,その他番号)

%4=NAT 変換前の送信元 IP アドレス

%5=NAT 変換前の送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない)

%6=NAT 変換前の宛先 IP アドレス

%7=NAT 変換前の宛先ポート番号(プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない)

%8=NAT 変換後の送信元 IP アドレス

%9=NAT 変換後の送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない)

%10=NAT 変換後の宛先 IP アドレス

%11=NAT 変換後の宛先ポート番号(プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない)

%12=NAT 変換後の VRF (NAT 変換の前後で INET/VRF が同じ場合には表示しない)

【アクション】

NAT 変換テーブルの作成によるログの出力が有効の場合に出力され、運用上は問題ありません

1.58 nld

【メッセージ】

%1: malloc fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メモリ取得に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー箇所

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%1: socket open error:%2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ソケット生成に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー箇所

%1=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%1: send error %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

バインドに失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%1: select timeout

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

通知応答待機がタイムアウトした場合

【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: select error(%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
通知応答待機がエラー終了した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=エラー種別
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: recv invalid nld massage(kind:%2, type:%3)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不正なnld通知を受信した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=通知種別
%3=通知タイプ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: Couldn't get vpidNum(%2) %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
vpid 数が取得できなかった場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=エラー種別
%3=エラーステータス(出力されない場合もあります)
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: Couldn't get vpid(%2) %3¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
vpid 数が取得できなかった場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=エラー種別
%3=エラーステータス(出力されない場合もあります)
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: internal error: socket open fail(nld)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ソケット生成に失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%s: internal error: connect fail(nld)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

nld 接続に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー箇所

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%s: getsockopt

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ソケット設定に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー箇所

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

select failed (%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

受送信処理待機がエラー終了した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
nld: socket bind error:%1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
バインドに失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: netlink_read: error msg recv %2 %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
エラーリンクメッセージを受信した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=エラー種別
%3=メッセージタイプ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
strtoul(%1) error %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
strtoul がエラーとなった場合

【パラメータの意味】
%1=エラー種別
%2=エラーステータス(表示されない場合があります)
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Attached Shared Memory failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
共有メモリのアタッチに失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: recv invalid message kind(%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不正なnld通知種別を受信した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー箇所
%2=通知種別
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%1: recv invalid type(%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

不正なnld通知タイプを受信した場合

【パラメータの意味】

%1=エラー箇所

%2=通知タイプ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt init error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtの初期化に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt start error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtの開始に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt suspend error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdt の一時停止に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

NAT ARP: already exist.

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NAT ARP 連携機能で ARP 応答する NAT 設定の変換前アドレス設定が重複した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

ip nat inside destination 設定を見直し、一旦コンフィグをクリアして再度設定を行ってください。

1.59 ntpd

【メッセージ】

uwdt_init error: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部エラー uwdt の初期化に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt_start error: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー uwdt の初期化に失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt_heartbeat error: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー uwdt との通信に失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
logconfig: illegal argument %s - ignored
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

設定の読み込みで不正な値が発見された場合

【パラメータの意味】

%s=不正な設定内容

【アクション】

設定を見直してください。(ntp の部分)

【メッセージ】

logging to file %s

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

file への書き込みを行う場合

【パラメータの意味】

%s=書き込みファイル名

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Cannot open log file %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

file への書き込みに失敗した場合

【パラメータの意味】

%s=書き込みファイル名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

getconfig2: Couldn't open <%s>

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

config の読み込みに失敗した場合

【パラメータの意味】

%s=config 名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

command line trusted key %s is invalid

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

trusted key の値が不正の場合

【パラメータの意味】

%s=trusted key number

【アクション】

設定を見直してください。(trusted key の部分)

【メッセージ】

getconfig: Couldn't generate a valid random key!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

trusted key 生成用の random 変数の作成に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

getaddrinfo: "%s" invalid host address, line ignored"

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
config の読み込みに失敗した場合
【パラメータの意味】
%s=失敗したホスト名
【アクション】
設定を見直してください。(host の部分)

【メッセージ】
getconfig: Couldn't open <%s>
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
config の読み込みに失敗した場合
【パラメータの意味】
%s=config 名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
attempt to configure invalid address %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アドレス設定が不正の場合
【パラメータの意味】
%s=不正なアドレス
【アクション】
設定を見直してください。(ntp の部分)

【メッセージ】
peer/server version requires an argument
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ntp version が設定されていない場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
設定を見直してください。(ntp の部分)

【メッセージ】
inappropriate version number %s, line ignored
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ntp version が不正な場合
【パラメータの意味】
%s=設定された ntp version
【アクション】
設定を見直してください。(ntp の部分)

【メッセージ】
key: argument required
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
key の値が不正の場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
設定を見直してください。(ntp の部分)

【メッセージ】
configuration of %s failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
config の読み込みに失敗した場合
【パラメータの意味】
%s=読み込みに失敗した設定のサーバアドレス
【アクション】
設定を見直してください。(ntp の部分)

【メッセージ】
trusted key %s unlikely
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
trusted key の値が不正な場合
【パラメータの意味】
%s=不正な設定
【アクション】
設定を見直してください。(key の部分)

【メッセージ】
peer struct for %s not in table!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部データに設定内容と一致するデータが無い場合
【パラメータの意味】
%s=設定サーバアドレス
【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
peer struct for %s not in association table!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部データに設定内容と一致するデータが無い場合
【パラメータの意味】
%s=設定サーバアドレス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
getifaddr: %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インタフェース情報の取得に失敗した場合
【パラメータの意味】
%m=エラー番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
create_sockets: setsockopt(SO_REUSEADDR,off) failed: %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

データ送信時エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%m=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

setsockopt IP_DROP_MEMBERSHIP fails: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

データ送信時エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%m=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

setsockopt SO_REUSEADDR on fails: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

データ送信時エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%m=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

setsockopt IPTOS_LOWDELAY on fails: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

データ送信時エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%m=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

bind() fd %d1, family %d2, port %d3, addr %s, in_classd=%d4 flags=%d5 fails: %%m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ソース指定インターフェイスがまだ UP していません

【パラメータの意味】

%d1=内部データパラメータ

%d2=内部データパラメータ

%d3=ポート番号

%s=アドレス

%d4=内部データパラメータ

%d5=内部データパラメータ

%m=エラー要因

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Connection re-established to %s

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

サーバとのコネクションを張りなおした場合

【パラメータの意味】
%s=サーバアドレス
【アクション】
設置環境を見直してください。

【メッセージ】
ntp packet discard, from %s.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ntp データの廃棄を行った場合
【パラメータの意味】
%s=ntp データの送信元
【アクション】
設置環境を見直してください。

【メッセージ】
input_handler: handler_count is %d!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
受信パケットを連続して処理した場合
【パラメータの意味】
%d=カウント数
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
recvfrom() fd=%d: %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

【パラメータの意味】

受信データに不正があった場合

%d=内部データパラメータ

%m=エラー要因

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

input_handler: fell out of infinite for(;;) loop!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部 loop 処理が終了した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

synchronization lost

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

サーバとの同期がとれなかった場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

get_kernel_info: ntp_adjtime() failed: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部時刻の set に失敗した場合

【パラメータの意味】

%m=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Can't adjust time (%ld sec, %ld usec): %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部時刻の set に失敗した場合

【パラメータの意味】

%d=差分時間

%m=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Can't set time of day: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部時刻の set に失敗した場合

【パラメータの意味】

%m=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
too many recvbufs allocated (%ld)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
受信データサイズが大きすぎた場合
【パラメータの意味】
%ld=データサイズ
【アクション】
設置環境を見直してください。

【メッセージ】
No more memory!
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリ領域を確保できなかった場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
make_keylist: signature fails %x
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証キーの生成に失敗した場合
【パラメータの意味】

%x=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

unsupported file generations type %d for "%s" - reverting to FILEGEN_NONE

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

設定ファイルがサポート外の場合

【パラメータの意味】

%d=type 番号

%s=ファイル名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't save %s: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

設定ファイルをセーブできない場合

【パラメータの意味】

%s=ファイル名

%m=システムエラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't unlink %s : %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

設定ファイルを消去できない場合

【パラメータの意味】

%s=ファイル名

%m=システムエラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

can't open %s: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

設定ファイルの読み込みができない場合

【パラメータの意味】

%s=ファイル名

%m=システムエラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

invalid request keyid %x

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証キーが不正な場合

【パラメータの意味】

%x=keyid

【アクション】

設定を見直してください。(ntp trusted-key の部分)

【メッセージ】
can't open configuration file %s: %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定ファイルが読み込め無い場合
【パラメータの意味】
%s=ファイル名
%m=システムエラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
socket() failed: %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
socket オープンに失敗した場合
【パラメータの意味】
%m=システムエラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setsockopt(IP_TOS): %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

socket オープンに失敗した場合

【パラメータの意味】

%m=システムエラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Datum_PTS: Termios not supported in this driver

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Termios がこのドライバをサポートしていない場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Datum_PTS: Problem adding clock

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

clock 追加でエラーが発生した場合。

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Datum_PTS: Shutdown Datum PTS

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Datum PTS をシャットダウンした場合。

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Datum_PTS: Could not shut down Datum PTS unit %d

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Datum PTS unit がシャットダウンできない場合

【パラメータの意味】

%d=dunit 番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Datum_PTS: Could not poll unit %d

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Datum PTS unit にポーリング出来ない場合。

【パラメータの意味】

%d=unit 番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Datum_PTS: Bad clocktime
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
"clocktime"が異常な場合。
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
SHM: bad mode found in shared memory: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリ内に不正なモードが存在した場合
【パラメータの意味】
%1=モード番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
SHM: access clash in shared memory
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリ内のアクセスが衝突した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
SHM: no new value found in shared memory
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
共有メモリ内に新しい値がない場合。
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
tpro_start: open of %1: %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
TPRO device のオープンに失敗した場合
【パラメータの意味】
%1=デバイス名
%2=エラー内容
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
TM/TMD: %1
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

TRUETIME Mk III のタイムコードを使用する場合

【パラメータの意味】

%1=最新のタイムコード

【アクション】

設置環境を見直してください。

【メッセージ】

TCU-800: %1

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

TCU のタイムコードを使用する場合

【パラメータの意味】

%1=最新のタイムコード

【アクション】

設置環境を見直してください。

【メッセージ】

TRUE: clock %1, state %2, event %3

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

controlling clock 処理のステータス情報を表示する場合

【パラメータの意味】

%1=時間

%2=状態

%3=イベント内容

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

TRUE: state %1 is unexpected!

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
本機能で未サポートの status を受け取った場合
【パラメータの意味】
%1=状態の内容
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
PCL-720 initialized
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
初期化が完了した場合
【パラメータの意味】
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
setsockopt IPV6_V6ONLY on fails on address %s: %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
データ転送処理が失敗した場合
【パラメータの意味】
%s=IPV6 アドレス
%m=エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

setsockopt() IPV6_V6ONLY failed: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

データ転送処理が失敗した場合

【パラメータの意味】

%m=状態の内容

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

setpriority() error: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

スケジューリング優先度の設定に失敗した場合。

【パラメータの意味】

%m=状態の内容

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

set_process_priority: No way found to improveour priority

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

スケジューリング優先度の設定に失敗した場合。

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ntpd: must be run as root, not uid %ld
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ntpd が root 以外から起動された場合
【パラメータの意味】
%ld=ユーザ ID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Cannot adjust stack limit for mlockall: %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ntpd の resource 制限設定に失敗した場合。
【パラメータの意味】
%m=エラー要因
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Cannot chroot to `%s': %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
ntpd 起動時に root ディレクトリの変更に失敗した場合。
【パラメータの意味】
%s=ルートディレクトリ
%m=状態の内容
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
no IPv6 interfaces found
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ntpd 起動時に IPv6 interface の socket 生成に失敗した場合。
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
no IPv4 interfaces found
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ntpd 起動時に IPv4 interface の socket 生成に失敗した場合。
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

set_reuseaddr: setsockopt(SO_REUSEADDR, %s) failed: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

送信ソケットの再利用処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

%s=状態の内容

%m=エラー要因

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

multicast address %s not class D

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

無効なマルチキャストアドレス class が指定されている場合。

【パラメータの意味】

%s=無効となったアドレス

【アクション】

設定を見直してください。(ntp server の部分)

【メッセージ】

...multicast address %s using wildcard socket

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

無効なマルチキャストアドレスが指定された場合。

【パラメータの意味】

%s=無効となったアドレス

【アクション】

設定を見直してください。(ntp server の部分)

【メッセージ】
No wildcard socket available to use for address %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
無効なマルチキャストアドレスが指定された場合。
【パラメータの意味】
%s=無効となったアドレス
【アクション】
設定を見直してください。(ntp server の部分)

【メッセージ】
sendto(%s): %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
送信エラーした場合
【パラメータの意味】
%s=送信先アドレス
%m=状態の内容
【アクション】
設定を見直してください。(ntp server の部分)

【メッセージ】
select(%d, %s, 0L, 0L, &0.0) error: %m
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
受信処理エラーが発生した場合
【パラメータの意味】

%d=fd 値
%s=fd 値
%m=状態の内容

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Bad file descriptor %d

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
受信処理エラーが発生した場合

【パラメータの意味】
%d=fd 値

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
info register %m

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
プロセス監視デーモンにより、ntpd が再起動した場合。

【パラメータの意味】
%m=レジスタ情報

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
buffer overflow %u

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

送信フレーム長が overflow した場合

【パラメータの意味】

%u=送信フレーム長

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

time reset %f s

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

時刻差分が大きかった(128ms 以上) 場合

【パラメータの意味】

%f=時刻差分

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

time slew %f s

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

時刻差分が小さかった(128ms 以下) 場合

【パラメータの意味】

%f=時刻差分

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

sigaction() fails to save SIGSYS trap: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部関数登録処理に失敗した場合。

【パラメータの意味】

%m=システム要因

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

sigaction() fails to restore SIGSYS trap: %m

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部関数登録処理に失敗した場合。

【パラメータの意味】

%m=システム要因

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

no servers reachable

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ntp サーバと再同期を行う場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

頻発（一分間に十回以上出力）するようでしたら、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

synchronized to %s, stratum=%d

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ntp サーバと同期が取れた場合

【パラメータの意味】

%s=ntp サーバ

%d=stratum 値

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

'ntp server' exceeds max configurations (20) - ignored: 'ntp %s'

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ntp サーバのエントリ数が最大数 20 を超えた場合

【パラメータの意味】

%s=無効となった ntp サーバ設定

【アクション】

設定を見直してください。(ntp 設定)

【メッセージ】

clock %s event '%s' (%d)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

clock の status に変更があった場合。

【パラメータの意味】

clock のアドレス
%s=reference clock の状態
%d=status 番号

【アクション】
clock の状態が"clk_fault"となっているログが頻発するようでしたら,
サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
refclock_newpeer: clock address %s invalid, address family not implemented for refclock
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正な reference clock のアドレスを設定した場合
【パラメータの意味】
%s=無効となった reference clock のアドレス
【アクション】
設定を見直してください。(ntp 設定)

【メッセージ】
refclock_newpeer: clock address %s invalid
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正な reference clock のアドレスを設定した場合
【パラメータの意味】
%s=無効となった reference clock のアドレス
【アクション】
設定を見直してください。(ntp 設定)

【メッセージ】
refclock_newpeer: clock type %d invalid
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正な reference clock のアドレスを設定した場合
【パラメータの意味】
%d=無効となった reference clock の type
【アクション】
設定を見直してください。(ntp 設定)

【メッセージ】
ntp-server ... enable is invalid : different stratum
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
異なる stratum 値が設定されています
【パラメータの意味】
-
【アクション】
設定を見直してください。(ntp-server ... enable 設定)

【メッセージ】
'ntp-server' exceeds max configurations (20) - ignored: 'ntp-server %s'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ntp-server のエントリ数が最大数 20 を超えた場合
【パラメータの意味】
%s=無効となった ntp-server 設定
【アクション】
設定を見直してください。(ntp-server 設定)

【メッセージ】
Invalid vrf name - ignored: 'ntp vrf %01 server %02/%03'
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

指定したインタフェースと異なるVRF名が設定されています

【パラメータの意味】

%01= VRF名

%02=インタフェース名

%03=インタフェース番号

【アクション】

設定を見直してください。(ntp vrf server設定)

【メッセージ】

Invalid vrf name - ignored: 'ntp vrf %01 source %02/%03'

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

指定したインタフェースと異なるVRF名が設定されています

【パラメータの意味】

%01= VRF名

%02=インタフェース名

%03=インタフェース番号

【アクション】

設定を見直してください。(ntp vrf source設定)

【メッセージ】

Rebooting ntpd due to no server response for a day

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NTPサーバの設定が有効ではあるが1日の間、全てのNTPサーバからパケット受信していないためNTPプロセスを再起動します。

【パラメータの意味】

-

【アクション】
　頻発する場合は設定を見直してください。(ntp server 設定)

1.60 phy

【メッセージ】
　version %01
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_KERN(0)
【意味】
　初期化処理を実施した場合
【パラメータの意味】
　%01=ドライバのバージョン
【アクション】
　対処は不要です。

【メッセージ】
　initialized driver
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_KERN(0)
【意味】
　初期化処理を実施した場合
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　対処は不要です。

1.61 pld

【メッセージ】
　round up watchdog NMI timeout to 262140 msec

【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部設定で不正な値が登録された場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままお使いください。

【メッセージ】
round up watchdog reset timeout to 262140 msec
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部設定で不正な値が登録された場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままお使いください。

【メッセージ】
round up heartbeat interval to 100 msec
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部設定で不正な値が登録された場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままお使いください。

【メッセージ】
Watchdog heartbeat enabled
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
初期化処理を実施した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
対処は不要です。

【メッセージ】
%01 unknown I2C adapter id %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部処理で不正な状態が検出された場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
%02=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
failed to reset I2C adapter %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
I2C コントローラのリセットに失敗した場合
【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

read error: SFPPSR offset %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

内部処理でレジスタアクセスに失敗した場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

failed to register chrdev, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

failed to create device, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
version %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
初期化処理を実施した場合
【パラメータの意味】
%01=ドライバのバージョン
【アクション】
対処は不要です。

【メッセージ】
failed to create class, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
初期化処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
failed to create sysfs files
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】

初期化処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
failed to create led sysfs files
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
初期化処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
failed to create usb sysfs files
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
初期化処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
failed to create sfp sysfs files
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)

【意味】
　初期化処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　initialized driver
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_KERN(0)
【意味】
　初期化処理を実施した場合
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　対処は不要です。

【メッセージ】
　%01 pci_get_device() error
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_KERN(0)
【意味】
　初期化処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
　%01=内部情報
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　%01 pci_enable_device_mem() error
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 request_region() error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 pci_set_dma_mask() error, %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

%02=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

pcie attached

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理を実施した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

対処は不要です。

【メッセージ】

failed to allocate MSI entry

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

attach failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

failed to ioremap PUBS Register

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
初期化処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
PBUS not enabled, cfg:%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
初期化処理に失敗した場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
PBUS attached
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
初期化処理を実施した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
対処は不要です。

【メッセージ】

failed to get irq number

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

GPIO %01 is IRQ %02

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理を実施した場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

%02=内部情報

【アクション】

対処は不要です。

【メッセージ】

BUG: unknown LED color %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

内部処理で不正な操作が行われた場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
BUG: unknown LED blink %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部処理で不正な操作が行われた場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Green Oneshot is not supported
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部処理で不正な操作が行われた場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
unaligned ROM access, offset %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部処理で不正な操作が行われた場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
FLASH READ status timed out, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
ROM アクセスに失敗した場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
FLASH PRG status timed out, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
ROM アクセスに失敗した場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
WREN code status timed out, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
ROM アクセスに失敗した場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
QUAD code status timed out, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
ROM アクセスに失敗した場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
erase offset must be sector boundary, %01/%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
ROM アクセスに失敗した場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
%02=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SE code status timed out, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
ROM アクセスに失敗した場合

【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
write offset must be sector boundary, %01/%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
ROM アクセスに失敗した場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
%02=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
unknown LED USB%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部処理で不正な操作が行われた場合
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
unknown LED SFP%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)

【意味】
　内部処理で不正な操作が行われた場合
【パラメータの意味】
　%01=内部情報
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　pld_irq_send_sig PID %01 not found, sig=%02, cause=%03
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_KERN(0)
【意味】
　内部処理で不正な状態が検出された場合
【パラメータの意味】
　%01=内部情報
　%02=内部情報
　%03=内部情報
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　IRQ counter cleared
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_KERN(0)
【意味】
　内部カウンタがクリアされた場合
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　対処は不要です。

【メッセージ】
　IRQ is not supported
【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

内部処理で不正な操作が行われた場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

failed to initialize irq%01, errno=%02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

%02=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

failed to create class, %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

初期化処理に失敗した場合

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.62 pmd_ap

【メッセージ】
Invalid policy-route configuration(s):invalid class-name %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
policy-route-map の class 設定において、"class-default"の指定がされました。
【パラメータの意味】
%1 = 設定された class 設定の名前
【アクション】
"class-default"以外の名前を使うように、設定を見直してください。

【メッセージ】
Invalid policy-route configuration(s):%1 is not found on action configuration
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
action nexthop コマンドにて、設定される interface が設定されていない場合
【パラメータの意味】
%1 = 設定されたインターフェース名
【アクション】
設定の見直しを行ってください。

【メッセージ】
Invalid policy-route configuration(s):invalid vrfname %1 on action configuration
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ポリシールーティングの nexthop 指定において、不正な vrf 名が指定されました。
【パラメータの意味】

%1 = 入力された vrf 名

【アクション】

設定の見直しを行ってください。

【メッセージ】

Invalid policy-route configuration(s):invalid nexthop address %1 on action configuration

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

action nexthop コマンドにて、設定されるアドレス情報が以下のアドレスであるために有効にできない場合

0.0.0.0

127.0.0.0～127.255.255.255

224.0.0.0～255.255.255.255

0::0

0::1

ff00::0～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

【パラメータの意味】

%1 = 設定されたアドレス情報

【アクション】

設定の見直しを行ってください。

【メッセージ】

Invalid policy-route configuration(s):invalid watch address %1 on watch configuration

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

watch コマンドにて、設定されるアドレス情報が以下のアドレスであるために有効にできない場合

0.0.0.0

127.0.0.0～127.255.255.255

224.0.0.0～255.255.255.255

0::0

0::1

ff00::0～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

【パラメータの意味】

%1 = 設定されたアドレス情報

【アクション】

設定の見直しを行ってください。

【メッセージ】

Invalid policy-route configuration(s):invalid watch source address %1 on watch configuration

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

watch コマンドにて、設定されるソースアドレス情報が以下のアドレスであるために有効にできない場合

0.0.0.0

127.0.0.0～127.255.255.255

224.0.0.0～255.255.255.255

0::0

0::1

ff00::0～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

【パラメータの意味】

%1 = 設定されたアドレス情報

【アクション】

設定の見直しを行ってください。

【メッセージ】

Invalid policy-route configuration(s):%1 is not found on watch configuration

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

watch コマンドにて、設定される source interface が設定されていない場合

【パラメータの意味】

%1 = 設定されたインターフェース名

【アクション】

設定の見直しを行ってください。

【メッセージ】

Invalid policy-route configuration(s):invalid vrfname %1 on local policy-route

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ポリシールーティングの local policy-route 設定において、不正な vrf 名が指定されました。

【パラメータの意味】

%1 = 設定された vrf 名

【アクション】

設定の見直しを行ってください。

【メッセージ】

timeout to get pmd semaphore

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

QoS/ACL 設定取得プロセスが QoS コンフィグ格納領域
のアクセス権取得に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

再度 refresh を実行して、再びログが出力されるようであれば
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

timeout to get acl lib semaphore

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

QoS/ACL 設定取得プロセスが ACL コンフィグ格納領域
のアクセス権取得に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

再度 refresh を実行して、再びログが出力されるようであれば
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

pmd config memory initialize fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

acl lib memory initialize fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

config buffer is overflow

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

QoS 設定が Qos コンフィグ格納領域の容量をオーバーしました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

QoS 設定を見直してください。

【メッセージ】

acl lib buffer is overflow

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ACL 設定が ACL コンフィグ格納領域の容量をオーバーしました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

ACL 設定を見直してください。

【メッセージ】

fail to write arg, reason: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = エラーが発生した原因

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

fail to initialize cli lib

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
　内部エラーが発生した場合
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　fail to terminate cli lib
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　内部エラーが発生した場合
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　fail to set refresh
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　内部エラーが発生した場合
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　no parsing func, code:%1
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1=エラーに関連するパラメータ

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

fail to get line str

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

mode depth is too deep

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部エラーが発生した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

fail to copy parent mode str: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部エラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1=エラー発生原因となったコマンド
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
timeout to wait lpmd
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
lpmd の設定読み込み待ちでタイムアウトした場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
再度 refresh を実行して、再びログが出力されるようであれば
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

1.63 pmd

【メッセージ】
Can't allocate memory [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定に必要なメモリを取得できなかった場合。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Too many %2 %3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

処理の回数が想定より多い場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 処理の内容

%3 = 処理の回数

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Something is wrong %2 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部状態の整合性チェックで不正な状態に陥っていることが判明した場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 不正な状態を示している内部パラメータ

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Unknown command option %2 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

不明なコマンドオプションが指定された場合。

【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = オプション識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Unknown command %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不明なコマンドが指定された場合。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = コマンド識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Can't find %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
必要なデータが見つからない場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = 必要なデータ名
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Unknown show message type %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
show コマンドで表示するための情報要求メッセージに対するリプライメッセージが不正な場合。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = 不正なメッセージタイプ
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Out of range %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
パラメータの値が有効範囲外の場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = パラメータの値
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Out of range %2 %3 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
パラメータの値が有効範囲外の場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = パラメータを識別する ID
%3 = パラメータの値
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt failed %2 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdt ライブラリ関数がエラーした場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Message is too short %2 < %3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

受信したメッセージ長が必要な長さより短い場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 受信したメッセージ長

%3 = 必要なメッセージ長

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

%2 version is different %3 != %4 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

メッセージのバージョンが異なる場合。

【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = メッセージを送信したデーモンの名前
%3 = 受信メッセージのバージョン
%4 = 想定しているバージョン
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Initialization failed [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
初期化に失敗した場合。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Library failed %2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ライブラリ関数の実行でエラーが発生した場合。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Systemcall %2 failed %3 [%1]
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

システムコールの実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = システムコール名

%3 = エラーコード

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Mismatch %2 for %3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

パラメータが期待する値とは異なる値になっていることを検知した場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 検知した値

%3 = 期待する値、またはパラメータの ID

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

LD %2 already registered for %3 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

既にコネクションが確立しているプロセスが再度コネクション確立を要求してきた場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = プロセス ID

%3 = モジュール ID

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Assertion error %2 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 不正な状態になった変数の値

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

%2 %3 is not found [%1]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

コマンドで参照している名前が見つからない場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 名前種別

%3 = 名前

【アクション】

設定した名前を参照するように変更してください。

【メッセージ】

The police pir must be equal to or greater than the cir (%2 < %3), ignored. [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

cir の値より小さい pir の値のポリサーを設定した場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = pir の値

%3 = cir の値

【アクション】

cir の値以上の pir の値に設定を変更してください。

【メッセージ】

The queue rate is faster than the shaping rate (%1 > %2), ignored.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

config-tm-n-bw モードの queue rate コマンドでシェーピングレートを超える
レートが指定された場合。

【パラメータの意味】

%1 = queue コマンドで指定されたレート

%2 = シェーピングレート

【アクション】

シェーピングレート以内のレート指定に変更してください。

【メッセージ】

The queue rate is slower than 1/1000 of the shaping rate (%1 < %2), raised.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

config-tm-n-bw モードの queue rate コマンドでシェーピングレートの 1/1000
未満のレートが指定された場合。

【パラメータの意味】

%1 = queue コマンドで指定されたレート

%2 = シェーピングレートの 1/1000

【アクション】

そのままお使いください。
シェーピングレート 1/1000 のレートが指定されたものとして動作します。

【メッセージ】
The shaping rate is not configured, the queue rate is ignored.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
config-tm-n-bw モードのシェーピングレートが未設定のため、queue rate コマンドが無視された場合。
【パラメータの意味】
【アクション】
シェーピングレートを設定して下さい。

【メッセージ】
failed to change the state of policy-flag %1 to "%2" [%3]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コマンド実行が失敗したことを示す
【パラメータの意味】
%1 = 変更に失敗したポリシーフラグ番号を示します。
%2 = フラグをどの状態に変更しようとしたかを示します。
%3 = ログの識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
WRED profile %2 random-detect %3: parse error [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

WRED プロファイルの設定が不正な場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = WRED プロファイル名

%3 = WRED プロファイル ID

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%1:"%2" is not supported, ignored

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

当該インタフェース上ではサポートしていないコマンドを設定した場合。

【パラメータの意味】

%1 = インタフェース名

%2 = 設定コマンド

【アクション】

設定可能なコマンドに変更してください。

【メッセージ】

Resource is not allocated %2 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

獲得していないリソースを開放しようとした場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 解放しようとしたリソース ID

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Invalid policy-routing configuration(s): %2: %3 [%1]

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定パラメータにて、設定ミスを検出しました。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = class-map 名
%3 = 設定ミスの要因
different vrf
invalid action
same vrf
【アクション】
ログに記載されたパラメータの設定を見直してください。

【メッセージ】
Policy-routing recv error:%2 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ポリシールーティングに関する要求メッセージの受信にエラーしました。
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
can't get if record %2:%3 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ポリシールーティングの処理において、interface 情報の取得に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = policy-routing のアクションタイプ番号

%3 = 取得に失敗して、インターフェース番号

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

%2 is not supported, ignored. [%1]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

サポートしていない設定が行われた場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = 設定コマンド

【アクション】

設定可能なコマンドに変更してください。

【メッセージ】

The %2 %3 shape %4 must be equal to or greater than the %5 (%6 < %7), ignored. [%1]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

cir の値より小さい pir の値のシェーパーを設定した場合。

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = キューまたはプライオリティ

%3 = キューID またはプライオリティ値

%4 = pir

%5 = cir

%6 = pir の値

%7 = cir の値

【アクション】

cir の値以上の pir の値に設定を変更してください。

【メッセージ】

%1 %2 acl %3 %4: %5 %6 %7 -> %8 %9

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

TCP/UDP/ICMP 以外のパケットが permit-log または deny-log を指定した IP/IPv6 フィルタにマッチした場合

【パラメータの意味】

%1=パケットを受信または送信したインタフェース名

%2=パケットの L3 プロトコル（"ip"または"ipv6"）

%3=マッチしたアクセスリストの番号

%4=方向（受信時は”in”、送信時は”out”）

%5=マッチしたパケットの扱い（透過は”permit”、廃棄は”deny”）

%6=プロトコル番号

%7=パケットの送信元アドレス

%8=パケットの送信先アドレス

%9=ログが N 回連続する場合”N times”、1 回だけの場合は表示されない

【アクション】

そのままお使いください。

【メッセージ】

%1 %2 acl %3 %4: %5 %6 %7(%8) -> %9(%10) %11

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

TCP または UDP のパケットが permit-log または deny-log を指定した IP/IPv6 フィルタにマッチした場合

【パラメータの意味】

%1=パケットを受信または送信したインタフェース名

%2=パケットの L3 プロトコル（"ip"または"ipv6"）

%3=マッチしたアクセスリストの番号

%4=方向（受信時は”in”、送信時は”out”）

%5=マッチしたパケットの扱い（透過は”permit”、廃棄は”deny”）
%6=L4 プロトコル名（"TCP"または"UDP"）
%7=パケットの送信元アドレス
%8=パケットの送信元ポート番号
%9=パケットの送信先アドレス
%10=パケットの送信先ポート番号
%11=ログがN回連続する場合”N times”、1回だけの場合は表示されない

【アクション】
そのままお使いください。

【メッセージ】
%1 %2 acl %3 %4: %5 %6 %7 -> %8 %9 %10 %11

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
ICMPパケットが permit-log または deny-log を指定したIP/IPv6フィルタにマッチした場合

【パラメータの意味】
%1=パケットを受信または送信したインタフェース名
%2=パケットのL3プロトコル（"ip"または"ipv6"）
%3=マッチしたアクセスリストの番号
%4=方向（受信時は”in”、送信時は”out”）
%5=マッチしたパケットの扱い（透過は”permit”、廃棄は”deny”）
%6=L4 プロトコル名（"ICMP"）
%7=パケットの送信元アドレス
%8=パケットの送信先アドレス
%9=ICMP タイプ
%10=ICMP コード
%11=ログがN回連続する場合”N times”、1回だけの場合は表示されない

【アクション】
そのままお使いください。

【メッセージ】
%1 %2 acl %3 %4: %5 %6 %7 -> %8 (%9) %10

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

パケットが permit-log または deny-log を指定した IP/IPv6 フィルタにマッチした場合で、L4 ヘッダの解析ができなかった場合>

【パラメータの意味】

%1=パケットを受信または送信したインタフェース名

%2=パケットの L3 プロトコル（"ip"または"ipv6"）

%3=マッチしたアクセスリストの番号

%4=方向（受信時は”in”、送信時は”out”）

%5=マッチしたパケットの扱い（透過は”permit”、廃棄は”deny”）

%6=L4 プロトコル番号またはプロトコル名（"TCP"または"UDP"または"ICMP"）

%7=パケットの送信元アドレス

%8=パケットの送信先アドレス

%9=L4 ヘッダの解析ができなかった場合は”L4 error”、先頭以外のフラグメントパケットの場合は”fragment”

%10=ログが N 回連続する場合”N times”、1 回だけの場合は表示されない

【アクション】

そのままお使いください。

【メッセージ】

%1 %2 acl %3 %4: %5 %6 %7 -> %8 %9

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

パケットが LAN の送信側以外に設定されて permit-log または deny-log を指定した MAC フィルタにマッチした場合。

【パラメータの意味】

%1=パケットを受信または送信したインタフェース名

%2="mac"

%3=マッチしたアクセスリストの番号

%4=方向（受信時は”in”、送信時は”out”）

%5=マッチしたパケットの扱い（透過は”permit”、廃棄は”deny”）

%6=イーサタイプ

%7=パケットの送信元 MAC アドレス

%8=パケットの送信先 MAC アドレス

%9=ログが N 回連続する場合”N times”、1 回だけの場合は表示されない

【アクション】
　そのままお使いください。

【メッセージ】
　LAN vlan-id %1 %2 acl %3 %4: %5 %6 %7 -> %8 %9
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　パケットがLANの送信側に設定されて permit-log または deny-log を指定したMACフィルタにマッチした場合。
【パラメータの意味】
　%1=パケットを送信したVLAN-IDまたは"any"
　%2="mac"
　%3=マッチしたアクセスリストの番号
　%4=方向（送信時なので”out”）
　%5=マッチしたパケットの扱い（透過は”permit”、廃棄は”deny”）
　%6=イーサタイプ
　%7=パケットの送信元MACアドレス
　%8=パケットの送信先MACアドレス
　%9=ログがN回連続する場合”N times”、1回だけの場合は表示されない
【アクション】
　そのままお使いください。

【メッセージ】
　Mismatch %2 %3 != %4 [%1]
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　パラメータの値が想定される値と一致しない場合
【パラメータの意味】
　%1 = ログの識別子
　%2 = パラメータを識別するID
　%3 = パラメータの値
　%4 = 想定される値

【アクション】
　弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　TM API error: %2 [%1]
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
　%1 = ログの識別子
　%2 = エラーコード
【アクション】
　弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　TM API error: %2 %3 [%1]
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
　%1 = ログの識別子
　%2 = エラーコード
　%3 = API へ渡したパラメータ 1
【アクション】
　弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　TM API error: %2 %3 %4 [%1]
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)

【意味】
TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
%3 = API へ渡したパラメータ 1
%4 = API へ渡したパラメータ 2
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
TM API error: %2 %3 %4 %5 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
%3 = API へ渡したパラメータ 1
%4 = API へ渡したパラメータ 2
%5 = API へ渡したパラメータ 3
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
TM API error: %2 %3 %4 %5 %6 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード

%3 = API へ渡したパラメータ 1
%4 = API へ渡したパラメータ 2
%5 = API へ渡したパラメータ 3
%6 = API へ渡したパラメータ 4

【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
TM API error: %2 %3 %4 %5 %6 %7 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
%3 = API へ渡したパラメータ 1
%4 = API へ渡したパラメータ 2
%5 = API へ渡したパラメータ 3
%6 = API へ渡したパラメータ 4
%7 = API へ渡したパラメータ 5
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
TM API error: %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
%3 = API へ渡したパラメータ 1

%4 = API へ渡したパラメータ 2
%5 = API へ渡したパラメータ 3
%6 = API へ渡したパラメータ 4
%7 = API へ渡したパラメータ 5
%8 = API へ渡したパラメータ 6

【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
TM API error: %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 %9 %10 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合
【パラメータの意味】
%1 = ログの識別子
%2 = エラーコード
%3 = API へ渡したパラメータ 1
%4 = API へ渡したパラメータ 2
%5 = API へ渡したパラメータ 3
%6 = API へ渡したパラメータ 4
%7 = API へ渡したパラメータ 5
%8 = API へ渡したパラメータ 6
%9 = API へ渡したパラメータ 7
%10 = API へ渡したパラメータ 8
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
TM API error: %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 %9 %10 %11 [%1]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TM 設定 API の実行でエラーが発生した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = エラーコード

%3 = API へ渡したパラメータ 1

%4 = API へ渡したパラメータ 2

%5 = API へ渡したパラメータ 3

%6 = API へ渡したパラメータ 4

%7 = API へ渡したパラメータ 5

%8 = API へ渡したパラメータ 6

%9 = API へ渡したパラメータ 7

%10 = API へ渡したパラメータ 8

%11 = API へ渡したパラメータ 9

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

No resource: %2 %3 %4 [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

リソースの割り当てに失敗した場合

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = リソース名

%3 = 取得済みのリソース数

%4 = 取得しようとしたリソース数

【アクション】

設定を変更して使用するリソース数を減らしてください。

【メッセージ】

%2 %3 no cam entry, clear entries in the table for the interface [%1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

クラシファイアエントリが枯渇したことを示す

【パラメータの意味】

%1 = ログの識別子

%2 = インタフェース名

%3 = クラシファイアテーブル名

【アクション】

必要に応じて、装置設定、運用環境を見直してください。

【メッセージ】

The police %1 is not configured, it sets the default configuration.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

config-tm-sw-pcl モードの mac rule action コマンドで指定したポリサーIDが見つからない場合。

【パラメータの意味】

%1 = ポリサーID

【アクション】

そのままお使いください。

未設定時の値で動作します。

【メッセージ】

The number of %1 entries reached the limit (%2).

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

エントリ数が最大値に到達した場合。

【パラメータの意味】

%1 = エントリの種類

%2 = 最大値

【アクション】

必要に応じて、装置設定、運用環境を見直してください。

1.64 procmon

【メッセージ】
Failed to send: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
send 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号を説明する文字列
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Failed to accept: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
accept 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号を説明する文字列
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Failed to recv: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
recv 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号を説明する文字列

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Failed to malloc(procmon_res): %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの獲得に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号を説明する文字列
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Failed to sock: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
socket 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラー番号を説明する文字列
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Failed to bind: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
bind 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】

%01:エラー番号を説明する文字列

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】

Failed to listen: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

listen 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:エラー番号を説明する文字列

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】

Failed to fcntl: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

fcntl 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:エラー番号を説明する文字列

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】

daemon failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

procmon daemon の作成に失敗しました

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Failed to initialize uwdtd
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdtd の初期化に失敗しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Failed to start uwdtd
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdtd の開始に失敗しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Failed to suspend uwdtd
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

uwdtd の一時停止に失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】

Failed to resume uwdtd

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の再開に失敗しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】

<%01> board_data_init error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

board_data_init 関数の実行に失敗しました

【パラメータの意味】

%01:使用関数名

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】

<%01> board_alarm_init error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
board_alarm_init 関数の実行に失敗しました
【パラメータの意味】
%01:使用関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
CP CPU utilization level %01 exceeded [%02 %]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
CP の CPU 使用率がユーザにより設定された閾値以上となりました
【パラメータの意味】
%01:レベル、%02:イベント発生時の CPU 使用率（単位%）
【アクション】
装置は、そのままご使用ください
ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】
CP CPU utilization level %01 restored [%02 %]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
CP の CPU 使用率がユーザにより設定された閾値以下に復旧しました
【パラメータの意味】
%01:レベル、%02:イベント発生時の CPU 使用率（単位%）
【アクション】
装置は、そのままご使用ください
ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】
CP physical memory usage level %01 exceeded [%02 kbyte in use]
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

CP のメモリ使用量がユーザにより設定された閾値以上となりました

【パラメータの意味】

%01:レベル、%02:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】

CP physical memory usage level %01 exceeded [%02 kbyte remains]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

CP のメモリ未使用量がユーザにより設定された閾値以下となりました

【パラメータの意味】

%01:レベル、%02:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】

CP physical memory usage level %01 restored [%02 kbyte in use]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

CP のメモリ使用量がユーザにより設定された閾値以下に復旧しました

【パラメータの意味】

%01:レベル、%02:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】
CP physical memory usage level %01 restored [%02 kbyte remains]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
CP のメモリ未使用量がユーザにより設定された閾値以上に復旧しました
【パラメータの意味】
%01:レベル、%02:イベント発生時のメモリ未使用量（単位 kbyte）
【アクション】
装置は、そのままご使用ください
ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】
CP /drive usage level %01 exceeded [%02 kbyte in use]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不揮発メモリ(/drive)の使用量がユーザにより設定された閾値以上となりました
【パラメータの意味】
%01:レベル、%02:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）
【アクション】
装置は、そのままご使用ください
ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】
CP /drive usage level %01 exceeded [%02 kbyte remains]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
不揮発メモリ(/drive)の未使用量がユーザにより設定された閾値以下となりました
【パラメータの意味】

%01:レベル、%02:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】

CP /drive usage level %01 restored [%02 kbyte in use]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

不揮発メモリ(/drive)の使用量がユーザにより設定された閾値以下に復旧しました

【パラメータの意味】

%01:レベル、%02:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】

CP /drive usage level %01 restored [%02 kbyte remains]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

不揮発メモリ(/drive)の未使用量がユーザにより設定された閾値以上に復旧しました

【パラメータの意味】

%01:レベル、%02:イベント発生時のメモリ未使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】

CP /usb%01 usage level %02 exceeded [%03 kbyte in use]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

USB メモリ使用量がユーザにより設定された閾値以上となりました

【パラメータの意味】

%01 USB メモリ番号 %02:レベル、%03:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】

CP /usb%01 usage level %02 exceeded [%03 kbyte remains]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

USB メモリ未使用量がユーザにより設定された閾値以下となりました

【パラメータの意味】

%01 USB メモリ番号 %02:レベル、%03:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】

CP /usb%01 usage level %02 restored [%03 kbyte in use]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

USB メモリ使用量がユーザにより設定された閾値以下に復旧しました

【パラメータの意味】

%01 USB メモリ番号 %02:レベル、%03:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

【メッセージ】

CP /usb%01 usage level %02 restored [%03 kbyte remains]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

USB メモリ未使用量がユーザにより設定された閾値以上に復旧しました

【パラメータの意味】

%01 USB メモリ番号 %02:レベル、%03:イベント発生時のメモリ使用量（単位 kbyte）

【アクション】

装置は、そのままご使用ください

ユーザが設定したレベル毎の運用方法に従って下さい。

1.65 quicksecpm

【メッセージ】

l2tpv2 operation is not ready.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

refresh 時に、L2tpv2 確立に必要な設定が不足している場合に出力されます。

【パラメータの意味】

なし。

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%01(%02/%03/%04/%05) %06:%07/%08:%09 %10/%11 M:%12 S:%13/%14

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ISAKMP-SA/IKE SA、もしくは、IPSEC-SA/CHILD SA が確立/ 削除した場合。crypto isakmp log sa コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=P1：ISAKMP-SA/IKE SA

P2：IPSEC-SA/CHILD SA

%02=1：IKEv1

2：IKEv2

%03=A：確立

D：削除

%04=I：Initiator として確立した SA

R：Responder として確立した SA

%05=N：新規

R：リキー

%06=remote address

vrf を使用している場合は remote address!VRF 番号と表示されます。

%07=remote port

%08=local address(crypto isakmp sa detail 設定時のみ表示)

vrf を使用している場合は local address!VRF 番号と表示されます。

%09=local port(crypto isakmp sa detail 設定時のみ表示)

%10=remote ID(crypto isakmp sa detail 設定時のみ表示)

%11=local ID(crypto isakmp sa detail 設定時のみ表示)

%12=crypto map 名

%13/%14=SPI 値

IKE_SA の場合：Responder/Initiator SPI 値

CHILD_SA の場合：INBOUND/OUTBOUND SPI 値

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Se(%01/%02/%03/-) %04:%05/%06:%07 %08/%09 M:%10 R: %11

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IPsec セッションが確立/ 削除した場合。crypto isakmp log session コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=1：IKEv1

2：IKEv2

%02=A：確立
D：削除
%03=I：Initiator として確立したセッション
R：Responder として確立したセッション
%04=remote address
vrf を使用している場合は remote address!VRF 番号と表示されます。
%05=remote port
%06=local address(crypto isakmp session detail 設定時のみ表示)
vrf を使用している場合は local address!VRF 番号と表示されます。
%07=local port(crypto isakmp session detail 設定時のみ表示)
%08=remote ID(crypto isakmp session detail 設定時のみ表示)
%09=local ID(crypto isakmp session detail 設定時のみ表示)
%10=crypto map 名
%11= セッション解放となった理由

Expired session-timeout	session-timeout による解放
Expired idle-timeout	idle タイマエクスパイアによる解放
Expired dpd-timeout	DPD タイマエクスパイアによる解放
Expired icmp-timeout	ICMP タイマエクスパイアによる解放
Expired info-timeout	INFROMATIONAL 交換タイムアウトによる解放
Expired ipsec-lost-time	CHILD SA 確立待ちタイマエクスパイアによる解放
Expired IKE SA lifetime	IKE SA lifetime 満了によりセッション解放
Expired IPsec SA lifetime	IPsec SA lifetime 満了によりセッション解放
Exec clear command	clear コマンドによる解放
Expired acct-start-timeout	Radius アカウンティングのタイムアウトによる解放
Exec refresh command	refresh コマンドによる解放
Negotiation failed	ネゴシエーション失敗による解放
Received delete packet	ピアからの Delete ペイロード受信による解放
Rekey(IKE) timeout	CREATE_CHILD_SA(IKE) 交換タイムアウトによる解放
Rekey(CHILD) timeout	CREATE_CHILD_SA(CHILD) 交換タイムアウトによる解放
Old session delete	リコネクトによる旧セッションの解放
Destroyed Tunnel IF	interface tunnel 設定削除による解放
Old IPsec SA delete	IPsec HA で SA をインポートにより旧 IPsec SA を解放
HA sa delete	IPsec HA の backup 側でセッションが解放
Phase1 failed by dpd trigger	DPD 契機の Phase1 ネゴシエーション失敗による解放
P1/P2 failed by dpd trigger	DPD 契機の Phase1 もしくは Phase2 ネゴシエーション失敗による解放
Phase1 failed by P1 softlimit	ISAKMP-SA/IKE SA のソフトライフタイム満了契機の Phase1 ネゴシエーション失敗による解放

P1/P2 failed by P1 softlimit　ISAKMP-SA/IKE SA のソフトライフタイム満了契機の Phase1 もしくは Phase2 ネゴシエーション失敗による解放

Expired info-gsa-timeout　マルチポイント SA 配布失敗による解放

Expired Group SA lifetime　マルチポイント SA ライフタイム満了によりセッション解放

Sequence number over flow　Sequence number over flow によるセッション解放

Received notify packet　ピアからの Notify ペイロード受信による解放

Exec reset command　reset コマンドによる解放

Old session delete for ip/port change　リコネクトによりアドレス/ポート変更となった為に旧セッションを解放

Route update failed　経路登録失敗による解放

Expired isakmp-lost-time　ISAKMP SA 確立待ちタイマエクスパイアによる解放

Policy-map was deleted　policy-map が正しく適用できないことによる解放

tunnel if is shutdown　Tunnel IF が shutdown 状態

Destroyed IKE IF　IKE ネゴシエーションパケットの送受信 IF 削除によるセッション解放

Destroyed IKE address　IKE ネゴシエーションパケットの受信アドレス削除によるセッション解放

Expired IKE SA lifetime(KB)　IKE SA lifetime(データ量) 満了によりセッション解放

clear l2tp session　関連した l2tp セッションの削除による解放

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

%01(%02) %03:%04/%05:%06 %07/%08 %09 M:%10 S:%11/%12 R: %13 %14 (%15)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IKE ネゴシエーションに失敗した場合。crypto isakmp log negotiation-fail コマンドを設定している場合にのみ出力されます。表示ができない場合、(null)と表示されます。

【パラメータの意味】

%01=IP_F : Identity Protection

AG_F : Aggressive

XA_F : Configuration mode(Xauth)

MC_F : Configuration mode(Mode-cfg)

QM_F : Quick Mode

IS_F : IKE_SA_INIT

IA_F：IKE_AUTH
CC_F：CREATE_CHILD_SA(CHILD)
CI_F：CREATE_CHILD_SA(IKE)
ST_F：ネゴシエーション開始時
_F：ネゴシエーションの失敗
_D：ISAKMP パケットのディスカード

%02=I：Initiator
R：Responder

%03=remote address
vrf を使用している場合は remote address!VRF 番号と表示されます。

%04=remote port

%05=local address(crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示)
vrf を使用している場合は local address!VRF 番号と表示されます。

%06=local port(crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示)

%07=remote ID(crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示)

%08=local ID(crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示)

%09=拡張認証 ID(crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示)

%10=crypto map 名(crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示)

%11/%12=Responder/Initiator SPI 値

%13= ネゴシエーションが失敗した理由

Invalid syntax	シンタックスエラーが発生した
No proposal chosen	プロポーザルが不一致
Invalid KE payload	鍵交換のペイロードが不正
Internal address failure	払い出せるアドレスがない。もしくは sa-up route の経路登録失敗
Encryption algorithm mismatch	encryption アルゴリズムが設定と不一致
PRF algorithm mismatch	PRF アルゴリズムが設定と不一致
Integrity algorithm mismatch	Integrity アルゴリズムが設定と不一致
DH group mismatch	DH グループが設定と不一致
Ex Sequence Number mismatch	ESN が設定と不一致
IKE transform attr mismatch	Transform Substructure 中の Transform Attributes が設定と不一致
ESP NULL-NULL proposed	encryption アルゴリズムと Integrity アルゴリズムが NULL 指定
Remote psk not found	リモートの pre-shared key が見つからない
No IPsec rules configured	適用する crypto map が見つからない
Peer IP address mismatch	Peer のアドレスが設定と不一致
Local IP address mismatch	ローカル IP アドレスが設定と不一致

Local TS mismatch	ローカル Traffic selector が設定と不一致
Remote TS mismatch	リモート Traffic selector が設定と不一致
Local ID mismatch	ローカル ID が設定と不一致
Remote ID mismatch	リモート ID が設定と不一致
Lost on simultaneous SA rekey	CHILD_SA のリキーが競合して失敗
IKE version mismatch	IKE version が設定と不一致
Unsupported algorithm	サポートしていないアルゴリズム
Auth method mismatch	認証方式が設定と不一致
Authentication failed	IKE の認証失敗
TS unacceptable	トラフィックセレクタ不一致
Unsupported auth method	サポートしていない認証方式
Encapsulation mode mismatch	Encapsulation モードが設定と不一致
Exchange type mismatch	交換タイプが設定と不一致
Out of memory	メモリ確保失敗
Received notify	Notify ペイロードを受信しました
Pool exceeded	プール枯渇
Pool is not configured	Local pool が参照不可
Extended authentication mismatch	拡張認証方式が設定と不一致
P1 limit exceeded	ISAKMP-SA/IKESA の limit に達した
P2 limit exceeded	IPSEC-SA/CHILD SA の limit に達した
Session limit exceeded	VPN ピア数の limit に達した
IPSEC license limit exceeded	IPSEC ライセンスの limit に達した
Discard command	crypto isakmp discard コマンドにより失敗
Negotiation timeout	ネゴシエーションのタイムアウトが発生
Local auth failed	Local 認証に失敗
Radius auth failed	Radius 認証に失敗
Radius timeout	Radius との通信タイムアウト
Radius attribute error	Radius から受信した attribute が不正
Auth group not found	拡張認証のためのグループが参照不可
CP Payload mismatch	Configuration Payload が設定と不一致
EAP Payload mismatch	EAP Payload が設定と不一致
Certificate is not found	証明書が参照不可
Public key is not found	公開鍵が参照不可
old session is deleting	旧セッションの削除中
rekey ts unacceptable	リキー時のトラフィックセレクタ不一致
can't attach child info	CHILD_SA 情報の参照失敗
can't allocation blkid	block_id の取得失敗
old out spi not found	旧 OUTBOUND の SPI が見つからない

can't create child info	CHILD_SA 情報の作成失敗
can't create peer info	セッション情報の作成失敗
Error blk struct to lp	LP に対する SA 情報登録失敗
Error inbound sa to sp	SP に対する INBOUND SA 情報登録失敗
Error outbound sa to sp	SP に対する OUTBOUND SA 情報登録失敗
Error ipsec sa to sp	SP に対する SA 情報登録失敗
can't get nexthop id	nexthop アドレスに対する情報取得失敗
Error tnl struct to lp	LP に対する SA 情報登録失敗
peer is not found(ifup)	セッション情報の参照不可
can't update child info	CHILD SA 情報の更新失敗
can't add tunnel if	tunnel インタフェースの作成失敗
Error wait if num	IF 情報の取得失敗
Failed add route	経路登録失敗
peer is not found(end)	セッション情報の参照不可
reject-duplicated-request	reject-duplicated-request によるパケット破棄
protected-rekey-interval	protected-rekey-interval によるパケット破棄
Invalid argument	引数の不正
Crypto operation failed	暗号/復号処理の失敗
Use IKEv1	IKE version の不一致
Server going down	サーバーダウン
SA unusable	IKE SA の使用不可(削除中等)
Standby	IPsecHA による Standby 状態での失敗
NAT mode mismatch	NAT-Traversal 設定のミスマッチ
Temporary failure	IKE SA が見つからない、もしくはネゴシエーションの衝突による失敗
Child SA not found	対象となる CHILD SA が見つからない
tunnel if is inactive	Tunnel IF が無効
GSA conf mismatch	GSA の設定不一致
Group SA unusable	対象となるマルチポイント SA が使用できない状況（マルチポイント SA サーバ状態が Init のときなど）
CP Payload has no internal address	INTERNAL_IP4_ADDRESS もしくは INTERNAL_IP6_ADDRESS が一つもない場合
P1 is deleted by peer	ISAKMP SA の削除通知受信
P1 is deleted	自局からの ISAKMP SA の削除
Acct-on is incomplete yet	radius サーバから Acct-on に対する Acct-resp を受信していない。もしくはタイムアウトが発生していない状態で VPN ピアから新規接続(IKEv1 であれば Phase1-1st、IKEv2 であれば IKE_SA_INIT-req は受付けて IKE_AUTH-1st-req)を受信した場合
Reset command	reset コマンドにより失敗

can't create interface tunnel　interface tunnel 生成の上限に達した
peer/local address version mismatch 宛先/送信元アドレスバージョン不一致の場合
Invalid payload type　ペイロードタイプの不正
Payload malformed　ペイロード異常
Payload lengths do not match　ペイロード長が不一致
peer address is assigned to local interface ip Peer のアドレスが自局アドレスと一致
fixed-tunnel-check failed　isakmp authorization fixed-tunnel-check の設定があって、Tunnel IF 番号が指定されていない場合
specified tunnel interface is already in use　指定された番号に対する Tunnel IF が既に他のセッションで使用されている場合
session reject-duplicated-request　session reject-duplicated-request によるパケット破棄
NAT-T draft is not supported for transport mode　NAT-T draft で transport モードを提案してきた場合
can't set policy-map　policy-map を適用できなかった
tunnel if is shutdown　Tunnel IF が shutdown 状態
can't get interface tunnel information　interface tunnel 情報を取得できなかった場合
IPsec rules deleted　セレクタの設定が削除された
UDP port mismatch　受信した ISAKMP パケットの送信先ポートが不正
Radius authorization failed　Radius(情報取得機能) 認証に失敗
Radius authorization timeout　Radius(情報取得機能) との通信タイムアウト
Tunnel-Password length is invalid　Radius(情報取得機能) から受信した pre-shared key が不正
can't allocation inbound blkid　inbound block_id の取得失敗
tunnel-route has already been registered 既に 同一経路､且つ別 nexthop(or if)の tunnel-route が登録されていた
next if of tunnel-route is down　インタフェースが PPPoE, modem, IPinIP 指定で IF が up していない
tunnel-route can't get dhcp address　インタフェースが DHCP 指定で nexthop アドレスが取得できていない
Failed add tunnel-route　経路の登録が失敗した
Exec refresh command　引き直した tunnel 設定の tunnel-route 設定状況と tunnel-route 登録状況が異なる
Delete half-sa in negotiation　同一ピアから新しい Phase1 ネゴシエーションを受>信したため、ネゴシエーションが中止された

%14= 内部エラー番号(表示されないこともあります)
%15= エラー番号

【アクション】

設置環境及び、設定もしくはライセンスキーを見直してください。

【メッセージ】

ST_F(I) %01/%02 failed standard query R: %03

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ドメイン名が解決できないことにより IKE ネゴシエーション（イニシエーター）の開始に失敗した場合。crypto isakmp log negotiation-fail コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=ピアの domain 名

%02=ローカル IP アドレス。表示されない場合があります。

%03=解決に失敗した理由

max-initiate reached	最大クエリ開始数に達している
max-pending reached	最大同時クエリ数に達している
timeout	DNS サーバーへの問い合わせがタイムアウトした
no entry from DNS server	DNS サーバからエントリ無しが返ってきた
can't resolved domain name from refresh	設定変更により問い合わせを中止した場合

【アクション】

設置環境及び、設定を見直してください。

【メッセージ】

%01(R) %02:%03 S:%04/%05 %06 R: %07

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ドメイン名が解決できないことにより IKE ネゴシエーション(レスポンダー)を拒否した場合。crypto isakmp log negotiation-fail コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=IP_F : Identity Protection

AG_F : Aggressive

%02=remote address

%03=remote port

%04/%05=Responder/Initiator SPI 値

%06=failed standard query 正引き

failed inverse query 逆引き

%07=解決に失敗した理由

max-initiate reached 最大クエリ開始数に達している

max-pending reached 最大同時クエリ数に達している

timeout DNS サーバーへの問い合わせがタイムアウトした

no entry from DNS server DNS サーバからエントリ無しが返ってきた

no policy for recv domain name 受信した domain 名が set peer domain の設定と一致しない場合

invalid ip address 逆引き後の正引きでサーバーから通知された IP アドレスが、受信した ISAKMP パケットの src アドレスと一致しない場合

can't resolved domain name from refresh 設定変更により問い合わせを中止した場合

【アクション】

設置環境及び、設定を見直してください。

【メッセージ】

License IPSEC exceeded warning threshold. (80% used)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IPsec セッション数が IPSEC ライセンス上限の 80%に達した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

IPsec セッション数が IPSEC ライセンス上限に近づいています。ご注意ください。

【メッセージ】

License IPSEC exceeded alert threshold. (95% used)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IPsec セッション数が IPSEC ライセンス上限の 95%に達した場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

IPsec セッション数が IPSEC ライセンス上限に近づいています。ご注意ください。

【メッセージ】
License IPSEC reached limit. (%01 entries)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
IPsec セッション数が IPSEC ライセンス上限に達した場合
【パラメータの意味】
%01=現在の IPsec セッション数
【アクション】
IPsec セッション数が IPSEC ライセンス上限に達しました。以降 IPsec セッションが確立しないことがございますのでご注意ください。

【メッセージ】
Peer %01:%02 is locked out
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
VRF ピアがロックアウト状態に入りました。
【パラメータの意味】
%01= remote address
%02= remote port
【アクション】
認証関連の設定を見直してください。

【メッセージ】
The maximum number of active lockout entry reached %01:%02
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ネゴシエーションロックアウト機能による状態監視が最大数に達しました。

【パラメータの意味】
%01= remote address
%02= remote port
【アクション】
認証関連の設定を見直してください。

【メッセージ】
CRL request %01 get %02 : %03
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
crypto pki crl request コマンドを実行した場合
【パラメータの意味】
%01=crypto pki crl request コマンドで指定した証明書名
%02=success/failed
%03=%02 が failed の場合の失敗原因
negotiation IKE ネゴシエーション中に取得失敗が発生しています。
【アクション】
取得に失敗した場合は DNS、経路の設定、および、証明書をご確認ください。

【メッセージ】
%01 HA TCP connection failed. illegal remote address %02
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
設定と異なるアドレスから connect を受けた場合に出力
【パラメータの意味】
%01=IPsec: IPsec HA 設定
%02=IP address
【アクション】
HA Connection が UP しない場合、設定を見直してください。

【メッセージ】
IPsec HA SA Add discard. no rule %01

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
受信したSA情報に対応する設定がない場合に出力
両装置でipsec設定が合っていない
【パラメータの意味】
%01=IP address
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
IPsec HA SA Add discard. no user %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
受信したSA情報のUserに対応する設定がない場合に出力
両装置でipsec設定が合っていない
【パラメータの意味】
%01=IP address
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
IPsec HA SA Add discard. no remote id %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
受信したSA情報のremote-idに対応する設定がcrypto keyring設定にない場合に出力
両装置でipsec設定が合っていない
【パラメータの意味】
%01=IP address
【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】
IPsec HA SA Add discard. VRF not found %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
受信したVRF情報がない場合に出力
両装置でVRF設定が合っていない
【パラメータの意味】
%01=VRF名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
IPsec HA SA Add discard. VRF unacceptable %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
受信したVRF情報が受け付けられない場合
両装置でipsec VRF設定が合っていない
【パラメータの意味】
%01=VRF名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
IPsec HA SA Add discard. peer/local address version mismatch %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
受信したピアアドレスと設定のIPバージョンが合っていない場合に出力

【パラメータの意味】
%01=ピアアドレス
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
%01 HA TCP connection is established. local:remote %02:%02
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
HA TCP connection 確立後、時刻のずれが 10 秒未満だった(或いは時刻 msg を受信しなかった)場合に出力
【パラメータの意味】
%01=IPsec: IPsec HA 設定
%02=TCP port number
【アクション】
なし。

【メッセージ】
%01 HA TCP connection is closed. local:remote %02:%02
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
HA TCP connection が解放された際に出力
【パラメータの意味】
%01=IPsec: IPsec HA 設定
%02=TCP port number
【アクション】
なし。

【メッセージ】
"IPsec HA sync-sequence-number max inspi:%01 outspi:%01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ESP シーケンス番号同期処理において、0xFFFFFFFF を登録した際に出力
【パラメータの意味】
%01=SPI 値
【アクション】
なし。

【メッセージ】
%01 HA time is different from remote more than 10 second
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
HA を行う両装置で時刻が 10 秒以上ずれている場合に出力
【パラメータの意味】
%01=IPsec: IPsec HA 設定
【アクション】
IPsecHA を行う両装置で時刻同期を行ってください。

【メッセージ】
%01 HA cannot confirm the time
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
時刻 msg を受信せず時刻確認ができなかった場合に出力
【パラメータの意味】
%01=IPsec: IPsec HA 設定
【アクション】
なし。

【メッセージ】
%01 HA the difference of the time has recovered to five seconds or less
【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

HA を行う両装置で時刻のずれが 10 秒以上になった後、5 秒以下に回復した場合に出力

【パラメータの意味】

%01=IPsec: IPsec HA 設定

【アクション】

なし。

【メッセージ】

IPsec HA merge connection : deleted

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

crypt ipsec ha local-address 設定変更により、crypto ipsec ha merge コマンド終了

【パラメータの意味】

なし。

【アクション】

なし。

【メッセージ】

G2(2/A/I/-) %01:%02 M:%03 S:%04

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイント SA をピアに配布した場合。crypto isakmp log gsa コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=remote address

%02=remote port

%03=crypto map 名

%04=SPI 値

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

G2(-/A/-/%01) G:%02 S:%03/%04

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイントSAを更新した場合。crypto isakmp log gsaコマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=N：新規

R：リキー

%02=group policy 名

%03/%04=新旧SPI 値

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

G2(-/D/-/-) G:%01 S:%02 R: %04

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイントSAが削除されたとき。crypto isakmp log gsaコマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=group-policy名

%02=SPI値

%03=マルチポイントSAが削除された理由

Expired Group SA Lifetime Lifetime満了のため

Exec refresh command　　マルチポイントSA設定が変更されたため

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

IPsec Tunnel %01(%02): # of %03 exceeded High-water (%04), Peak: %05

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IPsec Tunnel に対して設定された ISAKMPSA/IKE SA、もしくは、IPSEC-SA/CHILD SA、もしくは VPN ピア数の上限閾値を超過した場合

【パラメータの意味】

%01=Tunnel オブジェクトに設定されたトンネル名(設定なしの場合は 0 長文字列)

%02=Tunnel オブジェクトに設定されたインデックス(設定なしの場合は 0 長文字列)

%03=IKE-SA : ISAKMP-SA/IKE SA

IPsec-SA : IPSEC-SA/CHILD SA

session : VPN ピア

%04=IPsec Tunnel オブジェクトに対して設定された閾値

%05= 現在時点での有効な ISAKMPSA/IKE SA もしくは IPSECSA/CHILD SA もしくは VPN ピア数のピークホールド値

【アクション】

設定や接続環境を確認してください。

【メッセージ】

IPsec Tunnel %01(%02): # of %03 restored Low-water (%04), Peak: %05

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IPsec Tunnel に対して設定された ISAKMPSA/IKE SA、もしくは、IPSEC-SA/CHILD SA、もしくは VPN ピア数の下限閾値に達した場合

【パラメータの意味】

%01=Tunnel オブジェクトに設定されたトンネル名(設定なしの場合は 0 長文字列)

%02=Tunnel オブジェクトに設定されたインデックス(設定なしの場合は 0 長文字列)

%03=IKE-SA : ISAKMP-SA/IKE SA

IPsec-SA : IPSEC-SA/CHILD SA

session : VPN ピア

%04=IPsec Tunnel オブジェクトに対して設定された閾値

%05= 現在時点での有効な ISAKMPSA/IKE SA もしくは IPSECSA/CHILD SA、もしくは VPN ピア のピークホールド値

【アクション】
なし。

【メッセージ】
Global : # of %01 exceeded High-water (%02), Peak: %03
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
装置全体に対して設定された ISAKMP-SA/IKE SA、もしくは、IPSEC-SA/CHILD SA、もしくは VPN ピア数の上限閾値を超過した場合
【パラメータの意味】
%01=IKE-SA : ISAKMP-SA/IKE SA
IPsec-SA : IPSEC-SA/CHILD SA
session : VPN ピア
%02= 装置全体に対して設定された閾値
%03= 現在時点での有効な ISAKMPSA/IKE SA もしくは IPSECSA/CHILD SA、もしくは VPN ピアのピークホールド値
【アクション】
設定や接続環境を確認してください。

【メッセージ】
Global : # of %01 restored Low-water (%02), Peak: %03
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
装置全体に対して設定された ISAKMP-SA/IKE SA、もしくは、IPSEC-SA/CHILD SA 数の下限閾値に達した場合
【パラメータの意味】
%01=IKE-SA : ISAKMP-SA/IKE SA
IPsec-SA : IPSEC-SA/CHILD SA
%02= 装置全体に対して設定された閾値
%03= 現在時点での有効な ISAKMPSA/IKE SA もしくは IPSECSA/CHILD SA のピークホールド値
【アクション】
なし。

【メッセージ】

%01 Phase-2 notification `%02' (%03) (size %04 bytes) from %05%06 for protocol %s spi[0...%07]=%08

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IKEv1 の VPN ピアからエラー系 notification を受信した際に出力

【パラメータの意味】

%01=Authenticated : パケットが認証済み

Unauthenticated : パケットが非認証

%02=エラー内容

%03=エラー番号

%04=受信データサイズ

%05=VPN ピア IP アドレス

%06=VPN ピアポート

%07=SPI サイズ

%08=SPI 値

【アクション】

なし。

【メッセージ】

The maximum number of active P1 SAs reached

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ISAKMP-SA/IKE SA 数が最大に達したため領域確保できなかった場合

【パラメータの意味】

なし。

【アクション】

なし。

【メッセージ】

The maximum number of active P1 rekeys reached

【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
リキー時に ISAKMP-SA/IKE SA 数が最大に達したため領域確保できなかった場合
【パラメータの意味】
なし。
【アクション】
なし。

【メッセージ】
The maximum number of active IKE info negotiations reached"
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
INFORMATIONAL のためのネゴシエーション領域が確保できなかった場合
【パラメータの意味】
なし。
【アクション】
なし。

【メッセージ】
The maximum number of active P1 negotiations reached
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ISAKMP-SA/IKE SA のためのネゴシエーション領域が確保できなかった場合
【パラメータの意味】
なし。
【アクション】
なし。

【メッセージ】

The maximum number of active P2 negotiations reached

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IPSEC-SA/CHILD SA のためのネゴシエーション領域が確保できなかった場合

【パラメータの意味】

なし。

【アクション】

なし。

【メッセージ】

reboot isakmpd because detected disconnection to SP

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

SP とのコネクションが切れたため isakmpd を再起動しました。

【パラメータの意味】

なし。

【アクション】

なし。

【メッセージ】

detected disconnection to SP

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

SP とのコネクションが切れました。

【パラメータの意味】

なし。

【アクション】

なし。

【メッセージ】
detected reconnection to SP
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
SP とのコネクションが再接続しました。
【パラメータの意味】
なし。
【アクション】
なし。

【メッセージ】
Init error: devike init fail
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
isakmpd の devike の初期化処理に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし。
【アクション】
継続して出ている場合は弊社サポート、または、担当営業員まで
ご連絡ください。

【メッセージ】
Init error: processed shutdown
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
isakmpd の初期化でエラーが発生しました。
【パラメータの意味】
なし。
【アクション】

継続して出ている場合は弊社サポート、または、担当営業員まで
ご連絡ください。

【メッセージ】
link MTU on tunnel%01 (%02) is too small for IPv6 which needs 1280
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
IPv6 が有効なトンネルインタフェースの MTU に 1280 未満の値が設定されました。
【パラメータの意味】
%01=トンネルインタフェース番号
%02=トンネルインタフェースに設定した MTU
【アクション】
設定や接続環境を確認してください。

【メッセージ】
new link MTU on tunnel%01 (%02) is too small for IPv6 which needs 1280
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
IPv6 が有効なトンネルインタフェースの MTU に 1280 未満の値が設定されました。
【パラメータの意味】
%01=トンネルインタフェース番号
%02=トンネルインタフェースに設定した MTU
【アクション】
接続環境を確認してください。

【メッセージ】
Group SA server TCP connection is established. remote %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】

マルチポイントSAサーバ間のTCP connectionが確立したとき。crypto isakmp log gsaコマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=リモートアドレス

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Group SA server TCP connection is closed. remote %01 R: %02

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイントSAサーバ間のTCP connectionが切断したとき。crypto isakmp log gsaコマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=リモートアドレス

%02=エラーとなった理由

Expire GSA keepalive timeout マルチポイント SA Keepalive メッセージタイムアウトのため

Expire GSA request message timeout マルチポイントSA要求メッセージタイムアウトのため

Expire GSA ack message timeout マルチポイントSA ackメッセージタイムアウトのため

Expire GSA send timeout マルチポイントSAメッセージ送信タイムアウトのため

GSA priority changed 他のサーバのマルチポイント SA 優先度の変更を検知したため

GSA priority duplicated 他のサーバのマルチポイント SA 優先度が自身と同じ値であったため

Invalid GSA message format 不正なフォーマットのマルチポイント SA メッセージを受信したため

No GSA keepalive message received after establishing TCP connection TCP connection確立後に初めに受信したマルチポイントSAメッセージがマルチポイントSA Keepaliveメッセージではなかったため

Exec refresh command マルチポイントSA設定が変更されたため

Exec clear command clearコマンドによるTCP connection切断

Old TCP connection deleted TCP再確立による古いTCP connectionの切断

GSA sync message is not continuous マルチポイント SA 同期メッセージ受信中に、他のメッセージを受信したため

Send buffer overflow　マルチポイント SA メッセージの送信バッファが溢れたため

TCP timeout　TCP 送信タイムアウトが発生したため

TCP disconnected by remote　対向から TCP 切断されたため

Time is different from remote more than 10 second　他のサーバとの時刻が 10 秒以上ずれているため。サーバ間で時刻同期を行ってください。

Other reason　その他の理由のため

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Group SA server TCP connect failed. remote %01 R: %02

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイント SA サーバ間の TCP connect がタイムアウトにより失敗したとき。crypto isakmp log gsa コマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=リモートアドレス

%02=エラーとなった理由

Connect timeout　TCP connect がタイムアウトにより失敗したとき

Invalid local address　設定されたローカルアドレスが無効なとき

Invalid remote address　設定されたリモートアドレスが無効なとき

Address unreachable　リモートアドレスが未到達なとき

Connection refused　TCP connect が拒絶されたとき

Other reason　その他の理由

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

Group SA server state transition to %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイントSAサーバ状態が遷移したとき。crypto isakmp log gsaコマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=遷移後のマルチポイントSA状態

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Group SA server sync success. remote %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイントSAサーバ間の同期が成功したとき。crypto isakmp log gsaコマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=リモートアドレス

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Invalid GSA payload. remote %01 type:%02 len:%03 [%04]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

不正なマルチポイントSAメッセージペイロードを検知したとき。crypto isakmp log gsaコマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=対向サーバのアドレス

%02=マルチポイントSAメッセージペイロードタイプ値

%03=マルチポイントSAメッセージペイロード長

%04=マルチポイントSAメッセージペイロード内容

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Unknown GSA policy name. remote %01 [%02]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定にないマルチポイントSAポリシー名ペイロードを受信した場合。crypto isakmp log gsaコマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=対向サーバのアドレス

%02=マルチポイントSAポリシー名ペイロードの内容

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

GSA payload duplicated. remote %01 type:%02

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイントSAメッセージペイロードが重複していた場合。crypto isakmp log gsaコマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=対向サーバのアドレス

%02=マルチポイントSAメッセージペイロードタイプ値

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Missing mandatory GSA payload. remote %01 type:%02

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイントSAメッセージの必須ペイロードが付与されていなかった場合。crypto isakmp log gsa

コマンドが設定されているときのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=対向サーバのアドレス

%02=マルチポイント SA メッセージペイロードタイプ値

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Sequence Number OverFlow outspi:%01 inspi:%02 Src:%03

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

Sequence number over flow による SA の削除時。

【パラメータの意味】

%01=outbound SA の spi 値

%02=inbound SA の spi 値

%03=ピアアドレス

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Acct-on failed %01 R: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

Acct-on 送信及び、その Acct-resp 受信が正常に完了しなかった時。

【パラメータの意味】

%01=RADIUS グループ名

%02=エラーとなった理由

Timeout	Acct-on に対する Acct-resp を受信できずにタイムアウトした場合
Clear command on Acct-on	Acct-on に対する Acct-resp 待ち中に clear crypto radius を実行された場合
Clear command on route check	経路チェック中に clear crypto radius を実行された場合

【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
shutdown error R: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
isakmpd の shutdown 処理に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01=shutdown 処理が失敗した理由
failed create socket socket の create 失敗
failed sendto reset 情報の送信失敗
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
Destroying IPsec SA with ESP SPI 0x%01 reported invalid by peer %02:%03
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
INVALID_SPI を受信したことで IPSEC-SA/CHILD SA を削除しました。
【パラメータの意味】
%01=削除した SA の INBOUND SPI 値
%02=remote address
%03=remote port
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
Destroying IKE SA with peer %01:%02 due to SPI errors
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

INVALID_SPI を受信したことで ISAKMP-SA/IKE SA を削除しました。

【パラメータの意味】

%01=remote address

%02=remote port

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

L2TP CC(%01/%02/%03) %04 P:%05 IPsec:%06 ID:%07/%08 %09

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

L2TPv3 Control connection が確立/削除した場合。

【パラメータの意味】

%01=3：L2TPv3

%02=A：確立

D：削除

%03=I：Initiator として確立した connection

R：Responder として確立した connection

%04=remote address：IP モード

remote address(remote UDP port 番号)：UDP モード

%05=tunnel-profile 名

%06=IPsec tunnel 番号 ： L2TPv3 over IPsec で使用する IPsec Tunnel 番号

--- ： L2TPv3 単体

%07/%08= ID 値

Responder/Initiator Control connection ID 値

%09= ： Control connection 確立時(表示なし)

R: %10 ： Control connection 削除時

%10=Control connection 解放となった理由

Exec clear command	clear コマンドによる解放
Received StopCCN packet	ピアからの StopCCN 受信による解放
Send timeout	再送タイムアウトが発生
Error l2tpv3 in/out data to np	np とのデータ通信失敗による解放
can't get if id data	if id data 取得失敗による解放

Error tunnel if up	tunnel if up 失敗による解放
Exec refresh command	refresh コマンドによる解放
Received CDN packet	ピアからの CDN 受信による解放
No Session	セッションが無くなった為 Control connection 解放
Old cc delete	Control connection の reconnect による解放
Unsupported message type	未サポートのメッセージタイプ受信
Received unexpected packet	期待しないメッセージタイプ受信
Decode error [xxxxxxxx]	デコード失敗([]内は詳細エラーコード)
Expired negotiation timer	ネゴシエーションのタイムアウトが発生
Delete local address	自局アドレスが削除されたことによる解放
Old HA cc delete	古い HA 情報(Control connection)を削除した場合
Detected disconnection to NP	NP とのコネクションが切れたため
Other reason	その他の理由のため

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

L2TP Se(%01/%02/%03/%04) %05 P:%06 IPsec:%07 ID:%08/%09 %10

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

L2TPv3 Control connection/session が確立/削除した場合。

【パラメータの意味】

%01=3 : L2TPv3

%02=A : 確立

D : 削除

C : ステータス変化

%03=I : Initiator として確立した session

R : Responder として確立した session

%04=Act : セッションステータスが Active な session

Inact : セッションステータスが Inactive な session

%05=remote address : IP モード

remote address(remote UDP port 番号) : UDP モード

%06=pseudowire 名

%07=IPsec tunnel 番号 : L2TPv3 over IPsec で使用する IPsec Tunnel 番号

--- : L2TPv3 単体

%08/%09= ID 値

Responder/Initiator session ID 値

%10= : セッション確立時(表示なし)

R: %11 : セッション削除、セッションステータス変化時

%11=セッション解放、又はセッションステータス変化となった理由

以下、セッション解放となった理由

Exec clear command	clear コマンドによる解放
Received StopCCN packet	ピアからの StopCCN 受信による解放
Send timeout	再送タイムアウトが発生
Error l2tpv3 in/out data to np	np とのデータ通信失敗による解放
can't get if id data	if id data 取得失敗による解放
Error tunnel if up	tunnel if up 失敗による解放
Exec refresh command	refresh コマンドによる解放
Received CDN packet	ピアからの CDN 受信による解放
No Session	セッションが無くなった為 Control connection 解放
Old cc delete	Control connection の reconnect による解放
Old session delete	セッションの reconnect による解放
Unsupported message type	未サポートのメッセージタイプ受信
Received unexpected packet	期待しないメッセージタイプ受信
Decode error [xxxxxxxx]	デコード失敗([]内は詳細エラーコード)
Expired negotiation timer	ネゴシエーションのタイムアウトが発生
Destroyed Tunnel IF	interface tunnel 設定削除による解放
tunnel if is shutdown	Tunnel IF が shutdown されたことによる解放
Delete local address	自局アドレスが削除されたことによる解放
Old HA cc delete	古い HA 情報(Control connection)を削除した場合
Old HA session delete	古い HA 情報(セッション)を削除した場合
Session limit exceeded	Session 数の limit に達した
Detected disconnection to NP	NP とのコネクションが切れたため
Other reason	その他の理由のため

以下、セッションステータス変化となった理由

Received Circuit Status AVP	Circuit Status AVP 通知による変化
Surveilled Interface was down	監視インタフェースダウンによる変化
Surveilled Interface was up	監視インタフェースアップによる変化
Exec set command-status command	Command Status 変更コマンドによる変化
Other reason	その他の理由のため

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

L2TP %01(%02/%03) %04 IPsec:%05 ID:%06/%07 R: %08

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

L2TPv3 Control connection/セッションのネゴシエーションが失敗した場合。

【パラメータの意味】

%01=CC_F：Control connection の失敗

Se_F：セッションの失敗

%02=3：L2TPv3

%03=I：Initiator

R：Responder

%04=remote address：IP モード

remote address(remote UDP port 番号)：UDP モード

%05=IPsec tunnel 番号 ： L2TPv3 over IPsec で使用する IPsec Tunnel 番号

--- ： L2TPv3 単体

%06/%07= ID 値

Control connection の場合：Responder/Initiator Control connection ID 値

session の場合：Responder/Initiator session ID 値

%08=ネゴシエーションが失敗した理由

Exec clear command	clear コマンドによりネゴ終了
Received StopCCN packet	ピアからの StopCCN 受信によりネゴ終了
Negotiation timeout	再送タイムアウトが発生
Not found Configuration	ピアの設定がない
Tie Breaker	Tie Breaker によりネゴ終了
Exec refresh command	refresh コマンドによりネゴ終了
Received CDN packet	ピアからの CDN 受信によりネゴ終了
No Session	セッションが無くなった為ネゴ終了
Old cc delete	Control connection の reconnect によりネゴ終了
Not found Message Digest AVP	Message Digest AVP がない
Digest error	ダイジェスト不一致
Remote host name mismatch	Remote ホスト名不一致
Remote router id mismatch	Remote ルータ ID 不一致
Sequencing mismatch	sequencing 不一致
pw-type mismatch	pw-type 不一致
Unsupported pw-type	未サポートの pw-type 受信

Unsupported message type　未サポートのメッセージタイプ受信
Received unexpected packet　期待しないメッセージタイプ受信
Decode error [xxxxxxxx]　デコード失敗([]内は詳細エラーコード)
Not found Tie Breaker AVP　Tie Breaker AVP がない
Tie Breaker in start　SCCRQ/ICRQ 送信前に対向から SCCRQ/ICRQ を受信した為 initiator ネゴ終了
Expired negotiation timer　ネゴシエーションのタイムアウトが発生
tunnel if is shutdown　Tunnel IF が shutdown 状態
Delete local address　自局アドレスが削除されたことによりネゴ終了
Old HA cc delete　古い HA 情報(Control connection)を削除した場合
Detected disconnection to NP　NP とのコネクションが切れたため
Other reason　その他の理由のため

なし

【アクション】

設置環境及び、設定を見直してください。

【メッセージ】

G2(2/%01/R/%02) %03:%04 M:%05 S:%06

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

MPSA を受信/登録/削除した場合。crypto isakmp log gsa コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=A ：MPSA 登録
Ar：MPSA 受信
D ：登録した MPSA を削除
Ds：登録しなかった MPSA を削除
%02=I：Inbound SA
O：Outbound SA
-：Inbound/Outbound SA
r：鍵を受信したことを示す
%03=remote address
%04=remote port
%05=crypto map 名
%06=SPI 値

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

G2_F(2/A/R/%01) %02:%03 M:%04 S:%05 R:%06

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

MPSA 登録に失敗した場合。crypto isakmp log gsa コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメータの意味】

%01=I：Inbound SA
O：Outbound SA
-：Inbound/Outbound SA
%02=remote address
%03=remote port
%04=crypto map 名
%05=SPI 値
%06=登録に失敗した理由

internal error	内部エラー
P2 limit exceeded	crypto ipsec-tunnel ipsec-in limit の制限にかかった場合

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Group SA received with unexpected SPI (map %01)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

受信した SPI 値が設定の範囲外である場合。

【パラメータの意味】

%01=crypto map 名

【アクション】

マルチポイント SA の SPI 値の範囲設定を見直してください。

【メッセージ】

We cannot confirm the time with Group SA server. remote %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

マルチポイントSAサーバ間で、時刻確認ができなかった場合に出力されます。

【パラメータの意味】

%01=リモートアドレス

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

IKE Tasktrace %01 %02 %03

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

IKE Tasktraceのフィルター機能が有効/無効になった際表示されます。

【パラメータの意味】

%01=有効/無効

enable : 有効

disable : 無効

%02=リモートピア情報

%03=disableに遷移した理由(disable時のみ出力)

R: %04

%04=disable遷移の理由

Exec no command	noコマンド実行による無効
Expired specified period of time	規定時間経過による無効
Reached the prescribed number	規定回数フィルターにヒットしたことによる無効
Clear VRF	VRFが削除されたことによる無効

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

L2TPv3 Session ID exceeded

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
L2TPv3 Session の ID が枯渇し、生成に失敗した場合。
【パラメータの意味】
なし。
【アクション】
設置環境及び、設定を見直してください。

【メッセージ】
L2TP CC(%01/%02/%03) %04 P:%05 ID:%06/%07 %08
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
L2TPv2 Control connection が確立/削除した場合。
【パラメータの意味】
%01=2 : L2TPv2
%02=A : 確立
D : 削除
%03=I : Initiator として確立した connection
R : Responder として確立した connection
%04=remote address(remote UDP port 番号)
%05=tunnel-profile 名
%06/%07= ID 値
Responder/Initiator Control connection ID 値
%08= : Control connection 確立時(表示なし)
R: %09 : Control connection 削除時
%09=Control connection 解放となった理由

Exec clear command	clear コマンドによる解放
Received StopCCN packet	ピアからの StopCCN 受信による解放
Send timeout	再送タイムアウトが発生
Exec refresh command	refresh コマンドによる解放
No Session	セッションが無くなった為 Control connection 解放
Unsupported message type	未サポートのメッセージタイプ受信

Received unexpected packet	期待しないメッセージタイプ受信
Decode error [xxxxxxxx]	デコード失敗([]内は詳細エラーコード)
Expired negotiation timer	ネゴシエーションのタイムアウトが発生
clear ipsec sa	関連したIPsec SAの削除による解放
Other reason	その他の理由のため

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

L2TP Se(%01/%02/%03) %04 P:%05 ID:%06/%07 %08

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

L2TPv2 sessionが確立/削除した場合。

【パラメータの意味】

%01=2：L2TPv2

%02=A：確立

D：削除

C：ステータス変化

%03=I：Initiator として確立したsession

R：Responder として確立したsession

%04=remote address(remote UDP port番号)

%05=tunnel-profile名

%06/%07= ID値

Responder/Initiator session ID値

%08= ： セッション確立時(表示なし)

R: %09 ： セッション削除時

%09=セッション解放となった理由

Exec clear command	clear コマンドによる解放
Received StopCCN packet	ピアからのStopCCN 受信による解放
Send timeout	再送タイムアウトが発生
Exec refresh command	refresh コマンドによる解放
Received CDN packet	ピアからのCDN 受信による解放
Unsupported message type	未サポートのメッセージタイプ受信
Received unexpected packet	期待しないメッセージタイプ受信
Decode error [xxxxxxxx]	デコード失敗([]内は詳細エラーコード)

Expired negotiation timer　　ネゴシエーションのタイムアウトが発生

Not found Proxy Authen Challenge AVP Proxy Authen Type(CHAP)に対して、Proxy Authen Challenge AVP がない

Proxy Authen Type mismatch　　Proxy Authen Type(CHAP/PAP)に対して、chap/pap 設定されていない

Unsupported Proxy Authen Type　未サポートの Proxy Authen Type

PPP username not found　　PPP の username が存在しない

PPP auth failed　　PPP 認証に失敗した

PPP ipcp failed　　IPCP ネゴシエーションに失敗した

PPP terminated　　PPP セッションが切断された

PPP failed to configure IP address for the user　ユーザアドレスを払い出せなかった

PPP add route failed　　PPP 経路の登録に失敗した

PPP address duplicated　　PPP 払い出しアドレスが他のセッションと重複している

Can't add tunnel if　　Tunnel IF の作成失敗

Can't add session info to np　セッション情報の NP への登録に失敗した

Error tunnel if up　　Tunnel IF の up 失敗

Acct-Session-Id exceeded　　Acct-Session-Id を払い出せなかった

Expired idle-timeout　　idle-timeout による解放

Expired session-timeout　　session-timeout による解放

Acct-start failed　　Accounting-Request(Start)に失敗した

Old session delete　　セッションの reconnect による解放

clear ipsec sa　　関連した IPsec SA の削除による解放

Destroyed Tunnel IF　　interface tunnel 設定削除による解放

tunnel if is shutdown　　Tunnel IF が shutdown されたことによる解放

Radius attribute error　　radius サーバーから異常なアトリビュートを受信した場合

Other reason　　その他の理由のため

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

L2TP %01(%02/%03) %04 ID:%05/%06 R: %07

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

L2TPv2 Control connection/セッションのネゴシエーションが失敗した場合。

【パラメータの意味】

%01=CC_F：Control connection の失敗
Se_F：セッションの失敗
%02=2：L2TPv2
%03=I：Initiator
R：Responder
%04=remote address(remote UDP port 番号)
%05/%06= ID 値
Control connection の場合：Responder/Initiator Control connection ID 値
session の場合：Responder/Initiator session ID 値
%07=ネゴシエーションが失敗した理由

Exec clear command	clear コマンドによりネゴ終了
Received StopCCN packet	ピアからの StopCCN 受信によりネゴ終了
Negotiation timeout	再送タイムアウトが発生
Limit exceeded	PPP のセッション上限に達した
Invalid host name	remote host name が不正
Can't bind with ipsec	IPsec SA との関連付けに失敗した
Not found Configuration	ピアの設定がない
Can't get host name	host name の取得に失敗した
Exec refresh command	refresh コマンドによりネゴ終了
Received CDN packet	ピアからの CDN 受信によりネゴ終了
No Session	セッションが無くなった為ネゴ終了
Not found Challenge Response AVP	Challenge Response AVP がない
Challenge error	Challenge 不一致
Unsupported message type	未サポートのメッセージタイプ受信
Received unexpected packet	期待しないメッセージタイプ受信
Decode error [xxxxxxxx]	デコード失敗([]内は詳細エラーコード)
Expired negotiation timer	ネゴシエーションのタイムアウトが発生
clear ipsec sa	関連した IPsec SA の削除によりネゴ終了
Destroyed Tunnel IF	interface tunnel 設定削除によるネゴ終了
tunnel if is shutdown	Tunnel IF が shutdown されたことによるネゴ終了
Radius attribute error	radius サーバーから異常なアトリビュートを受信した場合
Other reason	その他の理由のため

【アクション】
設置環境及び、設定を見直してください。

【メッセージ】
"L2TP/PPP UP %01 I:%02/%03 U:%04
【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

IPCP が成功した場合。

【パラメータの意味】

%01=IPCP で払い出したアドレス

%02=interface tunnel 番号

%03=interface ipsec tunnel IF 番号

%04=PPP user 名

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

1.66 report-all

【メッセージ】

command error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

report-all 起動に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

The request to slot%01 has been time out.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

他ボード情報の取得に失敗

【パラメータの意味】

%01:スロット番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

fork error=%01.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

fork エラー発生

【パラメータの意味】

%01:fork エラー原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

waitpid error=%01.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

waitpid エラー発生

【パラメータの意味】

%01:waitpid エラー原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01:no requires file.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
一時ファイル作成エラー発生
【パラメータの意味】
%01:ファイル名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:file open error=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
一時ファイルオープンエラー発生
【パラメータの意味】
%01:ファイル名
%02:エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
pipe error=%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
pipe エラー発生
【パラメータの意味】
%01:pipe エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
execl gzip error=%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
execl gzip エラー発生
【パラメータの意味】
%01:execl エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01:Error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コマンド実行エラー発生
【パラメータの意味】
%01:エラー発生コマンド
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
execv failed [%01] error=%02.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
execv エラー発生
【パラメータの意味】
%01:エラー発生コマンド
%02:execv エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't reopen ftp.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
FTP 転送エラー発生
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't transfer(put) ftp.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
FTP 転送エラー発生
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
[%01]L.[%02]:format_error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
etc/repall.rep のフォーマットエラー
【パラメータの意味】
%01:ファイル名
%02:フォーマットエラー発生ライン数
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
header file nothing=%01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
header ファイル作成エラー発生
【パラメータの意味】
%01:stat エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
file pass nothing.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
保存ファイル取得エラー発生
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
tar directory make error=%01.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
tar ファイル作成用ディレクトリ作成エラー発生
【パラメータの意味】
%01:mkdir エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
report-all tar file make error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
tar ファイル作成エラー発生
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.67 reset_default

【メッセージ】
The console speed has been changed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
コンソール速度設定が変更された場合に表示される
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
コンソール端末（ターミナルソフト）の通信速度を 9600 にしてください。
そのままご使用を続けてください。

1.68 resolv_ap

【メッセージ】
'ip name-server' exceeds max configurations (3) - ignored: 'ip name-server %s'
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

name-server のエントリ数が最大数(3)を超えています

【パラメータの意味】

%s=無効となった name-server のアドレス

【アクション】

設定を見直してください。(ip name-server 設定)

【メッセージ】

'ip name-server' VRF interface is not supported - ignored: 'source-interface %s'

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

resolver では未サポートの VRF interface を source-interface に指定しています

【パラメータの意味】

%s=無効となった source-interface 名

【アクション】

設定を見直してください。(ip name-server 設定)

1.69 rtadvd

【メッセージ】

Illegal configuration (IPv6 RA configuration) %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ipv6 nd send-ra,ipv6 nd receive-ra を同時に設定した場合

【パラメータの意味】

%01:インターフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】
Illegal configuration (IPv6 RA configuration ns-interval) %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipv6 ns-interval-receive-enable,ipv6 nd ns-interval を同時に設定した場合
【パラメータの意味】
%01:インターフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
Illegal configuration (IPv6 RA configuration reachable-time) %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
|ipv6 reachable-time-receive-enable,ipv6 nd reachable-time を同時に設定した場合
【パラメータの意味】
%01:インターフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
cannot set IPv6 address (IPv6 RA configuration) %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
RA から生成したアドレスが設定出来なかった場合
【パラメータの意味】
%01:インターフェース名
【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】
%01 overlaps with %02 (IPv6 RA configuration)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定されたインタフェースアドレスと競合するため、
RAによるインタフェースアドレスを無効にした場合
【パラメータの意味】
%01:RAにてアドレスを設定していたインターフェース名
%02:競合したアドレス情報
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
The maximum number of active routers reached (IPv6 RA configuration)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
RAの最大エントリ数以上のルータからRAを受信した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
The maximum number of active prefixes reached %01 %02 (IPv6 RA configuration)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
RAのprefixオプション数が最大エントリ数を超えている場合

【パラメータの意味】
%01:RA を受信したインターフェース名
%02:RA を送信したルータのアドレス情報
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
ValidLifetime must be greater than PreferredLifetime %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipv6 nd prefix-advertisement 設定において、Valid lifetime を
Preferred lifetime よりも短く設定した場合
【パラメータの意味】
%01:インターフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
function time error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
現在時刻の取得に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Can't load shared library. Process exited
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

共有ライブラリの読み込みに失敗したので、プロセスを exit しました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Receive ifd message retry over

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ifd からのメッセージ受信において、リトライ回数を超えました

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

RA cooperated with VRRP is needed IPv6 linklocal virtual address

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

VRRP と連携した RA には、IPv6 リンクローカル仮想アドレスが必要です

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

Router %1 disappeared on %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
RA を送信したルータへの到達性が無くなりました
【パラメータの意味】
%1 = RA を送信したルータのアドレス情報
%2 = RA を受信したインターフェース名
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
Router Advertisement receive from <%1> [Prefix info: %2 V %3, P %4] L %5, %6 on Port-channel %7
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
RA を受信しました
【パラメータの意味】
%1 = RA を送信したルータのアドレス情報
%2 = プレフィックス長
%3 = プレフィックスの使用可能期間
%4 = プレフィックスの使用が望ましい期間
%5 = デフォルトルータとして使用できる時間
%6 = M/O フラッグの有無
%7 = RA 受信したインターフェース
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

1.70 rumpserver

【メッセージ】
Warning: too many(>1024) ip address on %1
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

ひとつのインターフェースで設定されたアドレス数が 1024 を超えています。

【パラメータの意味】

%1: インターフェース名

【アクション】

設定の見直しを実施してください。

【メッセージ】

ppp_l2tpvp_output: recursively called too many times(%1)

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

パケット送信において、L2TPv2 のカプセル化処理を二回以上要求されました。

【パラメータの意味】

%1: 要求回数

【アクション】

環境を確認し、設定の見直しを実施してください。

【メッセージ】

ppp_l3tpv3_output: recursively called too many times(%1)

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

パケット送信において、L2TPv2 のカプセル化処理を二回以上要求されました。

【パラメータの意味】

%1: 要求回数

【アクション】

環境を確認し、設定の見直しを実施してください。

【メッセージ】

netlink:control table add fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
netlink socket の作成において、管理テーブルの追加に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を取得し、サポートへ連絡ください。

【メッセージ】
netlink:resend que add fail
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
netlink socket の送信処理において、再送キューへの登録に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
rn_addmask: mask impossibly already in tree
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
経路登録処理において、同一マスクのエントリが既に存在していたため、
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Mask for route not entered
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

経路のマスク情報が登録できませんでした。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Non-unique normal route, mask not entered

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

経路の登録ができませんでした。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

rn_delete: inconsistent annotation(rm_refs)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

経路の登録ができませんでした。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

rn_delete: inconsistent annotation

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
経路の登録ができませんでした。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
rn_delete: couldn't find our annotation
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
経路の削除処理において、経路情報のパラメータが正しくありませんでした。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
rn_delete: couldn't find us
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
経路の削除処理において、対象経路の特定に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

rn_init: radix functions require max_keylen be set

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

経路検索用キー最大長がセットされていないため、初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%1: arp: link address is broadcast for IP address %2!

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

arp パケット受信処理において、送信元アドレスが装置内インターフェースの
ブロードキャストアドレスです。

【パラメータの意味】

%1：インターフェース名

%2：IP アドレス

【アクション】

環境を確認してください。問題なければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

duplicate IP address %1 sent from link address %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

arp パケット受信処理において、送信元アドレスが自装置のアドレスと重複しています

【パラメータの意味】

%1：IP アドレス

%2：MAC アドレス

【アクション】
環境を確認してください。問題なければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 on %2 tried to overwrite arp info for %3 on %4
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
arp パケット受信処理において、不正なインターフェースからパケットを受信しました。
【パラメータの意味】
%1：MAC アドレス
%2：インターフェース名
%3：IP アドレス
%4：元インターフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 tried to overwrite permanent arp info for %2
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
スタティック ARP の上書きが試みられました。
【パラメータの意味】
%1：MAC アドレス
%2：IP アドレス
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
arp info overwritten for %1 by %2
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

ARP の上書きが発生しました

【パラメータの意味】

%1：MAC アドレス

%2：IP アドレス

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

arp from %1: new addr len %2, was %3

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

リンクアドレス長が変化しました。

【パラメータの意味】

%1：IP アドレス

%2：新リンクアドレス長

%3：旧リンクアドレス長

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

arp from %1: addr len: new %2, i/f %3 (ignored)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

IF のアドレス長とリンクアドレス長が一致しません。

【パラメータの意味】

%1：IP アドレス

%2：リンクアドレス長

%3：インターフェースのアドレス長

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

ICMP: redirect failed to register timeout for route to %1, code %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

学習したリダイレクト経路の timer 登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1：IP アドレス

%2：エラーコード

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

Connection attempt to TCP %1:%2 from %3:%4

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

不正な TCP 接続がありました。

【パラメータの意味】

%1：宛先 IP アドレス

%2：宛先ポート番号

%3：送信元 IP アドレス

%4：送信元ポート番号

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

Connection attempt to TCP [%1]:%2 from [%3]:%4

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

不正な TCP 接続がありました。

【パラメータの意味】

%1：宛先 IPv6 アドレス

%2：宛先ポート番号

%3：送信元 IPv6 アドレス

%4：送信元ポート番号

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

TCP: Invalid MD5 digest from %1(%2) to %3(%4)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

受信した TCP パケットの MD5 認証に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1 = 送信元アドレス

%2 = 送信元ポート番号

%3 = 宛先アドレス

%4 = 宛先ポート番号

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

TCP: Invalid MD5 digest from %1(%2) to %3(%4) vrfid %5

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

受信した TCP パケットの MD5 認証に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1 = 送信元アドレス

%2 = 送信元ポート番号

%3 = 宛先アドレス

%4 = 宛先ポート番号

%5= VRF ID

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

TCP: No MD5 digest from %1(%2) to %3(%4)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

受信したTCPパケットにMD5のオプションが付加されていないか、
受信ソケットにMD5オプションの設定がされていない場合。

【パラメータの意味】

%1 = 送信元アドレス
%2 = 送信元ポート番号
%3 = 宛先アドレス
%4 = 宛先ポート番号

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

TCP: No MD5 digest from %1(%2) to %3(%4) vrfid %5

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

受信したTCPパケットにMD5のオプションが付加されていないか、
受信ソケットにMD5オプションの設定がされていない場合。

【パラメータの意味】

%1 = 送信元アドレス
%2 = 送信元ポート番号
%3 = 宛先アドレス
%4 = 宛先ポート番号
%5= VRF ID

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

TCP: invalid wscale %1 from %2, assuming %3

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

TCP パケットのオプション処理において、不正なウィンドウサイズを指定されました

【パラメータの意味】

%1 = 要求されたウィンドウサイズ

%2 = 送信元アドレス

%3 = 受け入れ可能なウィンドウサイズ

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

in6_ifloop_request: %1 operation failed for %2 (errno=%3)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

インターフェースの登録・削除処理に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1 = オペレーション名

%2 = アドレス情報

%3 = エラーコード

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

prefix ioctls are now invalidated. please use ifconfig.

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

インターフェースの prefix の操作に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

in6_update_ifa: in6_setscope failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

インターフェースのアドレス情報の登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

in6_update_ifa: addmulti failed for %1 on %2 (errno=%3)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

インターフェースアドレスの multicast join に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

%2: インターフェース名

%3: エラーコード

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

in6_purgeaddr: failed to remove a route to the p2p destination: %1 on %s2 errno=%3

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
インターフェースのアドレス情報の登録に失敗しました。
【パラメータの意味】
%1: アドレス情報
%2: インターフェース名
%3: エラーコード
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
in6_are_prefix_equal: invalid prefix length(%1)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
prefix 登録処理において、パラメータ異常が発生しました。
【パラメータの意味】
%1: 長さ情報
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
in6_prefixlen2mask: invalid prefix length(%1)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
prefix 登録処理において、パラメータ異常が発生しました。
【パラメータの意味】
%1: 長さ情報
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

in6_cloning_init: addmulti failed for %1 on %2 (errno=%3)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

アドレス情報登録処理において、マルチキャストアドレスの登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1: マルチキャストアドレス

%2: インターフェース名

%3: エラー番号

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

in6_prelist_add: nd6_prelist_add succeeded but no prefix

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

prefix list の登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

in6_addprefix: %1/%d2is already on-link

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

prefix list の登録処理において、すでに登録されていました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

%2: prefix 長

【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
in6_addprefix: %1/%2 is already on-link
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
prefix list の登録処理において、すでに登録されていました。
【パラメータの意味】
%1: アドレス情報
%2: prefix 長
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
ipvpn6_ifloop_request: %1 operation failed for %2 vrfid %3 (errno=%4)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
インターフェースの登録・削除処理に失敗しました。
【パラメータの意味】
%1: オペレーション名
%2: アドレス情報
%3: VRFID
%4: エラーコード
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
ipvpn6_update_ifa: in6_setscope failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

インターフェースのアドレス情報の登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ipvpn6_update_ifa: addmulti failed for %1 on %2 (errno=%3)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

インターフェースアドレスのmulticast joinに失敗しました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

%2: インターフェース名

%3: エラーコード

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ipvpn6_purgeaddr: failed to remove a route to the p2p destination: %1 on %s2 errno=%3

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

インターフェースのアドレス情報の登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

%2: インターフェース名

%3: エラーコード

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ipvpn6_cloning_init: addmulti failed for %1 on %2 (errno=%3)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

アドレス情報登録処理において、scope の情報登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

%2: インターフェース名

%3: エラーコード

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

ipvpn6_prelist_add: nd6_prelist_add succeeded but no prefix

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

prefix list の登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

nd6_init called more than once(ignored)

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

nd6 の初期化処理が複数回呼び出されました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
nd6_setmtu0: new link MTU on %1 (%2) is too small for IPv6 which needs %3
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
MTU の設定において、設定値が異常でした。
【パラメータの意味】
%1: インターフェース名
%2: 設定される mtu 値
%3: IPv6 の最少 mtu 値
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: failed to set scope %2 (errno=%3)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
neighbor 情報の更新処理で、スコープの設定に失敗しました。
【パラメータの意味】
%1: 関数名
%2: インターフェース名
%3: エラーコード
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
scope error in router list (%1)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

sysctl による default router 追加処理において、scope の設定に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

scope error in prefix list (%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

sysctl による prefix list 追加処理において、scope の設定に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

nd6_na_input: duplicate IP6 address %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

NA の受信処理において、自装置で持っているアドレスと同じアドレスが通知されました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

nd6_dad_start: memory allocation failed for %1(%2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
DAD 処理において、メモリの確保に失敗しました。
【パラメータの意味】
%1: アドレス情報
%2: インターフェース名
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
nd6_dad_timer: called with null parameter
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
DAD のタイマー処理において、不正なパラメータ処理が発生しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
nd6_dad_timer: called with duplicate address %1(%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
DAD 処理において、重複したアドレスが呼び出されました。
【パラメータの意味】
%1: アドレス情報
%2: インターフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】

nd6_dad_timer: called with non-tentative address %1(%2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

DAD 処理において、仮アドレスではないアドレスが呼び出されました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

%2: インターフェース名

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

nd6_dad_duplicated: DAD structure not found

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

DAD 処理において、重複が検出されましたが、チェック処理に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: DAD detected duplicate IPv6 address %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

DAD 処理において、重複が検出されました。

【パラメータの意味】

%1: インターフェース名

%2: 重複したアドレス情報

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%1: DAD complete for %2 - duplicate found

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

DAD 処理において、重複が検出され、処理が完了しました。

【パラメータの意味】

%1: インターフェース名

%2: 重複したアドレス情報

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%1: manual intervention required

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

DAD 処理において、重複が検出され、処理が完了しました。

【パラメータの意味】

%1: インターフェース名

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

%1: possible hardware address duplication detected, disable IPv6

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

DAD 処理において、linklocal アドレスの重複が検出されました。

しかし、該当インターフェースでは、IPv6 が無効でした。

【パラメータの意味】
%1: インターフェース名
【アクション】
設定を見直してください。

【メッセージ】
defrtrlist_del: negative count on %1
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
default route list の解放処理において、リファレンスカウントが不正でした。
【パラメータの意味】
%1: インターフェース名
【アクション】
情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
defrouter_select: more than one router is installed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
default route list 登録処理において、すでに登録がありました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
環境を確認し、設定の見直しを実施してください。

【メッセージ】
rtpref: impossible RA flag %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】

サポート外の RA フラグ情報を受信しました。

【パラメータの意味】

%1: インターフェース名

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

prelist_remove: negative count on %1

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

prefix list の解放処理において、リファレンスカウントが不正でした。

【パラメータの意味】

%1: インターフェース名

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

prelist_update: IFID undefined (%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

prefix list の更新処理において、IFID が不正でした。

【パラメータの意味】

%1: インターフェース名

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

in6_ifadd: %1 is already configured

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

アドレス登録処理において、アドレスが重複していました。

【パラメータの意味】

%1: アドレス情報

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

udp6_output: IPV6_V6ONLY option was set for a connected socket

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

UDP パケット送信処理において、IPv6 限定ソケットにもかかわらず、MAPDV4 アドレスが使われました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

環境を確認し、設定の見直しを実施してください。

【メッセージ】

MAP encap source-address error Tunnel %1 %2 %3 <-> %4 %5%6

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_KERN(0)

【意味】

MAP 機能用 tunnel インターフェイスの受信データにおいて、送信元アドレス不整合が発生しました。

【パラメータの意味】

%1: トンネル番号

%2: vrfid VRF 番号（受信 tunnel に VRF が設定されていないときは表示されません）

%3: outer IPv6 送信元アドレス

%4: inner IPv4 送信元アドレス

%5: プロトコル(プロトコルが TCP,UDP,SCTP,ICMP 以外はプロトコル番号)

%6: :ポート番号(プロトコルが ICMP の場合は ID 番号が表示されます。プロトコルが TCP,UDP,SCTP,ICMP 以外のときは表示されません)

【アクション】

mapping が間違っている可能性があります。

ネットワーク環境を見直してください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
IPinIP Tunnel source-address error Tunnel %1 %2 %3 <-> %4
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
IPv4 NLRI IPv6 Nexthop 機能用 tunnel インターフェイスの受信データにおいて、送信元アドレス不整合が発生しました。
【パラメータの意味】
%1: トンネル番号
%2: vrfid VRF 番号（受信 tunnel に VRF が設定されていないときは表示されません）
%3: outer IPv6 送信元アドレス
%4: inner IPv4 送信元アドレス
【アクション】
ネットワーク環境を見直してください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
IPinIP Tunnel source-address error Tunnel unknown %1 <-> %2 %3%4
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
ipinip 用 tunnel インターフェイスの受信データにおいて、送信元アドレス不整合が発生しました。
【パラメータの意味】
%1: outer IPv6 送信元アドレス
%2: inner IPv4 送信元アドレス
%3: プロトコル(プロトコルが TCP,UDP,SCTP,ICMP 以外はプロトコル番号)
%4: :ポート番号(プロトコルが ICMP の場合は ID 番号が表示されます。プロトコルが TCP,UDP,SCTP,ICMP 以外のときは表示されません)
【アクション】
ネットワーク環境を見直してください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

The number of system calls that were called simultaneously exceeded the threshold.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

同時に実行されるシステムコールの数が閾値を超えました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Watchdog Timer counter exceeded the threshold. (%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ウォッチドッグタイマカウンタが閾値を超えました。

【パラメータの意味】

%1: ウォッチドッグカウンタ

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

rumpuser_sp: fork error %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

fork に失敗しました。

【パラメータの意味】

%1: プロセス名

【アクション】

情報を取得し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
WARNING: mclpool limit reached; increase NMBCLUSTERS
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部リソースが枯渇した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
ログ出力後、状態が継続した場合、装置が再起動することがあります
情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください

【メッセージ】
WARNING: mclpool limit reached
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部リソースが枯渇した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
ログ出力後、状態が継続した場合、装置が再起動することがあります
情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください

【メッセージ】
mclpool crossed hard limit continually
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
内部リソースが枯渇した状態が継続した場合

【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
ログ出力後、装置が再起動しています。
情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください

【メッセージ】
DAD Neighbor Solicitation send to <%1> on <%2>
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
DAD 処理を開始しました。
【パラメータの意味】
%1:重複確認対象アドレス
%2:インターフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
DAD complete <%1> on <%2>
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
DAD 処理を完了しました。
【パラメータの意味】
%1:重複確認対象アドレス
%2:インターフェース名
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
DAD detected duplicate <%1> on <%2>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_KERN(0)
【意味】
アドレスの重複を検知しました。
【パラメータの意味】
%1:重複したアドレス
%2:インターフェース名
【アクション】
重複したアドレスを変更してください。

1.71 secd

【メッセージ】
%01 n2h check error
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ヘッダのチェックに失敗しました
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Unknown RSLT n2h code : %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
リクエストヘッダのコードが未定義です
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
espse unknown ecode:%01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
リクエストヘッダのエラーコードが未定義です
【パラメータの意味】
%01:エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
espse unknown rh crypto:%01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
リクエストヘッダの crypto が未定義です
【パラメータの意味】
%01:crypto
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse open error(errno=%01)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の open が失敗した。
【パラメータの意味】
%01:errno
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse global counter error(FD error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse のグローバルカウンタ取得時に FD が異常だった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse global counter error(counter_p error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse のグローバルカウンタ取得時のポインタ不正。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse global counter error(ioctl error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse のグローバルカウンタ取得時に ioctl がエラーになった。
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse sadb all del error(FD error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の全 SADB 削除時に FD が異常だった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse sadb all del error(ioctl error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の全 SADB 削除時に ioctl がエラーになった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound write error(FD error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の inbound SADB ライト時に FD が異常だった。
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound write error(db_p error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB ライト時のポインタ不正。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound write error(ioctl error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB ライト時に ioctl がエラーになった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound write error(auth error=%01)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB ライト時に不正な認証プロトコルが指定された。

【パラメータの意味】
%01:指定された認証プロトコルの ID
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound write error(auth len error=%01)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の inbound SADB ライト時に auth len エラーになった。
【パラメータの意味】
%01:auth len
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound write error(auth make key error=%01)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の inbound SADB ライト時に auth make key エラーになった。
【パラメータの意味】
%01:指定された認証プロトコルの ID
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound write error(blockid error spi=%01,blockid=%02)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

espse の inbound SADB ライト時に blockid が不正値だった。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound write error(hash error spi=%01,blockid=%01)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB ライト時に hash エラーになった。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound read error(FD error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB リード時に FD が異常だった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound read error(db_p error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の inbound SADB リード時のポインタ不正。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound read error(ioctl error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の inbound SADB リード時に ioctl がエラーになった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound del error(FD error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の inbound SADB 削除時に FD が異常だった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound del error(db_p error)¥n
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB 削除時のポインタ不正。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound del error(ioctl error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB 削除時に ioctl がエラーになった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound del error(hash error spi=%01,blockid=%02)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB 削除時に hash エラーになった。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound counter error(FD error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB カウンタ取得時に FD が異常だった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound counter error(block_num error block_num=%01)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB カウンタ取得時に block_num が不正値だった。

【パラメータの意味】

%01:block_num

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse inbound counter error(blockid error blockid=%01,block_num=%02)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の inbound SADB カウンタ取得時に blockid が不正値だった。

【パラメータの意味】

%01:blockid

%02:block_num

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound counter error(ioctl error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の inbound SADB カウンタ取得時に ioctl がエラーになった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse inbound realtime counter get is invalid sadb(blockid=%01)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
リアルタイムカウンタ取得対象の inbound SADB が invalid SADB だった。
【パラメータの意味】
%01:blockid
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound write error(FD error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB ライト時に FD が異常だった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound write error(db_p error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB ライト時のポインタ不正。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound write error(ioctl error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB ライト時に ioctl がエラーになった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound write error(auth error=%01)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB ライト時に auth エラーになった。
【パラメータの意味】
%01:auth

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound write error(auth len error=%01)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB ライト時に auth len エラーになった。
【パラメータの意味】
%01:auth len
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound write error(auth make key error=%01)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB ライト時に auth make key エラーになった。
【パラメータの意味】
%01:auth
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound write error(crypto error=%01)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB ライト時に crypto エラーになった。
【パラメータの意味】

%01:crypto

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound write error(esp pad error=%01)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の outbound SADB ライト時に esp padding エラーになった。

【パラメータの意味】

%01:esp padding

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound read error(FD error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の outbound SADB リード時に FD が異常だった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound read error(db_p error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の outbound SADB リード時のポインタ不正。

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound read error(ioctl error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB リード時に ioctl がエラーになった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound del error(FD error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB 削除時に FD が異常だった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound del error(db_p error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

espse の outbound SADB 削除時のポインタ不正。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound del error(ioctl error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の outbound SADB 削除時に ioctl がエラーになった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound counter error(FD error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の outbound SADB カウンタ取得時に FD が異常だった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound counter error(block_num error block_num=%01)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の outbound SADB カウンタ取得時に block_num が不正値だった。

【パラメータの意味】

%01:block_num

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound counter error(blockid error blockid=%01,block_num=%02)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の outbound SADB カウンタ取得時に blockid が不正値だった。

【パラメータの意味】

%01:blockid

%02:block_num

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound counter error(ioctl error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の outbound SADB カウンタ取得時に ioctl がエラーになった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound realtime counter get is invalid sadb(blockid=%01)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
リアルタイムカウンタ取得対象の outbound SADB が invalid SADB だった。
【パラメータの意味】
%01:blockid
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse seq_num get error(FD error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の sequence number 取得時に FD が異常だった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse seq_num get error(spi blkid error spi=%01,blockid=%02,type=%03)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の sequence number 取得時に spi 又は blockid が異常値だった。
【パラメータの意味】
%01:spi
%02:blockid
%03:type
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse seq_num get error(invalid error spi=%01,blockid=%02,type=%03)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の sequence number 取得時に spi 又は blockid で指定した SADB が invalid だった。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

%03:type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse seq_num write error(FD error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の sequence number ライト時に FD が異常だった。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse seq_num write error(spi blkid error spi=%01,blockid=%02,type=%03)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の sequence number ライト時に spi 又は blockid が異常値だった。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

%03:type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse seq_num write error(invalid error spi=%01,blockid=%02,type=%03)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の sequence number ライト時に spi 又は blockid で指定した SADB が invalid だった。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

%03:type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse seq_num write error(ioctl error spi=%01,blockid=%02,type=%03)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

espse の sequence number ライト時に ioctl がエラーになった。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

%03:type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Lib: Espse outbound update error(FD error)¥n

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB 更新時に FD が異常だった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound update error(db_p error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB 更新時のポインタ不正。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse outbound update error(ioctl error)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
espse の outbound SADB 更新時に ioctl がエラーになった。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Lib: Espse t2b sectldev_fd error
Lib: Espse t2b read pointer error

Lib: Espse t2b read db error
Lib: Espse setting sectldev_fd error
Lib: Espse setting pointer error
Lib: Espse setting data read error
Lib: Espse setting data write error

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SP 関連のツールが正しく利用できていません
【パラメータの意味】
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: Command length error(command-%01,len-%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
対象コマンドのレングス不正。
【パラメータの意味】
%01:command
%02:len
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: Unsupport command acceptance(command-%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
未サポートコマンド受領。
【パラメータの意味】

%01:command

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Inbound SADB write error(espse_inbound_write return=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

inbound SADB ライト時ライブラリ(espse_inbound_write)がエラーを返してきた。

【パラメータの意味】

%01:return

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Outbound SADB write error(espse_outbound_write return:%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

outbound SADB ライト時ライブラリ(espse_outbound_write)がエラーを返してきた。

【パラメータの意味】

%01:return

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Inbound SADB del error(espse_inbound_del return=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

inbound SADB 削除時ライブラリ(espse_inbound_del)がエラーを返してきた。

【パラメータの意味】
%01:return
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: Outbound SADB del error(espse_outbound_del return=%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
outbound SADB 削除時ライブラリ(espse_outbound_del)がエラーを返してきた。
【パラメータの意味】
%01:return
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: Inbound counter acquisition error(espse_inbound_cntr_r return=%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
inbound カウンタ取得時ライブラリ(espse_inbound_cntr_r)がエラーを返してきた。
【パラメータの意味】
%01:return
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: Outbound counter acquisition error(espse_outbound_cntr_r return=%01,type=%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

outbound カウンタ取得時ライブラリ(espse_outbound_cntr_r)がエラーを返してきた。

【パラメータの意味】

%01:return

%02:type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Inbound counter acquisition error(There is no ACK demand)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

inbound カウンタ取得時 ACK 無しで要求がきた。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Outbound counter acquisition error(There is no ACK demand type=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

outbound カウンタ取得時 ACK 無しで要求がきた。

【パラメータの意味】

%01:type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Global counter acquisition error(espse_global_cntr return=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

global counter 取得時ライブラリ(espse_global_cntr)がエラーを返してきた。

【パラメータの意味】

%01:return

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Global counter acquisition error(There is no ACK demand)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

global counter 取得時 ACK 無しで要求がきた。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Send error(ike_tipc_wait_for_server errno=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ike_tipc_wait_for_server 関数で send エラー。

【パラメータの意味】

%01:errno

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Recv error(ike_tipc_wait_for_server errno=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ike_tipc_wait_for_server 関数で recv エラー。
【パラメータの意味】
%01:errno
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: ACK Send msgall_len 64k over(cor=%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ACK データが tipc 規格 64K 以上になった。
【パラメータの意味】
%01:cor
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: Outbound counter error(Valid switch error num=%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
Outbound counter 取得時の valid switch の設定値が不正。
【パラメータの意味】
%01:num
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: SADB valid change error(spi=%01,blockid=%02,my_blockid=%03)
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

inbound sadb から要求があった valid 切替が失敗した。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

%03:my_blockid

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Inbound SADB in need of selector data(command-%01,selector-%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

inbound SADB ライト(selector 有)時 selector データが必要。

inbound SADB ライトコマンド時、sa_word の sel_chk1 が 1(selector enable)の場合に発生。

【パラメータの意味】

%01:command

%02:sa_word.sel_chk1

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: selector data error(command-%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

selector データソート処理でエラー。以下の条件で発生。

・src、dst 数不正。src,dst 数が 1 以上、4 以下でない場合。

・IPv4、IPv6 エントリが両方共無し。src, dst の IP 中、どちらかにのみ v4,v6 IP がある場合。

【パラメータの意味】

%01:command

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Inbound SADB write2 error(espse_inbound_write return=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

inbound SADB + selector ライト時ライブラリ(espse_inbound_write)がエラーを返してきた。

【パラメータの意味】

%01:return

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: DF check error1(SAWORD(HIGH)=%01,SAWORD(LOW)=%02,FRAG_OFF=%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DF のチェックを行ったが不当な組み合わせだったためエラーにした。

post-fragment で sa_word の DF が DF_FIX で outer iphdr の DF が DF

【パラメータの意味】

%01:SAWORD(HIGH)

%02:SAWORD(LOW)

%03:FRAG_OFF

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: DF check error2(SAWORD(HIGH)=%01,SAWORD(LOW)=%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DF のチェックを行ったが不当な組み合わせだったためエラーにした。

post-fragment で sa_word の DF が DF_COPY

【パラメータの意味】

%01:SAWORD(HIGH)

%02:SAWORD(LOW)

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: DF check error3(SAWORD(HIGH)=%01,SAWORD(LOW)=%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

DF のチェックを行ったが不当な組み合わせだったためエラーにした。

outer ipv6 で sa_word の DF が DF_COPY

【パラメータの意味】

%01:SAWORD(HIGH)

%02:SAWORD(LOW)

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: MTU size error(MTU=%01,command-%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

out bound sadb 登録、更新の際、MTU のサイズが範囲外の為、エラーにした。

【パラメータの意味】

%01:MTU

%02:command

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: SADB sequence number type error(sp_seq_num type=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SADB sequecne number type が異常値の為、エラーにした。

【パラメータの意味】

%01:type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Inbound SADB sequence number get error(espse_seq_num_get spi=%01,blockid=%02,return=%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

inbound SADB sequecne number リード時ライブラリ(espse_seq_num_get)がエラーを返してきた。

【パラメータの意味】

%01:spi

%02:blockid

%03:type

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Inbound SADB sequence number write error(espse_seq_num_wr spi=%01,blockid=%02,return=%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

inbound SADB sequecne number ライト時ライブラリ(espse_seq_num_wr)がエラーを返してきた。

【パラメータの意味】
%01:spi
%02:blockid
%03:return
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: Outbound SADB sequence number write error(espse_seq_num_wr spi=%01,blockid=%02,return=%03)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
outbound SADB sequence number ライト時ライブラリ(espse_seq_num_wr)がエラーを返してきた。
【パラメータの意味】
%01:spi
%02:blockid
%03:return
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: all SADB del error(espse_db_alldel return=%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
全ての SADB 削除時ライブラリ(espse_db_alldel)がエラーを返してきた。
【パラメータの意味】
%01:return
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SPD: all SADB del start

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
全ての SADB の削除を開始。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままお使いください。

【メッセージ】
SPD: all SADB del end
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
全ての SADB の削除が終了。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままお使いください。

【メッセージ】
SPD: Outbound SADB update error(espse_outbound_update return=%01)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
outbound SADB 更新時ライブラリ(espse_outbound_update)がエラーを返してきた。
【パラメータの意味】
%01:return
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Outbound SADB update DF error(SAWORD(HIGH)=%01,SAWORD(LOW)=%02,FRAG_OFF=%03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

outbound SADB 更新時 DF の組み合わせが不当の為、エラーにした。

post-fragment で sa_word の DF が DF_FIX で outer iphdr の DF が DF

post-fragment で sa_word の DF が DF_COPY

outer ipv6 で sa_word の DF が DF_COPY

【パラメータの意味】

%01:SAWORD(HIGH)

%02:SAWORD(LOW)

%03:FRAG_OFF

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

SPD: Outbound SADB write tunnel id error(vrf_id=%01)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

outbound SADB ライト時 tunnel id が異常値の為、エラーにした。

【パラメータの意味】

%01:return

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Transmission buffer full. It saves it in the queue.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

TIPC socket 送信バッファが利用不可状態のため、send メッセージをキューに退避。

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままお使いください。

【メッセージ】
The transmission of the queue ended.
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
TIPC socket 送信バッファが利用可能状態となり、キューイングされた send メッセージの送信が完了しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
そのままお使いください。

【メッセージ】
The maximum number of queues over (%01).
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
TIPC send キューエントリをオーバーしました。
【パラメータの意味】
%01:キューエントリ数
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Send queue malloc error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
TIPC send キューエントリのメモリ確保に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%d %s pktmbuf prepend error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SP で mbuf の prepend 処理にエラーした時
【パラメータの意味】
%01:行数
%02:関数名
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.72 showacl

【メッセージ】
Compression is failed %1 (%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
show で表示するデータの圧縮処理中にエラーした場合
【パラメータの意味】
%1=不正な状態を示している内部パラメータ
%2=メッセージを出力しているソースコードファイル中の位置の識別子
【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Decompression is failed %1 (%2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

show で表示するデータの伸長処理中にエラーした場合

【パラメータの意味】

%1=不正な状態を示している内部パラメータ

%2=メッセージを出力しているソースコードファイル中の位置の識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Assertion error (%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知した場合

【パラメータの意味】

%1=メッセージを出力しているソースコードファイル中の位置の識別子

【アクション】

弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

Assertion error %1 > %2 (%3)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知した場合

【パラメータの意味】

%1=必要なバッファサイズ

%2=残りのバッファサイズ
%3=メッセージを出力しているソースコードファイル中の位置の識別子

【アクション】
弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

1.73 snmp_ap

【メッセージ】
snmp_file_open error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ファイルのオープンに失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
snmp_ap:%1 open error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定ファイルのオープンに失敗した
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 open error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ファイルのオープンに失敗した

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

FORK ERROR

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

フォーク処理に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

execv failed(%1)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

処理の起動に失敗した

【パラメータの意味】

%1=エラー番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
rename failed(%1)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
リネーム処理に失敗した
【パラメータの意味】
%1=エラー番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
couldn't get EngineID
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
エンジン ID の取得に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
couldn't get OID
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

OIDの取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get {included|excluded}

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

アクセス情報の取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get SecurityLevel

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

セキュリティレベルの取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get Read View-name

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

読み取り可能ビューの取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get User-name

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ユーザー名の取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get Group-name

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

グループ名の取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
couldn't get Auth-protocol
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
認証方式の取得に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
couldn't get Auth-PWD
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
認証パスワードの取得に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
couldn't get Priv-protocol
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
暗号化方式の取得に失敗した
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get AES Bit

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

AES の Bit の取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

auth passphrase chosen is below the length requiremnts of the USM.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

必須文字数に満たない認証パスワードによる問い合わせがあった

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

必須文字数 8 文字以上の認証パスワードを指定してください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get Priv-PWD

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

暗号化パスワードの取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

priv passphrase chosen is below the length requiremnts of the USM.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

必須文字数に満たない暗号化パスワードによる問い合わせがあった

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

必須文字数 8 文字以上の暗号化パスワードを指定してください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get Access-List

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

アクセスリストの取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

undefined Auth Protocol %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

未定義の認証方式による問い合わせがあった

【パラメータの意味】

%1=認証方式名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

undefined Priv Protocol %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

未定義の暗号化方式による問い合わせがあった

【パラメータの意味】

%1=暗号化方式名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

couldn't get IP-Address or HostName

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

IP アドレスまたはホスト名の取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
'snmp-server host' configurations are not allowed - ignored: 'snmp-server %01 host %02 username %03'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
snmp-server host コマンドの設定不整合を検出した
【パラメータの意味】
%01=vrf <VRF 名>
vrf を指定している場合は表示されます
%02=IP アドレスまたはホスト名
%03=ユーザー名
【アクション】
snmp-server host コマンドに紐付く、snmp-server user コマンドを設定してください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Invalid vrf name - ignored: 'snmp-server vrf %01 source-interface %02/%03'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
指定したインタフェースと異なる VRF 名が設定されています
【パラメータの意味】
%01= VRF 名
%02=インタフェース名
%03=インタフェース番号
【アクション】
設定を見直してください。(snmp-server vrf source 設定)

【メッセージ】
'snmp-server community' configurations are not allowed - ignored: '%01'

【プライオリティ】
LOG_DAEMON
【ファシリティ】
LOG_ERR
【意味】
snmp-server community コマンドの設定不整合を検出した
【パラメータの意味】
%01=無効となった snmp-server community コマンド
【アクション】
設定を見直してください。(snmp-server community 設定)

【メッセージ】
'snmp-server group' configurations are not allowed - ignored: '%01'
【プライオリティ】
LOG_DAEMON
【ファシリティ】
LOG_ERR
【意味】
snmp-server group コマンドの設定不整合を検出した
【パラメータの意味】
%01=無効となった snmp-server group コマンド
【アクション】
設定を見直してください。(snmp-server group 設定)

【メッセージ】
'snmp-server user' configurations are not allowed - ignored: '%01'
【プライオリティ】
LOG_DAEMON
【ファシリティ】
LOG_ERR
【意味】
snmp-server user コマンドの設定不整合を検出した
【パラメータの意味】
%01=無効となった snmp-server user コマンド
【アクション】
設定を見直してください。(snmp-server user 設定)

1.74 snmpd

【メッセージ】
Server Exiting with code %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd が終了した
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Malloc failed - out of memory?
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリの取得に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
length error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

OID 長が不正

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

sysctl size fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

sysctl エラー

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

out of memory allocating route table

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリの取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

sysctl get fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

sysctl エラー

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

TCP_Count_Connections - inpcb

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部エラー inpcb の参照に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

bad msg type in vacm_in_view: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmp での要求タイプが異常

【パラメータの意味】

%1=タイプ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
TCP_Count_Connections - tcpcb
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー tcpcb の参照に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
smux_parse_peer_auth: malloc
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux 解釈時のメモリ取得に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
[init_smux] socket failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux 用 socket の作成に失敗
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[init_smux] setsockopt(SO_REUSEADDR) failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux 用 socket の作成に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

[init_smux] bind failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux 用 socket の作成に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[init_smux] setsockopt(SO_KEEPALIVE) failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux 用 socket の作成に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

[init_smux] listen failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux 用 socket の作成に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

[smux_accept] accept failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux 用 socket の作成に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

[smux_accept] denied peer on fd %d, limit %d reached

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux 用 socket の作成に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
smux_accept: setsockopt SO_RCVTIMEO
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux 用 socket の作成に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
[smux_process] malloc
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux 処理においてメモリ不足が発生
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

"[smux_snmp_close] send failed" - 通常は発生しない

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux の close 処理で失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

[smux_rreq_process] malloc

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux 処理においてメモリ不足が発生

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

[smux_snmp_process]: smux_build failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

smux データの作成に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
[smux_snmp_process] send failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux の送信に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
[smux_snmp_process] peek failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux の受信処理でエラーが発生
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
[smux_snmp_process] recv failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
smux の受信処理でエラーが発生
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
bad type returned (%1)¥n
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
smux の解釈において不正な type を受信した
【パラメータの意味】
%1=type 値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
nlist err: neither %1 nor _%2 found.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
nlist 作成において値が不正
【パラメータの意味】
%1=string, %2=string
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
auto_nlist failed on %1 at location %2

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
nlist 作成において値が不正
【パラメータの意味】
%1=値, %2=autonlist_value()の戻り値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
nlist
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
nlist 作成において値が不正
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Accessing non-nlisted variable: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
nlist 作成において値が不正
【パラメータの意味】
%1=値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
init_kmem: kvm_openfiles failed: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
kmem の open に失敗
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
init_kmem: kvm_open failed: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
kmem の open に失敗
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
kvm_read(*, %1, %2, %3) = %4: %5
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部エラー kmem の read に失敗
【パラメータの意味】
%1=内部情報, %2=内部情報, %3=内部情報, %4=内部情報, %5=エラー内容

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
klookup
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
kmem の参照に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
/dev/mem
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
kmem の参照に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
klookup(%1, %2, %3):
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
kmem の read に失敗
【パラメータの意味】
%1=内部情報, %2=内部情報, %3=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
klseek
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
kmem の参照に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
klread
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
kmem の参照に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
select

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
select 処理においてエラーが発生
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
select returned %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
select 処理においてエラーが発生
【パラメータの意味】
%1=select の戻り値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
fopen
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
PID ファイルの open に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt_init error: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の初期化に失敗
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt_start error: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt の初期化に失敗
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
uwdt_heartbeat error: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdt との通信に失敗

【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ds_handle_config *** unknown type %1
【プライオリティ】
LOG_CRIT(2)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ds_handle_config で type が不正
【パラメータの意味】
%1=type
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ds_handle_config *** no registration for %1
【プライオリティ】
LOG_CRIT(2)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ds_handle_config で type が不正
【パラメータの意味】
%1=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
"Unexpected index type: %1 %2 %3",
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
OIDの型が不正
【パラメータの意味】
%1=内部情報, %2=内部情報, %3=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 (EOF): At line %2 in %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部で生成したコンフィグ情報が不正
【パラメータの意味】
%1=内部情報, %2=内部情報, %3=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 (%2): At line %3 in %4
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部で生成したコンフィグ情報が不正
【パラメータの意味】
%1=内部情報, %2=内部情報, %3=内部情報, %4=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: At line %2 in %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部で生成したコンフィグ情報が不正
【パラメータの意味】
%1=内部情報, %2=内部情報, %3=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Can't find %1 in tbuckets
【プライオリティ】
LOG_EMERG(0)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
tbuckets の検索に失敗
【パラメータの意味】
%1=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Can't find %1 in %2's children
【プライオリティ】
LOG_EMERG(0)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
tbuckets のフリー処理で失敗
【パラメータの意味】
%1=内部情報, %2=内部エラー

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ucd-snmp: %1 error(s) in config file(s)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部で生成したコンフィグ情報が不正
【パラメータの意味】
%1=エラー数
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
"Failed to create the persistent directory for %1¥n",
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部で生成したコンフィグの再構築に失敗
【パラメータの意味】
%1=内部情報（ファイル名）
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: line %2: Error: %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部で生成したコンフィグ情報が不正

【パラメータの意味】

%1=内部情報,%2=内部情報,%3=内部情報,

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1:%2: _sess_open invalid session name %3- unix sockets not supported

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信の open に失敗

【パラメータの意味】

%1=内部情報, %2=内部情報, %3=内部情報,

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1:%2: _sess_open do not have get host by name - cannot resolve %3

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信の open に失敗

【パラメータの意味】

%1=内部情報, %2=内部情報, %3=内部情報,

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

SourceAddress bind error

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
TRAP の送信元 IP アドレスの設定に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
bad type returned (%1)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
PDU の構文解析に失敗
【パラメータの意味】
%1=デコードした type 値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Maximum saved packet size exceeded.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
PDU の構文解析において最大パケットサイズを越えている
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Maximum packet size exceeded in a request.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
PDU の構文解析において最大パケットサイズを越えている
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
something seriously wrong, packet size calculations are negative.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
PDU の構文解析において長さが不正
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
sysctl len err<ipv6_media>: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6NetToMediaTable 取得処理内 sysctl エラー発生時

【パラメータの意味】

routing message データサイズ取得失敗

%1=エラーメッセージ strerror(errno))

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

sysctl malloc err<ipv6_media>: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmpd の ipv6NetToMediaTable 取得処理内 malloc エラー発生時

【パラメータの意味】

routing message データ取得サイズ分の malloc に失敗

%1=エラーメッセージ strerror(errno))

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

sysctl buf err: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmpd の ipv6NetToMediaTable 取得処理内 sysctl データ取得エラー発生時

【パラメータの意味】

routing message データの取得失敗

%1=エラーメッセージ strerror(errno))

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

socket open err: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmpd の ipv6NetToMediaTable 取得処理内 socket open エラー発生時

【パラメータの意味】

neighbor 情報取得時の ioctl 用 socket の open に失敗

%1=エラーメッセージ strerror(errno))

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

ioctl nbi err: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmpd の ipv6NetToMediaTable 取得処理内 ioctl データ取得エラー発生時

【パラメータの意味】

neighbor 情報取得時の ioctl に失敗

%1=エラーメッセージ strerror(errno))

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

sysctl size fail<ipv6_addr>: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の sysctl エラー時

【パラメータの意味】

アドレス付きインターフェースのデータ量コピー失敗
%1=エラーメッセージ(strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
out of memory allocating interface information<ipv6_addr>: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の malloc エラー時
【パラメータの意味】
アドレス付きインターフェースのデータ分の malloc に失敗
%1=エラーメッセージ(strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
sysctl get fail<ipv6_addr>: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の sysctl エラー時
【パラメータの意味】
アドレス付きインターフェースのデータコピー失敗
%1=エラーメッセージ(strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
socket open error: %1

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の IPV6ADDRANYCASTFLAG の取得処理内のソケット作成時
【パラメータの意味】
ioctl 用ソケットの作成に失敗
%1=エラーメッセージ(strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ioctl err SIOCGIFAFLAG_IN6: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の IPV6ADDRANYCASTFLAG の取得処理における ioctl エラー時
【パラメータの意味】
指定した IPv6 アドレスの ifru_flags6 の取得失敗
%1=エラーメッセージ(strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
if_getifnet err IPV6ADDRSTATUS
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の IPV6ADDRSTATUS の取得処理における ifnet 取得エラー時
【パラメータの意味】
ネットワークインターフェースの状態取得失敗

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ifam_addr: not RTM_NEWADDR
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の IPv6 アドレス取得エラー時
【パラメータの意味】
IPv6 アドレスの取得失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ifam_addr: rt_xaddrs err
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の IPv6 アドレス取得エラー時
【パラメータの意味】
IPv6 アドレスの取得失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
RTAX_IFA: N/A
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の IPv6 アドレス取得エラー時
【パラメータの意味】
IPv6 アドレスの取得失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ifam_netmask: not RTM_NEWADDR
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の IPv6 ネットマスク取得エラー時
【パラメータの意味】
IPv6 ネットマスクの取得失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ifam_netmask:rt_xaddrs err
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の IPv6 ネットマスク取得エラー時
【パラメータの意味】
IPv6 ネットマスクの取得失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
RTAX_IFA: N/A

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の IPv6 ネットマスク取得エラー時
【パラメータの意味】
IPv6 ネットマスクの取得失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
sa_family: N/A
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の IPv6 ネットマスク取得エラー時
【パラメータの意味】
IPv6 ネットマスクの取得失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
RTAX_NETMASK: N/A
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理内の IPv6 ネットマスク取得エラー時
【パラメータの意味】
IPv6 ネットマスクの取得失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
kvm_openfiles error:%1 :%2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理による ifIndex 処理時(next_if_index)
【パラメータの意味】
カーネル仮想メモリアクセスの初期化失敗
%1=エラーメッセージ
%2=エラーメッセージ(strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
no namelist
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理による ifIndex 処理時(next_if_index)
【パラメータの意味】
カーネルデータベースのアクセスに失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
kvm_read1: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理による ifIndex 処理時(next_if_index)
【パラメータの意味】
カーネル仮想メモリ内の if_indexlim へのポインタ取得に失敗
%1=エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
malloc to store ifindex2ifnet[]:%1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd による ipv6AddrTable 内の next_if_index 処理内の malloc 時
【パラメータの意味】
カーネル仮想メモリより取得した if_indexlim 分の malloc に失敗
%1=エラーメッセージ(strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
kvm_read3:%1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理による ifIndex 処理時(next_if_index)
【パラメータの意味】
カーネル仮想メモリ内の ifindex2ifnet へのポインタ取得に失敗
%1=エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
kvm_read4:%1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理による ifIndex 処理時(next_if_index)
【パラメータの意味】
カーネル仮想メモリ内の ifindex2ifnet 値の取得に失敗
%1=エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
kvm_close:%1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd の ipv6AddrTable 取得処理による ifIndex 処理時(next_if_index)
【パラメータの意味】
カーネルデータベースの close に失敗
%1=エラーメッセージ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
[get_fe1macaddress(): covert fail("%1")]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

snmpd による ipv6AddrType 値の取得時

【パラメータの意味】

fastethernet1 MAC アドレス値の変換に失敗

%1=変換に失敗した文字列

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

ipv6addr table reload fail

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_WARNING

【意味】

キャッシュした ipv6 アドレステーブルのロード時

【パラメータの意味】

Ipv6 アドレステーブルのロードに失敗

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

out of memory allocating ipv6AddrTable

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ipv6 AddrTable の領域確保時

【パラメータの意味】

ipv6 AddrTable の領域確保に失敗

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

get fail ipv6Addr with ifindex:%1<%2>

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipv6 アドレスの取得時
【パラメータの意味】
ipv6 アドレスの取得に失敗
%1=取得に失敗した ifIndex
%2=取得に失敗した ifDescr
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
out of memory allocating sockaddr_in6 with ifIndex:%1<%2>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipv6 アドレス格納用の malloc 処理
【パラメータの意味】
ipv6 アドレスの malloc に失敗
%1=失敗したときの ifIndex
%2=失敗したときの ifDescr
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Error in add_ipv6addr_entry with ifIndex:%1<%2>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
取得した ipv6 アドレスの Table 格納時

【パラメータの意味】

取得した ipv6 アドレスの Table 格納に失敗

%1=失敗したときの ifIndex

%2=失敗したときの ifDescr

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

out of memory allocating ipAddrTable

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ipv4 AddrTable の領域確保時

【パラメータの意味】

ipv4 AddrTable の領域確保に失敗

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

out of memory allocating ifnet with ifIndex:%1<%2>

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ipv4 アドレス格納用の malloc 処理

【パラメータの意味】

ipv4 アドレスの malloc に失敗

%1=失敗したときの ifIndex

%2=失敗したときの ifDescr

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
out of memory allocating in_ifaddr with ifIndex:%1<%2>
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ipv4 アドレス格納用の malloc 処理
【パラメータの意味】
ipv4 アドレスの malloc に失敗
%1=失敗したときの ifIndex
%2=失敗したときの ifDescr
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ipaddr table reload fail
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
キャッシュした ipv4 アドレステーブルのロード時
【パラメータの意味】
ipAddrTable のロードに失敗
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 get stat error :%2
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アドレス情報ファイルのステータス取得処理(stat)

【パラメータの意味】

アドレス情報ファイルのステータス取得に失敗

%1=アドレス情報ファイル名

%2=エラーメッセージ(strerror(errno))

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

'snmp-server host' exceeds max configurations (%1) - ignored: 'snmp-server host %2'

【プライオリティ】

LOG_USER

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

snmp-server host のエントリ数が最大数を超えています

【パラメータの意味】

%1:最大エントリ数, %2:無効となった ntp server 名

【アクション】

設定を見直してください。(snmp-server 設定)

【メッセージ】

Failure in if_id_data_lookup: (%1)

【プライオリティ】

LOG_USER

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

送信元インタフェース情報の検索処理に失敗しました

【パラメータの意味】

%1:インタフェース名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

"Bad source interface specified(%1)

【プライオリティ】

LOG_USER

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

送信元インタフェースに不正なインタフェースを設定しました

【パラメータの意味】

%1:インタフェース名

【アクション】

設定を見直してください。(snmp-server source-interface 設定)

【メッセージ】

Response Message(reqid %1, errstat %2, erridx %3) is too big(%4 octets)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

応答メッセージのサイズが大きすぎて送信できなかった。

【パラメータの意味】

%1=応答メッセージの request-id

%2=応答メッセージの error-status

%3=応答メッセージの error-index

%4=応答メッセージの長さ

【アクション】

設定を見直してください。(SNMP マネージャ側)

応答メッセージの長さが 4KB 以内になるように要求時のパラメータをセットして下さい。

【メッセージ】

snmp_copy_varbind error: %1(%2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

VarBind のコピー処理に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=SNMP エラーメッセージ

%2=システムエラーメッセージ (strerror(errno))

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
init_master_agent: %1(%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SNMP エージェントの初期化処理に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=SNMP エラーメッセージ
%2=システムエラーメッセージ (strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
snmpd: create_trap_session: %1(%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
Trap 送信用セッションの生成に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=SNMP エラーメッセージ
%2=システムエラーメッセージ (strerror(errno))
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Denied in ACL (%1)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
該当アクセスリストの設定に従って要求を拒否した
【パラメータの意味】
%1=要求元のアドレス
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Not in ACL (%1)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
該当アクセスリストに設定されていない要求を受信した
【パラメータの意味】
%1=要求元のアドレス
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Failure in ACL check (%1)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
該当アクセスリストの確認に失敗した
【パラメータの意味】
%1=要求元のアドレス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Missing view (%1)

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクセス権のないオペレーションの要求を受けた
【パラメータの意味】
%1=要求元のアドレス
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Bad community specified (%1)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定されているコミュニティ名と異なった値で問い合わせを受けた
【パラメータの意味】
%1=要求元のアドレス
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Generic error (%1)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定不足等により、正しく値を返せない状態で問い合わせを受けた
【パラメータの意味】
%1=要求元のアドレス
【アクション】
設定を確認してください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

getifaddrs errno=%1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

getifaddrs 関数の実行に失敗した

【パラメータの意味】

%1=エラー番号

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Warning: passphrase chosen is below the length requiremnts of the USM.

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

必須文字数に満たない文字数のパスワードで問い合わせを受けた

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Unknown EngineID type requested for setup (%1). Using IPv4

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

未定義のエンジン ID タイプが指定された

【パラメータの意味】

%1=エンジン ID タイプ

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
SNMPD-ACCESSLOGP: list %1 denied %2 from %3
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクセスリストチェックエラーにより接続が拒否された。
【パラメータの意味】
%1=アクセスリスト番号
%2=プロトコル番号
%3=問い合わせ送信元アドレス
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
connection refuse because accesslist check error
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクセスリストチェックエラーにより接続が拒否された。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setup_engineID malloc
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
エンジン ID 設定時のメモリ取得に失敗した

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
snmpd: failed to parse this line or the remote trap receiver is down. Plausible cause:
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
snmpd がコマンド文字列の解析に失敗した、もしくはトラップ送出先のトラップレシーバープロセスが落ちている
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
invalid name specifier
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
無効な名称が指定された。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
invalid engineID specifier
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
無効なエンジン ID が指定された。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
not a valid user/engineID pair
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
無効なユーザー名とエンジン ID の組み合わせが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setting key failed (in sc_genKu())
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
キーの設定に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
invalid user key
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
無効なユーザーキーが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
invalid localized user key
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
無効なローカルユーザーキーが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Unknown authentication type
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
未定義の認証方式が指定された
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Unknown privacy type
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
未定義の暗号化方式でが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Unknown security level: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
未定義のセキュリティレベルが指定された
【パラメータの意味】
%1=セキュリティレベル
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
invalid EngineID argument to -e
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
　無効なエンジン ID が-e オプションで指定された
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　Unknown authentication protocol
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　未定義の認証方式での問い合わせがあった
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　no authentication pass phrase
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　設定ファイルの読み込みで、認証パスワードのパラメータ解析に失敗した
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　Error generating auth key from pass phrase.
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

パスワードからの認証キー生成でエラーが発生した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Error generating localized auth key (Kul) from Ku.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

Ku からのローカル認証キー生成でエラーが発生した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Unknown privacy protocol

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

設定ファイルの読み込みで、未定義の暗号化方式が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Error generating priv key from pass phrase.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
パスワードからの暗号化キー生成でエラーが発生した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Error getting proper key length for priv algorithm.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
暗号化アルゴリズムによる適正なキー長の取得でエラーが発生した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Error generating localized priv key (Kul) from Ku.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
Ku からのローカル暗号化キー生成でエラーが発生した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Unsupported enginedIDType, forcing IPv4

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

設定ファイルの読み込みで、未定義のエンジン ID タイプが指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Unknown version specification

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

未定義のバージョン指定があった

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing NAME parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

セキュリティ名の取得に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
missing SOURCE parameter
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SOURCE パラメータの取得に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Example config NETWORK not properly configured
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
NETWORK の設定が適正ではない
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
missing COMMUNITY parameter
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
パラメータに指定された COMMUNITY 名にアクセスできない
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Example config COMMUNITY not properly configured
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
COMMUNITY 設定が適正ではない
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bad source address
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正な送信元アドレスが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bad mask
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なマスクが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bad mask length
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なサイズのマスクが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
source/mask mismatch
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
送信元とマスクの組み合わせが適切でない
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
security name too long
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
セキュリティ名の文字数が最大値を超えている
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
community name too long
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コミュニティ名の文字数が最大値を超えている
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
memory error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリ操作でエラーが発生した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
missing GROUP parameter
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクセスできないグループ名が指定された
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing MODEL parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アクセスできないモデル名が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing SECURITY parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アクセスできないセキュリティ名が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

bad security model "any" should be: v1, v2c or usm - installing anyway

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正なセキュリティモデル"any"が指定された

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bad security model, should be: v1, v2c or usm
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
セキュリティモデルが不正
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
security name too long
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
セキュリティ名の文字数が最大値を超えている
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
failed to create group entry
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

グループエントリーの生成に失敗した

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing NAME parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アクセスできない名称が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing CONTEXT parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アクセスできないコンテキスト名が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing MODEL parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
　アクセスできないモデル名が指定された
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　missing LEVEL parameter
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　アクセスできないレベルが指定された
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　missing PREFIX parameter
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　アクセスできないプレフィックスが指定された
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
　missing readView parameter
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アクセスできない readView が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing writeView parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アクセスできない writeView が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing notifyView parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アクセスできない notifyView が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

bad security model (any, v1, v2c, usm)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なセキュリティモデルが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bad security level (noauthnopriv, authnopriv, authpriv)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なセキュリティレベルが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bad prefix match parameter "0", should be: exact or prefix - installing anyway
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なプレフィックスが指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
bad prefix match parameter, should be: exact or prefix
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正なプレフィックスが指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

readView too long

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

読み取りビューの文字数が最大値を超えている

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

writeView too long

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

書き込みビューの文字数が最大値を超えている

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

notifyView too long

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
通知ビューの文字数が最大値を超えている
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
failed to create access entry
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクセスエントリーの生成に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
missing TYPE parameter
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクセスできない TYPE が指定された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

missing SUBTREE parameter

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

アクセスできない SUBTREE が指定された

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TYPE must be included/excluded?

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

TYPE は"included"か"excluded"でなければならない

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

bad SUBTREE object id

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

サブツリーのオブジェクト ID が不正

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
MASK too long
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
MASK 長が最大値を超えている
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
invalid MASK
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
MASK が不正
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
failed to create view entry
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ビューエントリーの生成に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
snmp_save_varbase failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
設定ファイルの保存に失敗しました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
<%s> setrlimit error %s.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
プロセスのリソースリミットの制御に失敗しました
【パラメータの意味】
%s 使用関数名、%s エラー内容
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください

【メッセージ】
Interface is duplicated
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インターフェース情報を登録しようとしたが、
インターフェース情報が既に登録されていた
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Interface is not registered
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インターフェース情報を削除しようとしたが、
インターフェース情報がなかった
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Interface is not match
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
インターフェース情報を削除しようとしたが、
一致するインターフェース情報がなかった
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

1.75 sntpcd

【メッセージ】
　the time was updated
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　時刻のアップデートを行いました
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　そのままご使用ください。

【メッセージ】
　failure in name resolution
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　名前解決に失敗しました
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　DNS、及び設定をご確認ください

【メッセージ】
　linklocal-interface is not configured
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　linklocal address の送信 interface が設定されていません
【パラメータの意味】
　なし

【アクション】
設定を見直して下さい

1.76 ssh

【メッセージ】
No such user %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認識できないユーザ ID が指定された。
【パラメータの意味】
%1=ユーザ ID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
No such uid %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認識できないユーザ ID が指定された。
【パラメータの意味】
%1=ユーザ ID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
pipe: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
pipe の生成に失敗した
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
channel_new: internal error: channels_alloc %1 too big.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション確立後、通信時のメモリ確保に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エリアサイズ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
channel_still_open: bad channel type %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション確立後、通信時のチャネル種別エラー
【パラメータの意味】
%1=チャネル種別
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: unsupported option %3.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh クライアント設定ファイル読込み時、不正なオプションが指定された。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

%2=ライン番号

%3=不正なオプション

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%1 line %2: Missing argument.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh 設定ファイル読込み時、不正な argument が指定された。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

%2=ライン番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: Too many identity files specified (max %3).

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh クライアント設定ファイル読込み時、最大値を超えた指定をされた。

【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=最大値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: Bad number.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh クライアント設定ファイル読込み時、不正な番号が指定された。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: Bad SSH2 cipher spec '%3'.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh 設定ファイル読込み時、不正な暗号化アルゴリズムが指定された。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=暗号化アルゴリズム
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: Bad SSH2 Mac spec '%3'.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh クライアント設定ファイル読込み時、不正な MAC アルゴリズムが指定された。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

%2=ライン番号

%3=MAC アルゴリズム

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: Bad key types '%3'.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh クライアント設定ファイル読込み時、不正なホストキーアルゴリズムが指定された。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

%2=ライン番号

%3=ホストキーアルゴリズム

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: unsupported log level '%3'

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh 設定ファイル読込み時、サポートしていないログレベルが指定された。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

%2=ライン番号

%3=ログレベル

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: Missing target argument.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh クライアント設定ファイル読込み時、ターゲットが間違えて指定されている

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

%2=ライン番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: Bad forwarding specification.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh クライアント設定ファイル読込み時、フォワーディング設定が間違えて指定されている

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

%2=ライン番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: Unimplemented opcode %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh クライアント設定ファイル読込み時、インプリメントされていないオプションコードが指定された
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=オプションコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: keyword %3 extra arguments at end of line
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh 設定ファイル読込み時、ラインの終わりに不正な指定がある
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=指定内容
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: terminating, %2 bad configuration options

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh 設定ファイル読込み時、不正なオプションコードが指定された
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=オプションコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Cannot fork into background without a command to execute.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh クライアント起動時、実行不可能なコマンドが指定された。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Can't open user config file %1: %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh クライアント起動時、config file のオープンに失敗した。
【パラメータの意味】
%1=config ファイル名
%2=エラーコード

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
daemon() failed: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
バックグラウンドでの起動に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
dup() in/out/err failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh クライアント起動時、セッションのオープンに失敗した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Could not create pipes to communicate with the proxy: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
ssh セッション確立時、通信用のパイプの生成に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
fork failed: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh セッション確立時、プロセスの生成に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Connection closed by remote host
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh セッション確立時、リモートホストによってクローズされた。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Bad remote protocol version identification: '%1'

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh セッション確立時、リモートホストのプロトコルバージョン不正。
【パラメータの意味】
%1=入力情報
【アクション】
設定を見直してください。(リモートホスト側の使用プロトコル)

【メッセージ】
Protocol major versions differ: %1 vs. %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh セッション確立時、プロトコルバージョンが異なる。
【パラメータの意味】
%1=プロトコルバージョン
%2=プロトコルバージョン
【アクション】
設定を見直してください。(リモートホスト側の SSH プロトコルバージョン)

【メッセージ】
write: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh セッション確立時、書き込みに失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

get_hostfile_hostname_ipaddr: getnameinfo failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh セッション確立時、アドレスから名前への変換に失敗した。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Host key verification failed.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、ホスト鍵の照合に失敗した。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Permission denied.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、許可が否定された。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

ssh_userauth2: internal error: cannot send userauth none request

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時に内部エラーが発生し送信ができない。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1@%2: Permission denied (%3).

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証に失敗した

【パラメータの意味】

%1=ユーザ

%2=ホスト

%3=認証情報リスト

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

input_userauth_error: bad message during authentication: type %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証中に不正なメッセージを受信した。

【パラメータの意味】

%1=認証種別

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

input_userauth_success: no authentication context

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、認証情報中にコンテキストが存在しない。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

input_userauth_failure: no authentication context

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、認証情報のコンテキストが存在しない。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

input_userauth_pk_ok: no authentication context

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、認証情報のコンテキストが存在しない。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

input_userauth_passwd_changereq: no authentication context

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、認証情報のコンテキストが存在しない。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

input_userauth_info_req: no authentication context

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、認証情報のコンテキストが存在しない。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

ssh_keysign: dup2: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、ファイル・ディスクリプタの複製に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

ssh_keysign: exec(%1): %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時、ファイルの実行に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=ファイル実行種別

%2=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

User name after tilde too long.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ユーザ名称の指定が長すぎる。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
設定を見直してください。(SSH 接続時のユーザ ID)

【メッセージ】
%1: zero size
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリ確保時、サイズに0が設定された。
【パラメータの意味】
%1=メモリ確保関数名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: out of memory (allocating %2 bytes)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリ確保に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=メモリ確保関数名
%2=メモリサイズ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: out of memory (%2 elements of %2 bytes)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリ確保に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=メモリ確保関数名

%2=要素数

%3=メモリサイズ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Write failed flushing stderr buffer.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

通信時、書き込み時 stderr バッファーに失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Warning: ssh server tried agent forwarding.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH セッション通信時、SSH サーバはフォワーディングした。

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Warning: this is probably a break in attempt by a malicious server.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション通信時、サーバ動作異常が発生した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
client_input_channel_req: channel %1: unknown channel
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション通信時、チャンネル ID が認識できない。
【パラメータの意味】
%1=チャンネル ID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: line %2: Bad configuration option: %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
コンフィグレーションファイル読込み時、オプション名が不正。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=オプション名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Could not create directory '%1'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ディレクトリの作成に失敗した
【パラメータの意味】
%1=ディレクトリ情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Could not request local forwarding.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、フォワーディング要求に失敗した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
socket: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ソケットの生成に失敗した
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ssh_connect_direct: getnameinfo failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、アドレスからの名前変換に失敗した
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setsockopt SO_KEEPALIVE: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ソケットのオプションの設定に失敗した

【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
No %1 host key is known for %2 and you have requested strict checking.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ホスト鍵チェックに失敗した
【パラメータの意味】
%1=鍵種別
%2=ホスト鍵情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Offending key for IP in %1:%2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、IP アドレスが不正。
【パラメータの意味】
%1=IP アドレス情報（file）
%2=IP アドレス情報（line）
【アクション】
正規のホストへ接続しているかどうかを確認してください。
問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
@@

@ WARNING: REMOTE HOST IDENTIFICATION HAS CHANGED! @
@@
IT IS POSSIBLE THAT SOMEONE IS DOING SOMETHING NASTY!
Someone could be eavesdropping on you right now (man-in-the-middle attack)!
It is also possible that the %1 host key has just been changed.
The fingerprint for the %2 key sent by the remote host is %3.
Please contact your system administrator.
Add correct host key by using the clear known-hosts-pubkey command to get rid of this message.
Using the show ip known-hosts-pubkey command can check the offending key in ssh host key database.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、不正にホストキーが変更となりました。
【パラメータの意味】
%1=鍵種別
%2=鍵種別
%3=ファイルポインター
【アクション】
正規のホストへ接続しているかどうかを確認してください。
問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
Host key for %1 has changed and you have
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ホスト鍵が変更となりました、
再度チェックが必要。
【パラメータの意味】
%1=ホスト鍵情報
【アクション】
装置を含むネットワーク環境を確認してください。
特に正規のホストへ接続しているかどうかを確認してください。

問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Password authentication is disabled to avoid man-in-the-middle attacks.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

man-in-the-middle 攻撃の回避の為、パスワード認証を無効にした。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置を含むネットワーク環境を確認してください。

特に正規のホストへ接続しているかどうかを確認してください。

問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Agent forwarding is disabled to avoid man-in-the-middle attacks.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

man-in-the-middle 攻撃の回避の為、フォワーディングを無効にした。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置を含むネットワーク環境を確認してください。

正規のホストへ接続しているかどうかを確認してください。

【メッセージ】

Port forwarding is disabled to avoid man-in-the-middle attacks.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

man-in-the-middle 攻撃の回避の為、ポート・フォワーディングを
無効にした。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置を含むネットワーク環境を確認してください。
問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Exiting, you have requested strict checking.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH セッション接続時、接続を拒否しチェックを要求する。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置を含むネットワーク環境を確認してください。
問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Permission denied, please try again.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH セッション接続時、許可が拒否された、再度入力。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】

input_userauth_pk_ok: type mismatch for decoded key (received %1, expected %2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH セッション接続時、鍵の照合に失敗した（種別不一致）。

【パラメータの意味】

%1=鍵種別（受信）

%2=鍵種別

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

ssh_keysign: not installed: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH セッション接続時、ファイル状態の取得に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

ssh_keysign: fflush: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH セッション接続時、ファイル出力（fflush）に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ssh_keysign: pipe: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、パイプの生成に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ssh_keysign: fork: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、プロセスの生成に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ssh_keysign: no reply
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、鍵照合時の応答がありません。

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ssh_keysign: bad version
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、プロトコルバージョンが不正。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
userauth_hostbased: cannot get local ipaddr/name
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ローカル IP アドレスと名称が取得できない。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
sign using hostkey %1 %2 failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、鍵の照合に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=鍵情報
%2=fingerprint 情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
WARNING: Server requests forwarding for unknown listen_port %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション確立後、ポート番号不正。
【パラメータの意味】
%1=tty 名
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
failed to release authenticator
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証時、認証に失敗した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
received TACACS Author response status=%1
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
TACACS サーバに対する認証結果
【パラメータの意味】
%1=認証結果
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Login failed; too many active sessions (%1 maximum)
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
1 ユーザ当たりの最大セッション数を超えた場合
【パラメータの意味】
%1=1 ユーザ当たりの最大セッション数
【アクション】
設定を見直してください。(user session-limit 設定 or TACACS+サーバ側の設定)

【メッセージ】
getnameinfo error so connection refuse.
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh セッション確立時、アドレスから名前への変換に失敗した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

そのままご使用ください。

【メッセージ】
SSHD-ACCESSLOGP: list %1 denied %2 from %3
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh セッション確立時、アクセスリストの指定伴い接続を拒否した。
【パラメータの意味】
%1:アクセスリスト番号
%2:プロトコル番号
%3:送信元
vrf を使用している場合は remote address!VRF 番号と表示されます。
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
connection refuse because accesslist check error.
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アクセスリストチェックエラーにより接続が拒否された。
ssh セッション確立時、アクセスリストの指定伴い接続を拒否した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
アクセスリストの設定を見直し、問題が無ければそのままご使用ください。

【メッセージ】
INTERNAL ERROR: authenticated invalid user %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
　認証処理が失敗した。
【パラメータの意味】
　%1=ユーザ ID
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　input_userauth_info_response: no authctxt
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　認証時、入力された応答の情報に認証情報に存在しない。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　input_userauth_info_response: no kbdintctxt
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　認証時、入力された応答の情報が認証情報に存在しない。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　input_userauth_info_response: no device

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証時、入力された応答の情報が装置に存在しない。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
input_userauth_info_response: wrong number of replies
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証時、入力された応答情報の ID が不正。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
input_userauth_info_response: too many replies
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証時、入力された応答情報が多い。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
input_service_request: no authctxt
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証時、入力された応答の認証情報が存在しない。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
input_userauth_request: no authctxt
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証時、入力された応答の認証情報が存在しない。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
channel_find_open: bad channel type %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
通信時のチャネル種別不正。

【パラメータの意味】
%1=チャネル種別
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
channel_activate for non-larval channel %1.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
通信時のチャネル取得エラー
【パラメータの意味】
%1=チャネル ID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
bad addr or host: %1 (%2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、不正なホストアドレスが
指定された。
【パラメータの意味】
%1=アドレス
%2=アドレス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: too many ports.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、ポートの指定が複数指定
されている。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: missing port number.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、ポートが誤って
指定されている。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: missing time value.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、不正な値が指定されている。

【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: missing address
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、不正なアドレスが指定されている。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: bad inet address:port usage.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、不正なポートアドレスが指定
されている。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: bad port number.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、不正なポート番号が指定
されている。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: missing file name.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、ファイル名称が不正に指定
されている。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: unsupported log facility '%3'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】

sshd サーバ設定ファイル読込み時、サポートしていない
log facility が指定された。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=指定内容

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: Bad SSH2 mac spec '%3'.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

sshd サーバ設定ファイル読込み時、不正な MAC アルゴリズムが指定された。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=指定内容

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 line %2: too many subsystems defined.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

sshd サーバ設定ファイル読込み時、複数のサブシステムが指定された。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名
%2=ライン番号

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: %3 missing argument.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、誤った設定が指定された。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: Subsystem '%3' already defined.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、既に定義されたサブシステムが
指定された。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=指定内容
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: Missing subsystem command.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、誤ったサブシステムコマンドが
指定された。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: Invalid %3 spec.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、不正な設定が指定された。
【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=指定内容
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1 line %2: Missing handler for opcode %3 (%4)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
sshd サーバ設定ファイル読込み時、不正なオプションコードが指定された。

【パラメータの意味】
%1=ファイル名
%2=ライン番号
%3=指定内容
%4=オプションコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
server_input_global_request: no/invalid user
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なユーザがらのリクエストを受信した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
do_exec_no_pty: no session
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なユーザがらのリクエストを受信した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

do_exec_pty: no session

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正なユーザがらのリクエストを受信した。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Too many lines in environment file %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh セッション確立時、環境変数ファイルに複数のラインが存在する。

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Failed to set uids to %1.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ssh セッション確立時、UID の設定に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=UID

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
no user for session %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ユーザセッションが存在しない。
【パラメータの意味】
%1=セッション情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
no channel for session %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ssh セッション確立時、セッションのためのチャンネルがない。
【パラメータの意味】
%1=セッション情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
session_exit_message: session %1: no channel %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

ssh セッション確立時、セッションのためのチャンネルがない。

【パラメータの意味】

%1=セッション情報

%2=チャンネル情報

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

gethostname: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ホスト名の取得に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Privilege separation user %1 does not exist

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH セッション接続時、特権分離ユーザが存在しない。

【パラメータの意味】

%1=ユーザ情報

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

chroot("%1"): %2

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ルートディレクトリを指定したコマンドの
実行に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=ディレクトリ情報
%2=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setgroups: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
グループ ID リストの設定に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
fork of unprivileged child failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
プロセスの生成に失敗した。
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Missing privilege separation directory: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、不正なディレクトリが指定された。
【パラメータの意味】
%1=ディレクトリ情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Too many listen sockets. Enlarge MAX_LISTEN_SOCKS
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ソケット情報が不正。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
listen: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
SSH セッション接続時、listen に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Cannot bind any address.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
bind に失敗した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
stat(%1) failed: %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ファイルの状態の取得に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=ttyname
%2=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

chown(%1, %2, %3) failed: %4

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ファイルの状態の設定に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=ttyname

%2=UID

%3=GID

%4=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

chmod(%1, %2) failed: %3

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ファイルのアクセス権を変更に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=ttyname

%2=モード

%3=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

getgroups: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
SSH セッション接続時、グループ ID のリストの取得に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
initgroups: %1: %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、グループアクセスリストの初期化に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=内部情報
%2=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setegid %1: %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ユーザー ID と グループ ID の設定
に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=GID
%2=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
seteuid %1: %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、ユーザー ID と グループ ID の設定
に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=UID
%2=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
restore_uid: temporarily_use_uid not effective
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション接続時、不正な UID を使用した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
permanently_set_uid: temporarily_use_uid effective
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

SSH セッション接続時、不正な UID を使用した。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

xmalloc: zero size

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリ確保時、サイズに0が設定された。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

xcalloc: zero size

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メモリ確保時、サイズに0が設定された。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: unexpected authentication from %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正な認証タイプを受信した。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=認証タイプ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: authenticated invalid user

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証処理に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: unpermitted request %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証処理に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=認証タイプ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: unsupported request: %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
サポートしていない認証方式が要求された。
【パラメータの意味】
%1=内部情報
%2=認証タイプ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: bad parameters: %2 %3 %4
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なパラメータが指定された。
【パラメータの意味】
%1=内部情報
%2=最小値
%3=値
%4=最大値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: bad data length: %2
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正なデータレングスが指定された。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=データレングス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: no hostkey for index %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正なホスト鍵が指定された。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=データレングス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: no hostkey from index %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正なホスト鍵が指定された。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=データレングス

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: sshkey_sign failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
鍵の照合に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: multiple attempts for getpwnam
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
パスワードファイルのエントリが複数存在する。
【パラメータの意味】
%1=内部情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: no bsd auth session
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
　認証用セッションが存在しない。
【パラメータの意味】
　%1=内部情報
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　%1: unknown key type %2
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　認識できない鍵のタイプが指定された。
【パラメータの意味】
　%1=内部情報
　%2=鍵タイプ
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　%1: bad key, not previously allowed
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_DAEMON(3)
【意味】
　不正な鍵のタイプが指定された。
【パラメータの意味】
　%1=内部情報
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: parse key

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正な公開鍵が指定された。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: bad %2 signature data blob

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

不正な公開鍵が指定された。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2="userkey","hostkey","unknown"のいずれか

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: dup2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ファイル・ディスクリプタの複製に失敗した

【パラメータの意味】

%1=内部情報

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: open(/dev/null): %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファイルのオープンに失敗した。
【パラメータの意味】
%1=内部情報
%2=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: sendmsg(%2): %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メッセージ送信に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=内部情報
%2=ファイルディスクリプタ
%3=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: sendmsg: expected sent 1 got %2
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メッセージ送信に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=送信 ID

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: recvmsg: %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メッセージ受信に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: recvmsg: expected received 1 got %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

メッセージ受信に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=受信 ID

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: expected %2 got %3
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メッセージ受信に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=内部情報
%2=メッセージタイプ
%3=メッセージタイプ
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
bsdauth_respond: no bsd auth session
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証用セッションが無い。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
userauth_hostbased: cannot decode key: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ユーザ認証時の鍵情報不正
【パラメータの意味】
%1=鍵情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
userauth_hostbased: type mismatch for decoded key (received %1, expected %2)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ユーザ認証時の鍵情報不正
【パラメータの意味】
%1=受信鍵種別
%1=鍵種別
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
userauth_pubkey: cannot decode key: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ユーザ認証時の鍵情報不正
【パラメータの意味】
%1=鍵情報
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

userauth_pubkey: type mismatch for decoded key (received %1, expected %2)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ユーザ認証時の鍵情報不正

【パラメータの意味】

%1=受信鍵種別

%2=鍵種別

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

@@@

@ WARNING: UNPROTECTED PRIVATE KEY FILE! @

@@@

Permissions %1 for '%2' are too open.

It is recommended that your private key files are NOT accessible by others.

This private key will be ignored.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

認証時のプライベートファイルが異なるユーザによって所有された。

【パラメータの意味】

%1=ファイルモード（パーミッション）

%2=ファイル名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: getnameinfo %2 failed: %3

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証時のソケットアドレス情報取得失敗。
【パラメータの意味】
%1=関数名
%2=内部情報
%3=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
getsockname failed: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証用ソケット情報取得失敗。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
%1: fd0 %2 != 0
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション確立時、標準入力からの読み込みを禁止した
【パラメータの意味】
%1=モジュール名称

%2=ファイル・ディスクリプタ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

close(s->ptymaster/%1): %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

セッション情報ファイルのクローズに失敗した。

【パラメータの意味】

%1=内部情報

%2=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

pipe(notify_pipe) failed %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

パイプの生成に失敗した

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

fcntl(notify_pipe, F_SETFD) failed %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ディスクリプタのフラグの設定に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
select: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
通信（select）エラーが発生した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
authentication forwarding requested twice.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証のフォワーディングは2度要求された
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setsid failed: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
セッションの生成に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
dup2 stdin: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファイル・ディスクリプタの複製に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
dup2 stdout: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファイル・ディスクリプタの複製に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
dup2 stderr: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファイル・ディスクリプタの複製に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setlogin failed: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ログイン名の設定に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
no more sessions
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
セッションのオープンに失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
session_by_pid: unknown pid %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
認証時、PID の不正が発生した。
【パラメータの意味】
%1=PID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
session_pty_req: session %1 alloc failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
メモリ確保に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=セッション ID
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
subsystem: cannot stat %1: %2

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファイル状態の取得に失敗した
【パラメータの意味】
%1=コマンド情報
%2=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
session_pty_cleanup: no session
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
SSH セッション切断時、セッション情報不正（存在しない)。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
close(s->ptymaster/%1): %2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
セッションのクローズに失敗した。
【パラメータの意味】
%1=セッション情報
%2=エラーコード

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
getnameinfo failed
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
アドレスから名前への変換に失敗した。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Bind to port %1 on %2 failed: %3.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
bindに失敗した。
【パラメータの意味】
%1=ポート番号
%2=ポート番号
%3=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
accept: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
accept に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
fork: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
プロセスの生成に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setsid: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
新セッションでのプログラムの実行に失敗した。
【パラメータの意味】
%1=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

openpty: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

openpty に失敗した

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1: %2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ファイルのオープンに失敗した

【パラメータの意味】

%1=ファイル名

%2=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Failed to disconnect from controlling tty.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

SSH セッション接続時、tty の分離に失敗した。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

ioctl(TIOCSCTTY): %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ioctl に失敗した

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

open /dev/tty failed - could not set controlling tty: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

open (/dev/tty) に失敗した。

【パラメータの意味】

%1=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Disabling SSH protocol version %1, Could not load host key

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

特定のバージョンの SSH が無効となりました（鍵情報がないため)。

【パラメータの意味】

%1=プロトコルバージョン情報

【アクション】

設定を見直してください。(SSH 鍵)

問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

no host keys available -- exiting.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

ホストキーが存在しない為、sshd デーモン起動が出来ませんでした

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

設定を見直してください。(SSH 鍵)

問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Login failed; too many active sessions (16 maximum)

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

装置の最大セッション数(16 セッション)を超えた場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置のセッション状態を確認してください。

【メッセージ】

fatal: no matching cipher found: client %s1 server %s2

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
一致する暗号化方式が見つかりません。
【パラメータの意味】
%s1=クライアント側の暗号化方式
%s2=サーバ側の暗号化方式
【アクション】
クライアント及びサーバの暗号化方式を確認してください。

【メッセージ】
fatal: no matching MAC found: client %s1 server %s2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
一致するメッセージ認証コードが見つかりません。
【パラメータの意味】
%s1=クライアント側のメッセージ認証コード
%s2=サーバ側のメッセージ認証コード
【アクション】
クライアント及びサーバのメッセージ認証コードを確認してください。

【メッセージ】
userauth_pubkey: unsupported public key algorithm: %1
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
未サポートの公開鍵による接続がありました。
【パラメータの意味】
%1 未サポート公開鍵のヘッダ部を表示
【アクション】
SSH クライアントの設定を確認してください。

【メッセージ】
'ip ssh vrf port' exceeds max configurations (%01) - ignored: 'ip ssh vrf %02 port'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ip ssh vrf のエントリ数が最大数を超えています
【パラメータの意味】
%01= 最大数
%02= VRF 名
【アクション】
設定を見直してください。(logging vrf source-interface 設定)

【メッセージ】
authentication attempts list overflow(%01).
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ログイン認証に失敗したユーザを記録するファイルが溢れました。
非登録ユーザに対してロックアウト機能が動作しない可能性があります。
【パラメータの意味】
%01:非登録ユーザのエントリ数の上限
【アクション】
セキュリティ環境を見直してください。

【メッセージ】
The server has exceeded the maximum number of allowed connections. repeated %d
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
最大接続数を超えて接続がありました。
【パラメータの意味】

%d 前回表示後からのメッセージ個数

【アクション】

環境を確認し、設定の見直しを実施してください。

【メッセージ】

Received disconnect from %01 port %02:%03: %04

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ssh の disconnect メッセージを受信

アプリケーション起因(logout/exit)でない場合には LOG_ERR で出力されます。

【パラメータの意味】

%01 ssh 接続元のアドレス

vrf を使用している場合は ssh 接続元のアドレス!VRF 番号と表示されます。

%02 ssh 接続元のポート番号

%03 理由コード(内部情報)

%04 メッセージ(内部情報)

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Connection closed by %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ssh 接続のクローズ。

【パラメータの意味】

%01 ssh 接続元のアドレス

vrf を使用している場合は ssh 接続元のアドレス!VRF 番号と表示されます。

【アクション】

誤った接続情報で接続があり、接続を切断しました。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Timeout before authentication for %01 port %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

SSH セッション接続時、認証の前にタイムアウトが発生しました。

【パラメータの意味】

%01=ssh 接続元のアドレス

vrf を使用している場合はリモート IP アドレス!VRF 番号と表示されます。

%02 ssh 接続元のポート番号

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

bind: %01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

SSH セッション接続時、bind に失敗した

【パラメータの意味】

%01=アドレス

vrf を使用している場合はアドレス!VRF 番号と表示されます。

%02=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

getaddrinfo: %01: %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

SSH セッション接続時、接続アドレスの取得に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01=アドレス

vrf を使用している場合はアドレス!VRF 番号と表示されます。

%02=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

```
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@       WARNING: POSSIBLE DNS SPOOFING DETECTED!          @
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
The %01 host key for %02 has changed,
and the key for the corresponding IP address %03
%04. This could either mean that
DNS SPOOFING is happening or the IP address for the host
and its host key have changed at the same time.
Offending key for IP in %05:%06
```

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

SSH セッション接続時、IP アドレスが DNS のホストのアドレスと一致していません。

【パラメータの意味】

%01=鍵種別

%02=ホスト情報

%03=IP アドレス

vrf を使用している場合は IP アドレス!VRF 番号と表示されます。

%04=メッセージ内容

%05=鍵ファイルのパス(新規のホストへの接続の場合には表示されません。)

%06=鍵ファイル内の行位置(新規のホストへの接続の場合には表示されません。)

【アクション】

正規のホストへ接続しているかどうかを確認してください。

問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Accepted %1 for %2 from %3 port %4 %5

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ssh による接続が行われました。

【パラメータの意味】

%1 ssh 接続時に password 入力が有る場合"password"
ssh 接続時に公開鍵による認証の場合"publickey"
password 省略される場合"none"

%2 ssh 接続ユーザ名

%3 ssh 接続元のアドレス

%4 ssh 接続元のポート番号

%5 ssh 接続バージョン(SSHv2 の場合は ssh2 を表示)

【アクション】

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Could not load host key: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

鍵情報のロードに失敗した。

【パラメータの意味】

%1=鍵情報

【アクション】

設定を見直してください。(SSH 鍵)
問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】

Failed %1 for %2 from %3 port %4 %5

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】
ssh による接続が失敗しました。
【パラメータの意味】
%1 ssh 接続時に password 入力が有る場合"password"、
ssh 接続時に公開鍵による認証の場合"publickey"
password パスワードの入力が必要な場合"keyboard-interactive"
%2 ssh 接続ユーザ名
%3 ssh 接続元のアドレス
%4 ssh 接続元のポート番号
%5 ssh 接続バージョン(SSHv2 の場合は ssh2 を表示)
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
fatal: sshd_hostkey_sign: privkey sign failed
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
不正なホスト鍵が登録されています。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
登録されているホスト鍵を確認してください。
サポート外(鍵のサイズ)のホスト鍵が登録されている場合には、再作成してください。

【メッセージ】
Login failed; too many active sessions (%1 maximum) repeated %2
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
設定されている装置の最大セッション数の超えた場合
【パラメータの意味】
%1 設定されている装置の最大セッション数
%2 一定時間内に設定されている装置の最大セッション数を超えた回数

【アクション】
設定さている装置の最大セッション数と、装置のセッション状態を確認してください。

【メッセージ】
LOGIN (%1) ON %2 FROM %3
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
ssh 接続により装置にログインされた場合
【パラメータの意味】
%1=ユーザ ID
%2=tty 名
%3=アクセス元リモートアドレス
【アクション】
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Connection %1 %2 timed out
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
接続元のとの通信でタイムアウトが発生し、接続が切断されました。
【パラメータの意味】
%1 エラーが発生した送受信処理の種別、"from"または"to"
%2 ssh 接続元の情報
【アクション】
再接続を行い、問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
Disconnected from %1
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)

【意味】
　接続元より、通信が切断されました。
【パラメータの意味】
　%1 ssh 接続元のアドレス
【アクション】
　再接続を行い、問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
　Connection reset by %1
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_AUTH(4)
【意味】
　接続元との通信でエラーが発生し、接続が切断されました。
【パラメータの意味】
　%1 ssh 接続元のアドレス
【アクション】
　再接続を行い、問題がなければ、そのままご使用ください。

【メッセージ】
　Unable to negotiate with %1: %2. Their offer: %3
【プライオリティ】
　LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
　LOG_AUTH(4)
【意味】
　接続元との接続時のネゴシエーションに失敗しました。
【パラメータの意味】
　%1 ssh 接続元のアドレス
　%2 失敗したネゴシエーション
　%3 ネゴシエーションの詳細情報
【アクション】
　失敗したネゴシエーション、ネゴシエーションの詳細情報により、接続元の設定を見直してください。

【メッセージ】
　%1Connection %2 %3
【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

接続元との通信処理で、原因不明のエラーが発生しました。

【パラメータの意味】

%1 エラーの発生箇所の情報、または、""

%2 エラーが発生した送受信処理の種別、"from"または"to"

%3 ssh 接続元のアドレス

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

could not allocate failure message

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

原因不明のエラーが発生しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

再現する場合は、サポートまでご連絡ください。

再現しない場合には、装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

error: maximum authentication attempts exceeded for %01 from %02 port %03 %04

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ssh 接続の認証試行回数を超えました。

【パラメータの意味】

%01 ssh 接続ユーザ名

%02 ssh 接続元のアドレス

%03 ssh 接続元のポート番号

%04 ssh 接続バージョン(SSHv2 の場合は ssh2 を表示)

【アクション】

設定を見直してください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

error: kex_exchange_identification: Connection closed by remote host

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

ssh セッション確立時、リモートホストによってクローズされた。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

6:設定を見直してください。

装置はそのままご使用ください。

1.77 survey

【メッセージ】

%SURVEILLANCE-LINE(%01) to %02(%03):Status changed to down.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

接続状態が down になった。

【パラメータの意味】

%01=survey-map TAG

%02=IP アドレス又は IPv6 アドレス

%03=VRF 名

【アクション】

装置としては特に無し

【メッセージ】

%SURVEILLANCE-LINE(%01) to %02(%03):Status changed to up.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

接続状態が up になった。

【パラメータの意味】

%01=survey-map TAG

%02=IP アドレス又は IPv6 アドレス

%03=VRF 名

【アクション】

装置としては特に無し

【メッセージ】

%SURVEILLANCE-LINE(%01) to %02(%03):Status surveillance started.

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

指定 CE 等との接続監視調査を始めます。

【パラメータの意味】

%01=survey-map TAG

%02=IP アドレス又は IPv6 アドレス

%03=VRF 名

【アクション】

装置としては特に無し

【メッセージ】

%SURVEILLANCE-LINE(%01) to %02(%03):Status surveillance completed.

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

指定 CE 等との接続監視調査を終了条件に従い終了します。

【パラメータの意味】

%01=survey-map TAG

%02=IP アドレス又は IPv6 アドレス

%03=VRF 名

【アクション】

装置としては特に無し

【メッセージ】

%SURVEILLANCE-LINE(%01) to %02(%03):Name(%04) is duplicated.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

name で指定した文字列が他の監視対象に使われています。

【パラメータの意味】

%01=survey-map TAG

%02=IP アドレス又は IPv6 アドレス

%03=VRF 名

%04=name

【アクション】

設定を見直してください。

【メッセージ】

Surveillance stopped due to unspecified source interface with link local address.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

source IF が指定されていないので、接続監視調査を終了します。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

linklocal アドレスの接続監視設定をする場合、source IF の設定をして下さい。

【メッセージ】

Surveillance stopped due to set link local address for source address.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

送信元アドレスとして linklocal アドレスが設定されたので、接続監視調査を終了します。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

送信元アドレスには linklocal アドレス以外を設定してください。

【メッセージ】

Can't load shared library. Process exited

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

共有ライブラリの読み込みに失敗したので、プロセスを exit します。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】

%01: not found vrf nsm_id[%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

vrf_id から該当の vrf 情報が見つからない。

【パラメータの意味】

%01=関数名

%02=vrf_id

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
tipc topserv recv error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
トポロジーサービスの受信エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
tipc topserv connect error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
トポロジーサービスの connect エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
tipc topserv send error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
トポロジーサービスの送信エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
tipc inst[%01] send error[%02]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TIPC 送信エラー
【パラメータの意味】
%01=インスタンス番号
%02=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
tipc recv error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TIPC 受信エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
tipc accept error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TIPC accept エラー
【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】

set non-blocking error [%01]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

non-blocking 設定エラー

【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】

set recv buffer error [%01]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ソケットオプション(SO_RCVBUF)設定エラー

【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】

set send buffer error [%01]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ソケットオプション(SO_SNDBUF)設定エラー

【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
tipc bind error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TIPC bind エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
tipc listen error [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
TIPC listen エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
socket write error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

ソケットへの書き込みエラー

【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】

%01: not found vrf vrfid[%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

vrfid から該当の vrf 情報が見つからない。

【パラメータの意味】

%01=関数名

%02=vrfid

【アクション】

情報を採取して再起動し、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】

if_id_data_lookup_by_ifindex ifindex[%01] error[%02]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

IF 名取得失敗

【パラメータの意味】

%01=ifindex

%02=エラー番号

【アクション】

サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】

set non-blocking error [%01], %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
non-blocking 設定エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
%02=監視アドレス
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
close socket to ifd
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ifd との接続が切断
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
装置としては特に無し

【メッセージ】
recv error from ifd [%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
IF 情報の取得エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
close socket by send error to ifd [%01]

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
IF 情報の取得エラーによりソケットを close
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
max message size exceeded
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メッセージサイズ超過
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】
not allocate memory, %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
メモリの確保に失敗
【パラメータの意味】
%01=確保対象
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡下さい。

【メッセージ】

fail to set ifd-message

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

IF 情報メッセージの通信に失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡下さい。

1.78 syslogd

【メッセージ】

uwdt_init error: `%d' %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

uwdt の初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

%d:error 番号

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

uwdt_start error: `%d' %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

uwdt 監視 start に失敗しました。

【パラメータの意味】

%d:error 番号

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

fail get semaphore %s %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

共有メモリのセマフォ作成又は初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Cannot access `%s' %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

デバイスアクセスに失敗しました。

【パラメータの意味】

%s:デバイス名

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Couldn't allocate line buffer %S

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
内部メモリの生成に失敗しました。
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
can't allocate fd table %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
内部メモリの生成に失敗しました。
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Failed to chroot to `%s' %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
デバイスアクセスに失敗しました。
【パラメータの意味】
%s:デバイス名
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Failed to set gid to `%d' %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
ID 登録に失敗しました。
【パラメータの意味】
%d:ID 番号
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Failed to set uid to `%d' %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
ID 登録に失敗しました。
【パラメータの意味】
%d:ID 番号
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Failed to open pidfile %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

PID ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Can't open /rump/dev/klog: %s %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部通信の open に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s: error 内容

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

poll %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

メッセージ処理受信に失敗しました

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
poll nval %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
メッセージ処理受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
poll err %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
メッセージ処理受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
poll hup %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
メッセージ処理受信に失敗しました
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
klog failed %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
データ読み込みに失敗しました。
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
rump_server log failed %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
データ読み込みに失敗しました。
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
getsockname() unix failed %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)

【意味】
　初期化処理に失敗しました。
【パラメータの意味】
　%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　recvfrom() unix `%s' %S
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_SYSLOG(5)
【意味】
　データ読み込みに失敗しました。
【パラメータの意味】
　　使用ソケット名
　%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　recvfrom inet %S
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_SYSLOG(5)
【意味】
　メッセージ処理受信に失敗しました
【パラメータの意味】
　%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
　情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Couldn't allocate logpath %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Could not open socket file list `%s' %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

file の初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s:error メッセージ

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

close() failed %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部ソケットの close が失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
shutdown() failed %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
内部ソケット通信の停止に失敗しました。
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
refresh %S
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
syslogd の再初期化処理を行いました。
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
Warning: `%s' space or tab before the log facility %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】

内部設定のフォーマットエラー

【パラメータの意味】

%s エラーとなった内部設定

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Unknown protocol name `%s' %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

不正な protocol 名が使われています。

【パラメータの意味】

%s:protocol 名

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Unknown interface name `%s' %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

不正な interface 名が使われています。

【パラメータの意味】

%s:interface 名

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Error: `%s' log facility or log target missing %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部設定のフォーマットエラー

【パラメータの意味】

%s エラーとなった内部設定

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Warning: `%s' space found where tab is expected %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部設定のフォーマットエラー

【パラメータの意味】

%s エラーとなった内部設定

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Unknown priority name `%s' %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

不正な priority 名が使われています。

【パラメータの意味】
%s:priority 名
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Unknown facility name `%s' %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
不正な facility 名が使われています。
【パラメータの意味】
%s:facility 名
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
ioctl error %s:%s %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
タスクトレース設定が失敗しました。
【パラメータの意味】
%s:エラー要因
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Couldn't allocate memory for sockets %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

Couldn't allocate memory for bind status %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

socket() failed %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部ソケットの生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
setsockopt(IPV6_V6ONLY) failed %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
内部ソケットの設定に失敗しました。
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
bind() failed %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
内部ソケットの bind が失敗しました。
【パラメータの意味】
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
Cannot change recv bufsize %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】

内部ソケットのオプション設定に失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

panic: out of memory! %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 queue time out, dropping message %S

【プライオリティ】

LOG_SYSLOG

【ファシリティ】

LOG_WARNING

【意味】

再送メッセージの保存期間が終了したため、外部ホスト宛てのメッセージを破棄しました。

【パラメータの意味】

%1=外部ホスト名

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

必要に応じて再送メッセージの保存期間を調整してください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%1 queue overflow, dropping message %S

【プライオリティ】
LOG_SYSLOG
【ファシリティ】
LOG_WARNING
【意味】
再送キューのオーバーフローにより、外部ホスト宛てのメッセージを破棄しました。
【パラメータの意味】
%1=外部ホスト名
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
必要に応じて再送キューの長さを調整してください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
exiting on signal %d" %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
syslogd のプロセスが終了しました
【パラメータの意味】
%d:シグナル番号
%S:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
reboot オペレーション以外のタイミングで発生した場合は、
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
UNIX socket name too long %S
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
内部通信用ソケットの作成に失敗しました。
【パラメータの意味】

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

cannot create %s %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s ファイル Path

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

%s %S

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

ファイルへの log 書き込みに失敗しました

【パラメータの意味】

%s 書き込みファイル名

%S:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

pthread_mutex_lock send1_thread failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

send1_thread の mutex の初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

pthread_mutex_lock send2_thread failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

send2_thread の mutex の初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

pthread_mutex_lock f_lock failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

f_lock の mutex の初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
create r_ pipe failed : %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
r_thread の pipe の生成に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
create s1_ pipe failed : %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
s1_thread の pipe の生成に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01:error 情報が表示されるケースがあります
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
create s2_ pipe failed : %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_SYSLOG(5)
【意味】
s2_thread の pipe の生成に失敗しました。
【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

stop recv_thread failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

recv_thread の停止に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

stop send1_thread failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

send1_thread の停止に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

stop send2_thread failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

send2_thread の停止に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

create recv_thread failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

recv_thread の生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

create send1_thread failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

send1_thread の生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

create send2_thread failed : %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

send2_thread の生成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 情報が表示されるケースがあります

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

logging file write error: `%01' %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG(5)

【意味】

logging file 機能によるファイル書き込みに失敗しました。

【パラメータの意味】

%01:error 番号

%02:error 情報が表示されるケースがあります。

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

'logging host' exceeds max configurations (20) - ignored: 'logging host %s'

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

logging のエントリ数が最大数(20)を超えています

【パラメータの意味】

%s=無効となった syslog サーバ設定

【アクション】
　設定を見直してください。(logging host 設定)

【メッセージ】
　'%1' %2 - ignored:'%3'
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　syslog filter の message 設定が正規表現のフォーマットに違反しているため
【パラメータの意味】
　%1=無効対象となった message 設定
　%2=エラーの理由
　%3=無効となる syslog filter モード
【アクション】
　設定を見直してください。(syslog filter 設定)

【メッセージ】
　'%1' over 254 characters - ignored:'%2'
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　syslog filter の message 設定が 254 文字を超えているため,
【パラメータの意味】
　%1=無効対象となった message 設定
　%2=無効となる syslog filter モード
【アクション】
　設定を見直してください。(syslog filter 設定)

【メッセージ】
　'logging file %01' is invalid file path - ignored'
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)

【意味】
logging file のファイルパスが不正です。
【パラメータの意味】
%01=パスを含むファイル名
【アクション】
設定を見直してください。(logging file 設定)

【メッセージ】
Invalid vrf name - ignored: 'logging vrf %01 host ... linklocal-interface %02/%03'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
指定したインタフェースと異なる VRF 名が設定されています
【パラメータの意味】
%01= VRF 名
%02=インタフェース名
%03=インタフェース番号
【アクション】
設定を見直してください。(logging vrf host 設定)

【メッセージ】
Invalid vrf name - ignored: 'logging vrf %01 source-interface %02/%03'
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
指定したインタフェースと異なる VRF 名が設定されています
【パラメータの意味】
%01= VRF 名
%02=インタフェース名
%03=インタフェース番号
【アクション】
設定を見直してください。(logging vrf source-interface 設定)

【メッセージ】

'logging source-interface' exceeds max configurations (20) - ignored: 'logging %01 source-interface %02/%03'

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

logging source-interface のエントリ数が最大数(20)を超えています

【パラメータの意味】

%01= vrf <VRF 名>(vrf 指定の場合のみ)

%02=インタフェース名

%03=インタフェース番号

【アクション】

設定を見直してください。(logging source-interface 設定)

1.79 tacacs+

【メッセージ】

TACACS field too long

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

送信パケットデータ作成失敗

【パラメータの意味】

TACACS パケットに格納するパラメータ長が不正

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS message too long

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】
送信パケットデータ作成失敗
【パラメータの意味】
TACACS パケットに格納するパラメータ長が不正
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS cannot create socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
内部エラー tacacs 用 socket の作成に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ(strerror)
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS cannot set non-blocking mode on socket: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
内部エラー tacacs 用 socket のモード設定に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ(strerror)
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS select: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

内部エラー tacacs 処理内で select に失敗

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ(strerror)

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS connect: timed out

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

サーバとのセッション確立失敗

【パラメータの意味】

タイムアウト

【アクション】

本装置を含むネットワーク環境を確認してください。

【メッセージ】

TACACS getpeername: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

内部エラー tacacs 処理内で getpeername に失敗

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ(strerror)

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS connect: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
内部エラー tacacs 処理内で connect に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ(strerror)
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS bind: %01 %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
内部エラー tacacs 処理内で bind に失敗
【パラメータの意味】
%01:エラーメッセージ(strerror)
%02:bind 対象アドレス
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
No TACACS+ servers specified
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
サーバとのセッション確立時
【パラメータの意味】
サーバの設定が存在しない
【アクション】
設定を見直してください。(tacacs-server host の設定)

【メッセージ】
TACACS invalid length field in response from

server: end expected at %01, response length %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

サーバからの Reply パケット受信時

【パラメータの意味】

tacacs パケットヘッダに格納されているレングスと実際のパケット長が不一致

%01:パケットヘッダに設定されているレングス長

%02:実際のパケット長

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS invalid length field in %01 response from server (%02 > %03)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

サーバからの Reply パケット受信時

【パラメータの意味】

tacacs パケットヘッダに格納されているレングスと実際のパケット長が不一致

%01:パラメータ種別 "msg", "data" or "av-pair-"

%02:パラメータ長

%03:パケットヘッダに設定されているレングス長"

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS network read error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

内部エラー tacacs 処理内で read に失敗

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ(strerror)

【アクション】

本装置を含むネットワーク環境を確認してください。

【メッセージ】

TACACS network read timed out

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

内部エラー tacacs 処理内で read に失敗

【パラメータの意味】

サーバからの Reply パケット受信待ちタイムアウト発生

【アクション】

本装置を含むネットワーク環境を確認してください。

【メッセージ】

TACACS unexpected EOF from server

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

サーバからの Reply パケット受信時

【パラメータの意味】

サーバ側から Reply パケットが届かない

【アクション】

本装置を含むネットワーク環境を確認してください。

【メッセージ】

TACACS invalid session ID in received message

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】
サーバからのReplyパケット受信時
【パラメータの意味】
Replyパケット内のセッションIDが不正
【アクション】
report-allを採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS invalid type in received message (got %01, expected %02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
サーバからのReplyパケット受信時
【パラメータの意味】
Replyパケットのタイプが不一致
%01:Replyパケットタイプ
%02:クライアント側パケットタイプ
【アクション】
report-allを採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS received message too large (%01 > %02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
サーバからのReplyパケット受信時
【パラメータの意味】
Replyパケット長が8192バイトを超えている
%01:Replyパケット長
%02:受信可能パケット長(8192)
【アクション】
report-allを採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS invalid sequence number in received message
(got %01, expected %02)

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)

【意味】
サーバからのReplyパケット受信時

【パラメータの意味】
Replyパケットのシーケンス番号が不一致
%01:Replyパケットのシーケンス番号
%02:クライアント側が期待するシーケンス番号

【アクション】
report-allを採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS attempt to send message out of sequence

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)

【意味】
送信パケットデータ作成失敗

【パラメータの意味】
シーケンス番号を設定する際、シーケンス番号が
偶数番になってしまった

【アクション】
そのままご使用ください。

【メッセージ】
TACACS network write error: %01

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)

【意味】
内部エラー tacacs処理内でwriteに失敗

【パラメータの意味】

%01:エラーメッセージ(strerror)

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS network write timed out

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

内部エラー tacacs 処理内で write に失敗

【パラメータの意味】

パケット送信タイムアウトが発生

【アクション】

本装置を含むネットワーク環境を確認してください。

【メッセージ】

TACACS too many TACACS+ servers specified

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

サーバの登録数がオーバーしている

【アクション】

設定を見直してください。(tacacs-server host の設定)

【メッセージ】

TACACS get server address info failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

設定されたサーバアドレス情報の読み込み失敗

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS get source address info failed

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

設定された送信元インタフェース情報の読み込み失敗

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS cannot open "%01": %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

内部エラー tacacs 処理内で fopen に失敗

%01:設定ファイル名

%02:エラーメッセージ(strerror)

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS %01:%02: line too long

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

設定ファイルの読み込みに失敗

%01:設定ファイル名

%02:読み込みに失敗している行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS %01:%02: missing newline

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

設定ファイルの読み込みに失敗

%01:設定ファイル名

%02:読み込みに失敗している行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS %01:%02: line has too many fields

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

設定ファイルの読み込みに失敗

%01:設定ファイル名

%02:読み込みに失敗している行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS %01:%02: invalid `¥¥' escape

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

設定ファイルの読み込みに失敗

%01:設定ファイル名

%02:読み込みに失敗している行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS %01:%02: unterminated quoted string

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

設定読み込み時

【パラメータの意味】

設定ファイルの読み込みに失敗

%01:設定ファイル名

%02:読み込みに失敗している行番号

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

TACACS %01:%02: quoted string not followed by white space

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】
設定読み込み時
【パラメータの意味】
設定ファイルの読み込みに失敗
%01:設定ファイル名
%02:読み込みに失敗している行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS %01:%02: missing shared secret
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
設定読み込み時
【パラメータの意味】
設定ファイルの読み込みに失敗
%01:設定ファイル名
%02:読み込みに失敗している行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS %01:%02: invalid port
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
設定読み込み時
【パラメータの意味】
設定ファイルの読み込みに失敗
%01:設定ファイル名
%02:読み込みに失敗している行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS %01:%02: invalid timeout
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
設定読み込み時
【パラメータの意味】
設定ファイルの読み込みに失敗
%01:設定ファイル名
%02:読み込みに失敗している行番号
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS %01:%02: invalid option "%03
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
設定読み込み時
【パラメータの意味】
設定ファイルの読み込みに失敗
%01:設定ファイル名
%02:読み込みに失敗している行番号
%03:読み込んだオプション文字列
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS nothing is written to the config file.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)

【意味】
設定読み込み時
【パラメータの意味】
設定ファイルの読み込みに失敗
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS out of memory
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
内部エラー tacacs 処理内で malloc に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
"TACACS attempt to set invalid privilege level" - 通常は発生しない
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_AUTH(4)
【意味】
範囲外の enable レベルになろうとした場合
【パラメータの意味】
範囲外の enable レベルになろうとした
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
TACACS ACCT:It failed in the accounting information file creation.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_AUTH(4)

【意味】

アカウンティング開始・終了の情報を更新できなかった

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.80 tipcftpd

【メッセージ】

socket() error AF_TIPC

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

bind() error AF_TIPC

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの bind に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

listen() error AF_TIPC

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの listen に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

select() error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt_hearbeat error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdtd との通信に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
accept() error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの accept に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fork() error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
子プロセスの作成に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
close() error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの close に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
protocol error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
open
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファイル作成に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
read error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
write error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
ファイルの書き込みに失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.81 tipcsh

【メッセージ】
failed to connect to topology server
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信用ソケットの接続に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
failed to send subscription
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
　内部通信用データの送信に失敗しました。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　Failed to receive event
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　内部通信用データの受信に失敗しました。
【パラメータの意味】
　なし
【アクション】
　report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
　Server %01,%02 not published within %03 [s]
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　内部通信がタイムアウトしました
【パラメータの意味】
　%01:宛先情報
　%02:宛先情報
　%03:タイムアウト時間
【アクション】
　装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

socket() error AF_TIPC: %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s:エラー原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

connect() error AF_TIPC: %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部通信の接続に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s:エラー原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

getaddrinfo() error: %s1: %s2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

addrinfo の取得に失敗しました。

【パラメータの意味】

%s1:エラー原因

%s2:エラー原因

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
socket() error: %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信用ソケットの作成に失敗しました。
【パラメータの意味】
%s:エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
can't connect target address: %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信の接続に失敗しました。
【パラメータの意味】
%s:エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
poll() error: %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
内部通信用ソケットの監視に失敗しました。
【パラメータの意味】
%s:エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
read() error fd:%d: %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信用ソケットからの読み出しに失敗しました。
【パラメータの意味】
%d:内部情報
%s:エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】
write() error: %s
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
内部通信用ソケットへの書き込みに失敗しました。
【パラメータの意味】
%s:エラー原因
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください。

【メッセージ】

write() error1 fd:%d: %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

内部通信用ソケットへの書き込みに失敗しました。

【パラメータの意味】

%d:内部情報

%s:エラー原因

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

装置はそのままご使用ください。

1.82 tipcshd

【メッセージ】

socket() error AF_TIPC

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

bind() error AF_TIPC

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの bind に失敗しました。

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
listen() error AF_TIPC
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信用ソケットの listen に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
select() error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_hearbeat error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

uwdtd との通信に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

accept() error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの accept に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

too many processes

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部処理で不正な状態を検出しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

protocol error @ port read, ret:%01 errno:%02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
内部通信に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01=内部情報
%02=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
protocol error @ command read, ret:%01 errno:%02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部通信に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01=内部情報
%02=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
command cnt[%01] over
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
内部処理で不正な状態を検出しました。
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
fork() error
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

子プロセスの作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

close() error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信用ソケットの close に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

poll() error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

内部通信に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

forkpty() error

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
子プロセスの作成に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
daemon() error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
プロセスのデーモン化に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt_init error: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
uwdtd 監視の初期化に失敗しました。
【パラメータの意味】
%01=内部情報
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt_start error: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

uwdtd 監視の初期化に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01=内部情報

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.83 update_ap

【メッセージ】

set boot firmware other-side.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

次回起動面を裏面に設定しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置はそのままお使いください。

【メッセージ】

Equipment.cfg backup error.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

Equipment.cfg の Backup 作成に失敗しました。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】
情報を採取してサポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください

【メッセージ】
boot_side_set error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
Equipment.cfgに次回起動面が設定できませんでした。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取してサポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください

【メッセージ】
Equipment.cfg restore error.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
Equipment.cfgに次回起動面が設定できませんでした。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取してサポートまでご連絡ください。
装置はそのままご使用ください

【メッセージ】
set boot firmware other-side,however,firmware is not installed.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
次回起動面を裏面に設定したが、指定された裏面にファームがインストールされていなかった。
起動面指定は無効となります。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
裏面にファームをインストールしてください。

1.84 uwdtd

【メッセージ】
Fail to get Shared Memory
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
Shared Memory の獲得に失敗した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
Fail to map Shared Memory
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
Shared Memory のマッピングに失敗した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

none Shared Memory

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の起動に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

can't make unix dgram socket

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の起動に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

can't bind unix dgram socket

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の起動に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　can't listen unix stream socket
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　uwdtd の起動に失敗した場合
【パラメータの意味】
　パラメータなし
【アクション】
　report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　can't set close-on-exec
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　uwdtd の起動に失敗した場合
【パラメータの意味】
　パラメータなし
【アクション】
　report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　can't bind tcp socket
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　uwdtd の起動に失敗した場合
【パラメータの意味】
　パラメータなし
【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
can't listen tcp socket
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdtd の起動に失敗した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
startstop_command fork error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdtd の起動に失敗した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
startstop_command execve error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdtd の起動に失敗した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

new connection accept error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の起動に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

new userlands malloc error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の起動に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

name_func:strdup

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

strdup に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

path is too long: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の起動に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=uwdtd で監視されるデーモンへの path

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

can't parse config file

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の起動に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

can't bind socket

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の起動に失敗した場合

【パラメータの意味】
　パラメータなし
【アクション】
　report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　name's size is too big: %1
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　/etc/uwdtd.conf に書かれてあるデーモンの名前が長すぎる場合
【パラメータの意味】
　%1=デーモン名
【アクション】
　report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　%1 already exists
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】
　uwdtd.conf に既に登録されている場合
【パラメータの意味】
　%1=デーモン名
【アクション】
　report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
　there is no command line
【プライオリティ】
　LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
　LOG_USER(1)
【意味】

uwdtd.conf に起動するコマンドの記述がない場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

add_to_configs malloc error1

add_to_configs malloc error2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

malloc に失敗した場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

command line is duplicated. ignore this entry

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd.conf の 1 つのエントリに対して command の記述が複数ある場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

name_bracket_func:strdup

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd.conf の command の記述が間違っている場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

rc.d line is odd. ignore this entry

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd.conf の rc の記述が間違っている場合

【パラメータの意味】

パラメータなし

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

unknown token: %1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd.conf の記述が間違っている場合

【パラメータの意味】

%1=デーモン名

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

name doesn't exist

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdtd.conf に name の記述がない場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
need to be "{". not %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdtd.conf の記述が間違っている場合
【パラメータの意味】
%1="{"が必要な箇所に記載されている文字列
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
%1 is unknown token
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdtd.conf の記述が間違っている場合
【パラメータの意味】
%1=読み込み中のトークン
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
%1 is not valid number
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd.conf の記述が間違っている場合

【パラメータの意味】

%1=読み込み中のトークン

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

exec command: name=%1 cmdline=%2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd からデーモンを再起動する場合

起動のときは出力しない。

【パラメータの意味】

%1=デーモン名

%2=コマンド

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

kill command: name=%1 cmdline=%2

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd からデーモンを終了した場合

【パラメータの意味】

%1=デーモン名

%2=コマンド

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

send SIGKILL name=%1

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd からデーモンを終了した場合

【パラメータの意味】

%1=デーモン名

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

send SIGTERM name=%1

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd から kill した場合

【パラメータの意味】

%1=デーモン名

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

cpm reboot start. name:%1 kill

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd から装置を再起動する場合

【パラメータの意味】

%1=デーモン名

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
reboot program(no registration)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
応答のないプログラムを再起動した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
stop boot(too many trying)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
デーモンの再起動に失敗した場合
【パラメータの意味】
パラメータなし
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
send SIGPWR name=%1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
hearbeat が expire して uwdtd から daemon を kill した場合
【パラメータの意味】
%1=デーモン名

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

info register eip:%1

info register esp:%2

info register ebp step:%3 %4 stack:%5

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

hearbeat が expire して uwdtd から kill された場合

【パラメータの意味】

%1=直前の処理

%2=直前の stack ポインタ

%3=stack ポインタをたどった回数

%4=stack ポインタのアドレス

%5=stack ポインタの情報

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

reboot wait %1 sec. rump_server is down.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdtd の装置再起動処理実施前の確認で rump_server の停止が確認された場合

【パラメータの意味】

%1=装置再起動を待つ時間

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または担当営業員までご連絡ください。

1.85 vrrp6d

【メッセージ】

%01 %02 %03 %04 clear.... Done

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

clear ipv6 vrrp status コマンド実行

【パラメータの意味】

%01=Port-channel, Management

%02=インタフェース番号(all 指定の場合は all)

%03=vrid(vrid 指定でコマンドを実行した場合のみ表示)

%04=VRID 値(vird 指定でコマンドを実行したの場合のみ表示)

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

I/F info create getifaddrs: %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

getifaddrs の取得失敗

【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

disabling track object %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

track object が無効です

【パラメータの意味】

%01=track 番号

【アクション】

track の設定を見直してください。

【メッセージ】

track object %01 survey not found

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

track object の survey 監視登録に失敗しました

【パラメータの意味】

%01=track 番号

【アクション】

継続して出ている場合は track の設定及び survey の設定を見直してください。

【メッセージ】

survey connection closed

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

survey とのコネクション切断

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

uwdt init error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
uwdt の初期化に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt start error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdt の開始に失敗
【パラメータの意味】
%01=uwdt 実施結果
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt send error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
heartbeat 送信に失敗
【パラメータの意味】
%01=rc
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt continue error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdt の interval 設定を失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt suspended error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

suspend 失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt restart error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

restart 失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt stop error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
stop 失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Error ioctl(SIOCSIFVADDR_IN6) %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
仮想アドレス(INET)追加に失敗
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Error ioctl(SIOCDIFVADDR_IN6) %01
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
仮想アドレス(INET)削除に失敗
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Transition to %01 on %02<%03> Vrid<%04> %05
【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

Master,Backup,Initialize 状態のいずれかへ遷移

【パラメータの意味】

%01=Master, Backup, Initialize

%02=Port, Management

%03=インタフェース番号

%04=VRID 値

%05=遷移理由

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

receive vrrp packet size error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

受信した advertise パケットのサイズが長さと違う

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

The virtual address in the received advertisement is different from the local virtual address.

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

受信した advertisement パケットの仮想アドレスがローカル仮想アドレスと違います。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

cli の仮想アドレス設定を見直して下さい。

【メッセージ】

The advertisement interval in the received advertisement is different from the local advertisement interval.

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

受信した advertisement パケットの interval が local advertisement interval と違いま す。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

advertise パケットと cli 設定の広告送信間隔を確認して下さい。

【メッセージ】

vrrp advertisement send error %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

vrrp advertisement パケットの送信失敗

【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

request track object %01 is not found

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

要求した track 番号が見つかりません

【パラメータの意味】

%01=track 番号

【アクション】

設定方法によっては、refresh 時に記録される場合がありますが、継続して
ログが記録されない場合には、特に問題はありません。
継続してログが記録される場合、track 設定の不整合の可能性がありますので、
設定をご確認ください。
ログが継続して記録される場合で、設定に問題がない場合、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

request track object %01 is not vhost

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

要求した track 番号は vhost track 設定ではありません

【パラメータの意味】

%01=track 番号

【アクション】

設定方法によっては、refresh 時に記録される場合がありますが、継続して
ログが記録されない場合には、特に問題はありません。
継続してログが記録される場合、track 設定の不整合の可能性がありますので、
設定をご確認ください。
ログが継続して記録される場合で、設定に問題がない場合、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

request vhost %01 is not found

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

要求した track 番号の仮想アドレスが見つかりません

【パラメータの意味】

%01=track 番号

【アクション】

設定方法によっては、refresh 時に記録される場合がありますが、継続して
ログが記録されない場合には、特に問題はありません。
継続してログが記録される場合、track 設定の不整合の可能性がありますので、
設定をご確認ください。
ログが継続して記録される場合で、設定に問題がない場合、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
unknown track message type[%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
未知の track メッセージタイプです
【パラメータの意味】
%01=メッセージタイプ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
vrrp has detected abnormal timer delay %01 sec (%02)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
VRRP がタイマ異常 (advertise timer or master down timer) を検出しました。
【パラメータの意味】
%01=タイマ遅延時間
%02=タイマ種別 (advertise timer or master down timer)
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
timer delay warning %01 sec (%02)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
VRRP がタイマ異常（advertise timer or master down timer）を検出しました。
【パラメータの意味】
%01=タイマ遅延時間
%02=タイマ種別（advertise timer or master down timer）
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
IPV6_%01_GROUP skipped index[%02] vrfid[%03]: %04
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
マルチキャストグループの参加、又は離脱失敗
【パラメータの意味】
JOIN 又は LEAVE、インデックス、vrfid、エラーコード
%01=JOIN, LEAVE
%02=ifindex
%03=vrfid
%04=エラーコード
【アクション】
IPv6 VRRP に関する設定を含むインターフェイスを削除した時に記録される場合
には問題はありません。
それ以外の場合には、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
exec vrrpcli err
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
vrrpcli の exec 失敗

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
udp send error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
パケットの送信に失敗
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send trap failed to insert VarBindList
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
trap のパケット生成に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01 send failed %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

送信に失敗

【パラメータの意味】

%01=エラー箇所

%02=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 connect failed %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

connect に失敗

【パラメータの意味】

%01=エラー箇所

%02=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 recv failed %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

受信に失敗

【パラメータの意味】

%01=エラー箇所

%02=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%01 if_id failed %02

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

インタフェース情報検索に失敗

【パラメータの意味】

%01=エラー箇所

%02=検索 ID

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

track-group %01: track %02 is not found

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定した track-group 内の track 番号が見つかりません。

【パラメータの意味】

%01=track-group 名

%02=track 番号

【アクション】

track-group 設定を確認してください。

【メッセージ】

request track-group %01 is not found

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

要求した track-group 名が存在しません。

【パラメータの意味】

%01=track-group 名

【アクション】

設定方法によっては、refresh 時に記録される場合がありますが、継続して
ログが記録されない場合には、特に問題はありません。

継続してログが記録される場合、track 設定の不整合の可能性がありますので、
設定をご確認ください。
ログが継続して記録される場合で、設定に問題がない場合、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
track-group %01: track %02 is not valid track
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定した track-group 内の track 番号が有効な番号ではありません。
【パラメータの意味】
%01=track-group 名
%02=track 番号
【アクション】
track-group 設定を確認してください。

1.86 vrrpd

【メッセージ】
%01 %02 %03 %04 clear.... Done
【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
clear vrrp status コマンド実行
【パラメータの意味】
%01=Port-channel, Management
%02=インタフェース番号(all 指定の場合は all)
%03=vrid(vrid 指定でコマンドを実行した場合のみ表示)
%04=VRID 値(vird 指定でコマンドを実行したの場合のみ表示)
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

Transition to %01 on %02<%03> Vrid<%04> %05

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

Master, Backup, Initialize 状態のいずれかへ遷移

【パラメータの意味】

%01=Master, Backup, Initialize

%02=Port, Management

%03=インタフェース番号

%04=VRID 値

%05=遷移理由

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】

IP_%01_MEMBERSHIP skipped: index[%02] vrfid[%03] %04

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

MEMBERSHIP の追加、又は削除失敗

【パラメータの意味】

%01=ADD, DROP

%02=ifindex

%03=vrfid

%04=エラーコード

【アクション】

IPv4 VRRP に関する設定を含むインターフェイスを削除した時に記録される場合
には問題はありません。
それ以外の場合には、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

The virtual address in the received advertisement is different from the local virtual address.

【プライオリティ】
LOG_NOTICE(5)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
受信した advertisement パケットの仮想アドレスがローカル仮想アドレスと違います。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
仮想アドレスの設定を見直してください。

【メッセージ】
receive vrrp packet size error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
受信した vrrp パケットのサイズが長さと違う
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
disabling track object %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
track object が無効です
【パラメータの意味】
%01=track 番号
【アクション】
track の設定を見直してください。

【メッセージ】

track object %01 survey not found

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

track object の survey 監視登録に失敗しました。

【パラメータの意味】

%01=track 番号

【アクション】

継続して出ている場合は track の設定及び survey の設定を見直してください。

【メッセージ】

vrrp has detected abnormal timer delay %01 sec (%02)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

VRRP がタイマ異常 (advertise timer or master down timer) を検出しました。

【パラメータの意味】

%01=タイマ遅延時間

%02=タイマ種別 (advertise timer or master down timer)

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

timer delay warning %01 sec (%02)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

VRRP がタイマ異常 (advertise timer or master down timer) を検出しました。

【パラメータの意味】

%01=タイマ遅延時間

%02=タイマ種別 (advertise timer or master down timer)

【アクション】

対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
exec vrrpcli err
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
vrrpcli の exec 失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
I/F info create getifaddrs: %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
getifaddrs の取得失敗
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
send trap failed to insert VarBindList
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
trap のパケット生成に失敗しました。
【パラメータの意味】
なし

【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01 send failed %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
送信に失敗
【パラメータの意味】
%01=エラー箇所
%02=エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01 connect failed %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
connect に失敗
【パラメータの意味】
%01=エラー箇所
%02=エラーコード
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
%01 recv failed %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

受信に失敗

【パラメータの意味】

%01=エラー箇所

%02=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Error ioctl(SIOCSIFVADDR) %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ioctl(SIOCSIFVADDR)の失敗

【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Error ioctl(SIOCDIFVADDR) %01

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ioctl(SIOCDIFVADDR)の失敗

【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

The advertisement interval in the received advertisement is different from the local advertisement interval.

【プライオリティ】

LOG_NOTICE(5)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
受信したadvertisementパケットのintervalがlocal advertisement intervalと違いま す。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
広告パケットとcli設定の広告送信間隔を確認してください。

【メッセージ】
vrrp advertisement send error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
vrrp advertisement送信エラー
【パラメータの意味】
%01=エラーコード
【アクション】
report-allを採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
Error send gratuitous ARP ifname[%01] : %02
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
GARP送信失敗
【パラメータの意味】
%01=インタフェース名
%02=エラーコード
【アクション】
report-allを採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
survey connection closed

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
survey とのコネクション切断
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
対処は不要です。そのままご使用ください。弊社へのご連絡も不要です。

【メッセージ】
uwdt init error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdt の初期化に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt start error %01
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
uwdt の開始に失敗
【パラメータの意味】
%01=uwdt 実施結果
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt send error %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

heartbeat 送信に失敗

【パラメータの意味】

%01=rc

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt continue error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

uwdt の interval 設定を失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

uwdt suspended error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

suspend 失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt restart error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
restart 失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
uwdt stop error
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
stop 失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
request track object %01 is not found
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
要求した track 番号が見つかりません
【パラメータの意味】
%01=track 番号
【アクション】
設定方法によっては、refresh 時に記録される場合がありますが、継続して

ログが記録されない場合には、特に問題はありません。
継続してログが記録される場合、track 設定の不整合の可能性がありますので、
設定をご確認ください。
ログが継続して記録される場合で、設定に問題がない場合、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
request track object %01 is not vhost
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
要求した track 番号は vhost track 設定ではありません
【パラメータの意味】
%01=track 番号
【アクション】
設定方法によっては、refresh 時に記録される場合がありますが、継続して
ログが記録されない場合には、特に問題はありません。
継続してログが記録される場合、track 設定の不整合の可能性がありますので、
設定をご確認ください。
ログが継続して記録される場合で、設定に問題がない場合、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
request vhost %01 is not found
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
要求した track 番号の仮想アドレスが見つかりません
【パラメータの意味】
%01=track 番号
【アクション】
設定方法によっては、refresh 時に記録される場合がありますが、継続して
ログが記録されない場合には、特に問題はありません。
継続してログが記録される場合、track 設定の不整合の可能性がありますので、

設定をご確認ください。
ログが継続して記録される場合で、設定に問題がない場合、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
unknown track message type[%01]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
未知の track メッセージタイプです
【パラメータの意味】
%01=メッセージタイプ
【アクション】
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
track-group %01: track %02 is not found
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定した track-group 内の track 番号が見つかりません。
【パラメータの意味】
%01=track-group 名
%02=track 番号
【アクション】
track-group 設定を確認してください。

【メッセージ】
request track-group %01 is not found
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

要求した track-group 名が存在しません。

【パラメータの意味】

%01=track-group 名

【アクション】

設定方法によっては、refresh 時に記録される場合がありますが、継続して
ログが記録されない場合には、特に問題はありません。
継続してログが記録される場合、track 設定の不整合の可能性がありますので、
設定をご確認ください。
ログが継続して記録される場合で、設定に問題がない場合、
report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

track-group %01: track %02 is not valid track

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定した track-group 内の track 番号が有効な番号ではありません。

【パラメータの意味】

%01=track-group 名
%02=track 番号

【アクション】

track-group 設定を確認してください。

【メッセージ】

udp send error %01

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

パケットの送信に失敗

【パラメータの意味】

%01=エラーコード

【アクション】

report-all を採取し、サポートまでご連絡ください。

1.87 vrrpcli

【メッセージ】
the number of secondary virtual addresses exceeded the maximum
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
セカンダリ仮想アドレスの設定が最大有効数を超えたため無効になりました
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
設定を見直してください

【メッセージ】
secondary virtual address %01 is invalid (%02)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
セカンダリ仮想アドレスの設定が不正値のため無効になりました
【パラメータの意味】
%01 無効となったセカンダリ仮想アドレス
%02 same as real address: 実アドレスと同じ
same as virtual address: プライマリ仮想アドレスと同じ
same as secondary virtual address: セカンダリ仮想アドレスと同じ
【アクション】
設定を見直してください。

1.88 zebos

【メッセージ】
tunnel-te %d1 configuration will not take effect because there is already a session for the

same [To: %m1] [Tunnel Id: %d1] [Ext-Tunnel Id: %m2]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

tunnel-te interface の設定時

【パラメータの意味】

%m1=tunnel destination の設定した addrss

%m2=tunnel source で設定した address

%d1=Tunnel Id

【アクション】

設定ミスの可能性があります。tunnel-te の設定を見直してください。

【メッセージ】

%m1 %m2 NOTIFICATION %d1/%d2 (%m3%m4) %d3 bytes

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

BGP NOTIFICATION メッセージ送受信時

【パラメータの意味】

%m1=BGP ピアのアドレス

%m2=sending または received

%d1=NOTIFICATION コード（数字）

%d2=NOTIFICATION サブコード（数字）

%m3=NOTIFICATION コードメッセージ（以下のいずれか）

Message Header Error

OPEN Message Error

UPDATE Message Error

Hold Timer Expired

Finite State Machine Error

Cease

Unrecognized Error Code

%m4=NOTIFICATOIN サブコードメッセージ（以下のいずれか）

メッセージヘッダエラーの場合

Connection Not Synchronized.

Bad Message Length.
Bad Message Type.
OPEN メッセージエラーの場合
Unsupported Version Number.
Bad Peer AS.
Bad BGP Identifier.
Unsupported Optional Parameter.
Authentication Failure.
Unacceptable Hold Time.
Unsupported Capability.
UPDATE メッセージエラーの場合
Malformed Attribute List.
Unrecognized Well-known Attribute.
Missing Well-known Attribute.
Attribute Flags Error.
Attribute Length Error.
Invalid ORIGIN Attribute.
AS Routing Loop.
Invalid NEXT_HOP Attribute.
Optional Attribute Error.
Invalid Network Field.
Malformed AS_PATH.
CEASE の場合
Maximum Number of Prefixes Reached.
Administratively Shutdown.
Peer Unconfigured.
Administratively Reset.
Connection Rejected.
Other Configuration Change.
その他の場合
Unrecognized Error Subcode

%d3=NOTIFICATION の長さ（数字）

【アクション】

設定ミスの可能性があります。BGP 設定を見直してください。

【メッセージ】

%m1 (%m2) Treat-as-withdraw error %m3(%d1) : %m4 (%d2)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

Treat-as-withdraw を行うエラーを発見した場合

【パラメータの意味】

%m1=BGP ピアのアドレス

%m2=vrf の場合, vrf (vrf-name)。 vrf ではない場合, INET と出力される。

%m3=エラーのあったアトリビュート名（以下のいずれか）

ORIGIN
AS_PATH
NEXT_HOP
MULTI_EXIT_DISC
LOCAL_PREF
ATOMIC_AGGREGATE
AGGREGATOR
COMMUNITY
ORIGINATOR_ID
CLUSTER_LIST
EXTENDED COMMUNITIES
AS4_PATH
AS4_AGGREGATOR
REMOTE_NEXT_HOP
UNKNOWN

%d1=エラーのあったアトリビュートタイプ（数字）

%m4=エラーの内容（以下のいずれか）

【ORIGIN の場合】

Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not one
Missing well-known attribute
Attribute value is invalid

【AS_PATH の場合】

Attribute length exceed total attribute length

【NEXT_HOP の場合】

Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not four

Missing well-known attribute
Attribute value is invalid
【MULTI_EXIT_DISC の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not four
【LOCAL_PREF の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not four
【ATOMIC_AGGREGATE の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
【AGGREGATOR の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
【COMMUNITY の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
【ORIGINATOR_ID の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not four
【CLUSTER_LIST の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
【EXTENDED COMMUNITIES の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
【AS4_PATH】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
【AS4_AGGREGATOR】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid

【REMOTE_NEXT_HOP の場合】
Attribute length exceed total attribute length
【UNKNOWN の場合】
Attribute length exceed total attribute length
【アトリビュート名が表示されない】
Attribute length is smaller than min len
%d2=エラーのあったパラメータの値（数字）

【アクション】
不正な UPDATE メッセージを受け取っています。
設定や接続環境を確認してください。

【メッセージ】
%m1 (%m2) Attribute discard error %m3(%d1) : %m4 (%d2)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
Attribute discard を行うエラーを発見した場合
【パラメータの意味】
%m1=BGP ピアのアドレス
%m2=vrf の場合，vrf（vrf-name)。 vrf ではない場合，INET と出力される。
%m3=エラーのあったアトリビュート名（以下のいずれか）
ORIGIN
NEXT_HOP
MULTI_EXIT_DISC
LOCAL_PREF
ATOMIC_AGGREGATE
AGGREGATOR
COMMUNITY
ORIGINATOR_ID
CLUSTER_LIST
EXTENDED COMMUNITIES
AS4_PATH
AS4_AGGREGATOR
REMOTE_NEXT_HOP
UNKNOWN
%d1=エラーのあったアトリビュートタイプ（数字）

%m4=エラーの内容（以下のいずれか）

【ORIGIN の場合】

Same attribute appears twice in a message

【NEXT_HOP の場合】

Same attribute appears twice in a message

【MULTI_EXIT_DISC の場合】

Same attribute appears twice in a message

【LOCAL_PREF の場合】

Attribute is received from eBGP peer

Same attribute appears twice in a message

【ATOMIC_AGGREGATE の場合】

Attribute length is not zero

Same attribute appears twice in a message

【AGGREGATOR の場合】

Attribute length is not six

Attribute length is not eight

AS number is invalid

Same attribute appears twice in a message

【COMMUNITY の場合】

Same attribute appears twice in a message

【ORIGINATOR_ID の場合】

Attribute is received from eBGP peer

Same attribute appears twice in a message

【CLUSTER_LIST の場合】

Attribute is received from eBGP peer

Same attribute appears twice in a message

【EXTENDED COMMUNITIES の場合】

Same attribute appears twice in a message

【AS4_PATH】

Attribute length is invalid

Attribute is received from NBGP speaker

Segment type is invalid

Segment length is invalid

AS number is invalid

Same attribute appears twice in a message

【AS4_AGGREGATOR】

Attribute length is not eight

Attribute is received from NBGP speaker

Aggregator attribute do not exist
AS number is invalid
Same attribute appears twice in a message
【REMOTE_NEXT_HOP の場合】
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
TLV length is invalid
Tunnel address length is invalid
Same attribute appears twice in a message
【UNKNOWN の場合】
Attribute flag value is invalid
Same attribute appears twice in a message
%d2=エラーのあったパラメータの値（数字）

【アクション】
不正な UPDATE メッセージを受け取っています。
設定や接続環境を確認してください。

【メッセージ】
Remote %m1 speaker, Local %m2 speaker, %m3 (%m4) %m5 error AS_PATH(2) : %m6(%d1)

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
Treat-as-withdraw もしくは Attribute discard を行うエラーを発見した場合

【パラメータの意味】
%m1=OBGP または NBGP
%m2=BGP または NBGP
%m3=BGP ピアのアドレス
%m4=vrf の場合, vrf (vrf-name)。 vrf ではない場合, INET と出力される。
%m5=エラー処理（以下のいずれか）
Treat-as-withdraw
Attribute discard
%m6=エラーの内容（以下のいずれか）
【Treat-as-withdraw の場合】
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
Missing well-known attribute

Segment type is invalid
Segment length is invalid
AS number is invalid
BGP confederation configuration error
【Attribute discard の場合】
Same attribute appears twice in a message
%d1=エラーのあったパラメータの値 (数字)

【アクション】
不正な UPDATE メッセージを受け取っています。
設定や接続環境を確認してください。

【メッセージ】
%m1 (%m2) Segment discard error AS4_PATH(17) : Segment type is %m3
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
AS4_PATH の segment type が AS_CONFED_SET もしくは AS_CONFED_SEQUENCE で、その segment を廃棄した場合
【パラメータの意味】
%m1=BGP ピアのアドレス
%m2=vrf の場合, vrf (vrf-name)。 vrf ではない場合, INET と出力される。
%m3=segment type (AS_CONFED_SET もしくは AS_CONFED_SEQUENCE)
【アクション】
不正な UPDATE メッセージを受け取っています。
設定や接続環境を確認してください。

【メッセージ】
%m1 %m2 [FSM] %m3 (%m4->%m5)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
BGP の FSM 状態遷移により Established になった、もしくは
Established から他の状態に遷移した
【パラメータの意味】

%m1=BGP ピアのアドレス
%m2=vrf の場合, vrf (vrf-name)。 vrf ではない場合, 出力されません。
%m3=イベントの種類（以下のいずれか）
BGP_Start
BGP_Stop
TCP_connection_open
TCP_connection_closed
TCP_connection_open_failed
TCP_fatal_error
ConnectRetry_timer_expired
Hold_Timer_expired
KeepAlive_timer_expired
Receive_OPEN_message
Receive_KEEPALIVE_message
Receive_UPDATE_message
Receive_NOTIFICATION_message
%m4=BGP ステート（以下のいずれか）
Idle, Connect, Active, OpenSent, OpenConfirm, Established
%m5=BGP ステート（以下のいずれか）
Idle, Connect, Active, OpenSent, OpenConfirm, Established

【アクション】
BGP セッションが確立/切断されたことを示します。
切断の場合は BGP ピアとの接続状況を確認して下さい。

【メッセージ】
NFSM[%m1-%m2]: %m3 (%m4)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
OSPF ネイバーステートが FULL になった、もしくは FULL から
他の状態に遷移した場合
【パラメータの意味】
%m1=ospfd の場合は OSPF インタフェース名、ospf6d の場合は OSPF ネイバーのアドレス
%m2=ospfd の場合は OSPF ネイバーのアドレス、ospf6d の場合は OSPF ネイバーの interface id
%m3=ネイバーステート（以下のいずれか）
Down, Attempt, Init, 2-Way, ExStart, Exchange, Loading, Full

%m4=イベント（以下のいずれか）
HelloReceived, Start, 2-WayReceived, NegotiationDone,
ExchangeDone, BadLSReq, LoadingDone, AdjOK?, SeqNumberMismatch,
1-WayReceived, KillNbr, InactivityTimer, LLDown

【アクション】
OSPF ネイバーになれない場合は設定を確認して下さい

【メッセージ】
NFSM[%m1-%m2]: Status change %m3 -> %m4

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
OSPF ネイバーステートが FULL になった、もしくは FULL から
他の状態に遷移した場合

【パラメータの意味】
%m1=ospfd の場合は OSPF インタフェース名、ospf6d の場合は OSPF ネイバーのアドレス
%m2=ospfd の場合は OSPF ネイバーのアドレス、ospf6d の場合は OSPF ネイバーの interface id
%m3=遷移前のネイバーステート（以下のいずれか）
Down, Attempt, Init, 2-Way, ExStart, Exchange, Loading, Full
%m4=遷移後のネイバーステート（以下のいずれか）
Down, Attempt, Init, 2-Way, ExStart, Exchange, Loading, Full

【アクション】
OSPF ネイバーになれない場合は設定を確認して下さい

【メッセージ】
%OSPF-AREA-CHANGE: from area %m1 to area %m2 (%m3/%m4)

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
設定変更により, %m3/%m4 に対する area が%m1 から%m2 に変更された場合に出力.
※ network コマンドによる area ID 変更時のみ出力されます

【パラメータの意味】
%m1=変更前の area ID
%m2=変更後の area ID

%m3/%m4=ネットワーク/マスク長

【アクション】

【メッセージ】

Process Refresh

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

no router {rip | ospf | bgp} を行い，ルーティングデーモンの動作が
無効化された場合に出力.

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

【メッセージ】

Received invalid packet from %m1: mismatch area ID, %m2.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ospf の area ID が異なるときに出力。
※ Virtual Link, Sham Link の ospf ネイバーの場合には出力されません

【パラメータの意味】

%m1 = neighbor の address
%m2 = Interface 名

【アクション】

neighbor との間で，area ID が同じであるかどうか確認して下さい.

【メッセージ】

Received invalid packet from %m1: mismatch authentication type, %m2.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ospf の authentication type が異なるときに出力

【パラメータの意味】

%m1 = neighbor の address

%m2 = Interface 名

【アクション】

neighbor との間で, authentication の type が同じであるかどうか
確認して下さい.

【メッセージ】

Received invalid packet from %m1: Authentication failed, %m2.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ospf の authentication に失敗したときに出力.

【パラメータの意味】

%m1 = neighbor の address

%m2 = Interface 名

【アクション】

authentication 設定が正しいかどうか確認して下さい.

【メッセージ】

Received invalid packet from %m1: md5 authentication failed, %m2.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ospf の MD5 認証に失敗したときに出力.

【パラメータの意味】

%m1 = neighbor の address

%m2 = Interface 名

【アクション】

MD5 設定が正しいかどうか確認して下さい.

【メッセージ】

Received invalid packet from %m1: Bad Checksum, %m2.

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ospf の Checksum がエラーしたときに出力

【パラメータの意味】

%m1 = neighbor の address

%m2 = Interface 名

【アクション】

【メッセージ】

Database overflow state enter

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

External LSA overflow 状態になったときに出力

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

【メッセージ】

Database overflow state exit

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

External LSA overflow 状態から回復したときに出力

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

【メッセージ】
External LSA database approaching overflow (%d1/%d2)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
学習している External LSA が overflow する上限値の 90% に達したときに出力
【パラメータの意味】
%d1 = 学習している External LSA 数
%d2 = overflow database external で設定された上限値
【アクション】

【メッセージ】
RECV[DD]: From %m1 via %m2: MTU size is too large (%d1)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
受信した Database Description メッセージの MTU 値が自装置の MTU 値より大きいときに出力
【パラメータの意味】
%m1 = neighbor の address
%m2 = Interface 名
%d1 = 受信した MTU 値
【アクション】
neighbor との間で MTU 値が一致しているか確認して下さい。

【メッセージ】
RECV[DD]: From %m1 via %m2: MTU size mismatch (%d1)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】

受信した Database Description メッセージの MTU 値が自装置の MTU 値より小さいときに出力

【パラメータの意味】

%m1 = neighbor の address

%m2 = Interface 名

%d1 = 受信した MTU 値

【アクション】

neighbor が確立しない場合には、neighbor との間で MTU 値が一致しているか確認して下さい。

【メッセージ】

ldpd: [FSM] LDP_FSM_Message neighbor:%m1 up

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ldp session が up になった場合

【パラメータの意味】

%m1=LDP neighbor のアドレス

【アクション】

LDP neighbor になれない場合は設定を確認して下さい

【メッセージ】

ldpd: [FSM] LDP_FSM_Stop neighbor:%m1 down

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ldp session が down になった場合

【パラメータの意味】

%m1=LDP neighbor のアドレス

【アクション】

【メッセージ】

ldpexd: [FSM] LDP_FSM_Message neighbor:%m1 up

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ldp-extended session が up になった場合
【パラメータの意味】
%m1=LDP-extended neighbor のアドレス
【アクション】
LDP-extended neighbor になれない場合は設定を確認して下さい

【メッセージ】
ldpexd: [FSM] LDP_FSM_Stop neighbor:%m1 down
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
ldp-extended session が down になった場合
【パラメータの意味】
%m1=LDP-extended neighbor のアドレス
【アクション】

【メッセージ】
MAXPFXEXCEED(WARNING): No. of prefix received from %m1 (afi %m2): %m3 exceed limit %m4
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
prefix count が warning 値を超過した場合
【パラメータの意味】
%m1=peer の ip address, %m2=afi, %m3=prefix count 数, %m4=warning 値
【アクション】

【メッセージ】
MAXPFXEXCEED: No. of prefix received from %m1 (afi %m2): %m3 exceed limit %m4
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

prefix count が max 値を超過した場合

【パラメータの意味】

%m1=peer の ip address, %m2=afi, %m3=prefix count 数, %m4=max 値

【アクション】

受信した prefix 数が設定値を超過しました。再開する場合は、clear ip bgp を行なって下さい。

【メッセージ】

Process restart (AS changed: %m1 -> %m2

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

router bgp <AS>で AS 番号が変更された場合

【パラメータの意味】

%m1=旧 AS 番号, %m2=新 AS 番号

【アクション】

【メッセージ】

Fail to bind static label <FEC:%m1/%m2>

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

static label binding に失敗した場合

【パラメータの意味】

%m1=FEC, %m2=prefix 長

【アクション】

mpls label range の設定を確認してください。mpls label range 設定変更後は再起動が必要となります。

【メッセージ】

NFSM[%m1%m2]: Inactivity timer expire

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

OSPF ネイバー(%m1, interface id %m2) からの Hello packet を hello dead interval の間に受信しなかった場合.

【パラメータの意味】

%m1=OSPF ネイバーのアドレス

【アクション】

OSPF ネイバーの設定とネイバーとの接続状況を確認してください.

【メッセージ】

(%1m) : Exceed maximum FEC (%d1)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

FEC 数が max-fec で指定した値を超過した場合

【パラメータの意味】

%m1=VRF の場合は VRF 名。VRF ではない場合は global と表示, %d1=FEC の数

【アクション】

max-fec の指定を見なおして下さい.

【メッセージ】

(%1m) : clear maximum FEC (%d1)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

一度超過した FEC 数が max-fec で指定した値以下に減少した場合

【パラメータの意味】

%m1=VRF の場合は VRF 名。VRF ではない場合は global と表示, %d1=FEC の数

【アクション】

max-fec の指定を見なおして下さい.

【メッセージ】

(%m1) [FSM] Session with %m2 up

(%m1) [FSM] Session with %m2 down [cause: %m3]

Too short, need long time more than hello-interval

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ネイバーのセッションがアップした場合

ネイバーのセッションがダウンした場合

LDP の hold-time 値の設定が LDP インターフェイスの hello-interval よりも短く設定された場合

【パラメータの意味】

%m1=インターフェース名, %m2=peer アドレス

%m1=インターフェース名, %m2=peer アドレス,

%m3=ダウンした理由. 以下のいずれか

Initialization message decode error

Keepalive message decode error

Address message decode error

Address withdraw message decode error

Label request message decode error

Label mapping message decode error

Label withdraw message decode error

Label release message decode error

Request abort message decode error

Administratively shut down this neighbor

none

なし

【アクション】

ldp hold-time の設定を見なおして下さい. もしくは LDP インターフェースの hello-interval の設定を見なおして下さい.

【メッセージ】

Too short, need long time more than keepalive-interval

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
keepalive-timeout の設定が keepalive-interval よりも短く設定された場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
keepalive-timeout の設定, もしくは keepalive-interval の設定を見なおして
下さい.

【メッセージ】
%m Exceed max withdrawal message (%d)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
LDP にて受信した withdrawal message が一定時間内に一定数以上になった場合
時間およびメッセージ数は設定によります
【パラメータの意味】
%m=peer のアドレス, %d=withdraw 数
【アクション】
ldp withdrawal limit の設定を見なおして下さい.

【メッセージ】
No free labels available
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
空いているラベルが無く, 要求に失敗した場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】

【メッセージ】

nsm: Routing socket overflowed! cnt: %d

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

モジュール間メッセージの送受信に使われる socket buffer が overflow したことにより、
モジュール間でインタフェースや connected 経路の状態に不整合が発生している可能性があります。

【パラメータの意味】

%d=overflow したメッセージ数

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

nsm_client_read_msg: header decode error(%d)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NSM クライアント (ripd, ripngd, ospfd, bgpd, ospf6d, ldpd, ldpexd, rsvpd)
との通信中にヘッダのデコードに失敗した場合

【パラメータの意味】

%d=エラー番号

【アクション】

弊社に問い合わせて下さい。

【メッセージ】

nsm_client_read_msg: read error(length=%d1)(%d2)(%m)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NSM クライアント (ripd, ripngd, ospfd, bgpd, ospf6d, ldpd, ldpexd, rsvpd)
との通信中にメッセージの読みこみに失敗した場合

【パラメータの意味】

%d1=メッセージ長, %d2=読みこめたバイト数, %m=エラー内容

【アクション】
弊社に問い合わせて下さい。

【メッセージ】
nsm_parse_route_ipv4: decode error(%d)
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
経路データのデコードに失敗した場合
【パラメータの意味】
%d=エラー番号
【アクション】
弊社に問い合わせて下さい。

【メッセージ】
%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol on Interface %m1, changed state to %m2
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
インターフェース上の Line protocol が UP/Down した場合
【パラメータの意味】
%m1=インターフェース名, %m2= up もしくは down が表示
【アクション】

【メッセージ】
function time error
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
現在時刻の取得に失敗した場合
【パラメータの意味】

なし

【アクション】

弊社に問い合わせて下さい。

【メッセージ】

%s1 RSVP: %s2 Session with %s3 up [LSP: %s4 (path-option %s5 %s6)][LSP Id: %s7]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

session が UP した時

【パラメータの意味】

%s1=Session role (以下のいずれか)

Ingress

Transit

Egress

%s2=Session の type

%s1 が Ingress のときは、Session の type(以下のいずれか)

%s1 が Egress/Transit のときは表示されません。

Primary

Protect

%s3=Session の Egress address

%s4=Session name

%s5=Session の path-option Id

%s6=Session の path-name

%s7=Session の LSP Id

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

%s1 RSVP: %s2 Session with %s3 down [LSP: %s4][LSP Id: %s5 (path-option %s6 %s7)][cause: %m8]

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

session が DONW した時

【パラメータの意味】
%s1=Session role (以下のいずれか)
Ingress
Transit
Egress
%s2=Session の type
%s1 が Ingress のときは、Session の type(以下のいずれか)
%s1 が Egress/Transit のときは表示されません。
Primary
Protect
%s3=Session の Egress address
%s4=Session name
%s5=Session の LSP Id
%s6=Session の path-option Id
%s7=Session の path-name
%m8=session が release した cause(以下のいずれか)
表示メッセージ 理由
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
%s RSVP: %s Session Changed [LSP: %s]
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
protect session が up した時。
MBB session が up した時。
【パラメータの意味】
%s=Ingress
%s Session name
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
Ingress RSVP: Reroute, %1 to %2 [%3, %4]
【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

Session Down やマニュアルコマンド、MBB により Active LSP の経路が変わった時。

【パラメータの意味】

なし

Primary(Backup)

Protect(Main)

Protect(Backup)

"表示無し"

Primary(Backup)

Protect(Main)

Protect(Backup)

Path Protection

MBB

Session Down

Manual

【アクション】

そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】

(%m1) %m2 Remote bind down <FEC: %m3, label: %m4>

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

LDP の Remote bind が down した場合

【パラメータの意味】

%m1=インターフェース名

%m2=peer アドレス

%m3=FEC 名

%m4=label 名

【アクション】

【メッセージ】

(%m1) %m2 Remote bind up <FEC: %m3, label: %m4>

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

LDP の Remote bind が up した場合

【パラメータの意味】

%m1=インターフェース名

%m2=peer アドレス

%m3=FEC 名

%m4=label 名

【アクション】

【メッセージ】

(%m1) %m2 Local bind down <FEC: %m3, label: %m4>

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

LDP の Local bind が down した場合

【パラメータの意味】

%m1=インターフェース名

%m2=peer アドレス

%m3=FEC 名

%m4=label 名

【アクション】

【メッセージ】

(%m1) %m2 Local bind up <FEC: %m3, label: %m4>

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

LDP の Local bind が up した場合

【パラメータの意味】

%m1=インターフェース名

%m2=peer アドレス

%m3=FEC 名

%m4=label 名

【アクション】

【メッセージ】

ioctl(SIOCSRTNHID) error %m1

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

カーネルへの nexthop ID のセットに失敗

【パラメータの意味】

%m1=エラー内容

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Kernel nhid set failed. : static ARP/NDP %m1, vrfid(%m2), nhid(%m3)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

待機系側 NSM で同期により受信した nexthop ID のカーネルへのセットに失敗

【パラメータの意味】

%m1=失敗したエントリの prefix

%m2=エントリの VRFID(system vrf id)

%m3=セットしようとした nexthop ID

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Kernel add failed. : static ARP/NDP %m1, vrfid(%m2)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

static ARP(NDP)設定を読み込んだときにカーネルへ登録したが失敗した

【パラメータの意味】

%m1=失敗したエントリのプレフィックス

%m2=エントリの VRFID(system vrf id)

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Kernel add failed.(%m1) : static ARP/NDP %m2, vrfid(%m3)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

I/F 設定変更時に static ARP(NDP)をカーネルへ登録したが失敗した

【パラメータの意味】

%m1=契機となったメッセージタイプ

%m2=失敗したエントリのプレフィックス

%m3=エントリの VRFID(system vrf id)

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Kernel add failed. : evpn ARP/NDP %m1, VRF (%m2)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

EVPN により同期された ARP(NDP) をカーネルへ登録したが失敗した

【パラメータの意味】

%m1=失敗したエントリのプレフィックス

%m2=エントリの VRF 名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Kernel delete failed. : evpn ARP/NDP %m1, VRF (%m2)

【プライオリティ】

LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

EVPN により同期された ARP(NDP) をカーネルから削除しようとしたが失敗した

【パラメータの意味】

%m1=失敗したエントリのプレフィックス

%m2=エントリの VRF 名

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

prefix[%m1/%m2] kernel route add error[%m3]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

kernel への経路追加に失敗した

【パラメータの意味】

%m1=失敗した経路のアドレス

%m2=失敗した経路のマスク長

%m3=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

prefix[%m1/%m2] kernel route delete error[%m3]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

kernel からの経路削除に失敗した

【パラメータの意味】

%m1=失敗した経路のアドレス

%m2=失敗した経路のマスク長

%m3=エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

write error fd[%m1] error[%m2]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

vrrpd へのメッセージ送信失敗

【パラメータの意味】

%m1=通信ソケットのファイルディスクリプタ

%m2=エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

create socket error[%m1]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

vrrpd <=> nsm のソケット作成失敗

【パラメータの意味】

%m2=エラーメッセージ

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Cannot find VRF %m1 in IFID

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

IFID 共有メモリに登録されていない VRF だったため nsm への VRF 登録に失敗した

【パラメータの意味】

%m1=登録に失敗した VRF 名

【アクション】

メッセージに表示された VRF 名の VRF 設定を確認し、rd が重複していた場合は
変更前のコンフィグに戻して refresh を一旦実施した後、rd の重複がないように
設定を修正したコンフィグで refresh しなおしてください。
rd が重複していない状態でログが出力された場合は、弊社サポート、または、
担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

not load /usr/lib/libbfd_com.so

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD ライブラリのオープン失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

not Bfd_Library_Init [%s]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD ライブラリのロード失敗

【パラメータの意味】

%s = エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

not Bfd_Library_Start [%s]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD ライブラリのロード失敗

【パラメータの意味】

%s = エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Bfd_Library_Stop addr NULL error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD ライブラリの実行失敗(アドレスエラー)

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Bfd_Library_Stop map NULL error

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD ライブラリの実行失敗(map 名エラー)

【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
not Bfd_Library_Stop [%s]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BFD ライブラリのロード失敗
【パラメータの意味】
%s = エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
not Bfd_Library_Reconnect [%s]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
BFD ライブラリのロード失敗
【パラメータの意味】
%s = エラーコード
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
not Bfd_Library_Read [%s]
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】

BFD ライブラリのロード失敗

【パラメータの意味】

%s = エラーコード

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

Init_BfdCom not connect bfdd

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD デーモンとの通信失敗

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

null peer

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

BFD へ通知する際、ピアの情報が無い

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

no peer node

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】
BFD へ通知する際、ピアにノードが無い
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
null peer dest_lsp_id
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
LSP-ping BFD 連携時、lspid が不明な場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
null resp
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
LSP-ping BFD 連携時、resp の情報が無い場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
null remote_discr
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

LSP-ping BFD 連携時、リモート discriminator 情報が不明な場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

null resp dest_lsp_id

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

LSP-ping BFD 連携時、lspid が不明な場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

not interwork bfd

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

LSP-ping BFD 連携時、内部パラメータが不正な場合

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

unknown fec flag

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
LSP-ping BFD 連携時、内部パラメータが不正な場合
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
start BFD session. (discriminator: local %d / remote %d)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
LSP-ping BFD 連携時、正常に BFD セッションを開始した場合
【パラメータの意味】
%d = ローカル discriminator 値
%d = リモート discriminator 値
【アクション】
そのままご使用を続けてください。

【メッセージ】
recv illegal remote discriminator. old %d / new %d
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
LSP-ping BFD 連携時、ping reply で不正なリモート discriminator を受信した場合
【パラメータの意味】
%d = 受信を想定しているリモート discriminator 値
%d = 実際に受信したリモート discriminator 値
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

release session by BFD lsp_id:%d

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_DAEMON(3)

【意味】

RSVP BFD 連携時 BFD ダウンにより LSP を release した場合

【パラメータの意味】

%d = release した LSP トンネルの lspid

【アクション】

情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】

%m1 (%m2) BGP track %m3 %m4

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

VRF の BGP ピアが監視している track の状態が

【パラメータの意味】

%m1=BGP ピアのアドレス

%m2=VRF 名

%m3=track 番号

%m4=up/down

【アクション】

【メッセージ】

%m1 BGP track %m2 %m3

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

INET の BGP ピアが監視している track の状態が

【パラメータの意味】

%m1=BGP ピアのアドレス

%m2=track 番号

%m3=up/down

【アクション】

【メッセージ】

%m1 (%m2) BGP track-group %m3 %m4

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

VRF の BGP ピアが監視している track-group の状態が

【パラメータの意味】

%m1=BGP ピアのアドレス

%m2=VRF 名

%m3=track-group 名

%m4=up/down

【アクション】

【メッセージ】

%m1 BGP track-group %m2 %m3

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

INET の BGP ピアが監視している track-group の状態が

【パラメータの意味】

%m1=BGP ピアのアドレス

%m2=track-group 名

%m3=up/down

【アクション】

【メッセージ】

fail UNIX domain socket set send buff

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
track メッセージの送信バッファのサイズ変更に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
メーカーに問い合わせてください。

【メッセージ】
fail UNIX domain socket set recv buff
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
track メッセージの受信バッファのサイズ変更に失敗
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
メーカーに問い合わせてください。

【メッセージ】
%m1 (%m2) BGP surveillance peer %m3 %m4
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
VRF の BGP ピアが監視している survey の状態が
【パラメータの意味】
%m1=BGP ピアのアドレス
%m2=VRF 名
%m3=survey ピアのアドレス
%m4=up/down
【アクション】

【メッセージ】
%m1 BGP surveillance peer %m2 %m3
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
INET の BGP ピアが監視している survey の状態が
up/down したときに出力
【パラメータの意味】
%m1=BGP ピアのアドレス
%m2=survey ピアのアドレス
%m3=up/down
【アクション】

【メッセージ】
%m1 OSPF track %m2 %m3
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
監視している track 番号が up or down に遷移した
【パラメータの意味】
%m1=IF 名
%m2=track 番号
%m3=”up” or “down”
【アクション】
監視している track 番号の状態が up or down に遷移したことを示します。

【メッセージ】
%m1 OSPF track-group %m2 %m3
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

監視している track-group が up or down に遷移した

【パラメータの意味】

%m1=IF 名

%m2=track-group 名

%m3=”up” or “down”

【アクション】

監視している track-group の状態が up or down に遷移したことを示します。

【メッセージ】

Label duplicate check mode enable. Please reset.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

label の重複チェックモードが有効になりました。装置再起動をお願いします。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置再起動後、label の重複チェックモードが有効になります。

【メッセージ】

Label duplicate check mode disabel. Please reset.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

label の重複チェックモードが無効になりました。装置再起動をお願いします。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

装置再起動後、label の重複チェックモードが無効になります。

【メッセージ】

ip route vrf %m1 %m2 %m3: Label %m4 conflict(%m5)

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
static route の label が重複しています
【パラメータの意味】
%m1=VRF 名
%m2=static route の prefix
%m3=static route の nexthop
%m4=label
%m5=label に対応付けされ有効となっている IF 名
【アクション】
設定した static route の label が他の static route の label と重複していることを示します。

【メッセージ】
ipv6 route vrf %m1 %m2 %m3: Label %m4 conflict(%m5)
【プライオリティ】
LOG_INFO(6)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
static route の label が重複しています
【パラメータの意味】
%m1=VRF 名
%m2=static route の prefix
%m3=static route の nexthop
%m4=label
%m5=label がに対応付けされ有効となっている IF 名
【アクション】
設定した static route の label が他の static route の label と重複していることを示します。

【メッセージ】
Static label range is not setting
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】

mpls label range static 設定がありません。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

mpls label range static 設定がないことを示します。

【メッセージ】

%m1 (%m2): Label %m3 exceeded the label range[%m4/%m5]

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定した label が static label の範囲を超えています。

【パラメータの意味】

%m1=peer アドレス

%m2=VRF 名

%m3=label 値

%m4=static label の最小値

%m5=static label の最大値

【アクション】

neighbor mpls label 設定の label 値が static label の範囲を超えていることを示します。

【メッセージ】

%m1 (%m2): Label %m3 conflict(%m4 (%m5))

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

設定した label が他の peer の label と重複しています。

【パラメータの意味】

%m1=peer アドレス

%m2=VRF 名

%m3=label 値

%m4=mpls label に対応付けされ有効となっている peer アドレス

%m3=mpls label に対応付けされ有効となっている VRF

【アクション】

neighbor mpls label 設定の label 値が他の peer で設定した label 値と重複していることを示します。

【メッセージ】

fcntl(%1, F_SETFD, FD_CLOEXEC)[%2] FAIL (%3:%4)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

ディスクリプタのフラグの設定に失敗した場合

【パラメータの意味】

%1=ソケット番号

%2=エラーコード

%3=エラー番号

%4=エラーメッセージ

【アクション】

report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】

%m1 max cost applied (ldp session is down)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

LDP セッション状態が down へ遷移

【パラメータの意味】

%m1=interface 名

【アクション】

LDP IGP sync 機能が有効の場合に出力され、コストが 65535 で通知されることを示します。

【メッセージ】

%m1 normal cost applied (ldp session is up)

【プライオリティ】

LOG_INFO(6)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】
LDP セッション状態が up へ遷移
【パラメータの意味】
%m1=interface 名
【アクション】
LDP IGP sync 機能が有効の場合に出力され、コストが設定値で通知されることを示します。

【メッセージ】
%m1 exceeded warning rate. (%m2%% used)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置内で使用される ID リソースが warning 閾値 (default 90%) に達した場合に出力されます。
【パラメータの意味】
%m1=ID 名
%m2=ID リソースの使用率
【アクション】
経路数が上限を超える可能性があります。ネットワーク構成を見なおしてください。

【メッセージ】
%m1 exceeded alert rate. (%m2%% used)
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
装置内で使用される ID リソースが alert 閾値 (default 99%) に達した場合に出力されます。
【パラメータの意味】
%m1=ID 名 (NHDN NHID, LINK NHID, LSP NHID, RT-EXP-ID, ILM Counter ID)
%m2=ID リソースの使用率
【アクション】
経路数が上限を超える可能性があります。ネットワーク構成を見なおしてください。

【メッセージ】
failed to assign %m1 NHID due to reaching the limit.
【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

NHID リソースが枯渇したことを表示

【パラメータの意味】

%m1=nhd_type

【アクション】

NHID リソースが枯渇したことを示します。

【メッセージ】

failed to assign RT-EXP-ID due to reaching the limit.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

RT-EXP-ID リソースが枯渇したことを表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

RT-EXP-ID リソースが枯渇したことを示します。

【メッセージ】

failed to assign EVPN-TE-ID due to reaching the limit.

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

EVPN-TE-ID リソースが枯渇したことを表示

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

EVPN-TE-ID リソースが枯渇したことを示します。

【メッセージ】

failed to assign EVPN-ES-ID due to reaching the limit.

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
EVPN-ES-ID リソースが枯渇したことを表示
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
EVPN-ES-ID リソースが枯渇したことを示します。

【メッセージ】
nexthop %m1 (RD %m2) status is updated over unexpected times
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
nexthop の状態更新処理が、異常回数 (5 回以上) 行われたことを示します。
経路表の状態に不整合が生じている可能性があります。
【パラメータの意味】
%m1=nexthop アドレス
%m2=nexthop の属する VRF の RD
【アクション】
report-all 情報を取得し、弊社サポート、または、担当営業員までご連絡ください。

【メッセージ】
COUNTER-CHANGED: %m1 %m2/m3: %m4 -> %m5
【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
show ip bgp コマンドで経路表示に伴い、経路数の数えなおしが動作し、数えなおし前後で
経路数が変化した場合
【パラメータの意味】
%m1=host IP address
%m2/%m3=経路種別 ID

%m4=数えなおし前の値
%m5=数えなおし後の値

【アクション】
受信経路数の数えなおしで値が変更されました。maximum prefix の設定をしている場合には、切断等を必要に応じて実施ください。

【メッセージ】
COUNTER-CHANGED: %m1 vrf %m2 %m3/%m4: %m5 -> %m6

【プライオリティ】
LOG_WARNING(4)

【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)

【意味】
show ip bgp コマンドで経路表示に伴い、経路数の数えなおしが動作し、数えなおし前後で経路数が変化した場合

【パラメータの意味】
%m1=host IP address
%m2=VRF 名
%m3/%m4=経路種別 ID
%m5=数えなおし前の値
%m6=数えなおし後の値

【アクション】
受信経路数の数えなおしで値が変更されました。maximum prefix の設定をしている場合には、切断等を必要に応じて実施ください。

【メッセージ】
L2VPN-EVPN transport disabled by BGP peer down

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
address-family l2vpn evpn で activate されたすべての BGP ピアが session down した場合に出力されます。

【パラメータの意味】
なし

【アクション】

【メッセージ】
CONFIG error: %s rd %m1 overlaps with %m2. skipped.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
EVI に設定された RD がすでに他の EVI で使用されている場合に出力されます。
【パラメータの意味】
%m1 = 新規に RD を設定した EVI 名
%m2 = その RD が設定された既存の EVI 名
【アクション】
設定を見直してください。EVI に設定する RD は装置内で一意にする必要があります。

【メッセージ】
Invalid ESI format %m1.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
設定された ESI が不正な値である場合に出力されます。
【パラメータの意味】
%m1 = 入力された ESI
【アクション】
設定した ESI の値を見直してください。

【メッセージ】
CONFIG error: %m1 esi %m2 overlaps with %m3. skipped.
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
インターフェースに設定された ESI がすでに他のインターフェースで使用されている場合に出力されます。
【パラメータの意味】

%m1 = 新規に ESI を設定したインターフェース名
%m2 = ESI 値
%m3 = その ESI が設定された既存のインターフェース名

【アクション】
設定を見直してください。インターフェースに設定する ESI はネットワークで一意にする必要があります。

【メッセージ】
EVPN ESI %m1 changed state from %m2 to %m3″

【プライオリティ】
LOG_INFO(6)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
ESI により識別される ES の状態が変化したときに出力されます。

【パラメータの意味】
%m1 = ESI 値
%m2 = ES の状態（up か down か admin-down が表示されます。）
%m3 = ES の状態（up か down か admin-down が表示されます。）

【アクション】

【メッセージ】
failed to get info for %m1 from iid

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)

【ファシリティ】
LOG_USER(1)

【意味】
インタフェース追加時、BGP デーモンの中でインターフェース情報が正常に初期化できなかった場合に出力されまう。

【パラメータの意味】
%m1 = インターフェース名

【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
memory-exhausted.(%m1)

【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_DAEMON(3)
【意味】
プロセスがメモリを確保できなかった場合
【パラメータの意味】
%m1=システムコール名
【アクション】
装置の最大エントリ数を超えている可能性があります。ネットワーク構成を見なおしてください。

【メッセージ】
netlink sendmsg error: %1
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
kernel への経路登録に失敗した場合
【パラメータの意味】
%1 エラー要因
【アクション】
情報を採取して、サポートまでご連絡ください。

【メッセージ】
AS number is invalid, 23456
【プライオリティ】
LOG_ERR(3)
【ファシリティ】
LOG_USER(1)
【意味】
bgp confederation identifier 設定で使用できない値 23456 を入力し、設定反映した場合に出力されます。
【パラメータの意味】
なし
【アクション】
設定値を見直してください。他の値の設定、もしくは no bgp confederation identifier または no bgp confederation identifier 23456 による設定削除を実行してください。

【メッセージ】

AS number is invalid (same value is already configured by bgp confederation identifier command)

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

neighbor remote-as 設定で bgp confederation identifier に設定されている値を入力し、設定反映した場合に出力されます。

【パラメータの意味】

なし

【アクション】

設定値を見直してください。bgp confederation identifier に設定されていない値を使用する必要があります。

【メッセージ】

same value is already configured by neighbor remote-as command: %s

【プライオリティ】

LOG_ERR(3)

【ファシリティ】

LOG_USER(1)

【意味】

bgp confederation identifier 設定で neighbor remote-as に設定されている値を入力し、設定反映した場合に出力されます。

【パラメータの意味】

%m1 入力値と同一の値が neighbor remote-as に設定されているピアのアドレス

【アクション】

設定値を見直してください。neighbor local-as に設定されている値の使用は想定されていません。

FH10
メッセージ集 初版
発行日　2026年　 6月
発行責任 古河電気工業株式会社
Printed in Japan

● 本書は改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。
● 落丁・乱丁本はお取り替えいたします。